

# 国史跡山王罎遺跡の研究 V

## 土 器 編 3

(西区Ⅵ層・Ⅶ層出土土器編)

2024 年

弘前大学人文社会科学部 北日本考古学研究センター

# 国史跡山王罎遺跡の研究 V

## 土 器 編 3

(西区Ⅵ層・Ⅶ層出土土器編)

2024 年

弘前大学人文社会科学部 北日本考古学研究センター





Vla-g 層出土土器集合写真



VIh 層出土土器集合写真



VI f 層出土壺形土器



VI h 層出土壺形土器



VII層出土土器集合写真



VIIa 層出土鉢形土器



VIIb 層出土壺形土器



# 目 次

巻頭写真

目次

挿図・図・表・図版一覧

例言

凡例

## 第1章 研究の経緯と方法

第1節 研究の経緯	1
第2節 整理・分析の方法	2

## 第2章 土器の観察項目

## 第3章 西区Ⅵ層出土土器

第1節 層位と土器の出土状況	11
第2節 型式学的検討	11

## 第4章 西区Ⅶ層出土土器

第1節 層位と土器の出土状況	21
第2節 型式学的検討	21

## 第5章 土器の胎土と付着物等

第1節 土器の胎土	29
第2節 土器に付着したスス・コゲ	29
第3節 赤彩土器	29
第4節 土器の補修痕	32

## 第6章 まとめ

山王圀遺跡西区Ⅵ層出土土器実測図(図1～13)	40
山王圀遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影(図14～33)	53
山王圀遺跡西区Ⅶ層出土土器実測図(図34～43)	73
山王圀遺跡西区Ⅶ層出土土器拓影(図44～50)	83
山王圀遺跡西Ⅵ層出土土器観察表(表1)	90
山王圀遺跡西Ⅶ層出土土器観察表(表2)	108
山王圀遺跡西Ⅵ層出土土器写真(図版1～33)	119
山王圀遺跡西Ⅶ層出土土器写真(図版34～49)	152

## 挿図・図・表・図版一覧

挿図1	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器の器種類型と部位名称	図22	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (9) Ⅵf層
挿図2	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器の器種類型と部位名称	図23	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (10) Ⅵg層
挿図3	口縁部断面形態分類	図24	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (11) Ⅵh層
挿図4	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器の器種組成比率	図25	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (12) Ⅵh層
挿図5	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器の細別器種分類	図26	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (13) Ⅵh層
挿図6	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器の主要文様モチーフ (1)	図27	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (14) Ⅵh層
挿図7	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器の主要文様モチーフ (2)	図28	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (15) Ⅵh層
挿図8	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土深鉢類の比率	図29	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (16) Ⅵh層
挿図9	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土鉢類の比率	図30	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (17) Ⅵh層
挿図10	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土浅鉢類の比率	図31	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (18) Ⅵh層
挿図11	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土壺類の比率	図32	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (19) Ⅵh層
挿図12	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器の器種組成比率	図33	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (20) Ⅵh・Ⅵh2・Ⅵh3・Ⅵi層
挿図13	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器の細別器種分類	図34	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器 (1) Ⅶa層
挿図14	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器の主要文様モチーフ (1)	図35	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器 (2) Ⅶa層
挿図15	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器の主要文様モチーフ (2)	図36	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器 (3) Ⅶa層
挿図16	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土深鉢類の比率	図37	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器 (4) Ⅶb層
挿図17	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土鉢類の比率	図38	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器 (5) Ⅶb層
挿図18	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土浅鉢類の比率	図39	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器 (6) Ⅶb層
挿図19	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土壺類の比率	図40	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器 (7) Ⅶb層
挿図20	胎土中の海綿骨針の含有率	図41	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器 (8) Ⅶb層
挿図21	胎土中の金雲母の含有率	図42	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器 (9) Ⅶb層
挿図22	炭化物の付着率	図43	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器 (10) Ⅶb層
挿図23	赤色顔料の付着率	図44	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器拓影 (1) Ⅶa層
挿図24	赤彩された主な土器	図45	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器拓影 (2) Ⅶa層
挿図25	山王罎遺跡西区Ⅶa～Ⅶg層出土大洞A1式 (古段階) 土器の器種組成	図46	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器拓影 (3) Ⅶa層
挿図26	山王罎遺跡西区Ⅶh層出土大洞A1式 (古段階) 土器の器種組成	図47	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器拓影 (4) Ⅶb層
挿図27	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土大洞C2式土器の器種組成	図48	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器拓影 (5) Ⅶb層
挿図28	山王罎遺跡西区Ⅶ層・Ⅶ層出土土器の器種組成比率の変遷	図49	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器拓影 (6) Ⅶb層
		図50	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器拓影 (7) Ⅶb層
図1	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器 (1) Ⅵb層	表1	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器観察表
図2	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器 (2) Ⅵb層	表2	山王罎遺跡西区Ⅶ層出土土器観察表
図3	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器 (3) Ⅵd層		
図4	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器 (4) Ⅵd層	図版1	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (1) Ⅳb層
図5	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器 (5) Ⅵd・Ⅵf層	図版2	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (2) Ⅳb層
図6	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器 (6) Ⅵf・Ⅵg層	図版3	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (3) Ⅳb・Ⅵd層
図7	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器 (7) Ⅵh層	図版4	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (4) Ⅳd層
図8	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器 (8) Ⅵh層	図版5	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (5) Ⅳd・Ⅵf層
図9	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器 (9) Ⅵh層	図版6	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (6) Ⅳf層
図10	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器 (10) Ⅵh層	図版7	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (7) Ⅳf・Ⅵg層
図11	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器 (11) Ⅵh層	図版8	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (8) Ⅳh層
図12	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器 (12) Ⅵh層	図版9	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (9) Ⅳh層
図13	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器 (13) Ⅵh・Ⅵh2層	図版10	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (10) Ⅳh層
図14	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (1) Ⅶa・Ⅶb層	図版11	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (11) Ⅳh層
図15	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (2) Ⅶb層	図版12	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (12) Ⅳh層
図16	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (3) Ⅶb層	図版13	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (13) Ⅵh・Ⅵh2層
図17	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (4) Ⅶb層	図版14	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (14) Ⅶb層
図18	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (5) Ⅶd層	図版15	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (15) Ⅶb層
図19	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (6) Ⅶd層	図版16	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (16) Ⅶb層
図20	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (7) Ⅶd・Ⅶe層	図版17	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (17) Ⅶb層
図21	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影 (8) Ⅶe・Ⅶf層	図版18	山王罎遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (18) Ⅶd層

图版 19 山王冢遗迹西区Ⅵ层出土土器写真 (19) Ⅵd 層  
图版 20 山王冢遗迹西区Ⅵ层出土土器写真 (20) Ⅵd・Ⅵe 層  
图版 21 山王冢遗迹西区Ⅵ层出土土器写真 (21) Ⅵe・Ⅵf 層  
图版 22 山王冢遗迹西区Ⅵ层出土土器写真 (22) Ⅵf 層  
图版 23 山王冢遗迹西区Ⅵ层出土土器写真 (23) Ⅵg 層  
图版 24 山王冢遗迹西区Ⅵ层出土土器写真 (24) Ⅵh 層  
图版 25 山王冢遗迹西区Ⅵ层出土土器写真 (25) Ⅵh 層  
图版 26 山王冢遗迹西区Ⅵ层出土土器写真 (26) Ⅵh 層  
图版 27 山王冢遗迹西区Ⅵ层出土土器写真 (27) Ⅵh 層  
图版 28 山王冢遗迹西区Ⅵ层出土土器写真 (28) Ⅵh 層  
图版 29 山王冢遗迹西区Ⅵ层出土土器写真 (29) Ⅵh 層  
图版 30 山王冢遗迹西区Ⅵ层出土土器写真 (30) Ⅵh 層  
图版 31 山王冢遗迹西区Ⅵ层出土土器写真 (31) Ⅵh 層  
图版 32 山王冢遗迹西区Ⅵ层出土土器写真 (32) Ⅵh 層  
图版 33 山王冢遗迹西区Ⅵ层出土土器写真 (33) Ⅵh・Ⅵh2・Ⅵh3・  
Ⅵi 層

图版 34 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真 (1) Ⅶa 層  
图版 35 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真 (2) Ⅶa 層  
图版 36 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真 (3) Ⅶa・Ⅶb 層  
图版 37 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真 (4) Ⅶb 層  
图版 38 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真 (5) Ⅶb 層  
图版 39 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真 (6) Ⅶb 層  
图版 40 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真 (7) Ⅶb 層  
图版 41 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真 (8) Ⅶb 層  
图版 42 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真 (9) Ⅶb 層  
图版 43 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真 (10) Ⅶa 層  
图版 44 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真 (11) Ⅶa 層  
图版 45 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真 (12) Ⅶa 層  
图版 46 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真 (13) Ⅶb 層  
图版 47 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真 (14) Ⅶb 層  
图版 48 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真 (15) Ⅶb 層  
图版 49 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真 (16) Ⅶb 層

## 例 言

1. 本書は、宮城県栗原市（旧栗原郡一迫町真坂字山王）に所在する国史跡山王圀遺跡の1965年第2・3次発掘調査出土遺物のうち、縄文時代晩期後葉から中葉の文化層である西区のⅥ層とⅦ層から出土した土器に関する報告書である。
2. 本研究は、令和2年度に栗原市教育委員会と弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センターとの間で結んだ「国史跡山王圀遺跡の出土資料に関する共同研究」に基づき遂行した。
3. 本研究を遂行するにあたり、下記の機関、個人には資料の照会や提供、過去の調査に関する情報提供などのご協力を賜った。記して感謝申し上げる。

個人 大場亜弥、鹿又喜隆、須藤 隆、村田章人

（五十音順・敬称略）

機関 栗原市教育委員会、東北大学文学部考古学研究室

4. 本書は関根達人が執筆した。巻頭写真ならびに写真図版に用いた土器の写真は上條信彦が撮影した。本文中における個人の敬称は省略した。引用・参考文献は章末に付した。
5. 各層、グリッド表記、年代は『史跡 山王圀遺跡の研究Ⅰ』（2020年3月刊行）による。
6. 本書に掲載した実測図と拓本のうち、Ⅵ層出土土器については、2004年度に前田尚志氏が東北大学文学部に提出した卒業論文掲載図に加え、1966年度に藤沼邦彦氏が東北大学文学部に提出した卒業論文掲載図と栗原市一迫埋蔵文化財センター（山王ろまん館）に保管されていた佐藤広史氏の実測図（原図）をトレースするとともに、資料化されていない土器については新たに実測・採拓・トレースを行った。同じくⅦ層出土土器については、栗原市一迫埋蔵文化財センター（山王ろまん館）に保管されていた村田章人氏作成の図面を再構成するとともに、資料化されていない土器については新たに実測とトレースを行った。既存の図面の整理と新たな図化は関根達人、トレースは関根香織が行った。
7. 本報告書に掲載した遺物は全て栗原市教育委員会が所蔵する。本研究のデータは、弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センターで保管している。
8. 本研究は、弘前大学人文社会科学部のプロジェクト予算の助成により実施した。

## 凡 例

本報告書に掲載した土器の実測図・拓本、写真図版、観察表の表記基準を以下に示す。

1. 土器の資料番号には、図掲載番号と写真図版掲載番号がある。写真図版には図掲載番号を付記するとともに、観察表には図掲載番号と写真図版掲載番号を併記した。
2. 図ならびに写真図版の縮尺は3分の1である。縮尺率については図・図版中のスケールで示した。
3. グリッド・層位は注記および台帳の記載に基づく。なおローマ数字とアラビア数字、大文字小文字などの表記の不統一や誤記は修正の上、統一した。
4. 観察表の計測値は器厚（mm）を除き、他は全てcm単位である。
5. 実測図や拓本などの図面は存在するが、実物が確認できない資料についても報告書に掲載し、観察表には図面から分かる情報のみ記載した。
6. 観察表に記載した縄文の条数ならびに節数は1cmあたりの数である。



## 第1章 研究の経緯と方法

### 第1節 研究の経緯

国史跡山王圀遺跡は、宮城県北部の栗原市一迫に所在する縄文時代晩期から弥生時代中期に営まれた低湿地遺跡である。旧一迫町（現・栗原市）が計画した小学校体育館の建設に伴い、発掘調査が必要となったことから、町が東北大学文学部の伊東信雄に協力を依頼し、1965年に東北大学文学部考古学研究室により発掘調査が実施された。厚さ2mを超す縄文晩期中葉から弥生前期に至る有機質遺物を含む包含層が分層調査され、縄文から弥生への物質文化の変遷を解明しうると期待された。東区最下層の25層から出土した大洞C2式期の漆漉し布は、出土当初から希少な縄文時代の編布として、北海道斜里朱円周堤墓出土資料とともに注目された（伊東1966）。

発掘調査の終了後、町は東北大学文学部考古学研究室に出土品の整理に関する協力を求め、須藤隆を中心に膨大な出土資料の整理・分析が進められ、多くの学生が山王圀遺跡出土資料で卒業論文や修士論文を書いてきた。遺跡が国史跡に指定された1970年には調査の概要が初めて学会報告された（伊東1970）。調査から20年後の1985年には発掘調査時の写真が掲載された『山王圀遺跡調査図録』（伊東・須藤1985）が刊行され、層序や遺構・出土遺物の概要が示されるとともに、図録の付図という形で出土土器92点の実測図が公表された。図録では層位ごとに分冊という形で今後正式な報告書を刊行していく方針が示されたが、正式な本報告は未刊行のままであった。

東北大学による山王圀遺跡の発掘調査から半世紀以上過ぎ、その後に急増した開発や学術調査に伴い、亀ヶ岡文化期の低湿地遺跡の発掘調査例は増えたが、一つの遺跡で縄文晩期から弥生中期までの物質文化の変遷を層位的に追える例は極めて稀であり、山王圀遺跡の出土品は今なお他の資料で代えがたい価値を有している。

弘前大学は、縄文晩期に東北地方一円に栄えた亀ヶ岡文化を調査・研究し、その成果を地域社会に還元するため、2005年に人文学部の附属施設として亀ヶ岡文化研究センターを設置した。センターの開設を記念して開かれた展示会では、東北大学と栗原市教育委員会の協力により山王圀遺跡の資料（土器12点・漆塗り櫛1点・籃胎漆器1点・漆漉し布1点）も出品され、展示会の図録には土器の拓本や写真家の小川忠博が撮影した展開写真が掲載された（弘前大学人文学部亀ヶ岡文化研究センター2006）。2014年には北日本に広く分布する縄文遺跡群を中心とする埋蔵文化財の調査・分析・保存等をはじめ、地域の考古学・文化財科学に関する教育・研究・社会貢献活動を行い、広く学界に貢献することを目的に、亀ヶ岡文化研究センターを母体として北日本考古学研究センター（以下、センターと表記）が設けられた（弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター2016）。

センターは、多くの情報が得られる有機質遺物が出土する低湿地遺跡に着目し、有機質遺物の資料分析や保存処理に関する体制を整え、非破壊による分析・研究を積み重ねてきた。そのなかで、センターでは希少な有機質遺物を含む膨大で良好な資料が層位的に出土していながら、正式な本報告書が未刊行なため、全貌が公開されていない山王圀遺跡出土品の研究が必要と判断し、栗原市教育委員会に山王圀遺跡出土漆器に関する共同研究を提案、平成27年度に弘前大学人文社会科学部（当時：人文学部）と栗原市教育委員会は「史跡山王圀遺跡の漆工芸研究」に関する覚書を取り交わした。2017年10月7日～11月12日には、栗原市埋蔵文化財センターから山王圀遺跡の主要な出土品を借り受け、センターで企画展「大山王圀展―北上川下流域に華開いた漆の文化から弥生文化へ」を開催した。山王圀遺跡出土漆器の調査と保存に関する共同研究は令和元年度までの5か年計画で実施され、2020年3月に報告書『国史跡 山王圀遺跡の研究Ⅰ 漆器編』を刊行した。



漆器の保存処理と分析に併行して、山王圀遺跡出土品の全容の解明に向け、これまで山王圀遺跡の発掘調査と資料整理を担ってきた東北大学文学部考古学研究室に協力を打診、2018年に山王圀遺跡出土資料を扱った卒業論文や修士論文の写しの提供を受け、山王圀遺跡出土品の全貌解明に向け、整理状況の確認に着手した。

山王圀遺跡出土品に関する総合的な調査・分析を実施するため、令和2年度より5か年計画で弘前大学人文社会科学部と栗原市教育委員会との間に新たな共同研究「山王圀遺跡出土資料の研究協力に関する協定」を令和2年12月に締結した。この協定に基づき、2021年9月には、『国史跡 山王圀遺跡の研究Ⅱ 石器・石製品・土製品・骨角器編』、2022年3月には『国史跡 山王圀遺跡の研究Ⅲ 土器編1（西区Ⅲ層・Ⅳ上層出土土器編）』、2023年3月に『国史跡 山王圀遺跡の研究Ⅳ 土器編2（西区Ⅳ下層・Ⅴ層出土土器編）』を刊行した。

今後は、令和6年度末に『国史跡山王圀遺跡の研究Ⅵ 総括編』を刊行する予定である。

## 第2節 整理・分析の方法

### （1）東北大学関係者によるこれまでの資料整理状況

東北大学では1965年の発掘調査直後から長きにわたり山王圀遺跡出土資料が卒業論文や修士論文に使われており、それらの研究の過程で接合・同一個体の認定・実測・採拓・分析などが長期にわたり行われてきた。

本報告書に掲載した山王圀遺跡1965年調査西区Ⅵ層・Ⅶ層出土土器を扱った卒業論文・修士論文で把握できたのは、次の4点である。

藤沼邦彦 1966年度卒業論文「東北地方縄文晩期土器の研究－山王遺跡第Ⅵ層出土土器について－」（Ⅵ層）

村田章人 1984年度卒業論文「縄文時代晩期土器の研究 一定量的方法と型式－」（Ⅶ層）

前田尚志 2004年度卒業論文「東北地方晩期後葉縄文土器の研究－宮城県一迫町山王圀遺跡Ⅵ層出土土器を中心に－」（Ⅵ層）

市川健夫 2005年度修士論文「東北地方における晩期縄文土器の研究－宮城県山王圀遺跡・青森県今津遺跡出土資料の分析を中心に－」（Ⅶ層）

これら卒業論文や修士論文には数多くの土器の図面が掲載されているが、本報告書に掲載したⅥ層・Ⅶ層出土土器に関しては、ごく一部の実測図が『山王圀遺跡調査図録』の付図に掲載されている他、広域編年の鍵となるⅥf層から出土した連子窓文（縦区画文）壺（巻頭写真1、図6-6、図版7-5）について須藤隆氏と関根が論考（須藤2003、関根2021、関根・柴2022、関根・柴2023）で取り上げた以外、これまで図面は全く未公表であった。またⅦ層出土土器については、須藤隆氏の指導の下、1994年の刊行を目指し、村田章人氏によって『山王圀遺跡第Ⅶ層調査報告書 土器編』のとりまとめが進められていたが、諸般の事情で残念ながら刊行に到らなかった。

前述の卒業論文・修士論文以外にも、1965年の発掘調査からさほど時間をおかずに東北大学の関係者によって作成されたと考えられる、土器にkno番号が付された縮尺率不明の青焼きの図面が栗原市一迫埋蔵文化財センター（山王ろまん館）に保管されていた。

1965年の発掘直後から東北大学で行われてきた土器の整理作業には前述の通り、複数の学生が関わってきたが、整理方法や分類基準が必ずしも継承されて来なかったため、今日まで図化されないまま

残された資料がある上、様々な点で齟齬や不統一が生じていた。

## （2）東北大学から一迫町・栗原市への資料の返却について

1965年の調査で出土した資料は、東北大学考古学研究室で長期にわたって資料整理が進められてきたが、1989年に行われた山王考古館の改修による展示機能拡充に際し、一部の資料が展示資料として一迫町に戻された。また同時期に西区Ⅶ層出土土器の報告書を刊行する計画があり、Ⅶ層出土土器は一迫町へ運ばれ、そこで整理作業が進められた。

2002年、東北大学片平キャンパスの施設整備に伴い、山王囲遺跡出土資料が保管されていた標本室の改修工事が行われることになった。それに伴い、それまで標本室にあった市町村からの委託による発掘調査資料の一部が地元に返還されることになり、翌年、一迫町に1965年の調査資料が戻された（その後も、この時の返還から漏れた資料が発見される度、随時東北大学から一迫町・栗原市へ資料が搬送されてきた）。

2009年、栗原市教育委員会から東北大学に対して資料の一括管理のため、発掘調査に関する図面、台帳等の資料及び実測図等の移管を打診、翌年、それらは一括搬送され、一迫埋蔵文化財センター（山王ろまん館）に収蔵された。

## （3）整理の方法と手順

栗原市一迫埋蔵文化財センター（山王ろまん館）に収蔵されている山王囲遺跡出土資料には、本報告書で扱う1965年の東北大学調査資料（調査主体：一迫町、調査担当：伊東信雄教授）以外に、1948年と1958年の一迫町長狩野文朔氏調査資料、1964年の一迫町発掘調査資料（調査担当：興野義一氏）がある。このうち1964年調査資料は一迫町が保有し、一迫埋蔵文化財センター建設（1999年開館）までは役場敷地内プレハブにて保管されていたものである。

本報告書で扱う1965年の東北大学調査資料には、遺物と図面・写真がある。

本報告書作成に先立ち、最初に遺物の注記と栗原市教育委員会提供の遺物台帳・写真を参照し、出土地区と層位の情報を照合するとともに、図面類を電子データ化した。

次に行ったのが、これまでに東北大学の関係者によって作成された土器の実測図や拓本、トレース図の集成である。土器には、整理の度毎に異なる整理番号が付けられており、土器によっては作成時期の異なる複数の図面が存在する。過去に行われた整理作業は、前の担当者の整理番号や整理方針が後の担当者に引き継がれていないため大変錯綜しており、何が何処まで整理されているのか、理解するまでに時間を要した。

図面の集成に続き、図面どうしの照合作業を行った。一見異なる土器の図面に見えるが、精査してみると同じ個体の図面と判定される例がしばしば確認された。異なる土器の図面に見える理由としては、①図面の作成者によって土器の理解・表現方法が異なる、②図面作成時の土器の復元に違いがある（古い図面作成後に再度接合が試みられ、新しく破片が接合した後、図面が作成され直された、あるいは古い図面作成後に復元していた土器が壊れたが、元の通りに復元されずに別に新しく図面が作成された）、③図面作成時に土器の正面位置が異なる、といった理由が考えられる。発掘調査から57年以上の年月を経ており、その間、長期にわたり多くの学生が整理に関与した結果、実測図の表現方法の不統一や図面の重複・齟齬が生じており、図面どうしの照合にはかなりの時間を要した。同じ土器のものと思われる複数の図面が存在するが、判断に迷うものについては、最終的に栗原市一迫埋蔵文化財センター（山王ろまん館）に所蔵されている土器と照合したうえで判断を下したが、後述するようにわずか

ではあるが、現在は実物が確認できない資料もあった。

図面の照合の次に行ったのが、トレース図の有無と図面の表現方法の確認である。東北大学の関係者が作成した図面のなかにはトレースされていない原図もあった。また古いトレース図は須恵器の図面のように断面を黒く塗りつぶしている等、トレース図の表現に不統一が見られた。トレース図のない土器に関しては新たに原図をトレースするとともに、可能な限り図面の表現を統一させるため、一部の土器に関しては再トレースを行った。

続いて栗原市一迫埋蔵文化財センター（山王ろまん館）に所蔵されている土器と図面との照合を行った。Ⅵ層出土土器のうち2004年度に前田尚志氏が卒業研究で扱った資料については、前田氏の図版に従って収蔵されていたが、後述するように、それとは別の場所から図化されていない資料が多く見つかることとなった。Ⅶ層出土土器については、前述の通り、1994年に報告書の刊行を目指し村田章人氏によって図版組が行われており、土器は図版に従って収蔵されていた。

本報告書にはⅥ層出土土器612点、Ⅶ層出土土器237点の図面を掲載したが、そのうち所在が確認できなかったのは、Ⅵ層出土土器1点（図2-7）とⅦ層出土土器2点（図37-6、43-6）の計3点で、これまで報告してきたⅢ・Ⅳ・Ⅴ層に比べ非常に少ない。

本報告をまとめる上で問題となったのが、トレースされていない実測図と、これまで全く図化されないうまま放置されてきたⅥ層出土土器である。トレースされていない原図40点は今回新たにトレースした。図化されたことのない資料には完形品や大型の口縁部破片なども含まれており、なぜこれまで誰も図化しなかったのか、換言すればどのような基準で図化すべき資料を選択してきたのか、不明である。関根がはじめてその存在に気づいたのは、Ⅵ層とⅦ層出土土器の図ができあがり、遺物の照合・観察表の作成と写真図版用の撮影のため栗原市一迫埋蔵文化財センター（山王ろまん館）を訪れた2023年9月末のことであった。急遽それらを弘前大学に搬入し、10月から急ピッチで接合・同一個体の認定から整理作業を開始した。結果的に新たに実測図を作成した土器はⅥ層22点（Ⅵb層4点、Ⅵd層7点、Ⅵe層1点、Ⅵh層9点、Ⅵh2層1点）、Ⅶb層3点、拓本・断面実測した土器はⅥ層125点（Ⅵa層1点、Ⅵb層18点、Ⅵd層17点、Ⅵe層6点、Ⅵf層4点、Ⅵg層5点、Ⅵh層63点、Ⅵh2層6点、Ⅵh3層4点、Ⅵi層1点）となった。最終的に本報告書に掲載した50頁分の図、49頁分の写真図版が完成したのは2024年1月中旬であった。

## 引用・参考文献

- 一迫町教育委員会1976『史跡山王冑遺跡保存管理計画書』
- 一迫町教育委員会1995『史跡「山王冑遺跡」保存活用基本計画』
- 一迫町教育委員会1996『国史跡山王冑遺跡発掘調査報告書』Ⅰ
- 一迫町教育委員会1997『国史跡山王冑遺跡発掘調査報告書』Ⅱ
- 一迫町教育委員会1998『国史跡山王冑遺跡発掘調査報告書』Ⅲ
- 伊東信雄1966「縄文時代の布」『文化』30-1 pp.1-20 東北大学文学部
- 伊東信雄1970「宮城県一迫町山王遺跡」『日本考古学年報』18 pp.80-81
- 伊東信雄・須藤隆1985『山王冑遺跡調査図録』一迫町教育委員会
- 狩野義章1959「宮城県栗原郡一迫町山王遺跡の調査」『一迫町古代史』第三輯（ガリ版刷）
- 栗原市教育委員会2007『国史跡山王冑遺跡発掘調査報告書』Ⅳ
- 栗原市教育委員会2013『史跡山王冑遺跡保存整備事業報告書』
- 須藤隆1993「山王冑遺跡の学術的意義」『新・縄文創世記』一迫町 pp.2-5
- 須藤隆1996a「史跡山王冑遺跡の調査」『宮城の文化財』100 宮城県文化財保護協会 p.4
- 須藤隆1996b「亀ヶ岡文化の発展と地域性」『日本文化研究所研究報告』別巻33 pp.1-40 東北大学文学部日本

文化研究施設

- 須藤隆 2003 「東北日本における晩期縄文集落の研究」『東北大学文学研究科研究年報』52、pp.30-88
- 関根達人 2021 「西日本出土の大洞A1 土器の製作地と製作者—高知県居徳遺跡と沖縄県平安山原B 遺跡—」『特別展図録 近畿最初の弥生人』60-69頁、大阪府立弥生文化博物館
- 関根達人・柴正敏 2022 「居徳遺跡出土の大洞A1 式装飾壺の製作地と製作者」『高知県立歴史民俗資料館研究紀要』26号、1-12頁
- 関根達人・柴正敏・佐藤由羽人 2023 「居徳遺跡出土の北陸系・中部高地系土器」『高知県立歴史民俗資料館研究紀要』27号、1-17頁
- 東京帝国大学編 1928 『日本石器時代遺物発見地名表』岡書院
- 戸沢充則 1967 「官城県栗原郡山王遺跡」『日本考古学年報』15 pp.90-91
- 弘前大学人文学部亀ヶ岡文化研究センター 2006 『ミニ特別展「亀ヶ岡文化の世界」図録』
- 弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター 2020 『国史跡山王囲遺跡の研究Ⅰ 漆器編』
- 弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター 2021 『国史跡山王囲遺跡の研究Ⅱ 石器・石製品・土製品・骨角器編』
- 弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター 2022 『国史跡山王囲遺跡の研究Ⅲ 土器編1（西区Ⅲ層・Ⅳ上層出土土器編）』
- 弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター 2023 『国史跡山王囲遺跡の研究Ⅳ 土器編2（西区Ⅳ下層・Ⅴ層出土土器編）』
- 弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター・栗原市教育委員会 2017 『ニュースレター史跡山王囲遺跡の漆工芸研究』1（研究始動）
- 弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター・栗原市教育委員会 2018 『ニュースレター史跡山王囲遺跡の漆工芸研究』2（保存活用に向けて）
- 明治大学博物館 1991 『縄文晩期の世界』明治大学考古学博物館蔵品図録2

## 第2章 土器の観察項目

### 土器の観察項目の選定と類型化の方針

本報告書に掲載した西区Ⅵ層ならびにⅦ層出土土器に関しては、東北大学の学生の卒業論文や修士論文、刊行が予定されていた『山王冢遺跡第Ⅶ層調査報告書 土器編』において、実測図や拓本とともに観察表が作成されたが、観察項目や分類基準はまちまちで統一が図られていなかった。本報告書では、前に『国史跡山王冢遺跡の研究Ⅲ』で報告したⅢ層出土土器・Ⅳ上層出土土器、『同Ⅳ』で報告したⅣ下層、Ⅴ層出土土器と、今回報告するⅥ層、Ⅶ層出土土器を比較できるよう、共通の観察項目を設定し、分類に関しても大枠は共通の基準を設けることとした。

### 器形の類型基準

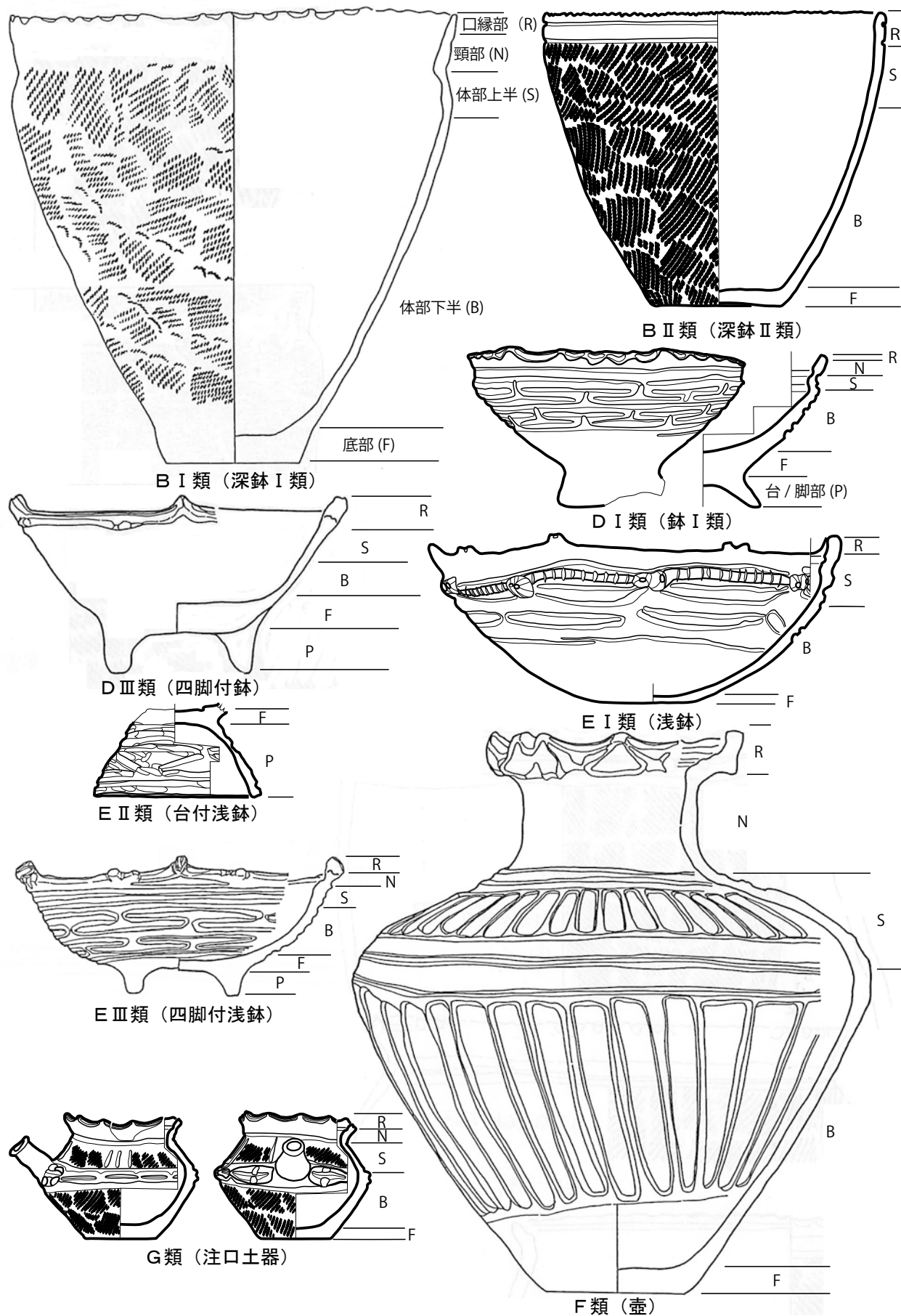
器形の大別類型は、『国史跡山王冢遺跡の研究Ⅲ』・『同Ⅳ』を踏襲した上で、西区Ⅵ層・Ⅶ層出土土器を相互に比較できるような基準を検討した（挿図1・2）。形態の基本枠として、A類：甕、B類：深鉢、C類：蓋形土器、D類：鉢・台付鉢、E類：浅鉢・高坏（台付浅鉢）、F類：壺、G類：注口土器、M類：ミニチュア土器に大別した。なお、弥生土器を報告した『国史跡山王冢遺跡の研究Ⅲ』ではA類を甕に当てていたが、今回報告する縄文土器ではA類、すなわち甕としたものはない。反対に、G類とした注口土器は、『国史跡山王冢遺跡の研究Ⅲ』で報告したⅢ層・Ⅳ上層出土の弥生土器には見られない器種である。

深鉢、鉢・浅鉢の区別については、器高／口径の比率によって、0.8以上のものを深鉢、0.8未満0.4以上を鉢、0.4未満のものを浅鉢とした。深鉢については口頸部と体部が分かれるものをBⅠ類とし、分けないものをBⅡ類とした。同様に、鉢・台付鉢についても、口頸部と体部が分かれるものをDⅠ類とし、分けないものをDⅡ類とした。浅鉢と台付浅鉢については、脚部の有無により浅鉢（EⅠ類）と台付浅鉢（EⅡ類）を区別した。

その上で、細別類型については、Ⅵ層出土土器とⅦ層出土土器でそれぞれ設定し、観察表に記載した。

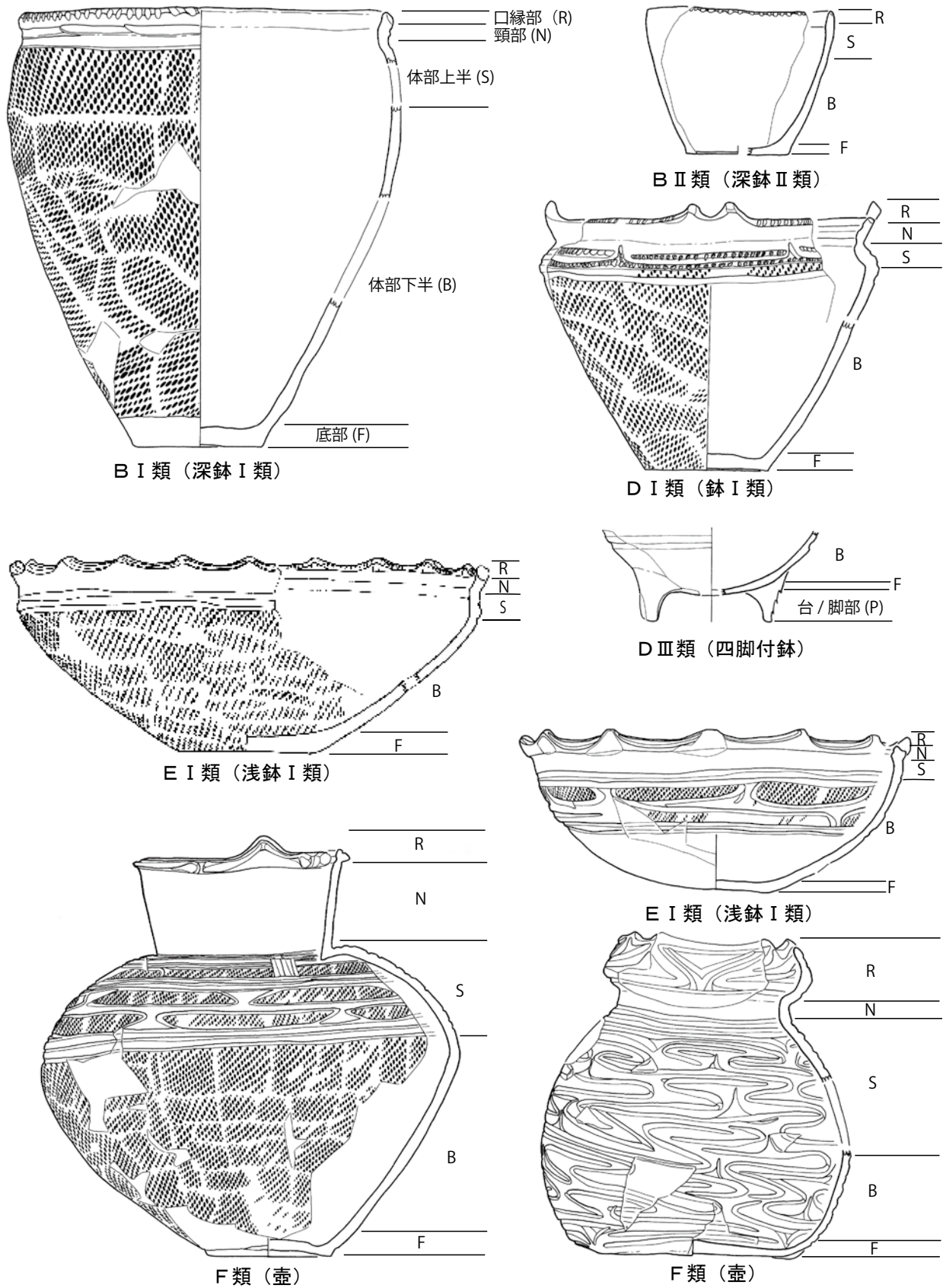
### 部位の設定

土器の部位を口縁部（R）・頸部（N）・体部上半（S）・体部下半（B）・底部（F）・脚（台）部／つまみ部（P）に分け、観察表の残存部位の欄に記入した。例えば口縁部から体部上半まで残っているのであれば、RNSとなる。なお、口頸部と体部の境界がない土器については、最大径の位置や文様帯を参考に口縁部と体部を分けた。体部の上半と下半の区分に関しても、最大径の位置や文様帯を参考にして行った。体部下半と底部の境は、接合部位に求めた。



挿図1 山王冢遺跡西区VI層出土土器の器種類型と部位名称



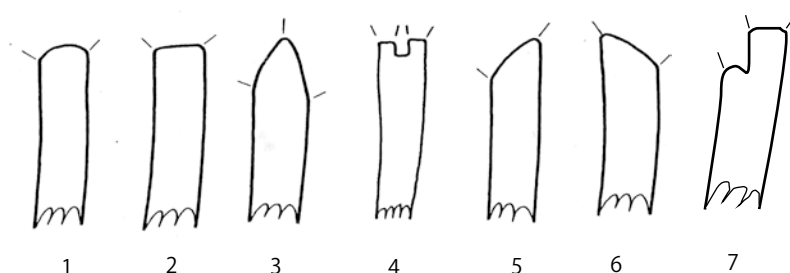


挿図2 山王岡遺跡西区Ⅶ層出土土器の器種類型と部位名称

### 口縁部の断面形

土器の口縁部の断面形については、次の7類型に分類した（挿図3）。なお、口縁部を欠損しているため、断面形が不明な資料については観察表の欄に0と記入した。

- 1 口縁端部まで器厚に著しい変化はなく、端面は磨きあるいはナデによってゆるやかな丸みをもつ。
- 2 口縁部はほぼ均等の厚みをもち、端面は平坦に仕上げられる。
- 3 口縁部端面が断面中央で尖る。
- 4 口縁部端面に沈線が施されるため、口唇部の断面が凹形となる。
- 5 口縁部内面が削ぎ落とされた断面形態。
- 6 口縁部外面が削ぎ落とされた断面形態。
- 7 口縁部内面に階段状のステップがつく。



挿図3 口縁部断面形態分類

### 口縁部の平面形

土器の口縁部の平面形については層位間で比較できるよう、共通の基準で次の3類型に大別した上で、細別類型については、それぞれ設定し、観察表に記載した。

- 1 平坦口縁
- 2 波状口縁
- 3 漣状口縁（刻み目や押圧により口縁部が漣状を呈するもの）
  - 3a 押圧により口縁部を漣状にするもの。
  - 3b 刻み目により口縁部を漣状にするもの。

これら1～3の口縁部に付く突起については次の3類型に大別し、観察表には上記の3分類と組み合わせで表記した（例：2 + II）。

- I 山形突起
- II 円形貼り付け大突起
- III 台形突起
- IV 塊状大突起
- V 2個一対の小突起

### 文様帯

口縁部内面装飾帯・口唇部装飾帯・口縁部文様帯・頸部文様帯・体部上半文様帯・体部下半文様帯・脚部（台部）文様帯に分け、それぞれの文様帯にみられる文様について観察表に記載した。

### 文様

文様は沈線によるモチーフと、縄文・刺突・刻み目・突帯・貼付・透かし孔といった地文・充填文・付加文に分け、それらを組み合わせて表記した。なお無文は0と表記した。



【沈線・隆沈線による文様モチーフ】

PL	横位沈線文（例えば 2 条の平行する横位沈線の場合 2PL と表記）
EL	弧状沈線（連弧）文（例えば 2 条の弧状沈線の場合 2EL と表記）
DL	斜状沈線文
LL	縦位沈線文
L	横位・弧状・斜位の区別不明の沈線文
HK	変形工字文
YB	矢羽根状文
YS	山形三叉文
K	工字文
H	匹字文
KL	結節沈線文
YK	羊角文
IS	入組三叉文
IK	入組曲線文
KD	交互斜行沈線文
UM	渦巻文
CC	重圏文（同心円文）
CK	長方形/隅丸長方形区画文
X	X 字状交差文
RW	連子窓文
CL	雲形文
PUL	列点文（刺突列）
PLPU	沈線内刺突
KZZ	刻目列

【地文・充填文・付加文】

J	縄文
ST	条線文
KZ	刻み目
PU	刺突
CB	突帯
PM	貼瘤
OC	透かし孔

縄文

縄文に関しては、原体の種類と条数/cm、節数/cmを観察表に記載した。

胎土

胎土に関しては混和物に着目し、肉眼でも容易に確認が可能な海綿骨針と金雲母が見られるものについて観察表に記載した。

付着物

付着物に関しては赤色顔料と炭化物について、付着部位と付着面を観察表に記載した。

## 第3章 西区VI層出土土器

### 第1節 層位と土器の出土状況

1965年に東北大学によって行われた山王囲遺跡の調査の概要については、『山王囲遺跡の研究Ⅰ 漆器編』の第1章第3節「1965年調査区の層序と検出遺構」を参照されたい。

VI層は灰白色ないし黄灰色の粘質土と、クルミなどを含む黒色有機質土、動物骨を含む茶褐色土の互層で、自然堤防から沼地に向かって次第に薄くなり、東壁では厚さ80～60cmだが西壁では約20cmである。VI層は上からVIa層、VIb層、VIc層、VId層、VIe層、VI f層、VIg層、VIhの8層に細分されているが、土器の注記にはVIh2、VIh3、VIiが存在することから、VIh層はVIh1・VIh2・VIh3に再細分され、その下にVIi層が存在していたようである。VIa層は厚さ約10cmの灰白色粘質土層で遺物をほとんど含まない。VIb層は褐色土層で比較的多くの土器片を含み漆塗りの腕輪も出土している。VIc層は黄白色の薄い粘土の無遺物層である。VId層は土器、漆器、動植物遺存体を多く含む黒色土層で、東壁で厚さ10～8cmである。この層からは有文の籃胎漆器3点や鹿角製腰飾りも出土している。VIe層は黄白色の粘土層で遺物をほとんど含まない。VI f層は有機質を多く含む黒色土層で、層中にクルミの集中が見られ、下部には動物骨も多いが、土器はそう多くはない。VIg層は遺物をほとんど含まない灰白色粘質土で、南側で厚く北に向かって薄くなる。東壁ではVI f層とVIg層合わせて厚さは約10cmである。VIh層は植物遺存体を多く含む黒色土層で、土器の出土量も多く、櫛などの漆器も出土している。VIh1層は上部の黒色クルミ層、VIh2層はその下の厚さ6cmほどの茶褐色果皮層をさす。

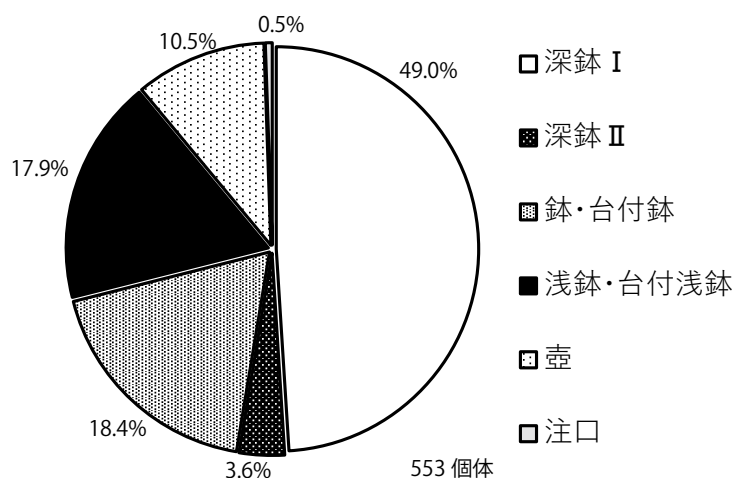
### 第2節 型式学的検討

#### (1) 器種類型

西区VI層出土土器は、深鉢（B類）、鉢・台付鉢・四脚付鉢（D類）、浅鉢・台付浅鉢・四脚付浅鉢（E類）、壺（F類）、注口土器（G類）からなる。第2章で述べたように、深鉢については口頸部と体部が分かれるものをBⅠ類とし、分かれなものをBⅡ類とした。同様に鉢・台付鉢についても、口頸部と体部が分かれるものをDⅠ類、分かれなものをDⅡ類とした。また、浅鉢については台がないものをEⅠ類、台が付く台付浅鉢をEⅡ類、四隅に脚が付く四脚付浅鉢をEⅢ類とした。以上の点は本書で報告するVI層とVII層で共通しており、同じ基準で器種構成比率を比較できるようにした。

器種組成比率について、同一個体の認定を行った上で、口縁部の残る553個体分の資料をもとに算定した（挿図4）。括れを有する深鉢BⅠ類が全体の約半数弱を占める。次に多いのが鉢と浅鉢で、それぞれ全体の約2割弱を占める。壺は全体の約1割で、括れのない深鉢BⅡ類と注口土器は5%未満である。

次にそれぞれの器種に関して、細別分類（挿図5）を行った。



挿図4 山王囲遺跡西区VI層出土土器の器種組成比率

## （2）口縁部平面形

第2章で述べたように、口縁部については、平面形を平坦口縁（Ⅰ類）・波状口縁（Ⅱ類）・漣状口縁（3a：押圧により口縁部を漣状にするもの、3b：刻み目により口縁部を漣状にするもの）に、突起を山形（Ⅰ類）・円形貼り付け（Ⅱ類）・台形（Ⅲ類）・塊状大型（Ⅳ類）・2個一対の小突起（Ⅴ類）に大別し、それらを組み合わせて分類した。その際、Ⅳ下層出土土器の山形突起（Ⅰ類）は、『国史跡山王圀遺跡の研究Ⅲ』『同Ⅳ』で報告したⅣ層・Ⅴ層出土土器を踏襲した上で、それらには見られないⅠfを加え、次の6類型に細別した。

Ⅰa 山形突起の頂部に刻み目のないもの。

Ⅰb 山形突起の頂部に刻み目があるもの。

Ⅰc 山形突起の頂部が内側と外側とに割れているもの。

Ⅰd 山形突起の頂部の左右端に粘土塊を添付し、頂部を凹ませたもの。

Ⅰe 山形突起が2個一対で並ぶもの。

Ⅰf 山形突起が大小3個一組で連続して並ぶもの。

## （3）主要文様

西区Ⅵ層出土土器を特徴づけている文様に関しては、『国史跡山王圀遺跡の研究Ⅳ』で報告したⅤ層出土土器の文様分類を踏襲した上で、Ⅴ層出土土器には見られない文様について、新たに分類名称を追加する形で設定した（挿図6・7）以下、Ⅵ層出土土器に見られる主要な文様について述べる。

### 工字文（K）

K1 いわゆる流水工字文。

K1① 流水工字文のうち、上下同じ位置で反転するもの。反転部の間に3～5条の縦位短沈線や縦に刺突列を加えたK1①aとそうした付加文がないK1①bに細分した。

K1② 流水工字文のうち、反転部の間に上下から入り組む三叉状の彫去をもつもの。

K1③ 流水工字文のうち、反転部が上下で互い違いとなるもの。

K2 反転する二組の沈線で描かれた工字文。反転部を刺突するもの。

K3 3条ないし4条の平行沈線に彫り込みを加えることで工字文としたもの。

K4・K5 Ⅴ層出土土器で設定したが、Ⅵ層出土土器には見られない。

K6 向かい合う山形三叉文を交互に配置し、工字文風の文様が描かれたもので、Ⅴ群土器には見られないため新たに設定した。

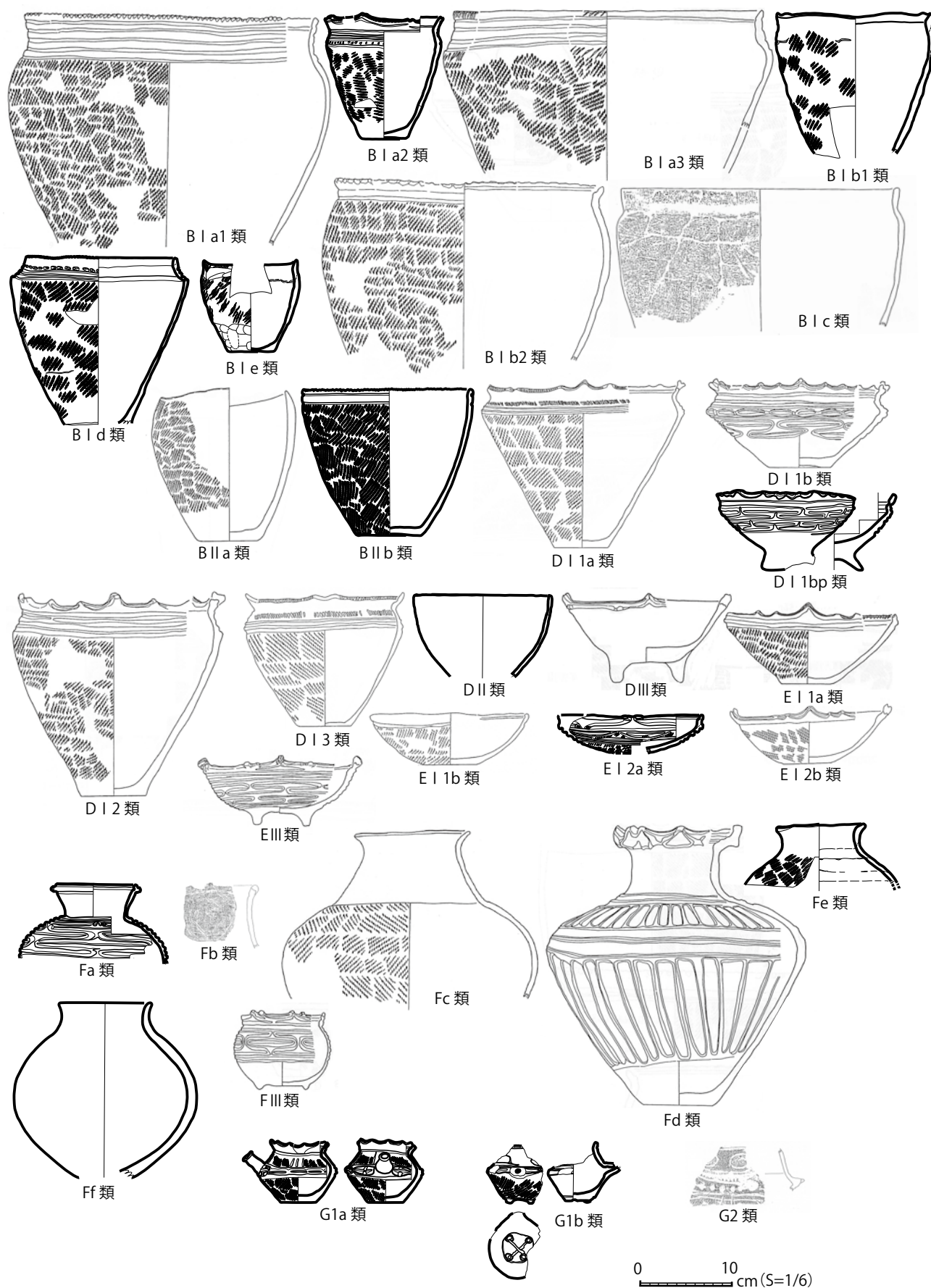
K7 K6の山形三叉文の間にC字状の弧線を付加したもので、Ⅴ群土器には見られないため新たに設定した。

K8 K6と同じモチーフだがネガとポジが逆転した横位連繋工字文で、Ⅴ群土器には見られないため新たに設定した。

### 匹字文（H）

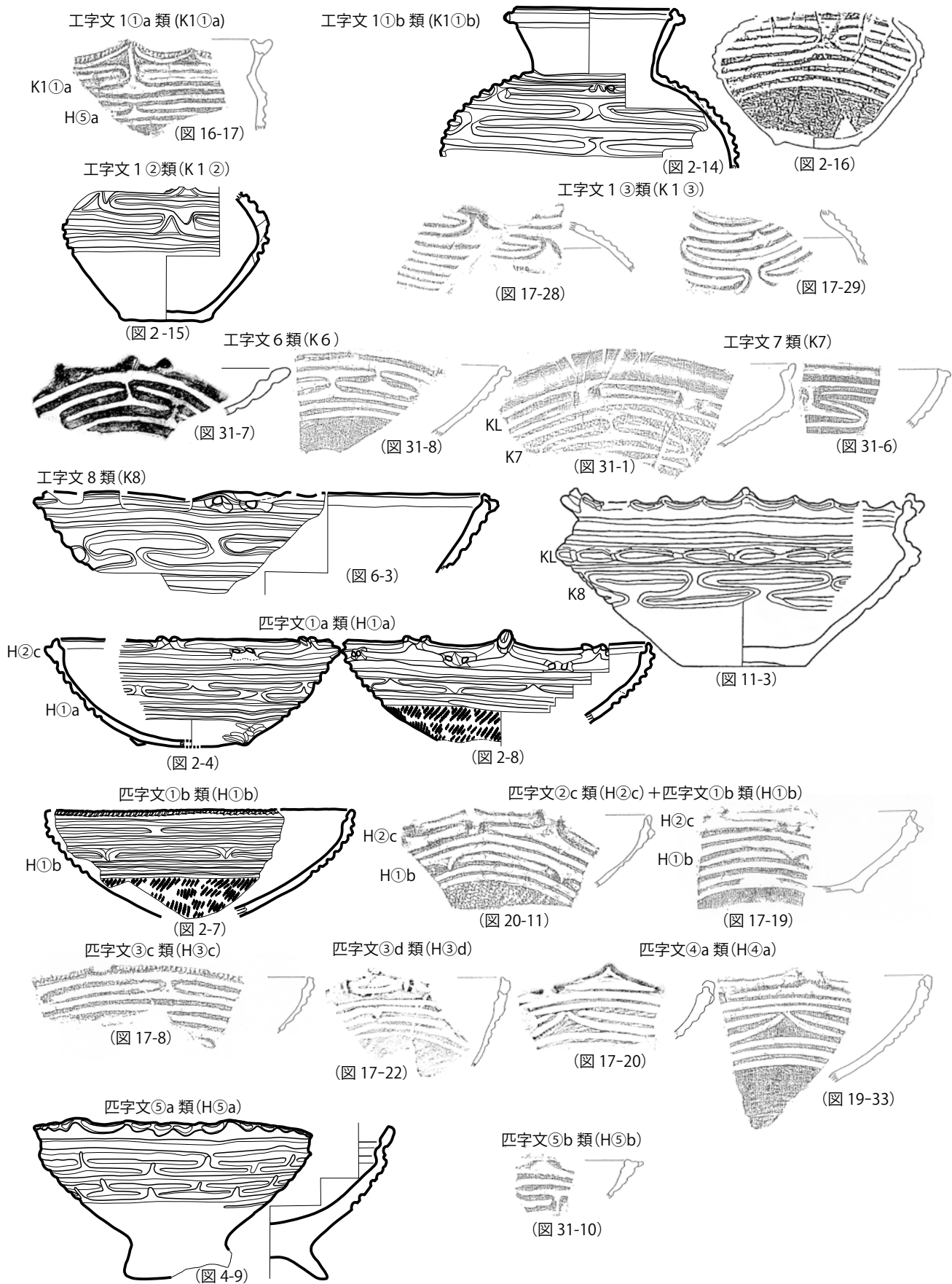
H① 2条の平行沈線のうち、上の線からは下に向かって、下の線からは上に向かって交互に短い縦の彫り込みを加え、沈線が途切れて山形三叉状の彫り込みが互い違いに連続するものをH①a、上の線からのみ下に向かって短い縦の彫り込みが加えられ、下向きの山形三叉状の彫り込みと横位沈線が交互に並ぶH①bとした。H①aの上の沈線が途切れ、線の両端が内側に巻き込み羊角状となるH①cはⅤ層出土土器で設定したが、Ⅵ層出土土器には見られない。

H② 3条以上の平行沈線を引き、間の沈線に2箇所粘土粒を添付し、山形三叉上の掘り込みを加え

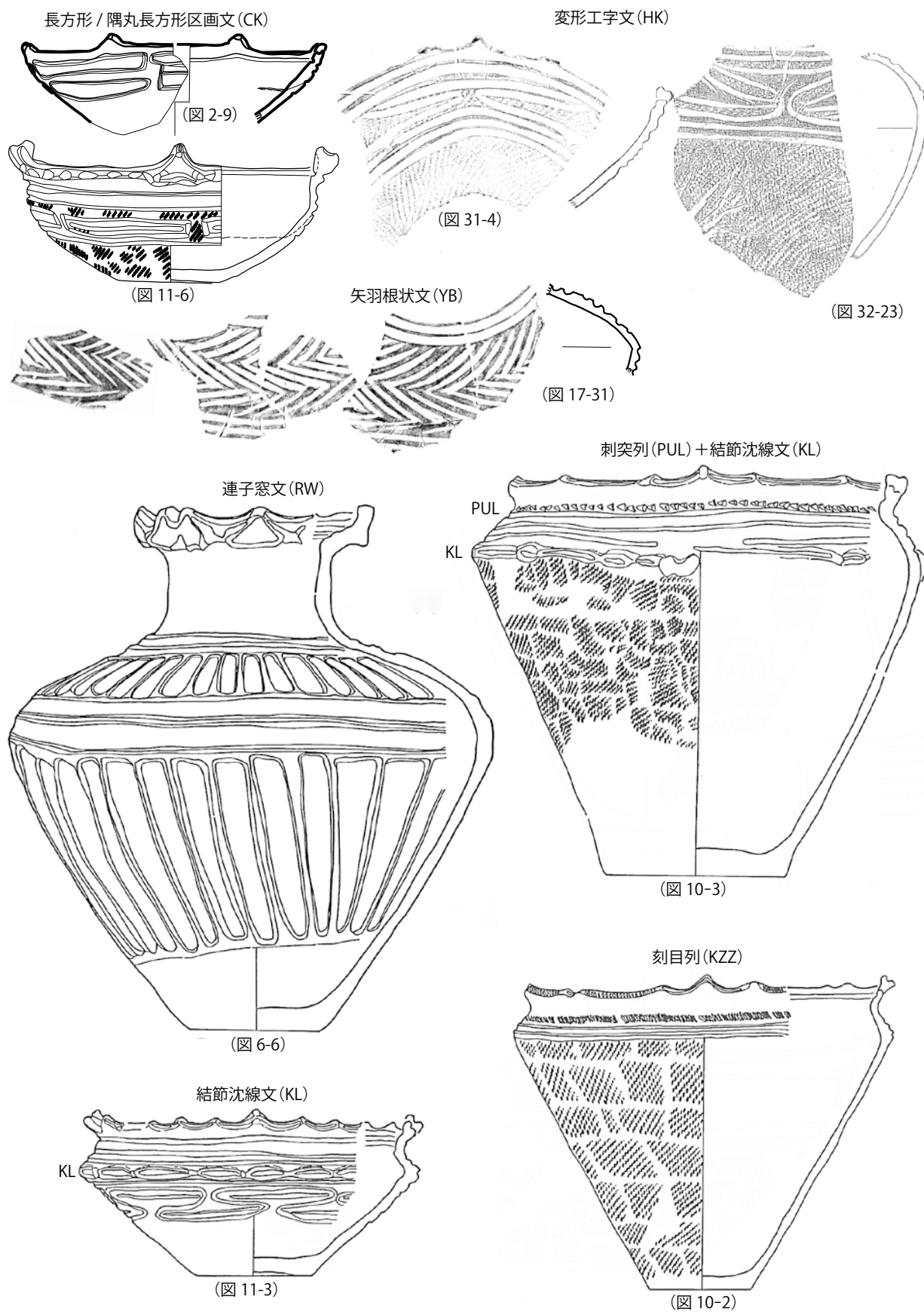


挿図5 山王圀遺跡西区VI層出土土器の細別器種分類





挿図 6 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器の主要文様モチーフ (1)



挿図7 山王冢遺跡西区VI層出土土器の主要文様モチーフ(2)

たもので、彫り込みが上下互い違いとなるH②cが見られた。

H③ 平行沈線間の凸部を上下いずれかに押しくぼめることで $\pi$ 字を形成するもので、結節部が突き抜け上下の沈線がつながるH③cと、下の凸部が交互に配置されるH③dがある。

H④ H③の凹凸が逆転したもので、上向きのH④aと下向きのH④bがあるが、Ⅵ層出土土器で確認されたのはH④aのみである。

H⑤ H④の横位沈線から結節部に向かって短い縦線が加えられるもので、縦線が下から上に向かうH⑤aと上から下に向かうH⑤bがある。

変形工字文（HK）

く字状の弧線を背中合わせに配置することにより変形工字文風の文様としたもの。

連子窓文（RW）

隆沈線で縦長の隅丸長方形の文様を横に並べ、連子窓風の文様としたもの。

矢羽根文（YB）

矢根状に結束する上下1組の斜線が横方向に展開する。

X字状文（X）

隆沈線または沈線をX字状に交差させた文様。

結節沈線文（KL）

刺突列（PUL）

刻目列（KZZ）

#### （4）各器種の様相

##### 【深鉢】

括れを有するBⅠ類と括れないBⅡ類に大別した上で、以下のような基準を設け細分した。

BⅠa類：外傾する頸部を有するもの。頸部の長さや屈曲の角度によって以下の3種類に細分した。

BⅠa1類：頸部が長いもの。

BⅠa2類：頸部がやや長いもので、深鉢の主体を占める。

BⅠa3類：頸部が短く、屈曲部が肥厚する。

BⅠb類：口唇部端面がと外側に短く、かつ強く屈曲するもので、体部のプロポーションによって以下の2種類に細分した。

BⅠb1類：口径が最大径以上のもの。

BⅠb2類：最大径が体部上半にあるもの。

BⅠc類：短い口頸部が直立するもの

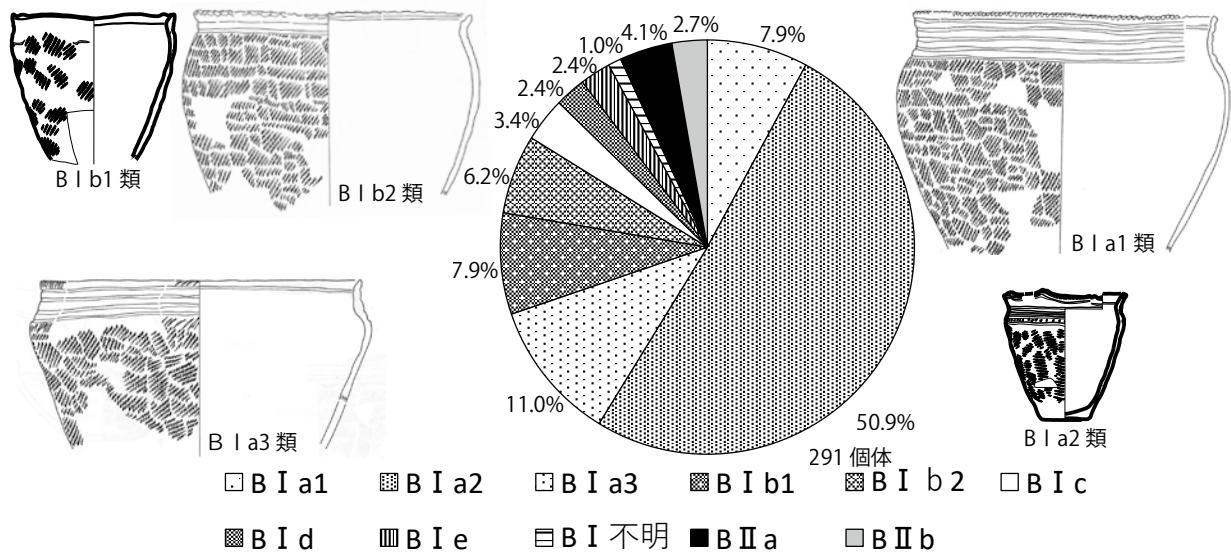
BⅠd類：肩に明確な屈曲をもち、体部上半から口頸部が内反気味となるもの。

BⅠe類：括れが弱く短い口頸部が直立ないしわずかに外傾するもの。

BⅡ類：体部に括れないBⅡ類に関しては、縄文など地文以外の文様を持たないBⅡa類と、沈線文など地文以外の文様をもつBⅡb類とに分けた。

BⅠa2類が深鉢全体の約半数を占める。二番目に多いのがBⅠa3類で、それにBⅠa1類とBⅠb1類が次ぐ。深鉢の約7割をBⅠa類が占めていることになる。括れを持たないBⅡ類はBⅡa類とBⅡb類の両方を合わせても1割に満たない（挿図8）。

BⅠ類の平均的な器厚は口縁部で約5.8mm、口縁は押圧により漣状にするもの（3a）が約4割、刻み目により漣状にするもの（3b）が約3割を占め、他にや山形突起を有するものや2個一対の小突起



挿図8 山王岡遺跡西区VI層出土深鉢類の比率

をもつものも僅かに見られる。またB I 類の約64%は口縁部内面に1条の横位沈線が巡り、山形突起を持つもののなかには、内面の沈線が突起部で山形三叉状になるものも見られる。数は少ないが、頸部に刺突列や流水状工字文(K1)と刺突列(PUL)を組み合わせたもの、体部上半に刻目列(KZZ)、刺突列(PUL)、匹字文(H5a)、工字文(K1 ①b)を施すものもある。

B II 類の平均的な器厚は口縁部で約5.9mmである。B II 類は、地文の縄文のみ施すものや無文のもの(B II a)が6割、横位沈線などの文様が見られるもの(B II b)が4割である。口縁部は、B II a類が平縁(1)主体であるのに対して、B II b類では刻み目により口縁部を漣状にするもの(3b)が最も多い。B II a類に使われている縄文原体は大部分が単節LRだが無節Lも見られる。

#### 【鉢】(D類)

口頸部と体部が分かれるD I 類と口縁部と体部との間に屈曲や括れのないD II 類に大別した。また四脚付鉢は別途D III 類として扱った。D I 類については、以下のような基準を設け細分した。

D I 1 類：内外面とも頸部と体部上半、体部上半と体部下半との境に明瞭な屈曲をもつ。D I 1 類のうち、深さのあるものをD I 1a類、浅いものをD I 1b類とし、D I 1b類のなかで台がつくものをD I 1bpとした。

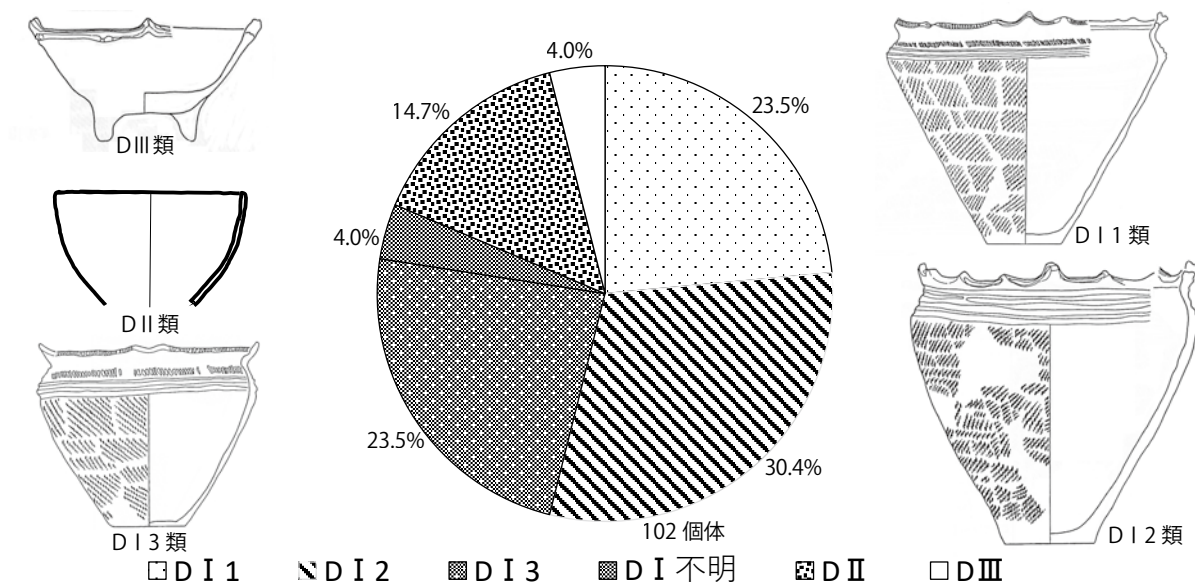
D I 2 類：外面は頸部と体部上半、体部上半と体部下半との境に明瞭な屈曲をもつが、肩部内側が肥厚し、内面の屈曲が不明瞭なもの。

D I 3 類：外面の体部上半と下半との境が屈曲せず丸みを帯びる。

鉢は括れのあるD I 類が約4分の3と主体を占め、括れを持たないD II 類は約4分の1に過ぎない(挿図9)。D I 類は、D I 1 類・D I 2 類・D I 3 類がほぼ同数を占める。

鉢の平均的な器厚は口縁部で約5.3mmである。D I 類では刻み目により口縁部を漣状にするもの(3b)が最も多く、次に漣状口縁に2個一対小突起(V)を組み合わせたものが多いが、D II 類では平坦口縁(1)に円形貼り付け大突起(II)や2個一対の小突起(V)を配置したものが目立つ。鉢の9割弱は口縁部内面に1条ないし2条の横位沈線が巡り、山形突起を持つもののなかには、内面の沈線が突起部で山形三叉状になるものも見られる。また鉢の約2割は口唇部にも沈線が施されている。D I 類では頸部には工字文(K1 ①a、K1 ①b)がごく稀に見られるに過ぎないが、体部上半には、刻目列





挿図9 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土鉢類の比率

(KZZ) を中心に、刺突列 (PUL)、沈線内刺突 (PLPU)、結節沈線 (KL)、匹字文 (H3c、H5a) などの文様が見られる。D II 類は口縁部文様帯に山形三叉文 (YS) や匹字文 (H②c) が見られる程度で装飾性に乏しい。四脚をもつ D III 類には匹字文 (H①a、H②c) や横位連繫工字文 (K8) が見られる。

#### 【浅鉢】(E 類)

浅鉢は台の付かない E I 類、台付浅鉢 (E II 類)、四隅に脚が付く四脚付浅鉢 (E III 類) に大別したが、台付浅鉢 (E II 類) は確認できない。E I 類は、体部から口縁部にかけて屈曲がない 1 類と、屈曲を境に口頸部と体部とに分かれる 2 類に分け、1 類に関しては直線的に開く 1a 類と丸みを帯びる 1b 類に、2 類に関しては口頸部が立ち上がる 2a 類と口頸部が外側に開く 2b 類に細分した。

浅鉢は E I 1b 類が全体の半数弱を占め、最も多い (挿図 10)。それに次いで多いのが E I 1a 類と E I 2b 類で、それぞれ浅鉢全体の約 4 分の 1 占めている。平均的な器厚は口縁部で 5.1mm である。

浅鉢の口縁部は装飾性に富んでおり、平縁 (1) に 2 個一対の小突起 (V) を配置したものを中心に、各種山形突起 (I a、I b、I c、I e) や円形貼り付け大突起 (II)、それらと 2 個一対の小突起 (V) を組み合わせたものが見られる。浅鉢の 9 割強は口縁部内面に 1 条ないし 2 条の横位沈線が巡り、山形突起を持つもののなかには、内面の沈線が突起部で山形三叉状になるものも見られる。浅鉢の 3 割強は口唇部にも沈線が施されている。浅鉢のなかでも E1b 類では、口縁部文様帯に匹字文 (H②c)、胴部上半に匹字文 (H①a、H①b、H③c、H④a、H⑤a) や横位連繫工字文 (K8) を配置したものが目立ち、定型化している。E1b 類と同様、四隅に脚が付く四脚付浅鉢 (E III 類) も口縁部文様帯に匹字文 (H②c)、胴部上半に匹字文 (H①a、H①b) や横位連繫工字文 (K8) を配置したものがあ

#### 【壺】(F 類)

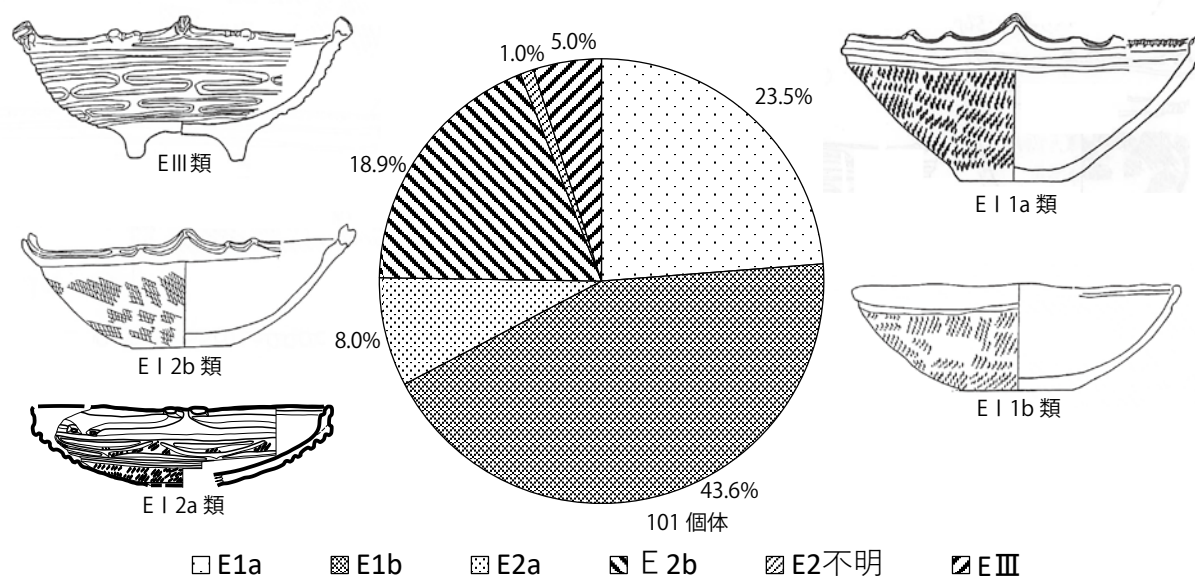
以下の通り細分した。四隅に脚を持つものは F III 類として別途扱った。

Fa 類：口頸部が直線的に外傾し、体部は球形を呈する。

Fb 類：頸部が内傾し、口縁が外反するもの。

Fc 類：頸部が内傾し、口縁部と頸部、頸部と体部との間に明瞭な屈曲があるもの。

Fd 類：頸部が直立し、受け口状の口縁部が肥厚するもの。

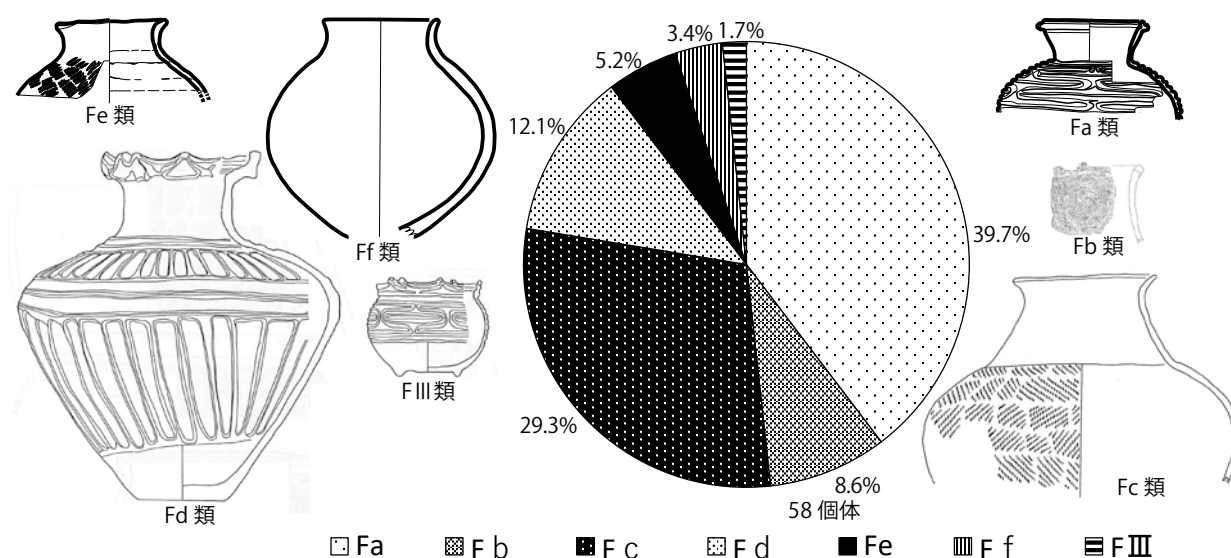


挿図10 山王圀遺跡西区VI層出土浅鉢類の比率

Fe類：短い口頸部が外反するもの。

Ff類：短い口頸部が直立するもの。

壺はFa類が約4割と最も多く、約3割を占めるFc類が次ぎに多い（挿図11）。平均的な器厚は口縁部で5.3mmである。壺の口縁は、平縁（I）が最も多く半数を占めるが、平縁に各種山形突起（I a、I b、I c、I e・I f）や2個一対の小突起（V）、あるいは各種山形突起と2個一対の小突起あるいは円形貼り付け大突起（II）を組み合わせたものも見られる。壺の約9割は口縁部内面に横位沈線などの文様が巡るが、突起や波状口縁に沿って内面に山形三叉文を施すものも目立つ。また壺の約4割は口唇部にも沈線が施されている。壺の口縁部には突帯に2個一対の小突起を配したもののや山形三叉文（YS）、匹字文（H①a、H①c）を施文したものがみられる。山形突起下に山形三叉文や匹字文を施



挿図11 山王圀遺跡西区VI層出土壺類の比率

したものは、口縁部が肥厚し、受け口状に発達する。体部上半には工字文（K1 ①b、K1 ②、K1 ③）、横位連繫工字文（K8）、匹字文（H⑤a）、連子窓文（RW）、変形工字文（HK）、体部下半には工字文（K1 ③、K7）、横位連繫工字文（K8）、連子窓文（RW）が見られる。

【注口土器】（G類）

注口土器は、口縁部と頸部が分かれるG1類と口頸部が一体で内傾するG2類がある。G1類については平底のG1a類と四隅に脚が付くG1b類がある。

## 第4章 西区Ⅶ層出土土器

### 第1節 層位と土器の出土状況

Ⅶ層は東壁で厚さ 20 ～ 35cm、西壁で 10 ～ 20cm である。上層のⅦa層は自然木の根や動植物遺存体を含む黄灰褐色の粘質土層で、遺存度の高い土器が多く、石錘・石斧・石鏃も出土している。下層のⅦb層は灰褐色粘質土層で完形土器・石錘・藍胎漆器などの遺物が出土したが、Ⅶa層に比べて量は著しく少ない。Ⅶ層直下は黒灰色の粘質土層で、それより下層は無遺物層である。

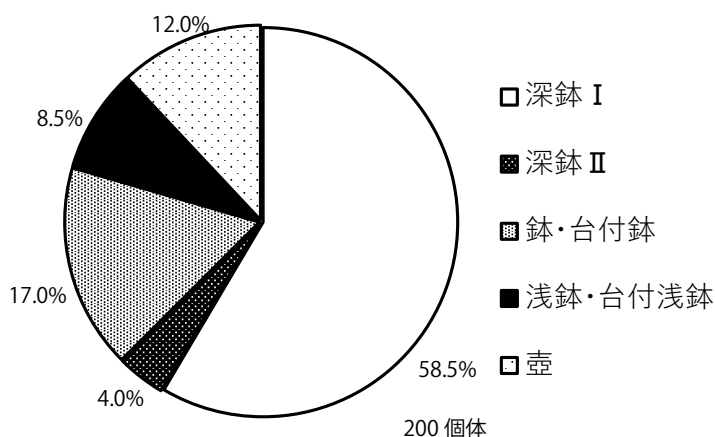
### 第2節 型式学的検討

#### (1) 器種類型

西区Ⅶ層出土土器は、深鉢 (B類)、蓋形土器 (C類)、鉢・台付・四脚付鉢 (D類)、浅鉢 (E類)、壺 (F類) からなる。本来、注口土器や香炉形土器が伴うと考えられるが、出土していない。第2章で述べたように、深鉢については口頸部と体部が分かれるものをBⅠ類、分かれなものをBⅡ類とした。鉢・台付鉢についても、同様の基準でDⅠ類とDⅡ類に分けた上で、別途、四脚付鉢についてはDⅢ類とした。また、浅鉢については台がないものをEⅠ類、台が付く台付浅鉢をEⅡ類としたが、Ⅶ層ではEⅡ類は確認されていない。以上のように、Ⅳ下層出土土器やⅤ下層出土土器と同じ基準で器種構成比率を比較できるようにした。

器種構成比率について、同一個体の認定を行った上で、口縁部の残る 200 個体分の資料をもとに算定した (挿図 12)。括れを有する深鉢Ⅰ類が全体の約 6 割弱を占める。次に多いのが、約 6 分の 1 を占める鉢・台付鉢で、壺は約 8 分の 1 である。括れのない深鉢Ⅱ類と浅鉢はどちらも 1 割に満たない。

次にそれぞれの器種に関して、細別分類 (挿図 13) を行った。



挿図 12 山王圀遺跡西区Ⅶ層出土土器の器種構成比率

#### (2) 主要文様

西区Ⅶ層出土土器を特徴づけている文様に関しては、前述のⅥ層出土土器の文様分類を踏襲した上で、Ⅵ層出土土器には見られない文様について、新たに分類名称を追加する形で設定した (挿図 14・15) 以下、Ⅶ層出土土器に見られる主要な文様について述べる。

##### 工字文 (K)

工字文は横位連繋工字文 K8 に限定される。

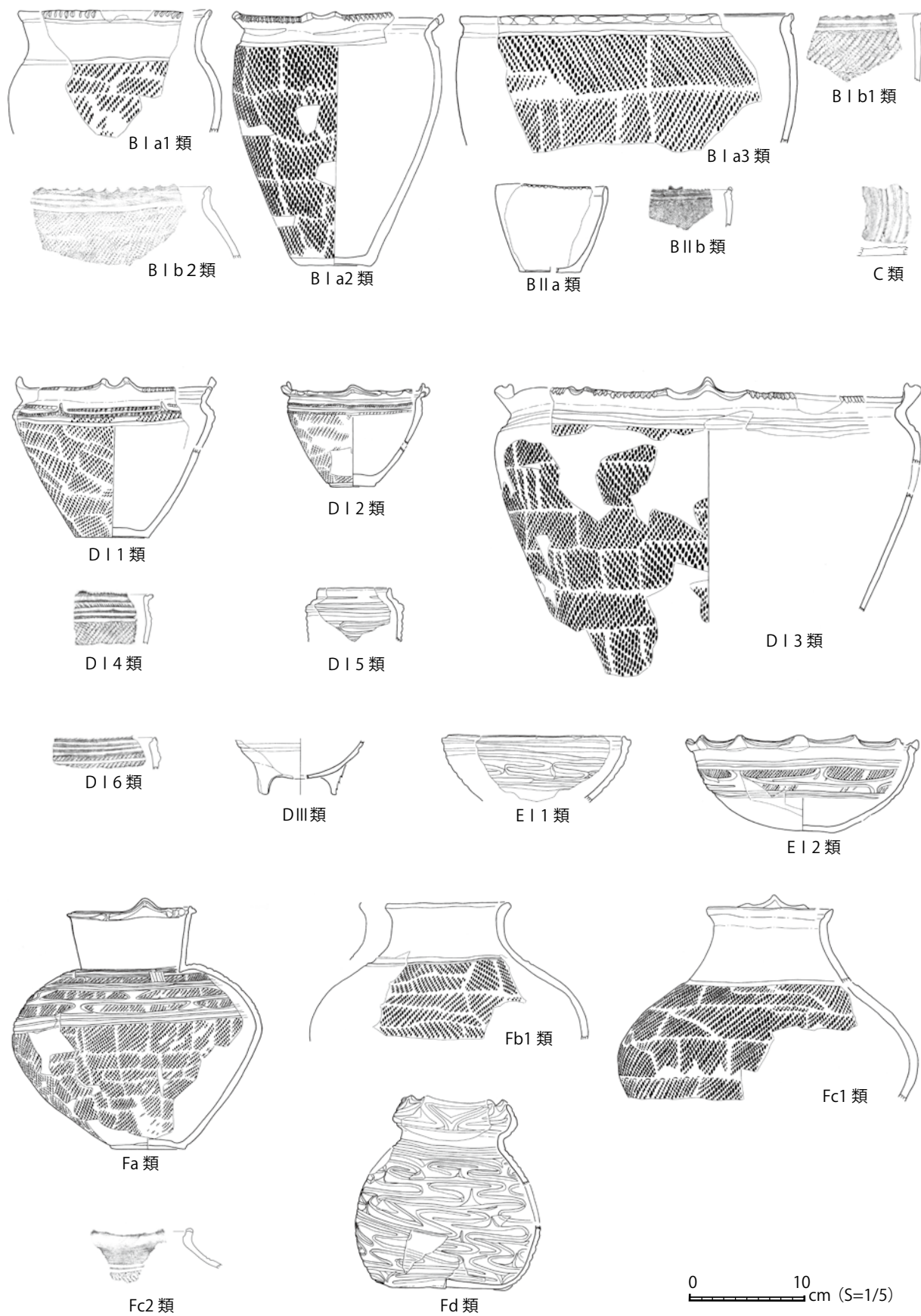
##### 匹字文 (H)

匹字文は H⑤a に限定され、沈線内を刺突列で埋めるもの (H⑤a + PLPU) もみられる。

##### 入組曲線文 (IK)

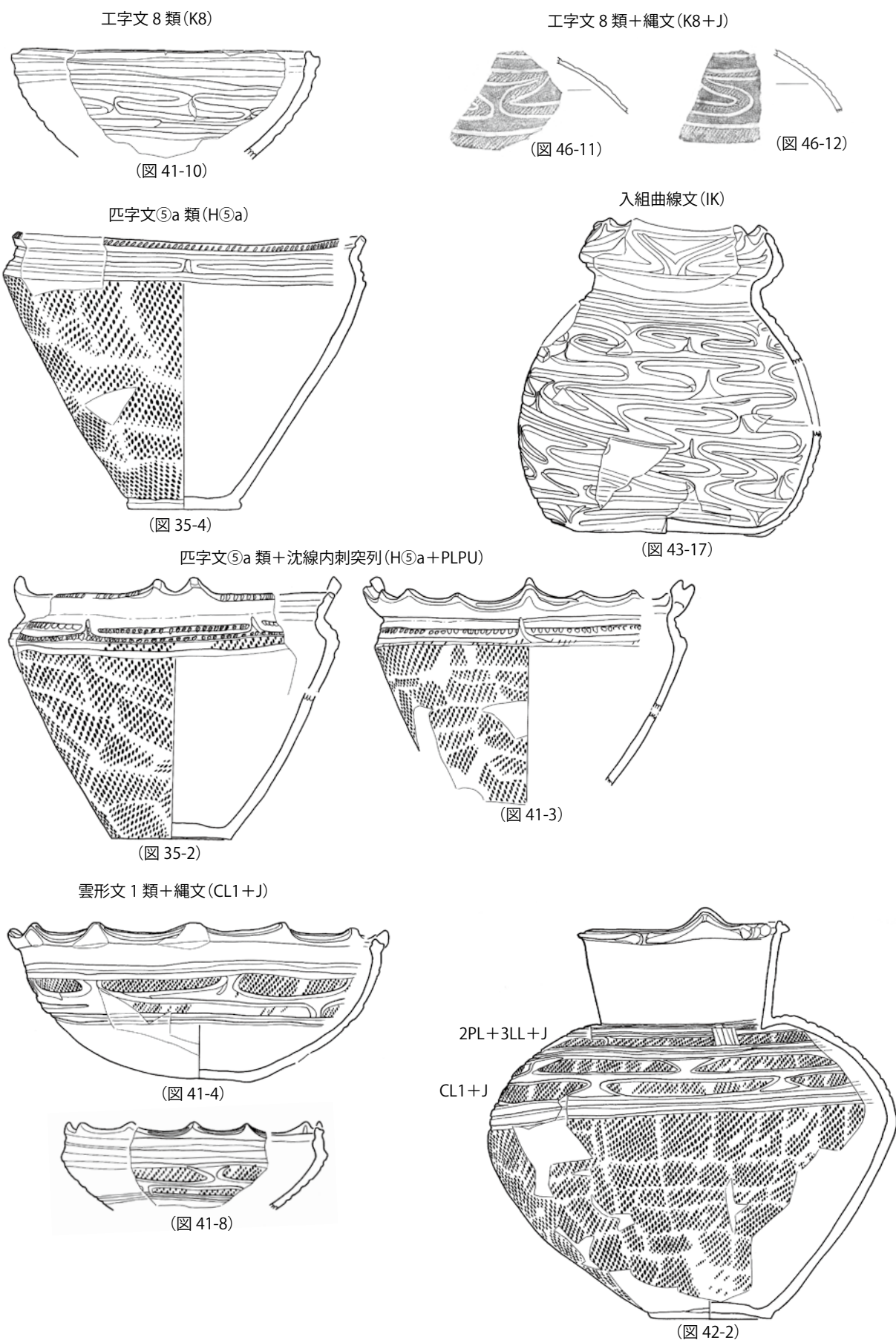
##### 雲形文 (CL)

CL1 上下いずれかあるいは両方の文様帯区画沈線に接する形で上向き、あるいは下向きの C 字文を配

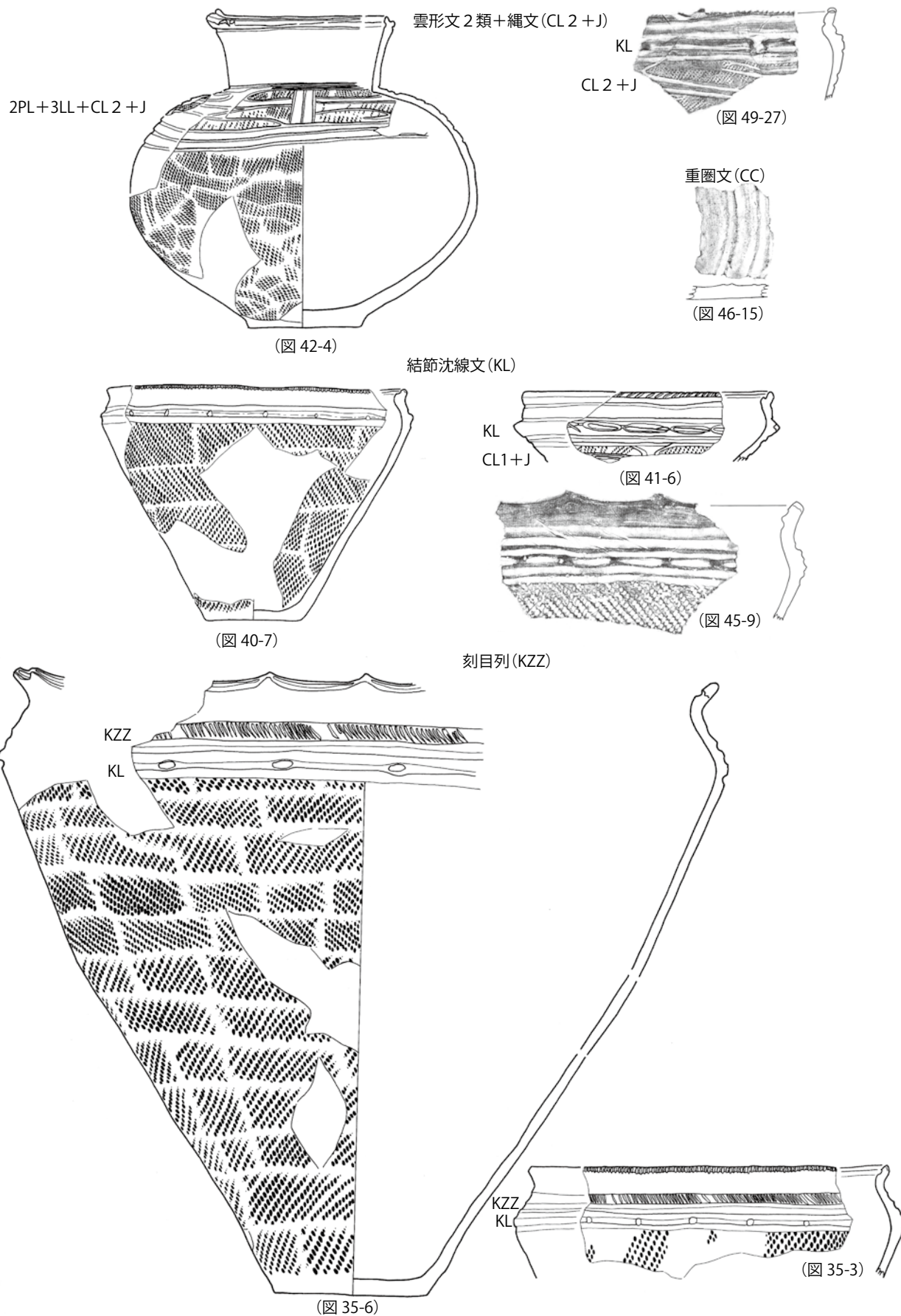


挿図 13 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器の細別器種分類





挿図 14 山王圀遺跡西区Ⅶ層出土土器の主要文様モチーフ (1)



挿図 15 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器の主要文様モチーフ (2)

置ることによりいわゆる雲形文を構成する。雲形文内部には縄文を施文することが多い。

CL2 上下の文様帯区画沈線に接する形で横長のS字文を配置することによりいわゆる雲形文を構成する。雲形文内部には縄文を施文することが多い。

横位平行沈線文 (PL) + 縦位短沈線 (LL) + 縄文 (J)

4条前後の横位平行沈線を3条の縦位短沈線で区切る。横位平行沈線文間には縄文を施文することが多い。

結節沈線文 (KL)

刺突列 (PUL)

沈線内刺突 (PLPU)

刻目列 (KZZ)

### (3) 各器種の様相

#### 【深鉢】

括れを有するBⅠ類と括れないBⅡ類に大別した上で、以下のような基準を設け細分した。

BⅠa類：外傾する頸部を有するもの。頸部の長さで屈曲の角度によって以下の3種類に細分した。

BⅠa1類：頸部が長いもの。

BⅠa2類：頸部がやや長いもので、深鉢の主体を占める。

BⅠa3類：頸部が短く、屈曲部が肥厚する。

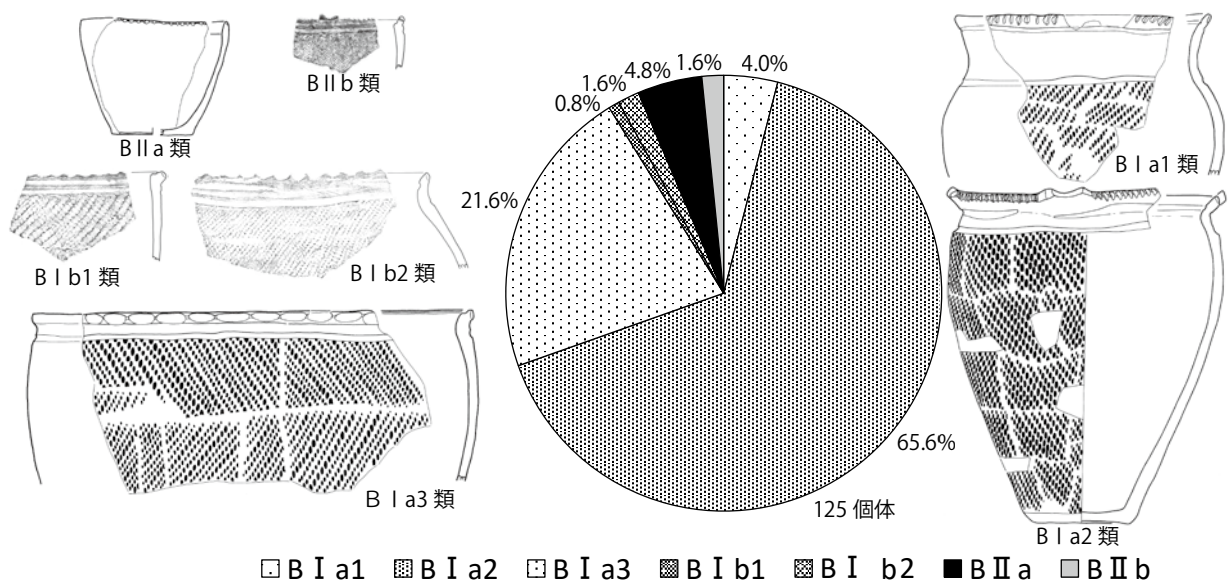
BⅠb類：口唇部端面がと外側に短く、かつ強く屈曲するもので、体部のプロポーシオンによって以下の2種類に細分した。

BⅠb1類：口径が最大径以上のもの。

BⅠb2類：最大径が体部上半にあるもの。

BⅡ類：体部に括れないBⅡ類に関しては、縄文など地文以外の文様を持たないBⅡa類と、沈線文など地文以外の文様をもつBⅡb類とに分けた。

深鉢は、3分の2を占めるBⅠa2類を主体とする(挿図16)。次いで多いのが2割強を占めるBⅠ



挿図16 山王圀遺跡西区Ⅶ層出土深鉢類の比率



a3類で、それ以外は全て1割以下である。

BⅠ類の平均的な器厚は口縁部で約6.5mm、口縁は押圧により漣状にするもの（3a）と刻み目により漣状にするもの（3b）がそれぞれ4分の1前後を占め最も多い。これらに次いで多いのが波状口縁（2）や、平縁（1）や漣状口縁（3b）に各種山形突起（Ⅰa、Ⅰe、Ⅰf）を配置したものである。またBⅠ類の8割強は口縁部内面に1条（稀に2条）の横位沈線が巡る。BⅠ類は平行沈線以外、体部上半に刻目列（KZZ）を施すものがごく僅かに見られる程度で、装飾性に乏しい。

BⅡ類の平均的な器厚は口縁部で約5.6mmである。BⅡ類は、地文の縄文のみ施すものや無文のもの（BⅡa）が4分の3、横位沈線や条線文などの文様が見られるもの（BⅡb）が4分の1である。口縁部は、BⅡa類が平縁（1）と刻み目により口縁部を漣状にするもの（3b）が見られるのに対して、BⅡb類は3bだけである。BⅡ類に使われている縄文原体には単節LRとRLがある。

#### 【蓋形土器】（C類）

形態・装飾・内面調整から蓋形土器と考えられる破片が1点出土している（図46-15、図版45-15）。表面に隆沈線で重圈文（同心円文）が施されている。類例は秋田県横手市平鹿遺跡（秋田県埋蔵文化財センター1983『平鹿遺跡発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告書101集の第138図125）にみられ、壺に伴う蓋と考えられる。

#### 【鉢】（D類）

Ⅵ層出土土器同様、口頸部と体部が分かれるDⅠ類と口縁部と体部との間に屈曲や括れのないDⅡ類に大別したが、DⅡ類は確認されていない。また四脚付鉢は別途DⅢ類として扱った。DⅠ類については、以下のような基準を設け細分した。

DⅠ1類：内外面とも頸部と体部上半、体部上半と体部下半との境に明瞭な屈曲をもつ。

DⅠ2類：外面は頸部と体部上半、体部上半と体部下半との境に明瞭な屈曲をもつが、肩部内側が肥厚し、内面の屈曲が不明瞭なもの。

DⅠ3類：外面の体部上半と下半との境が屈曲せず丸みを帯びる。

DⅠ4類：口唇部が強く外反し、頸部はやや内傾する。体部上半と体部下半との境に緩い屈曲が見られる。

DⅠ5類：頸部は短く直立し、体部上半は内傾、体部下半は直立気味となるもの。

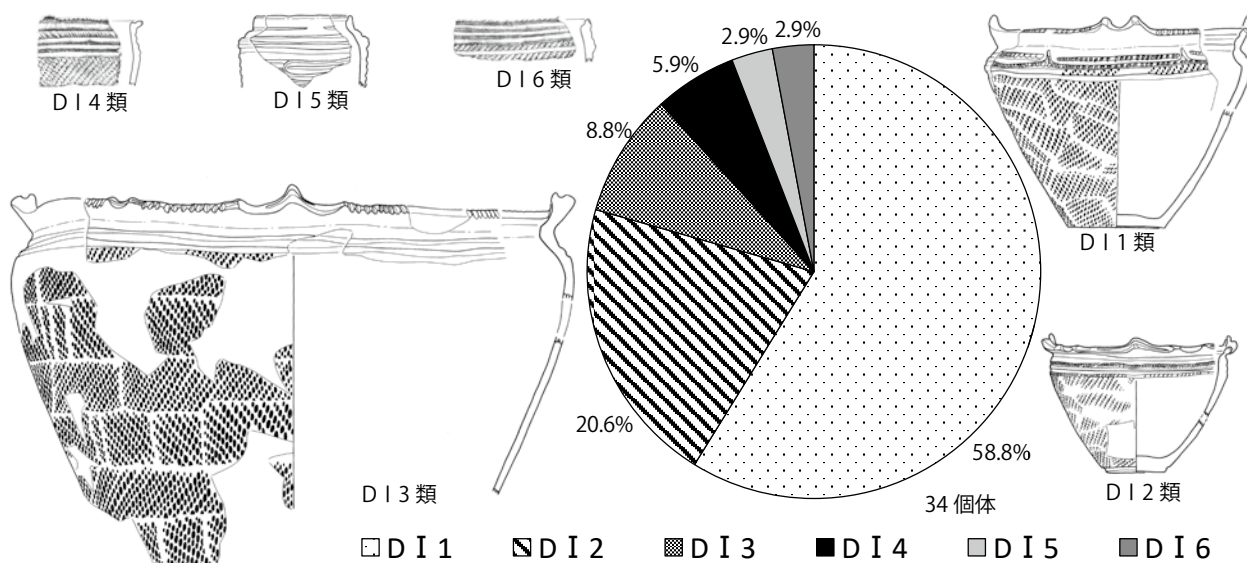
DⅠ6類：頸部と体部上半、体部上半と体部下半とも境目の屈曲が不明瞭なもの。

鉢は全て括れのあるDⅠ類で、そのうち内外面とも頸部と体部上半、体部上半と体部下半との境に明瞭な屈曲をもつDⅠ1類が6割弱、DⅠ2類が約2割、DⅠ3類が1割弱を占める（挿図17）。

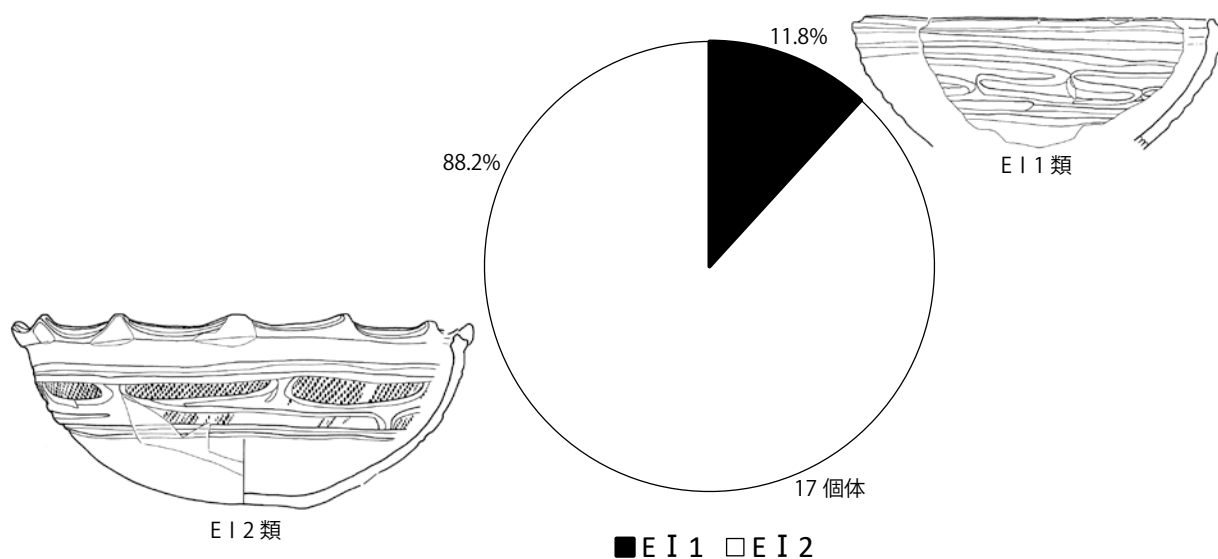
鉢の平均的な器厚は、口縁部で約6.2mmである。波状口縁（2）に山形突起（Ⅰa、Ⅰc）を組み合わせたものが3分の1を占め、次いで刻み目により口縁部を漣状にするもの（3b）、波状口縁が多い。また刻み目と2個一対の小突起（Ⅴ）や山形突起（Ⅰe、Ⅰf）を組み合わせたものも見られる。鉢の約9割は口縁部内面に1条の横位沈線をもつが、横位沈線から山形突起に沿って縦方向の棘を伸ばし山形三叉状となるものも見られる。鉢は体部上半に刻目列（KZZ）や刻目列と沈線内刺突（PLPU）を施すものが最も多く、他に匹字文（H⑤a）やH⑤aと沈線内刺突が組み合うものが見られる。また1点だけだが体部上半に結節沈線（KL）、体部下半に雲形文2類（CL2）を施文したものがある（図49-27）。

#### 【浅鉢】（E類）

浅鉢は台の付かないEⅠ類のみで、台付浅鉢（EⅡ類）はない。EⅠ類に関しては、体部から口縁部にかけて屈曲がない1類と、屈曲を境に口頸部と体部とに分かれる2類に分けた。浅鉢は屈曲を有するEⅠ2類が9割弱と圧倒的に多い（挿図18）。



挿図17 山王圀遺跡西区Ⅶ層出土鉢類の比率



挿図18 山王圀遺跡西区Ⅶ層出土浅鉢類の比率

浅鉢の平均的な器厚は、口縁部で約 5.8mm である。浅鉢は波状口縁 (2) に次いで平縁 (1)、刻み目により口縁部を漣状にするもの (3b)、平縁に山形突起 (I a) を配置したものが多い。浅鉢は例外なく口縁部内面に 1 条の横位沈線をもち、横位沈線から山形突起に沿って縦方向の棘を伸ばし山形三叉状となるものも見られる。また浅鉢の 3 割強は口唇部端面にも沈線が施され、断面形が凹形を呈する。体部上半の文様は結節沈線 (KL) が目立つが、他に雲形文 1 類 (CL1) と匹字文 (H⑤a) が確認できる。なお体部上半に結節沈線を持つもののなかには体部下半に雲形文を施文するものがある。

#### 【壺】(F類)

以下の通り細分した。

Fa類：口頸部が直線的に外傾し、体部は球形を呈する。

Fb類：頸部が内傾し、口縁が外反するもの。

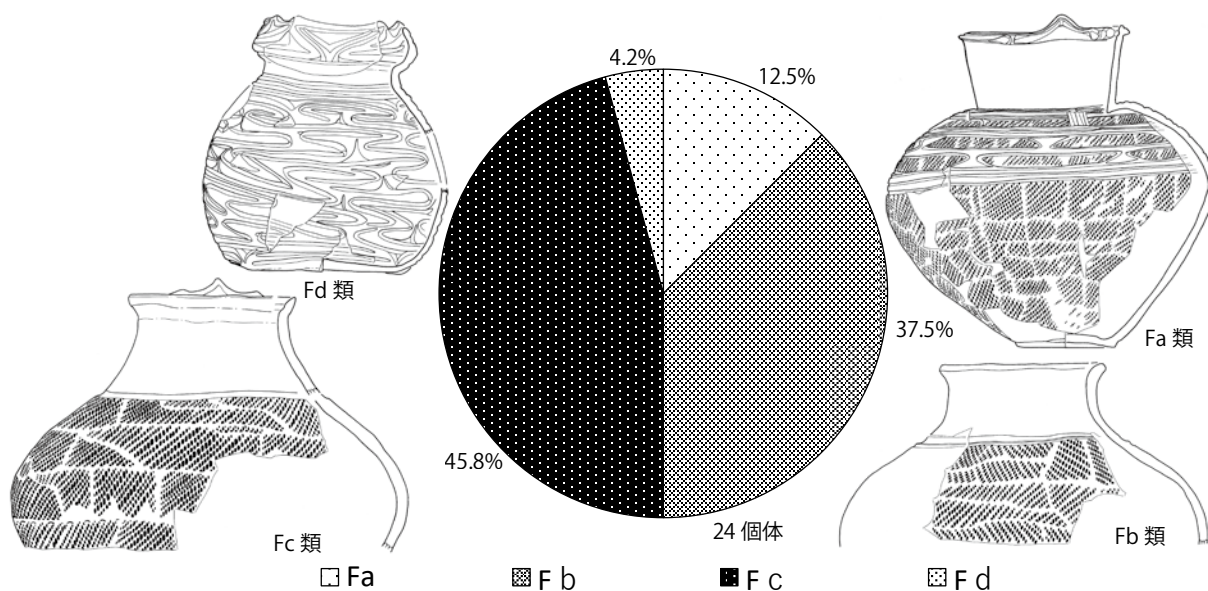
Fc類：口縁部と頸部、頸部と体部との間に明瞭な屈曲があるもので、頸部の形状により細分される。

Fc1類：頸部が長く、内傾しながら立ち上がるもの。

Fc2類：頸部は短く、内側に強く傾くもの。

Fd類：袋状を呈し、底部の四隅に脚をもつもの。

壺はFc（Fc1）類が半数弱を占め、それにFb類、Fa類が続く（挿図19）。壺の平均的な器厚は、口縁部で約6.0mmである。壺は平縁が6割強を占めるが、平縁や波状口縁（2）に山形突起（I a、I c、I e、I f）を配置したものや、平縁に山形突起（I c）と2個一対の小突起（V）を組み合わせたものもある。壺Fa類は、体部上半に雲形文（CL1、CL2）や、雲形文と4条前後の横位平行沈線を3条の縦位短沈線で区切った文様を組み合わせたものが定型化している。



挿図19 山王圀遺跡西区Ⅶ層出土壺類の比率

## 第5章 土器の胎土と付着物等

### 第1節 土器の胎土

胎土に関しては混和物に着目し、肉眼でも容易に認識できる海綿骨針と金雲母について検討した。口縁部を有する資料を対象として、海綿骨針と金雲母の含有率を器種ごとに比較検討した（挿図 20・21）。

Ⅵ層出土土器の海綿骨針の含有率は、深鉢Ⅰ（約 7.0%）、深鉢Ⅱ（10.0%）、鉢・台付鉢（約 9.8%）、浅鉢・台付浅鉢（約 15.2%）、壺（約 5.2%）、注口土器（約 33.3%）であった。

Ⅶ層出土土器の海綿骨針の含有率は、深鉢Ⅰ（約 4.3%）、深鉢Ⅱ（12.5%）、鉢・台付鉢（約 3.0%）浅鉢（約 11.8%）、壺（約 8.3%）であった。

Ⅵ層出土土器で金雲母が見られたのは、深鉢Ⅰの 2 点（約 0.7%）だけであった。

Ⅶ層出土土器の金雲母の含有率は、深鉢Ⅰ（約 0.7%）、深鉢Ⅱ（25.0%）、鉢・台付鉢（約 14.7%）、浅鉢（約 17.6%）、壺（約 4.2%）であった。

以上、海綿骨針の含有率は、Ⅵ層・Ⅶ層ともに浅鉢が他の器種に比べやや高い傾向が見られた。また金雲母に関しては、Ⅵ層に比べⅦ層出土土器に多く含まれる傾向が看取されたが、山王Ⅲ層式の浅鉢・高坏のように意図的に胎土中に金雲母を混入するようなことはなかったと考えられる。

### 第2節 土器に付着したスス・コゲ

口縁部を有する資料を対象として、炭化物の付着率を器種ごとに比較検討した（挿図 22）。

Ⅵ層出土土器・Ⅶ層出土土器とも、炭化物の付着率は深鉢Ⅰ・Ⅱが最も高く、鉢・台付鉢が次に高い。反対に浅鉢と壺には炭化物の付着はあまり見られない。炭化物の付着が見られる壺は地文のみの粗製壺に限られる。なお、Ⅶ層に比べⅥ層出土土器の炭化物の付着率が総じて低いのは、埋蔵環境の違いによる可能性がある。

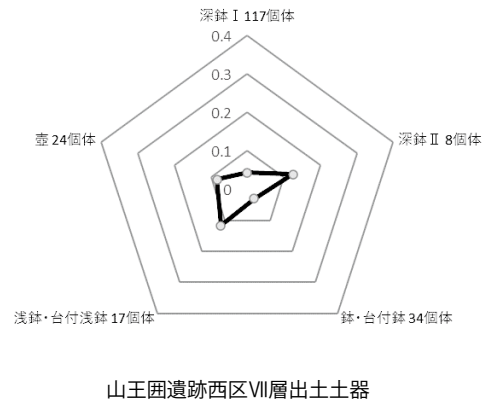
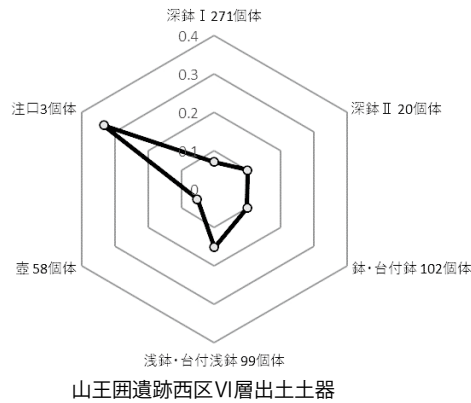
### 第3節 赤彩土器

口縁部を有する資料を対象として、赤色顔料の付着率を器種ごとに比較検討した（挿図 23）。赤色顔料の付着率は、Ⅵ層出土土器が約 11.2%、Ⅶ層出土土器が 2% と、大きな差異が見られる。赤色顔料の付着率は、昨年度報告したⅣ下層出土土器で約 8.2%、Ⅴ層上層出土土器で約 15.1%、Ⅴ下層出土土器では約 14.3% であった。このことから、山王Ⅲ遺跡ではⅥ層出土土器の段階で赤色顔料の使用が急に高まり、Ⅴ層上層出土土器において最も盛行し、その後使用率が下がった可能性がある。

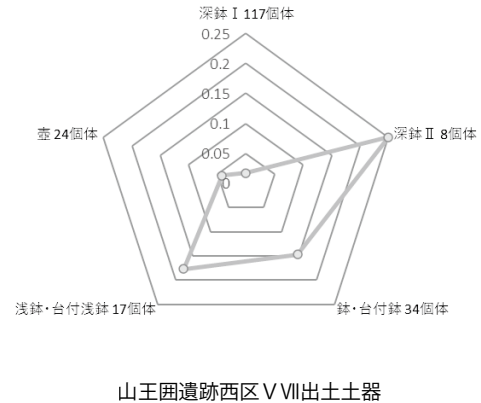
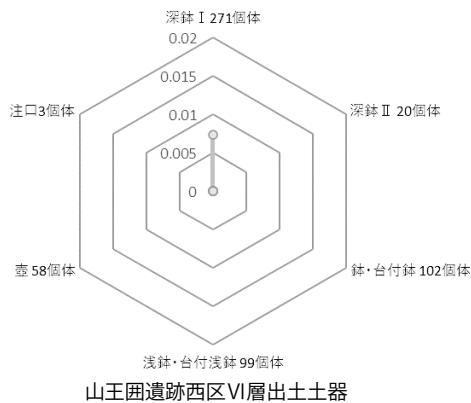
Ⅵ層出土土器で赤色顔料の付着率が高いのは、浅鉢・台付浅鉢（約 36.4%）と壺（約 25.9%）で、鉢・台付鉢（約 9.8%）にはあまり見られない。深鉢Ⅰには 1 点（約 0.4%）だけ赤彩されたものがあるが、深鉢Ⅱと注口土器には赤色顔料が付着したものは見られなかった。

Ⅶ層出土土器のうち口縁部資料で赤色顔料の付着が見られたのは、浅鉢 3 点（17.6%）と深鉢Ⅰの 1 点（約 0.9%）、だけであった。

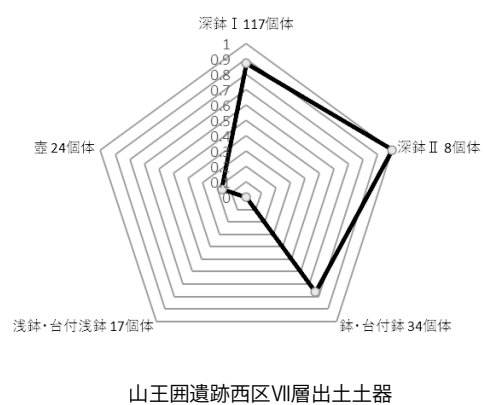
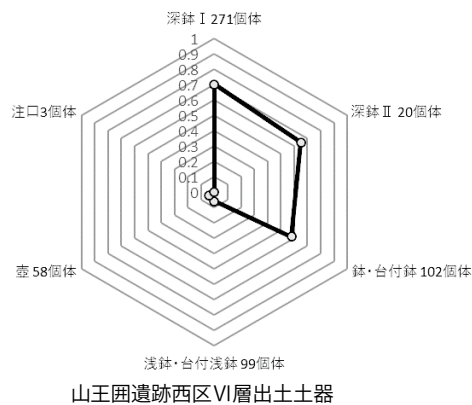
以上のようにⅥ層出土土器とⅦ層出土土器の赤彩率は大きく異なるが、ともに赤彩の対象となったのは、装飾性に富む浅鉢と壺であり、鉢がそれに準じ、深鉢は基本的には赤彩の対象外である（挿図 24）。



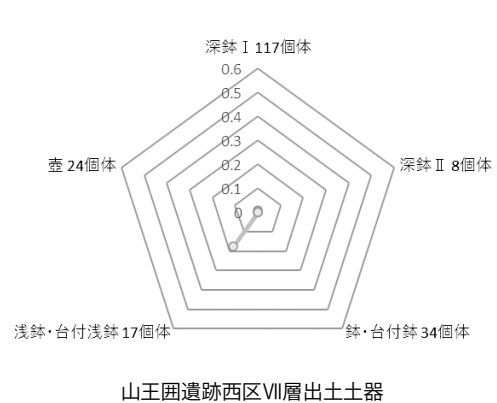
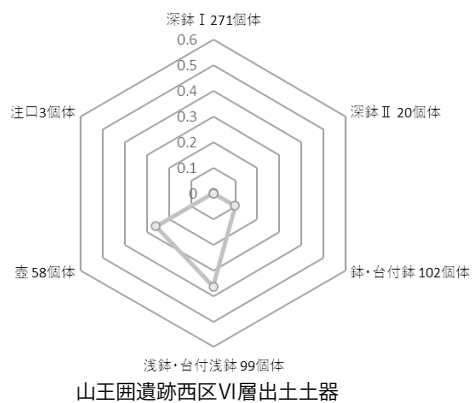
挿図20 胎土中の海綿骨針の含有率



挿図21 胎土中の金雲母の含有率



挿図22 炭化物の付着率

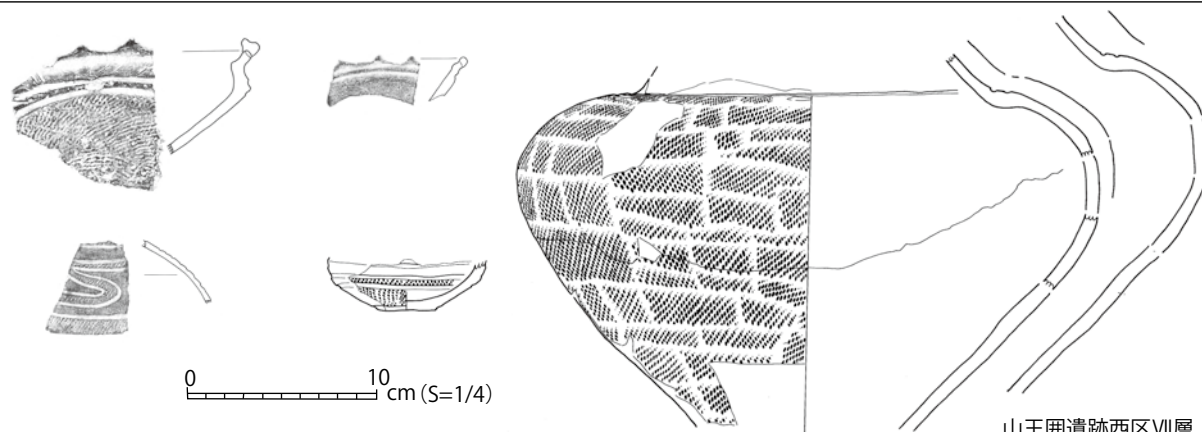


挿図23 赤色顔料の付着率





山王冢遺跡西区Ⅵ層



山王冢遺跡西区Ⅶ層

挿図24 赤彩された主な土器

#### 第4節 土器の補修痕

補修孔がある土器がⅥ層から3点、ひび割れた箇所をアスファルトで塞ぎ補修した土器がⅦ層から2点出土している。

補修孔がある土器は、深鉢B I b1類（図8-1、図版9-1）、深鉢B I c類（図14-15、図版14-15）、浅鉢E I 1a類（図6-8、図版7-7）の3点である。いずれも口縁からやや下がった位置に割れ若しくはひびの入った箇所を跨いで一対の小孔を穿ち、紐で縛って使用したものである。

ひび割れた箇所をアスファルトで塞ぎ補修した土器は、2点とも大型壺である（図42-5、43-6）。どちらも体部下半の横方向に伸びる大きなひび割れをアスファルトで塞いでいる。このうちの一つは赤彩された大型壺である（図42-5、図版41-4）。



## 第6章 まとめ

本書では、宮城県栗原市に所在する国史跡山王圀遺跡で 1965 年に東北大学が行った発掘調査のうち、縄文時代晩期後葉から中葉の文化層である西区のⅥ層（Ⅵa層、Ⅵb層、Ⅵc層、Ⅵd層、Ⅵe層、Ⅵf層、Ⅵg層、Ⅵh層、Ⅵi層）とⅦ層（Ⅶa層、Ⅶb層）から出土した土器について事実報告と基礎的分析を行った。

Ⅵ層出土土器は、上層のⅥa～Ⅵg層出土土器（挿図 25）と下層のⅥh・Ⅵi層出土土器（挿図 26）ともに大洞A1式（古段階）を主体とし、深鉢、鉢・台付鉢・四脚付鉢、浅鉢・台付浅鉢・四脚付浅鉢、壺、注口土器から構成される。全体の約半数弱を占める括れを有する深鉢BⅠ類の次に多いのが鉢と浅鉢で、それぞれ全体の約 2 割弱を占める。壺は全体の約 1 割で、括れない深鉢BⅡ類と注口土器は 5%未満である。

括れを有する深鉢BⅠ（挿図 25-1～18、26-1～7）は、口縁を押圧により漣状にするものが約 4 割、刻み目により漣状にするものが約 3 割を占め、他に山形突起を有するものや 2 個一対の小突起をもつものも僅かに見られる。またBⅠ類の約 64%は口縁部内面に 1 条の横位沈線が巡り、山形突起を持つもののなかには、内面の沈線が突起部で山形三叉状になるものも見られる。BⅠ類のうち外傾する長い頸部を有するもの（BⅠa1類）には口頸部に 5 条前後の平行沈線が巡るいわゆる「九年橋型深鉢」（挿図 25-1、26-1）がみられるが、数はそう多くはない。またBⅠ類のなかには頸部や体部上半に刻目列（KZZ）・刺突列（PULI）・匹字文（H5a）・工字文（K1①b）などの文様を施すもの（挿図 25-8・10・11・13・18）も僅かにみられる。

括れない深鉢BⅡ類は地文の縄文のみ施すもの（挿図 25-20、26-9）や無文のもの（挿図 25-19）が 6 割、横位沈線などの文様が見られるもの（挿図 26-8）が 4 割である。口縁部は、前者が平縁主体であるのに対して、後者では刻み目により口縁部を漣状にするものが最も多い。縄文原体は大部分が単節LRだが無節Lも見られる。

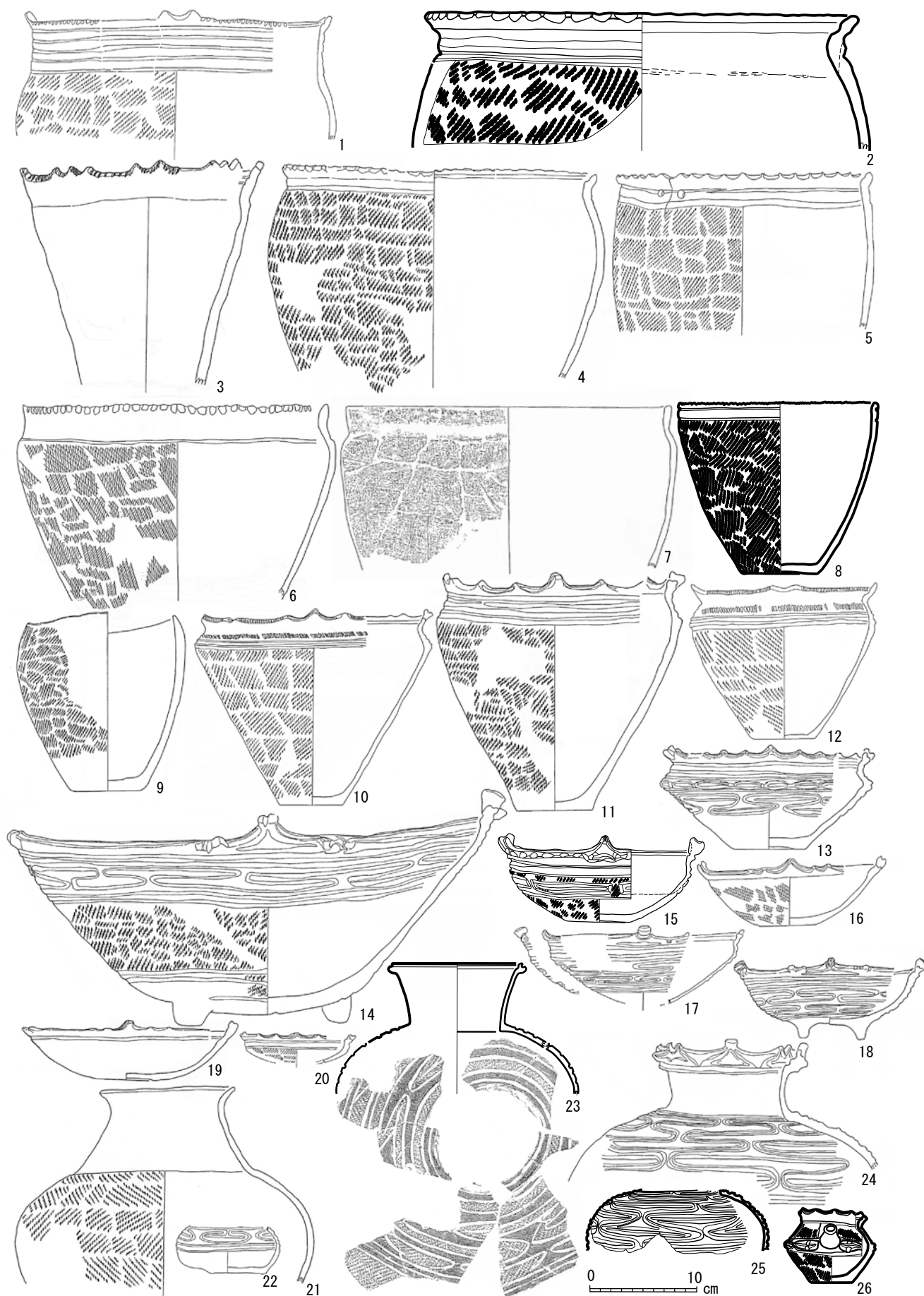
鉢は括れのあるDⅠ類（挿図 25-22、26-10～13）が約 4 分の 3 と主体を占め、他に括れを持たないDⅡ類（挿図 5-24）や四脚を伴うDⅢ類（挿図 25-23、26-14）がある。DⅠ類では刻み目により口縁部を漣状にするものが最も多く、次に漣状口縁に 2 個一対小突起を組み合わせたものが多いが、DⅡ類では平縁に円形貼り付け大突起や 2 個一対の小突起を配置したものが目立つ。鉢の 9 割弱は口縁部内面に 1 条ないし 2 条の横位沈線が巡り、山形突起を持つもののなかには、内面の沈線が突起部で山形三叉状になるものも見られる。また鉢の約 2 割は口唇部にも沈線が施されている。DⅠ類では頸部には工字文（K1①a、K1①b）がごく稀に見られるに過ぎないが、体部上半には、刻目列を中心に、刺突列・沈線内刺突・結節沈線・匹字文（H3c、H5a）などの文様が見られる。このうち体部上半に刻目列が巡る鉢（挿図 26-10・12）はⅥa～Ⅵg層には少なく下層のⅥh層に多いことから、大洞A1式古段階のなかでは古手に限られる可能性がある。

浅鉢は台の付かないEⅠ類と四隅に脚が付くEⅢ類（挿図 25-29・30、26-18）があるが、高台を伴うEⅡ類は確認できない。Ⅵ層でも上層のⅥa～Ⅵg層では、屈曲がなく体部が丸みを帯びるEⅠ1b類（挿図 25-26・28）が半数弱を占め、同じく屈曲がなく体部が直線的なEⅠ1a類（挿図 25-25・27）も多いが、下層のⅥh層では屈曲があり口頸部が外側に開くEⅠ2b類（挿図 26-15～17・19・20）が主体を占める。浅鉢の口縁部は装飾性に富んでおり、平縁に 2 個一対の小突起を配置したものを中心に、各種山形突起や円形貼り付け大突起、それらと 2 個一対の小突起を組み合わせたものが見られる。浅鉢のなかでもEⅠ1b類では、口縁部文様帯に匹字文（H②c）、胴部上半に匹字文（H①a、H①



挿図25 山王冢遺跡西区Ⅵa～Ⅵg層出土大洞A1式(古段階)土器の器種組成





挿図 26 山王圀遺跡西区VI h層出土大洞 A1 式(古段階)土器の器種組成

b、H③c、H④a、H⑤a）や横位連繫工字文（K8）を配置したものが目立ち、定型化している（挿図 25-26）。四隅に脚が付く四脚付浅鉢（EⅢ類）も口縁部文様帯に匹字文（H②c）、胴部上半に匹字文（H①a、H①b）や横位連繫工字文（K8）を配置したものがある（挿図 26-18）。

壺は口頸部が直線的に外傾し体部は球形を呈するFa類（挿図 25-31、26-23）が約 4 割と最も多く、頸部が内傾し口縁が外反するFc類（挿図 25-32、26-21）が約 3 割と次ぎに多い。壺も鉢や浅鉢と同じように、四隅に脚を持つもの（挿図 25-35、26-22）が見られる。

壺の口縁は、平縁（1）が最も多く半数を占めるが、平縁に各種山形突起や 2 個一対の小突起、あるいは各種山形突起と 2 個一対の小突起あるいは円形貼り付け大突起を組み合わせたものも見られる。壺の約 9 割は口縁部内面に横位沈線などの文様が巡るが、突起や波状口縁に沿って内面に山形三叉文を施すものも目立つ。また壺の約 4 割は口唇部にも沈線が施されている。壺の口縁部には突帯に 2 個一対の小突起を配したものと山形三叉文文、匹字文（H①a、H①c）を施文したものが見られる。山形突起下に山形三叉文や匹字文を施したものは、口縁部が肥厚し、受け口状に発達する（挿図 25-34、26-24）。壺の体部上半には工字文（K1 ①b、K1 ②、K1 ③）、横位連繫工字文（K8）、匹字文（H⑤a）、連子窓文（RW）、変形工字文（HK）、体部下半には工字文（K1 ③、K7）、横位連繫工字文（K8）、連子窓文（RW）が見られる。

壺のなかで最も注目されるのが、Ⅵf層から出土した連子窓文壺（挿図 25-34）である。同じタイプの壺の体部破片はⅥh層（図 33-3）とⅥh3層（図 33-16）からも出土している。大洞A1 式の連子窓文壺は、岩手県南部から福島県北部を主要分布域とし、東北地方以外では、高知県土佐市居徳遺跡のほか、石川県能登町波並西の上遺跡と神奈川県横浜市杉田遺跡から出土している（関根 2021、関根・柴 2022）。山王圀遺跡西区Ⅵ層から出土した大洞A1 式の連子窓文壺は、同じくⅤ下層から出土した大洞A1 式新段階に比定される体部に浮線渦巻文を施した短頸壺（『国史跡山王圀遺跡の研究』Ⅳの図 51-18、図版 47-12）とともに、東北―北陸―西日本をつなぐ広域編年の鍵となる極めて重要な資料である（関根・柴・佐藤 2023）。

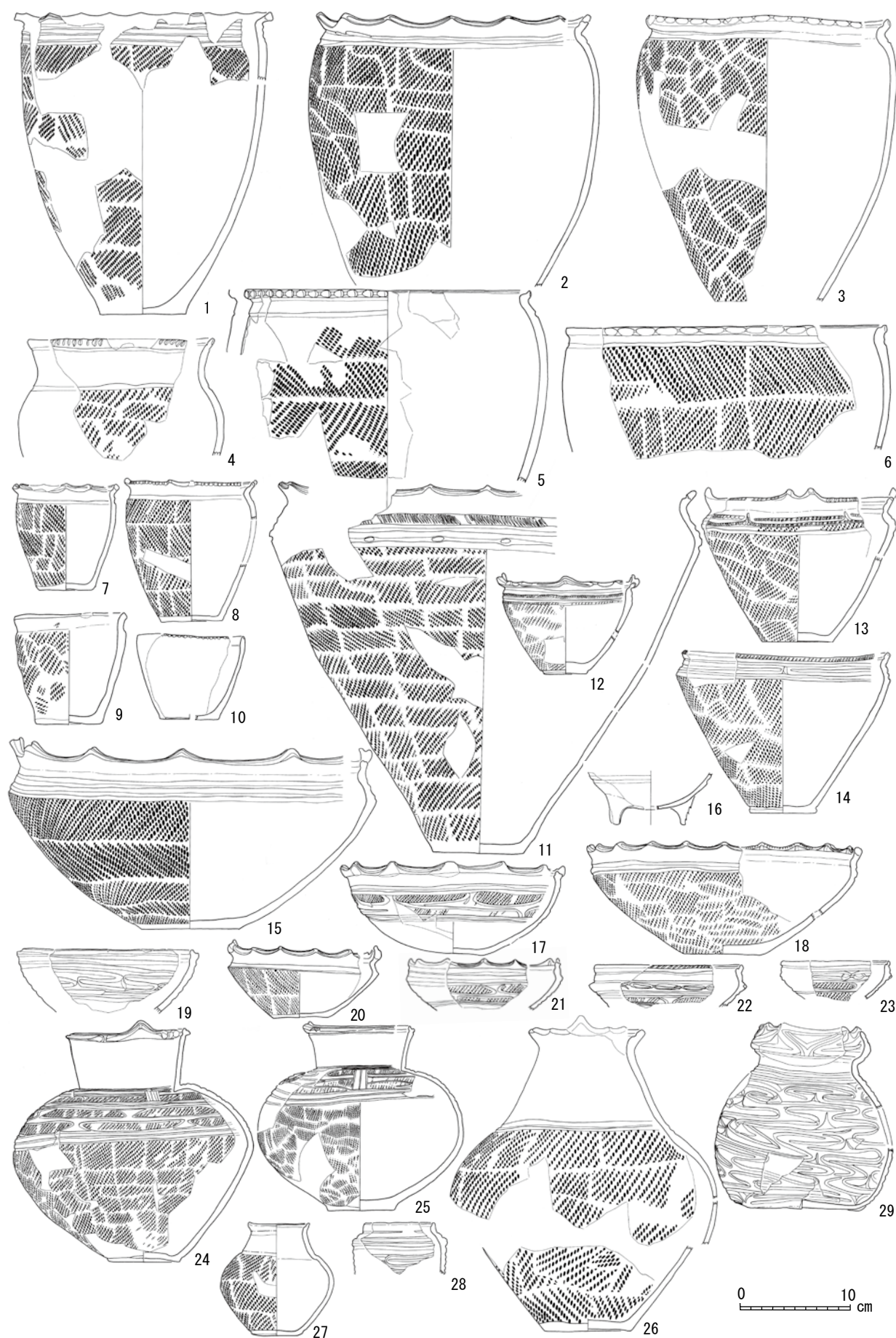
四脚付土器は、Ⅴ下層出土の大洞A1 式新段階の鉢・壺や、後述するⅦ層出土の大洞C2 式の鉢・壺にも見られるが、Ⅵ層から出土した大洞A1 式古段階の資料群では、鉢・浅鉢・壺・注口土器の各器種に及んでおり、数も多い。四脚付土器の最盛期は大洞A1 式古段階にあったといえよう。

Ⅶ層出土土器は大洞C2 式を主体とし、深鉢、蓋形土器、鉢・台付・四脚付鉢、浅鉢、壺からなる（挿図 27）。本来、注口土器や香炉形土器が伴うと考えられるが、出土していない。括れを有する深鉢Ⅰ類が全体の約 6 割弱を占める。次に多いのが約 6 分の 1 を占める鉢・台付鉢で、壺は約 8 分の 1 である。括れない深鉢Ⅱ類と浅鉢はどちらも 1 割に満たない。

深鉢は、外傾するやや長い頸部を有すBⅠa2類（挿図 27-1～3・7～9）が 3 分の 2 を占め、次に多いのが 2 割強を占める頸部が短く屈曲部が肥厚するBⅠa3類（挿図 27-5・6）である。前述のⅥ層出土の深鉢BⅠ類に比べ、BⅠa2類とBⅠa3類の占める比率が高い上、装飾性に乏しく、全体に画一的である。

鉢は全て括れのあるDⅠ類で、そのうち内外面とも頸部と体部上半、体部上半と体部下半との境に明瞭な屈曲をもつDⅠ1類（挿図 27-11～15）が主体を占める。鉢は波状口縁に山形突起を組み合わせたものが 3 分の 1 を占め、次いで刻目により口縁部を漣状にするもの、波状口縁が多い。また刻目と 2 個一対の小突起や山形突起を組み合わせたものも見られる。鉢の約 9 割は口縁部内面に 1 条の横位沈線をもつが、横位沈線から山形突起に沿って縦方向の棘を伸ばし山形三叉状となるものも見られる。鉢は体部上半に刻目列や刻目列と沈線内刺突を施すもの（挿図 27-11・12）が最も多く、他に匹字





挿図27 山王圀遺跡西区Ⅶ層出土大洞 C2式土器の器種組成

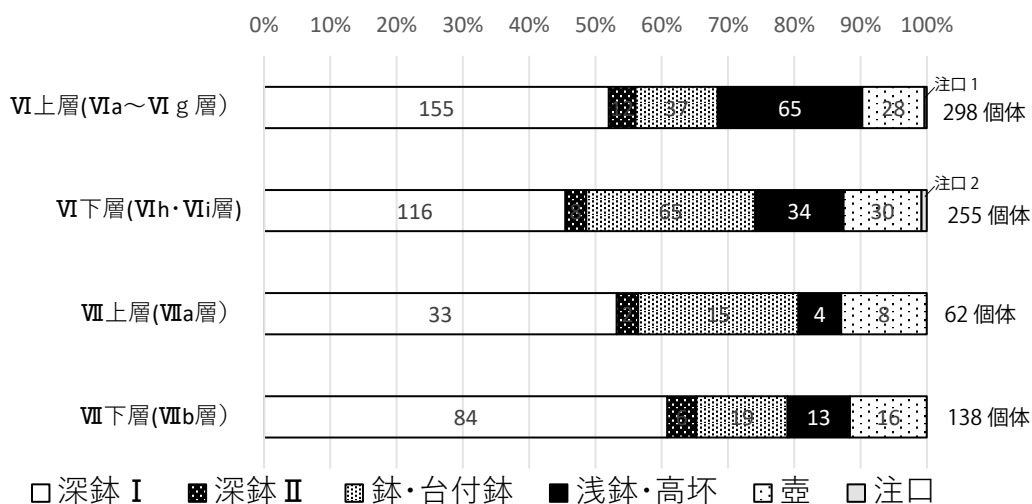
文（挿図 27-14）や匹字文と沈線内刺突が組み合うもの（挿図 27-13）が見られる。深鉢や鉢では単節 LR と RL を交互に施したものが地文の約 2 割と高い比率を占めており、Ⅶ層出土土器の特徴の一つとなっている。

浅鉢は台を持たず平底のみで、屈曲を境に口頸部と体部に分かれるものが 9 割弱と圧倒的に多い。浅鉢は波状口縁に次いで平縁、刻み目により口縁部を漣状にするもの、平縁に山形突起を配置したものが多い。浅鉢は例外なく口縁部内面に 1 条の横位沈線をもち、横位沈線から山形突起に沿って縦方向の棘を伸ばし山形三叉状となるものも見られる。また浅鉢の 3 割強は口唇部端面にも沈線が施され、断面形が凹形を呈する。体部上半の文様は結節沈線が目立つが、他に雲形文 1 類（挿図 27-17・21）と匹字文（挿図 27-19）が確認できる。また体部上半に結節沈線を持つもののなかには体部下半に雲形文を施文するもの（挿図 27-22・23）がある。

壺は、口縁部と頸部、頸部と体部との間に明瞭な屈曲があり、頸部が長く内傾しながら立ち上がる Fc1 類（挿図 27-26・27）が半数弱を占め、次いで口頸部が直線的に外傾し、体部は球形を呈する Fa 類（挿図 27-24・25）が多い。壺は平縁が 6 割強を占めるが、平縁や波状口縁に山形突起を配置したものや、平縁に山形突起と 2 個一対の小突起を組み合わせたものもある。Fa 類は、体部上半に雲形文や、雲形文と 4 条前後の横位平行沈線を 3 条の縦位短沈線で区切った文様を組み合わせたものが定型化している（挿図 27-24・25）。

最後にⅥ層の大洞 A1 式（古段階）とⅦ層の大洞 C2 式の器種組成比率を比較する。Ⅵ・Ⅶ層とも上下 2 層に細分する形で器種組成比率を示したが、Ⅵ上層（Ⅵa～Ⅵg 層）とⅥ下層（Ⅵh・Ⅵi 層）、Ⅶa 層とⅦb 層の組成比率はそれぞれ近似している（挿図 28）。Ⅶ層の大洞 C2 式に比べ、Ⅵ層の大洞 A1 式（古段階）は深鉢がやや少ない分、浅鉢が若干多い傾向が見られるものの、Ⅵ・Ⅶ層全体でも器種組成比率は比較的安定している。これは、晩期中葉から晩期後葉にかけ集落内での活動内容や生活様式に特段の変化がなかったことを示唆していよう。

次年度に予定している総括編では、改めて山王圀遺跡が営まれた縄文晩期中葉から弥生中期にかけての土器の推移を通時的に検討することとしたい。



挿図 28 山王圀遺跡西区Ⅵ層・Ⅶ層出土土器の器種組成比率の変遷



## 引用文献

- 関根達人 2021 「西日本出土の大洞A1 土器の製作地と製作者—高知県居徳遺跡と沖縄県平安山原B 遺跡—」『特別展図録 近畿最初の弥生人』60-69 頁、大阪府立弥生文化博物館
- 関根達人・柴正敏 2022 「居徳遺跡出土の大洞A1 式装飾壺の製作地と製作者」『高知県立歴史民俗資料館研究紀要』26 号、1-12 頁
- 関根達人・柴正敏・佐藤由羽人 2023 「居徳遺跡出土の北陸系・中部高地系土器」『高知県立歴史民俗資料館研究紀要』27 号、1-17 頁



図1 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器(1) 1~11: Ⅵb層

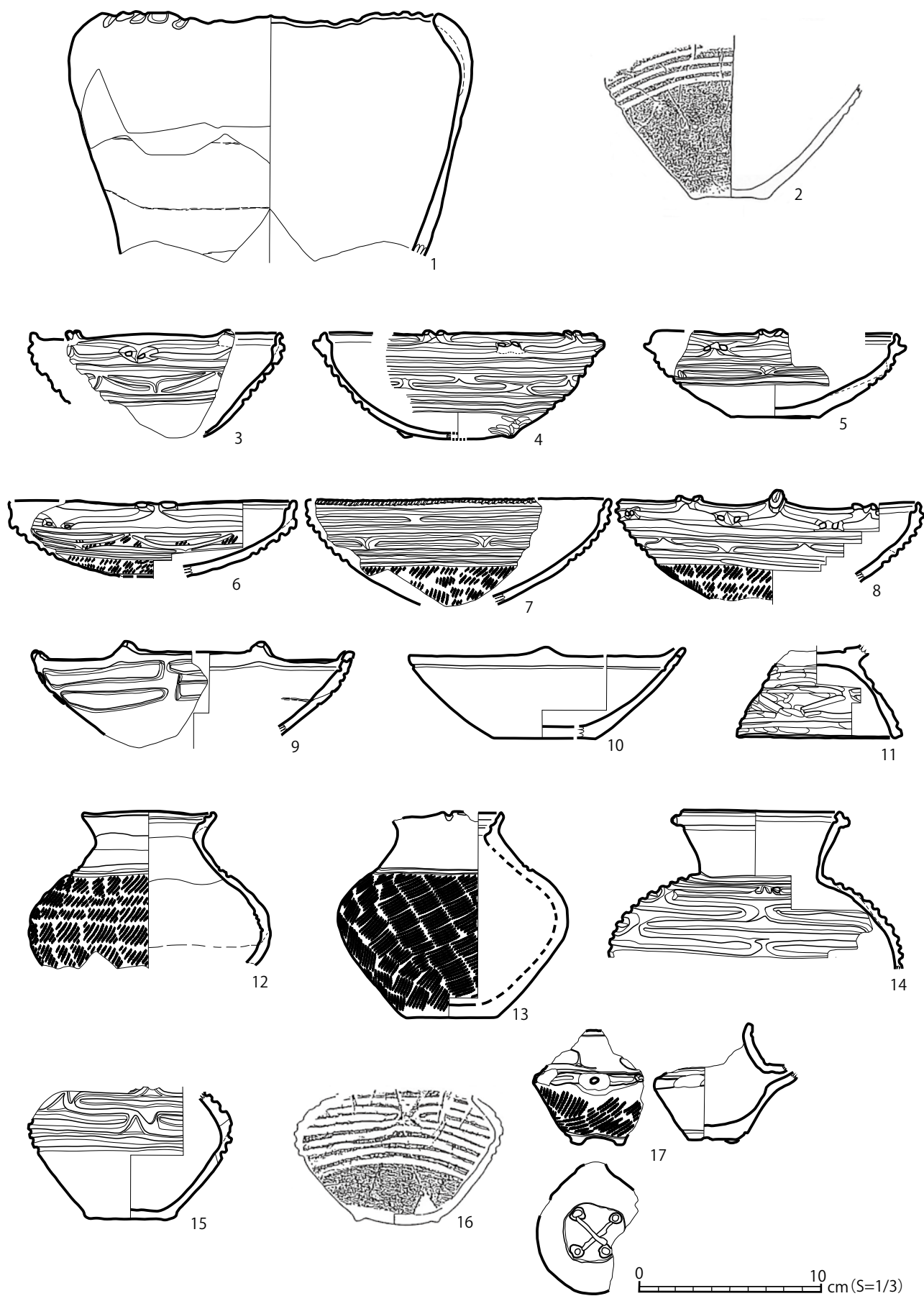


图2 山王囤遗迹西区VI层出土土器(2) 1~17: VI b层



図3 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器(3) 1~7:Ⅵd層

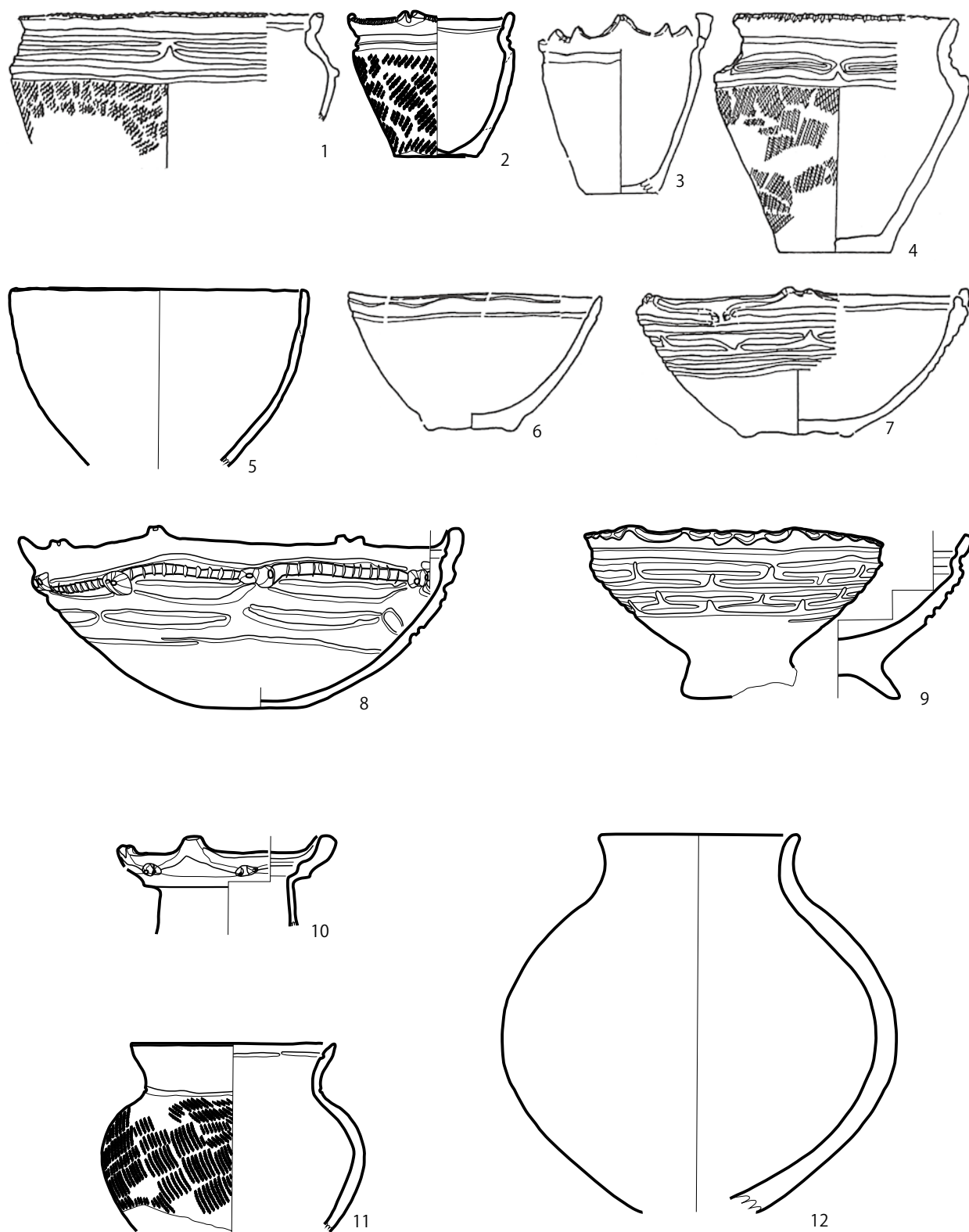


图4 山王冢遗迹西区VI层出土土器(4) 1~12: VI d层



図5 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器 (5) 1～4 : Ⅵe層 5～10 : Ⅵf層



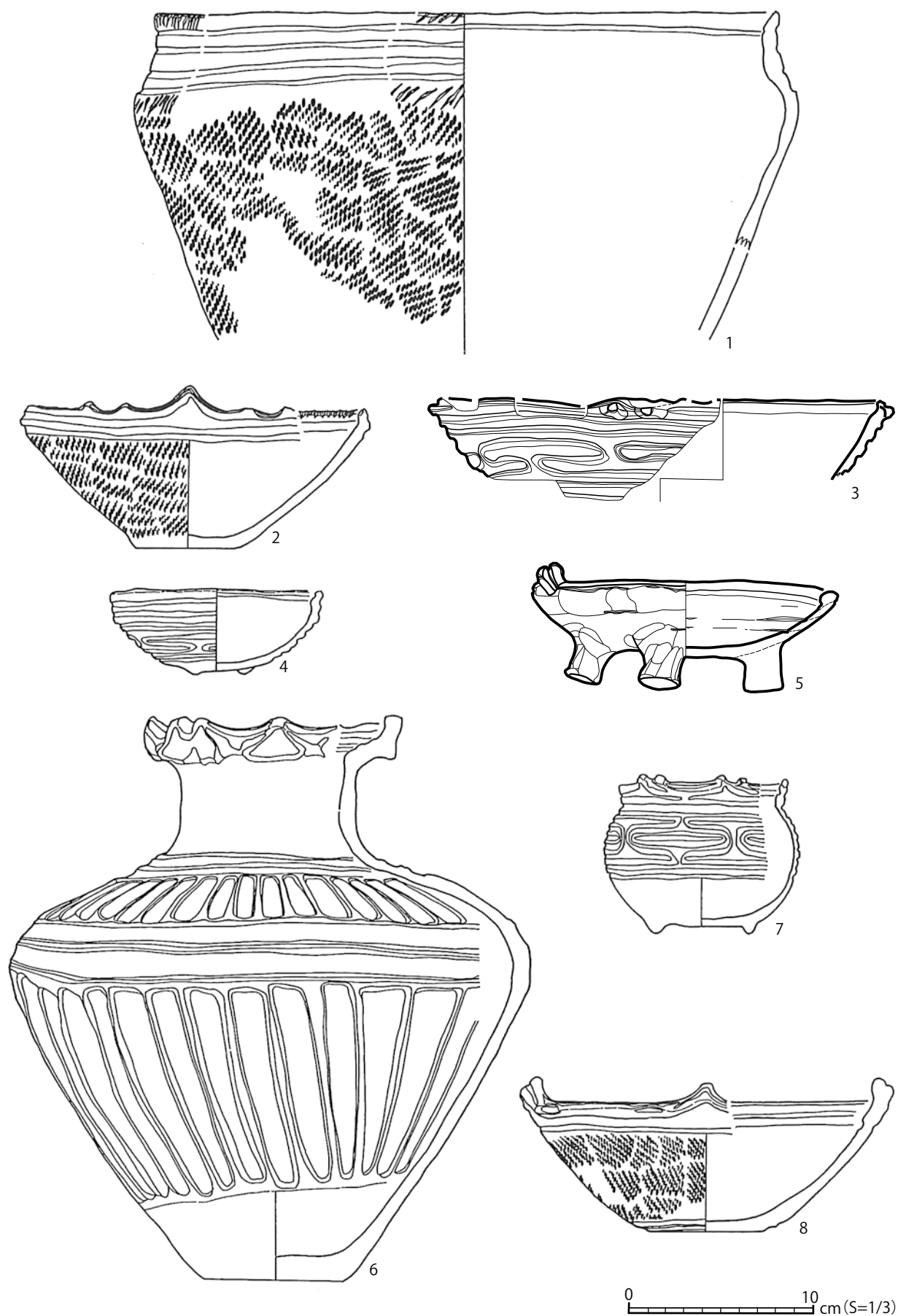


图6 山王囤遗迹西区VI层出土土器(6) 1~7: VI f层 8: VI g层

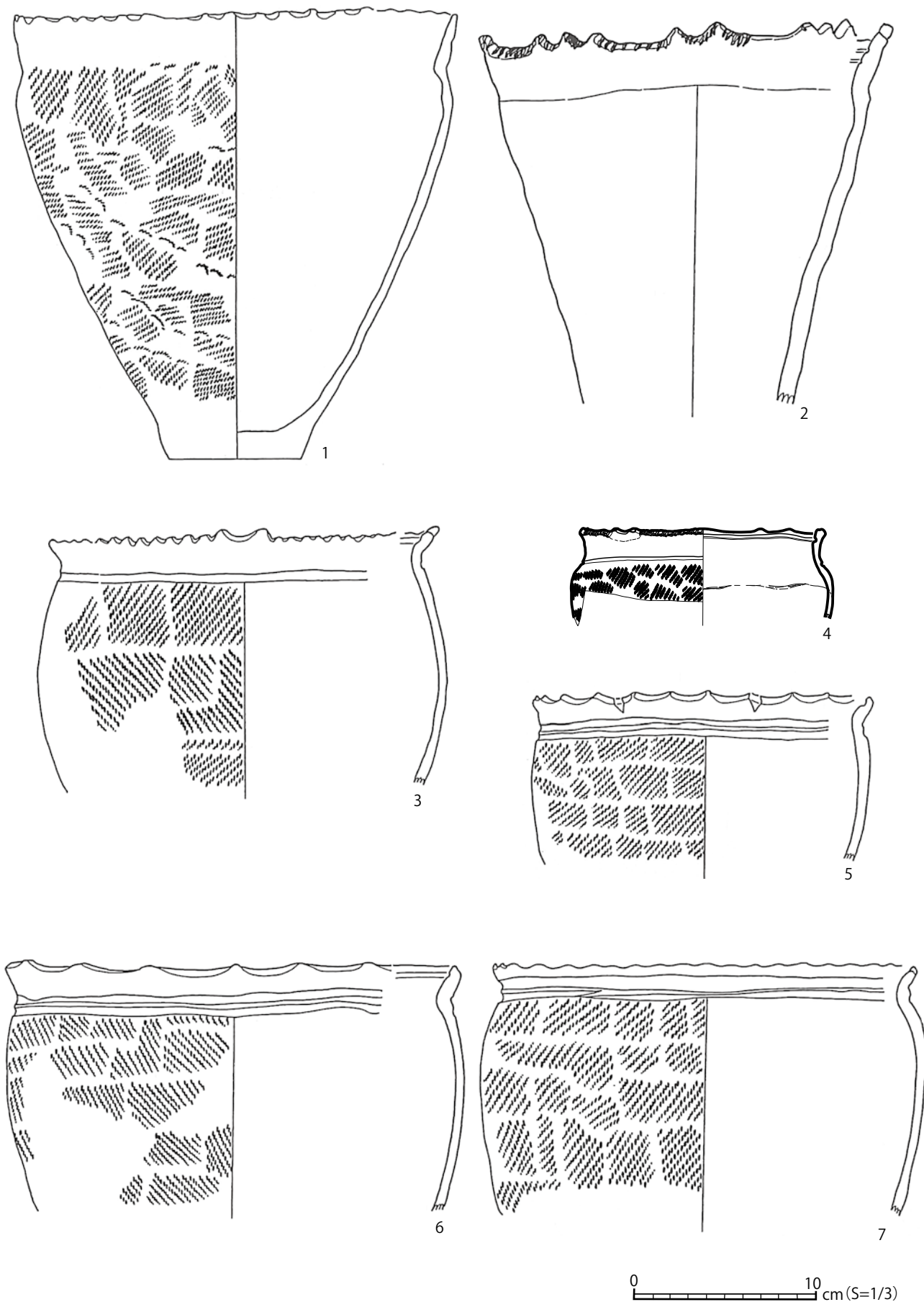


図7 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器(7) 1~7:Ⅵh層

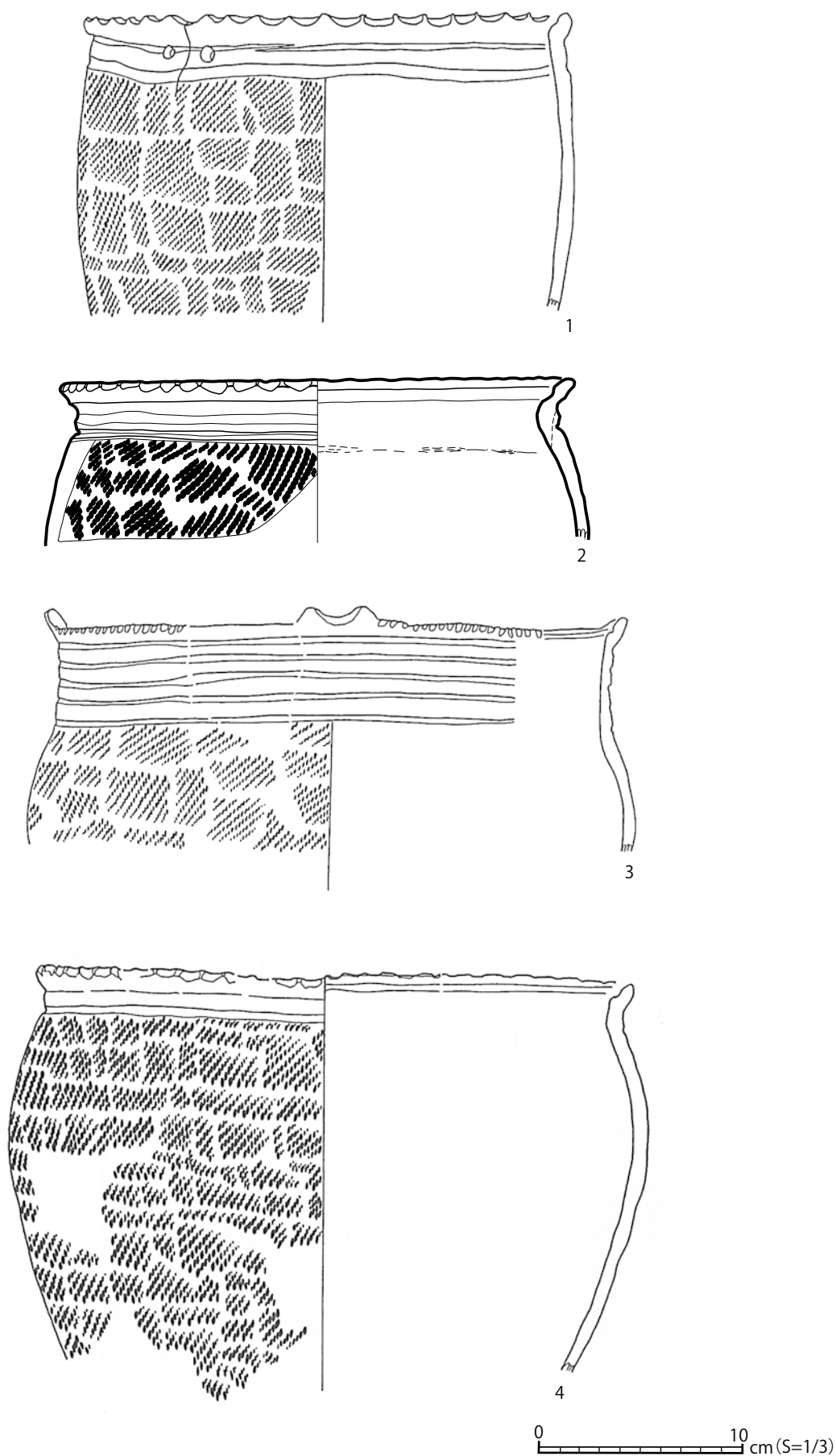


图8 山王囤遗迹西区VI层出土土器(8) 1~4: VI h层

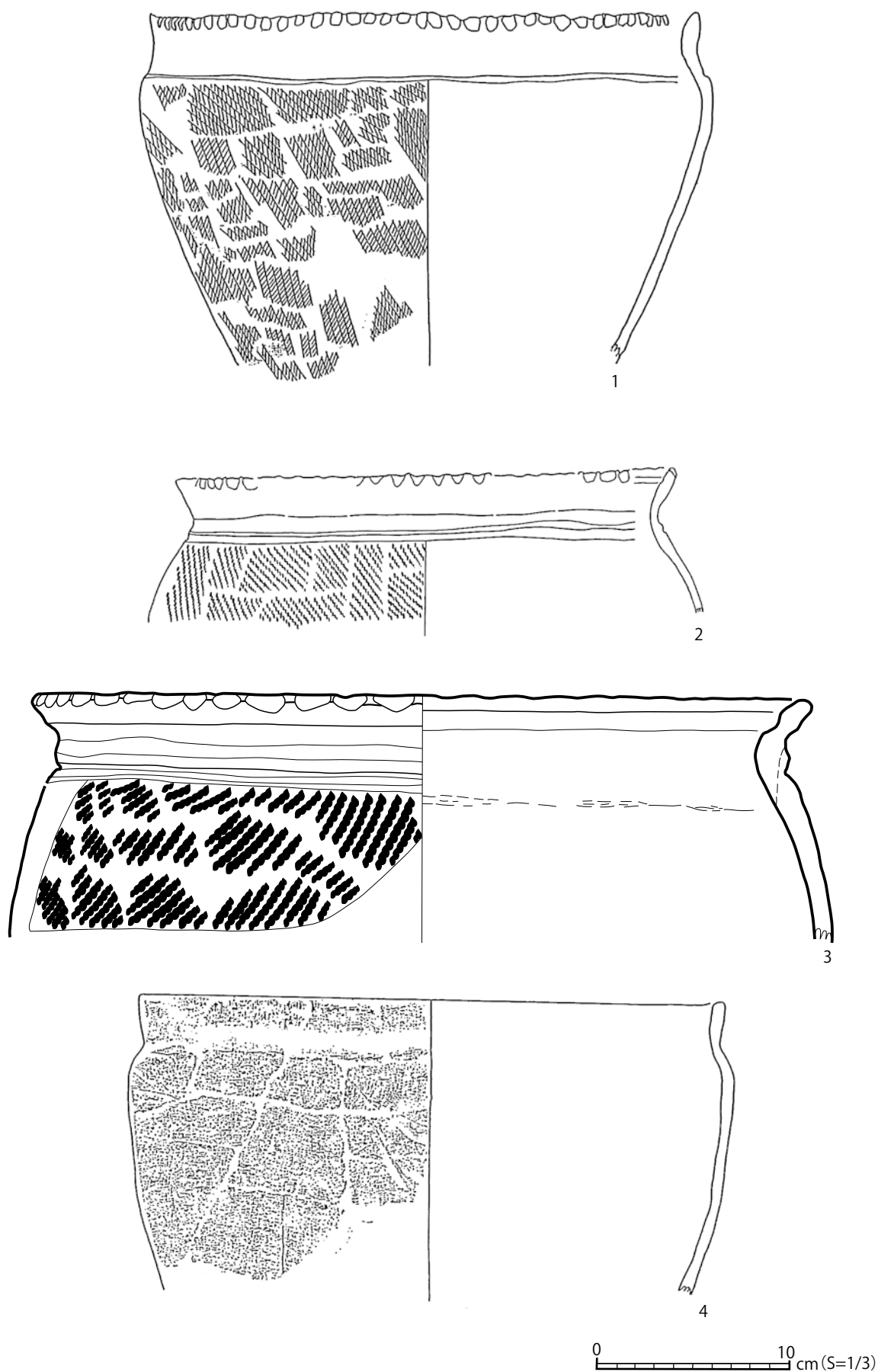


図9 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器(9) 1~4:Ⅵh層



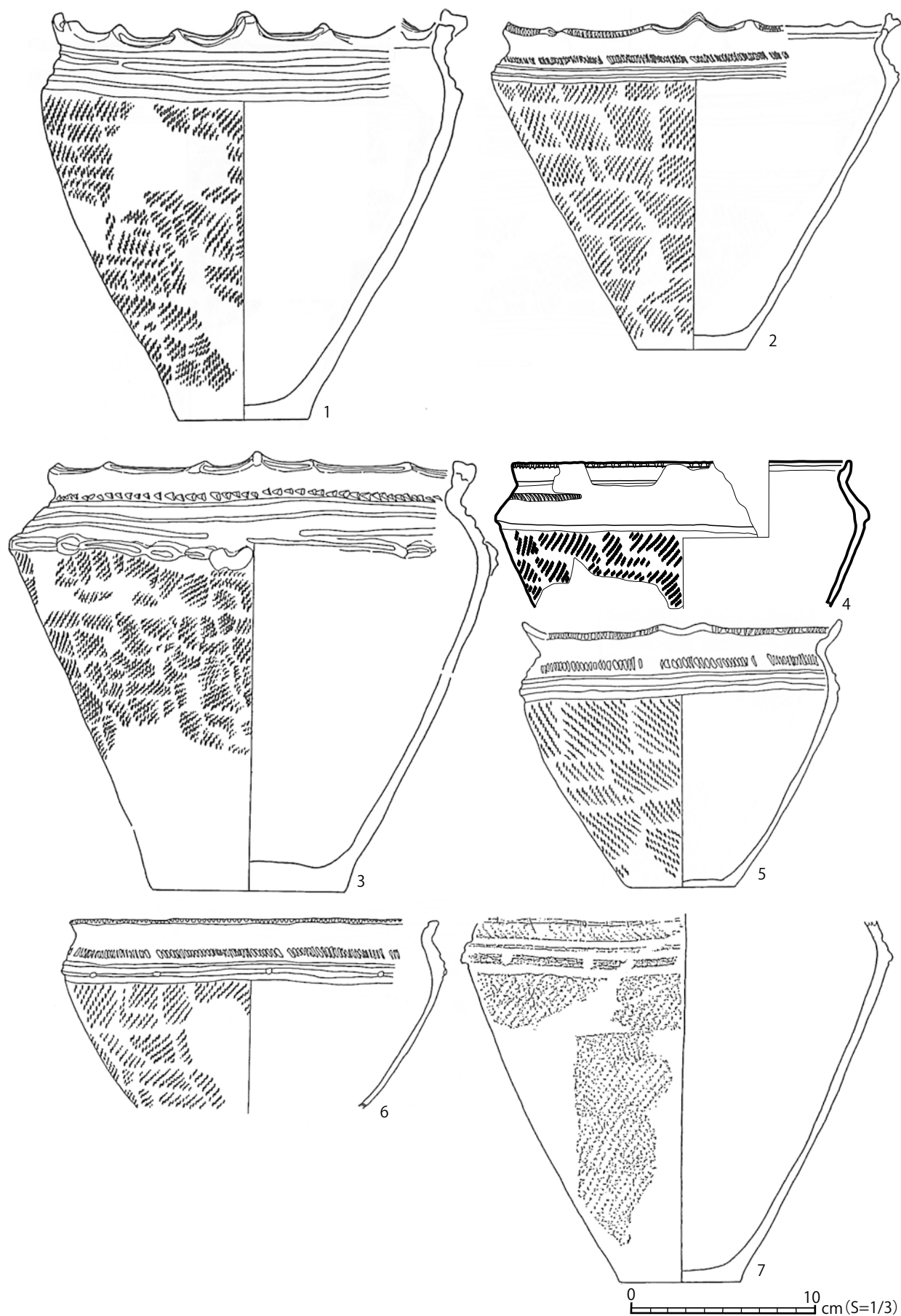


图10 山王囤遗迹西区VI层出土土器(10) 1~7: VIh层



図11 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器(11) 1~13:Ⅵh層



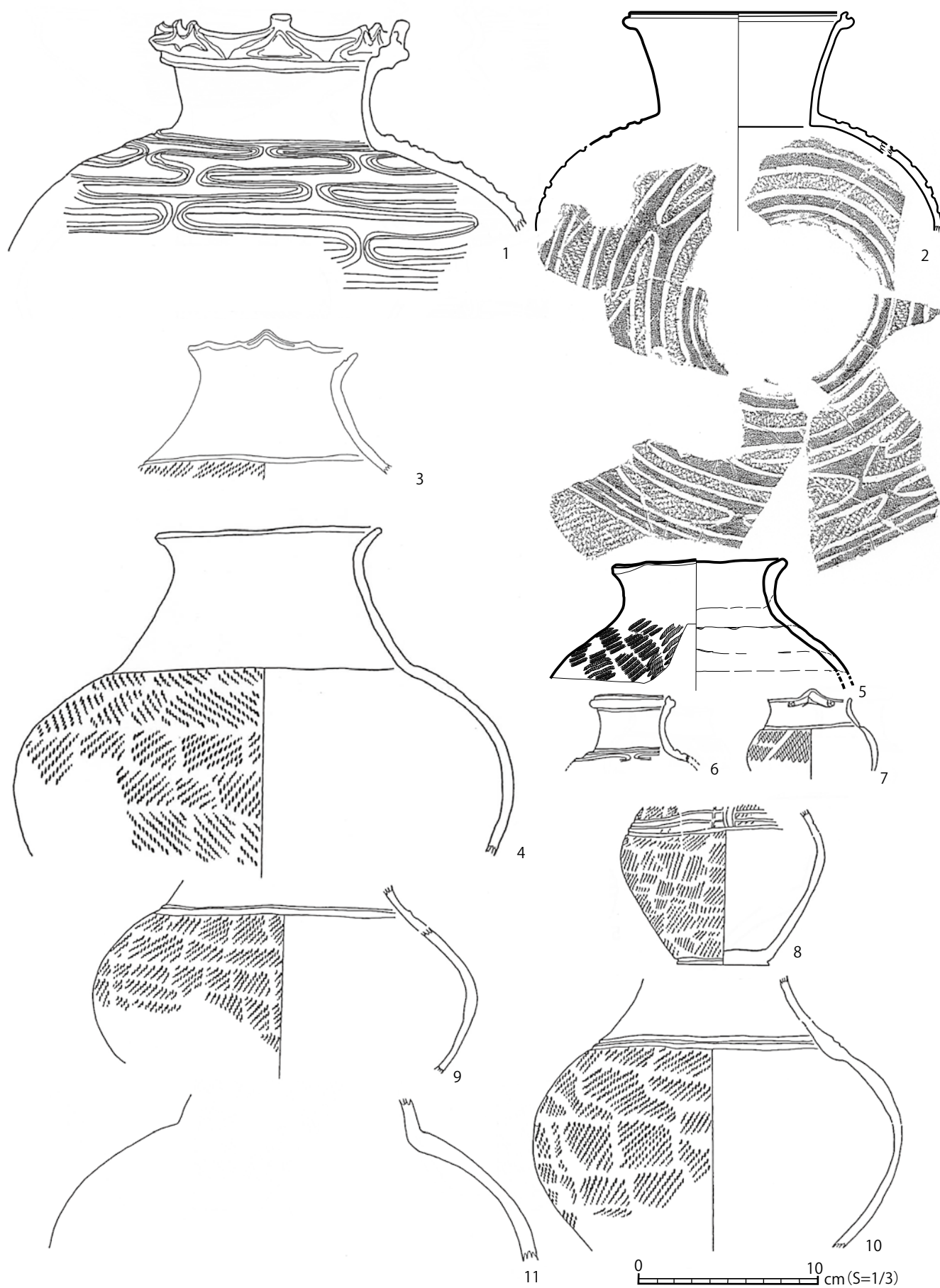
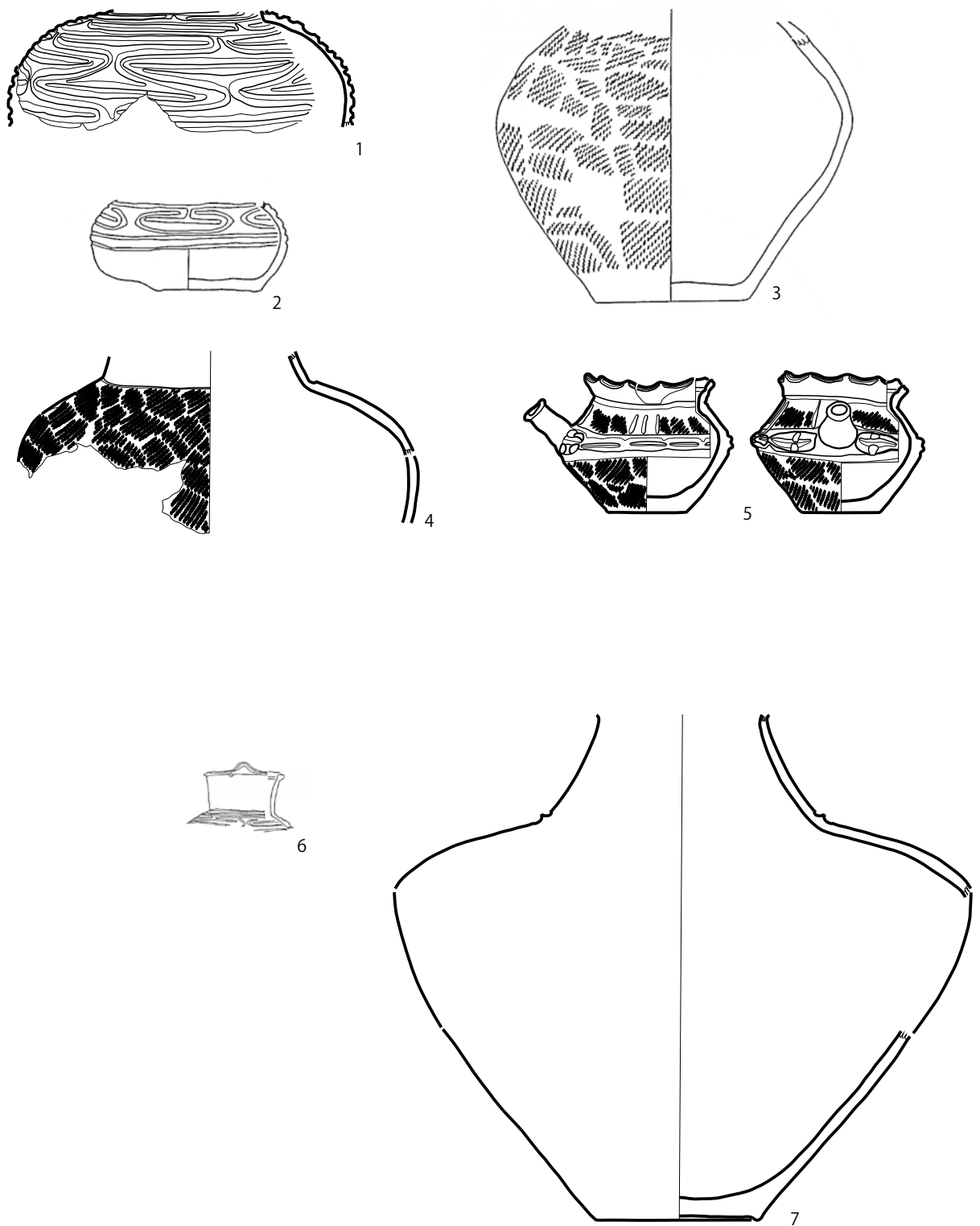


图12 山王冢遗址西区VI层出土土器(12) 1~11: VIh层



0 10 cm (S=1/3)

図13 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器(13) 1~5: Ⅵh層 6・7: Ⅵh2層

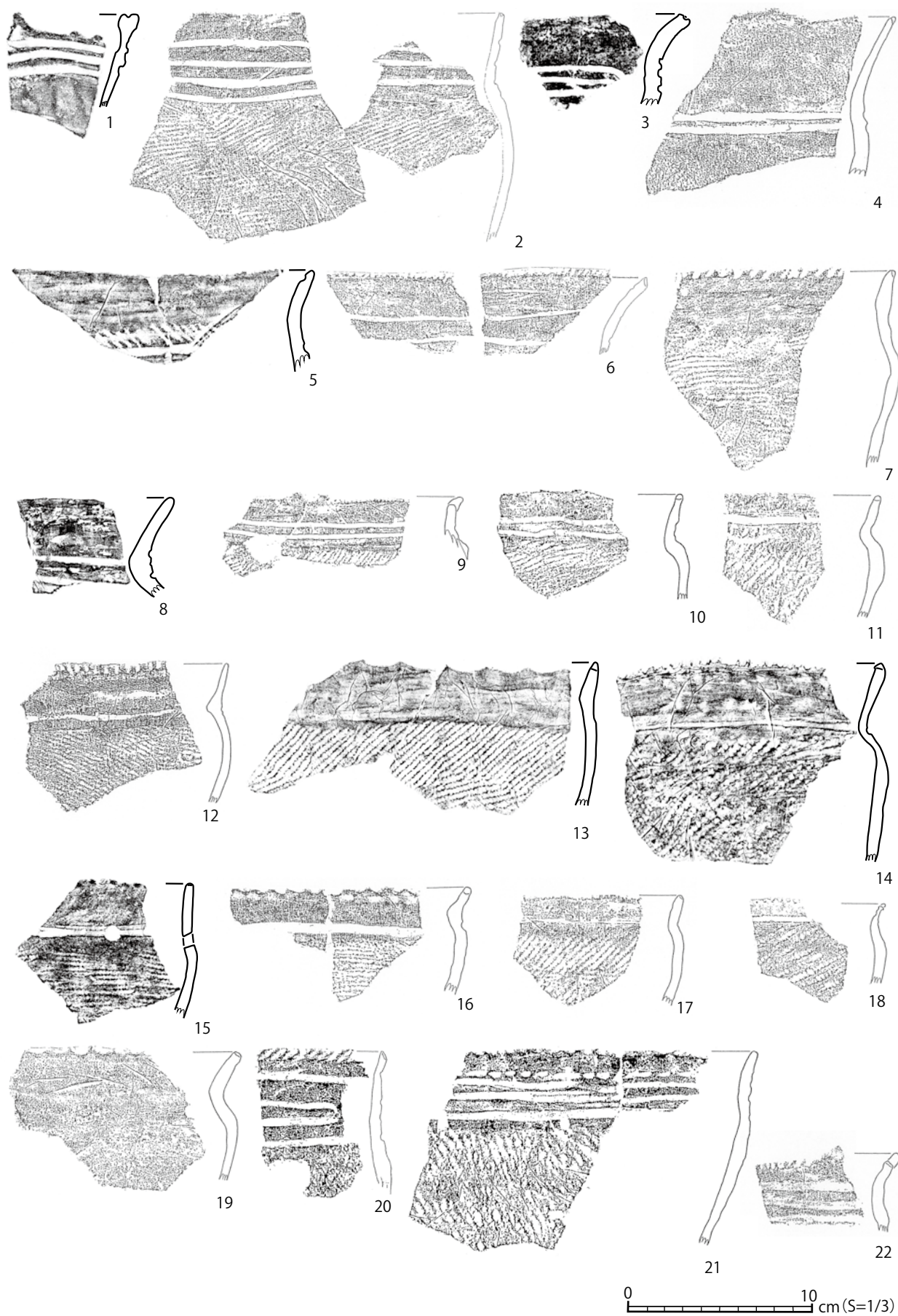


图 14 山王囤遗迹西区VI层出土土器拓影(1) 1: VI a层 2~22: VI b层





図15 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影(2) 1～22 : Ⅵb層

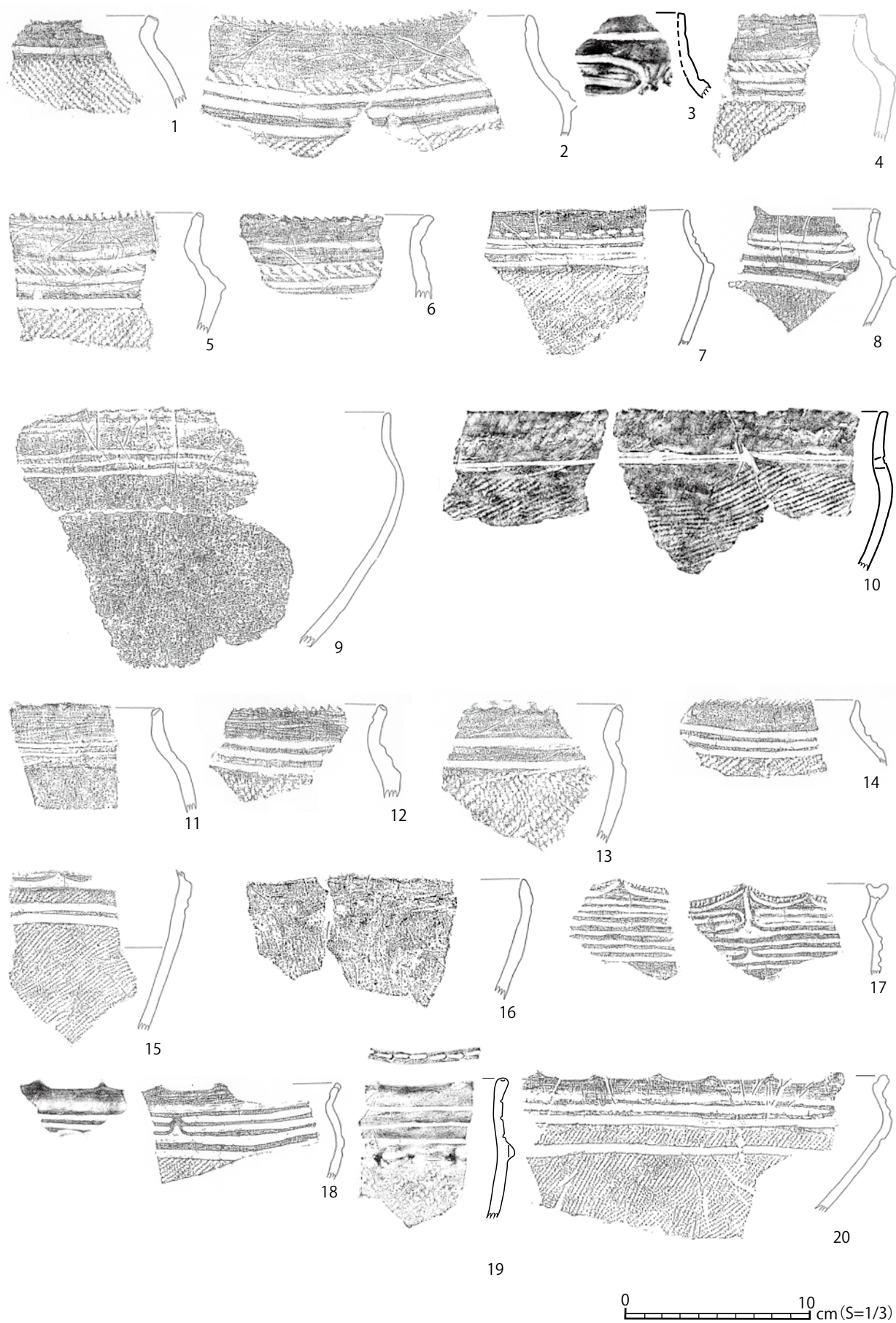


图 16 山王囤遗迹西区VI层出土土器拓影(3) 1~20: VI b 层



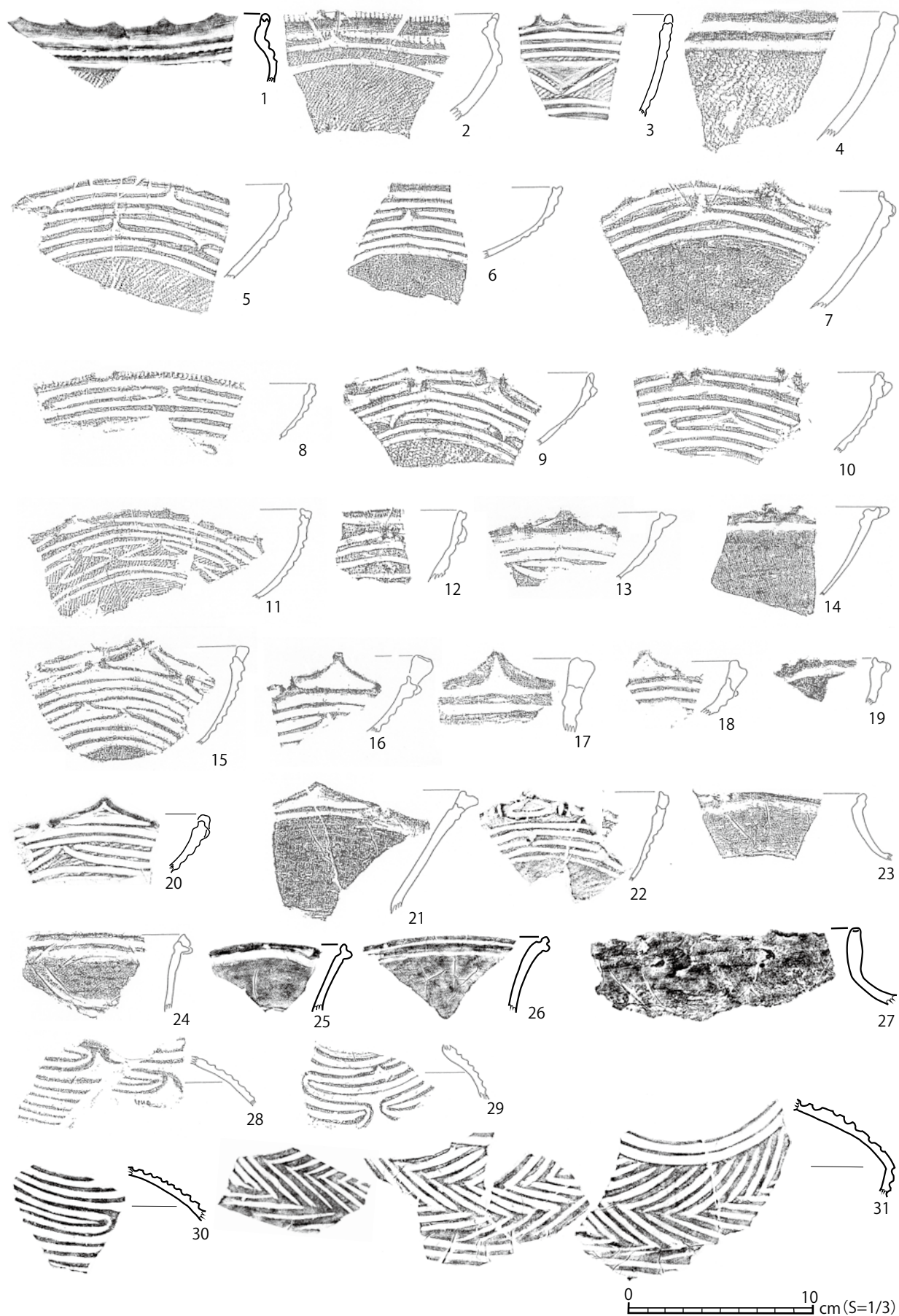


図17 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影(4) 1~31: Ⅵb層



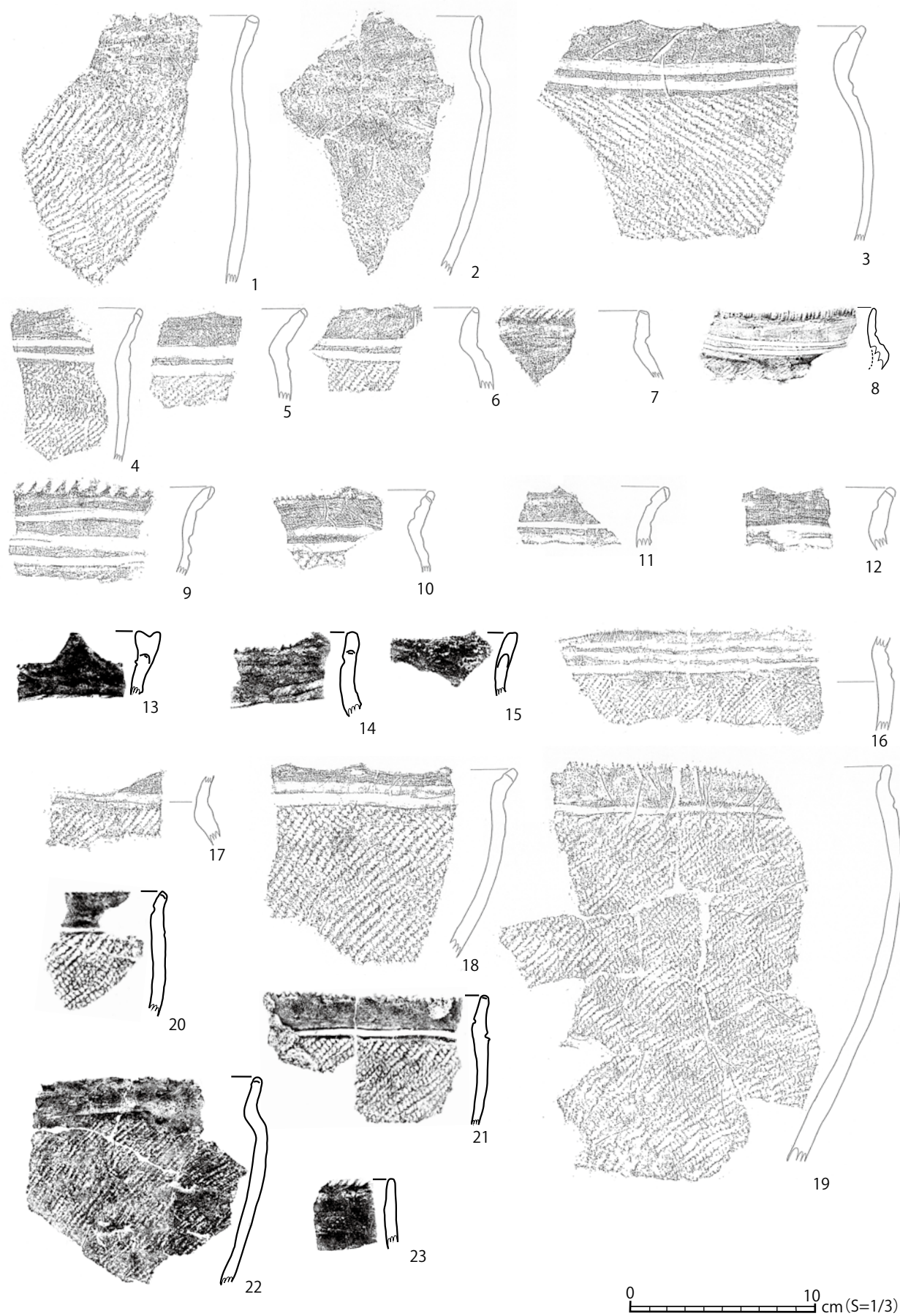


图 18 山王囤遗迹西区VI层出土土器拓影(5) 1~23: VI d层

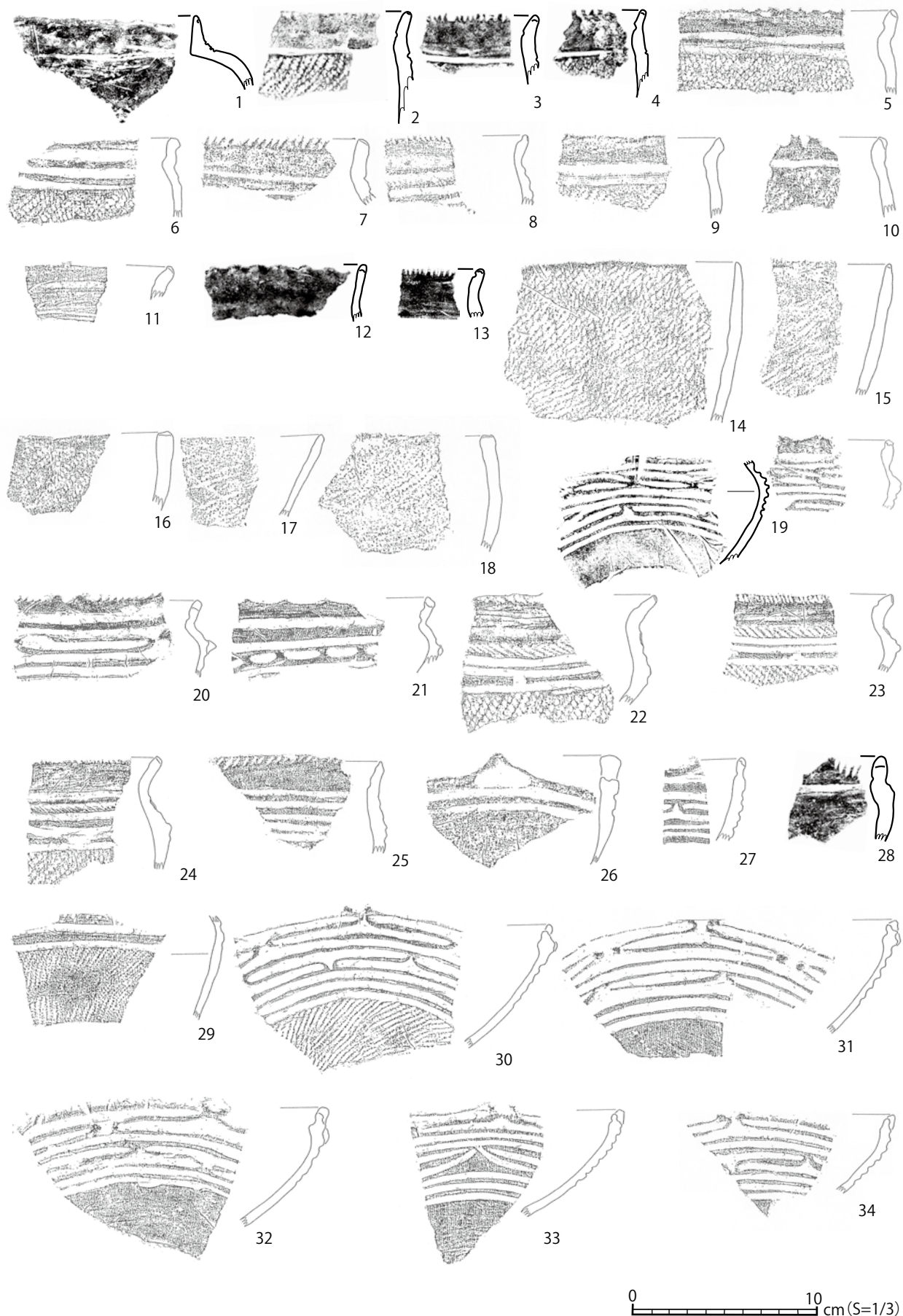


図19 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影(6) 1～34：Ⅵd層



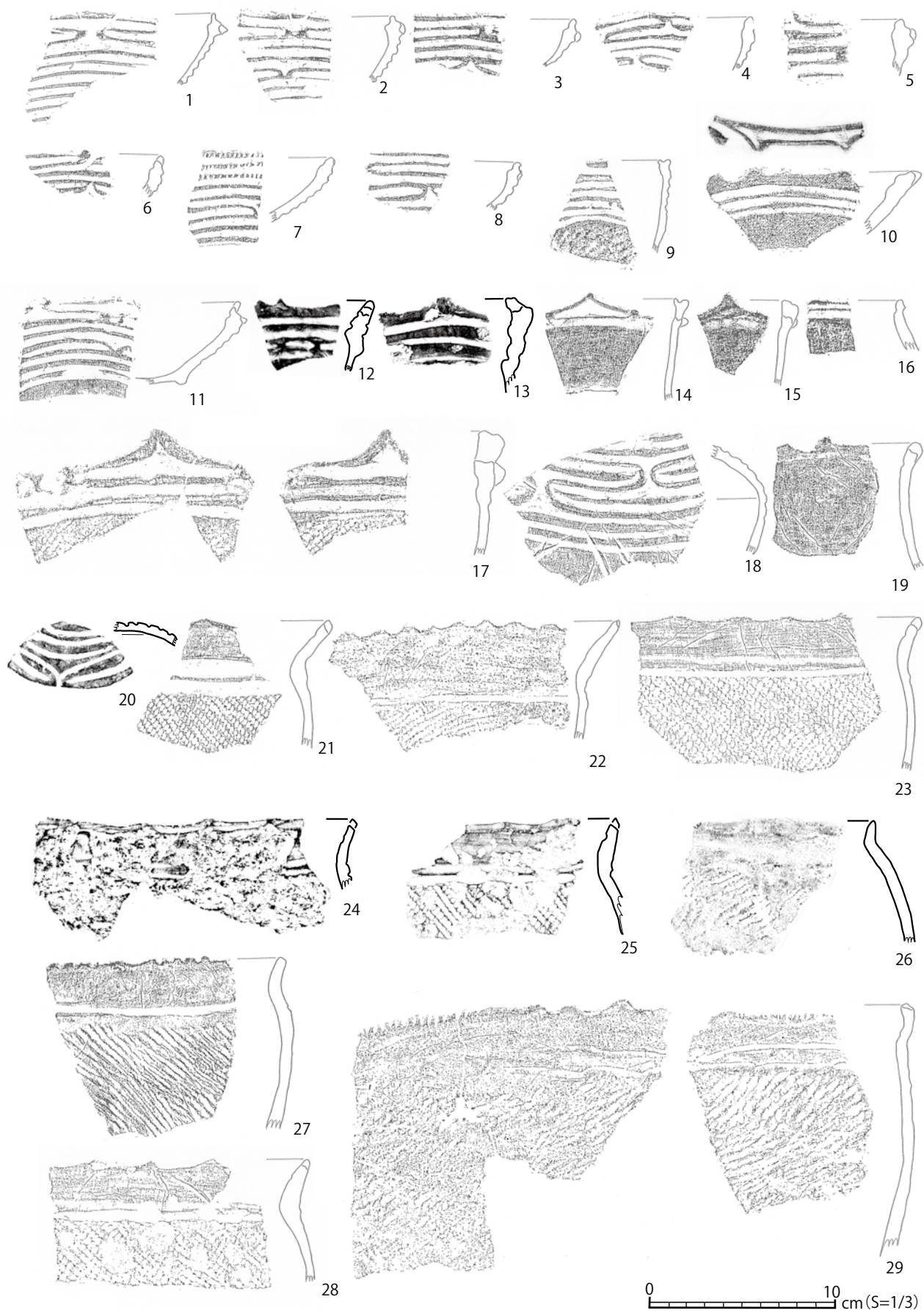


图20 山王囤遗迹西区VI层出土土器拓影(7) 1~20: VI d层 21~29: VI e层

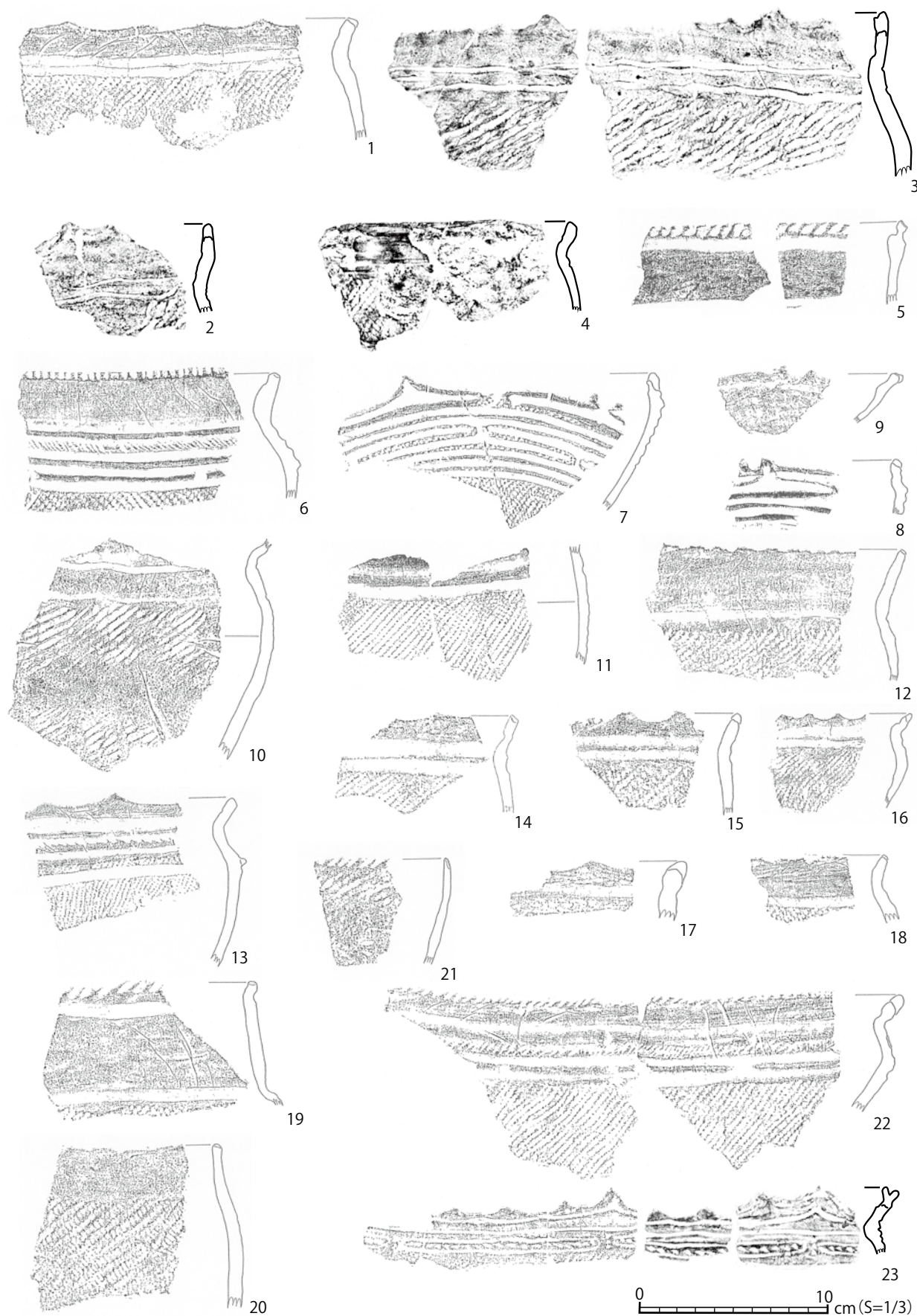


図21 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影(8) 1～9：Ⅵe層 10～23：Ⅵf層





图22 山王囤遗迹西区VI层出土土器拓影(9) 1~26: VI f层



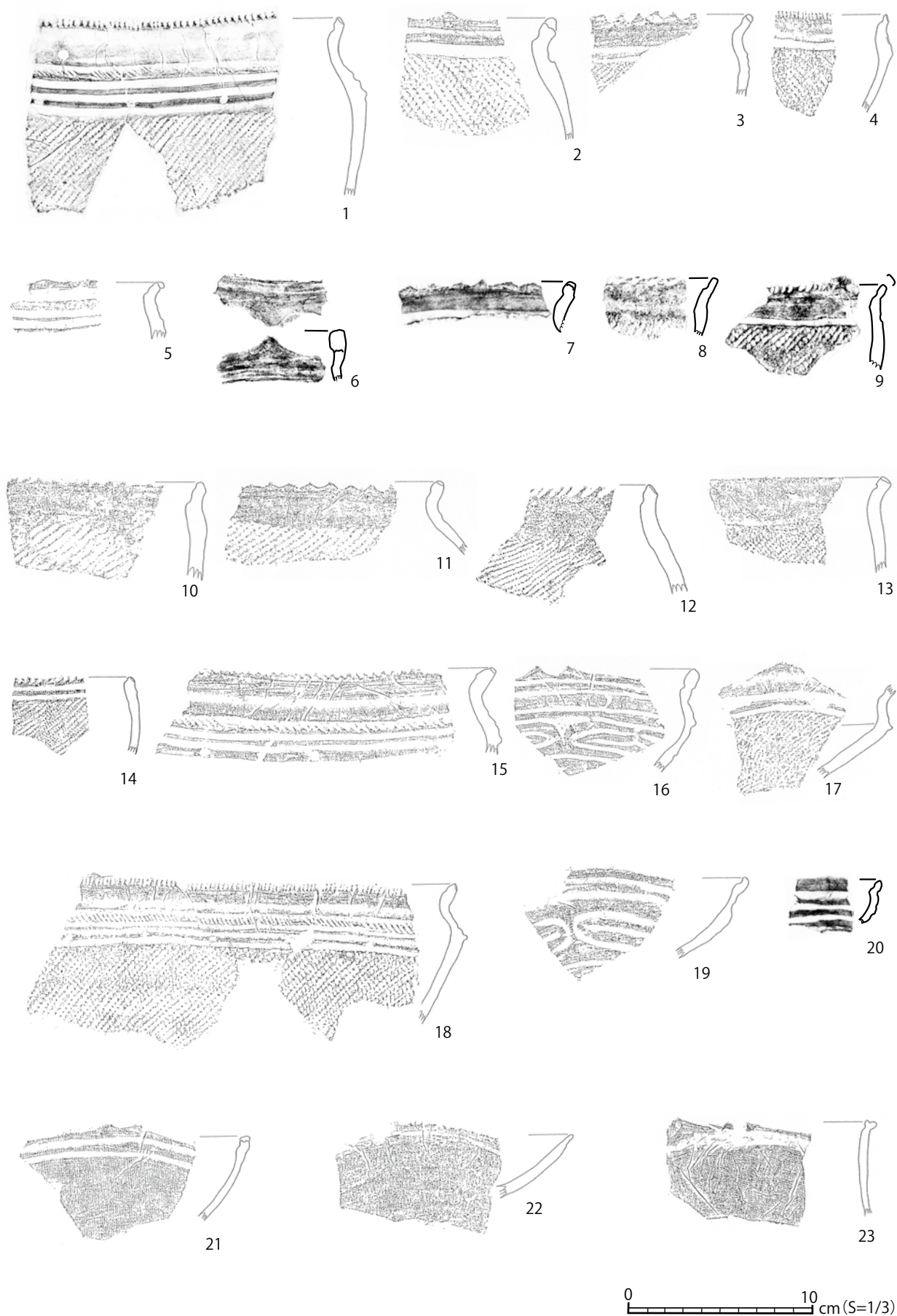


図23 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影(10) 1～23 : Ⅵg層

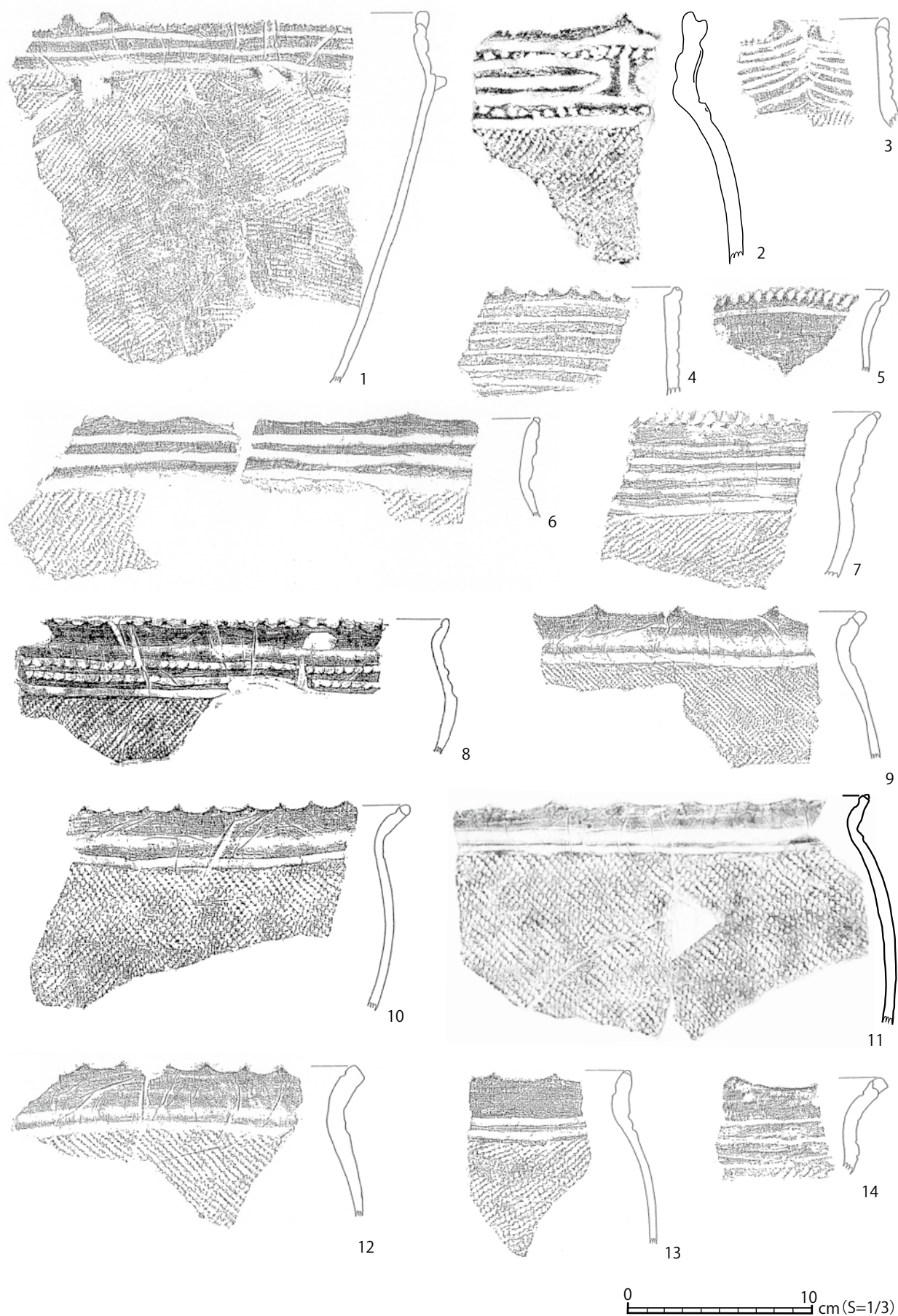


图24 山王囤遗迹西区VI层出土土器拓影(11) 1~14: VIh层



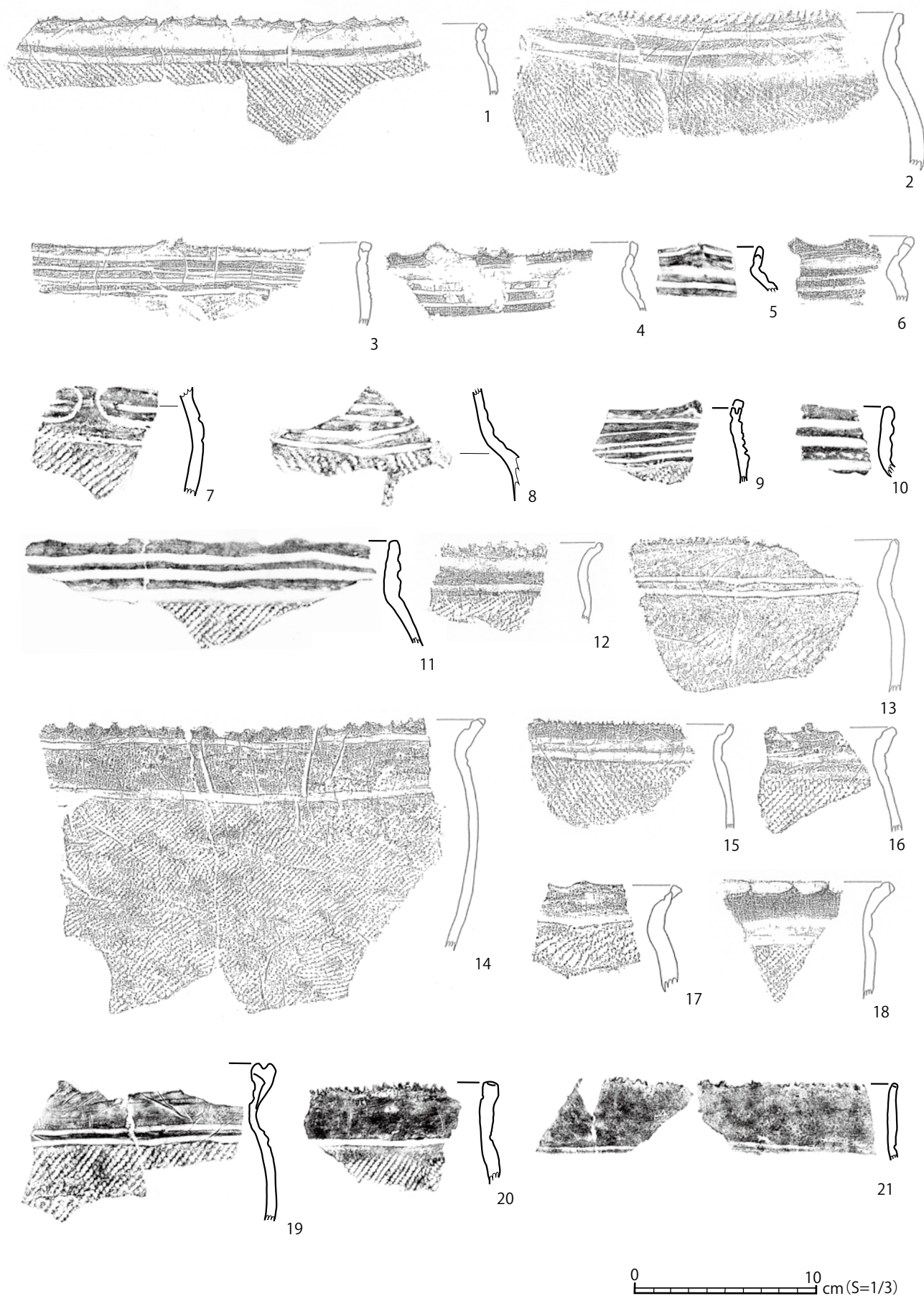


図25 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影(12) 1~21:Ⅵh層

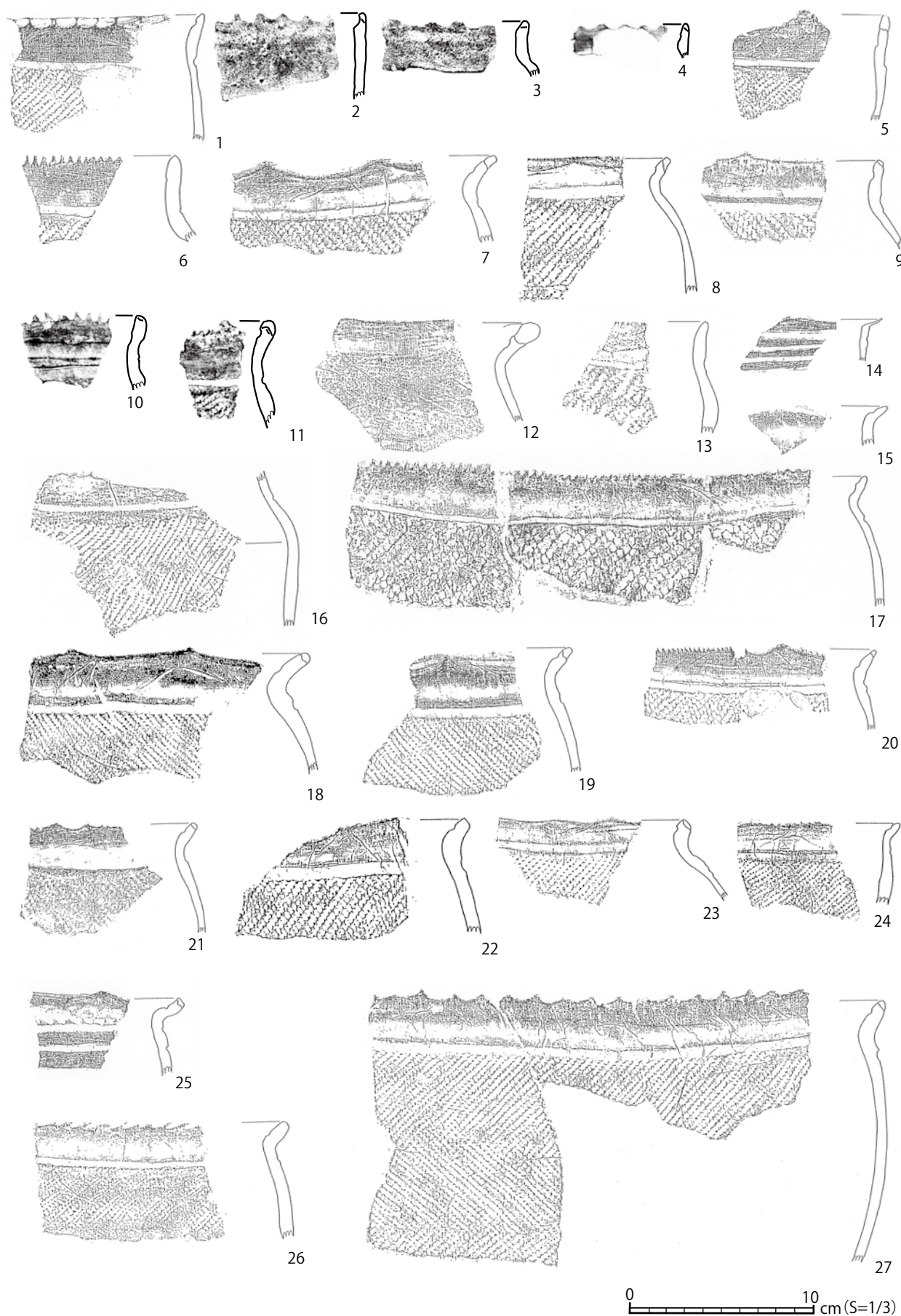


图26 山王囤遗迹西区VI层出土土器拓影(13) 1~27: VIh层



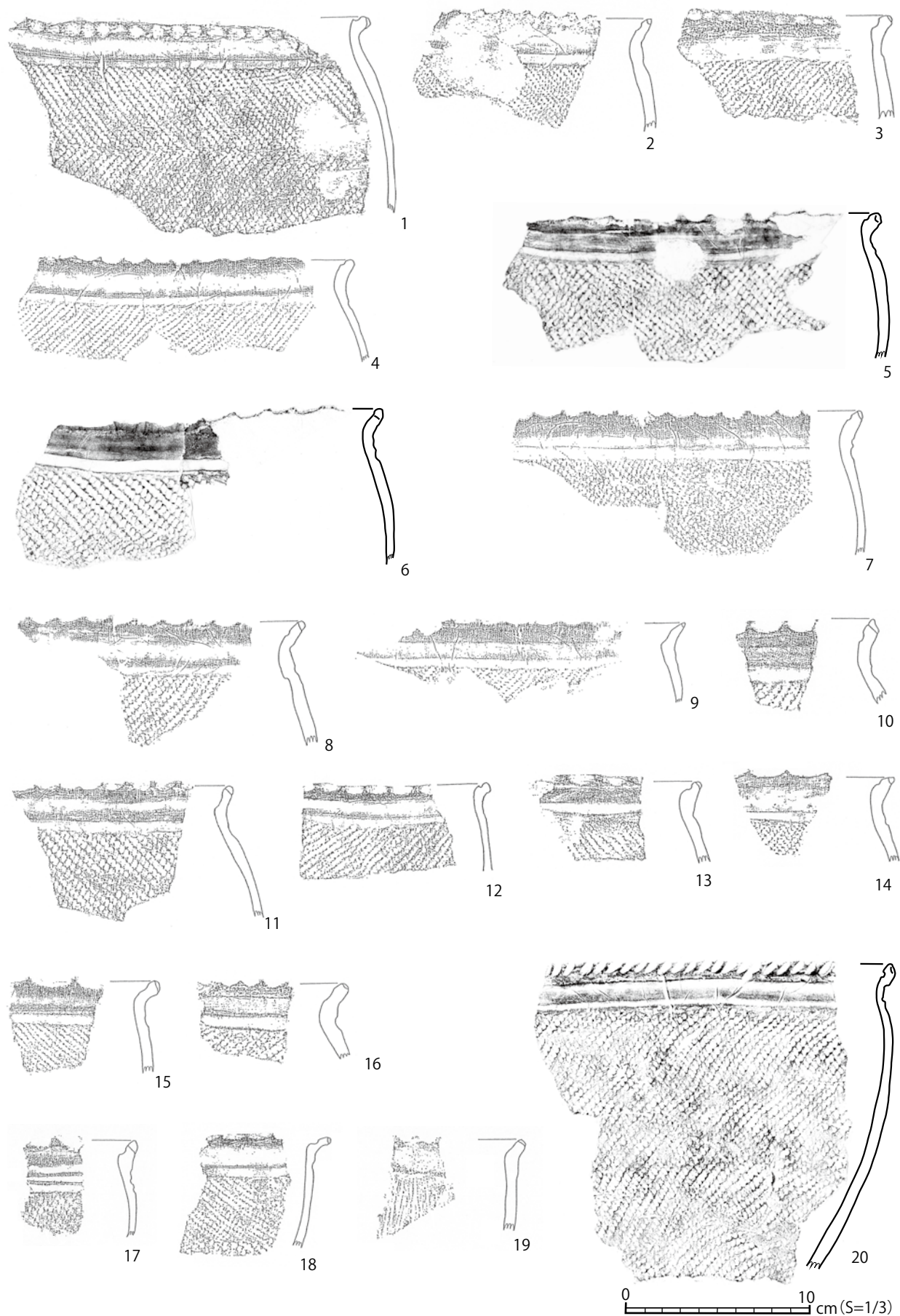


図27 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影(14) 1~20:Ⅵh層



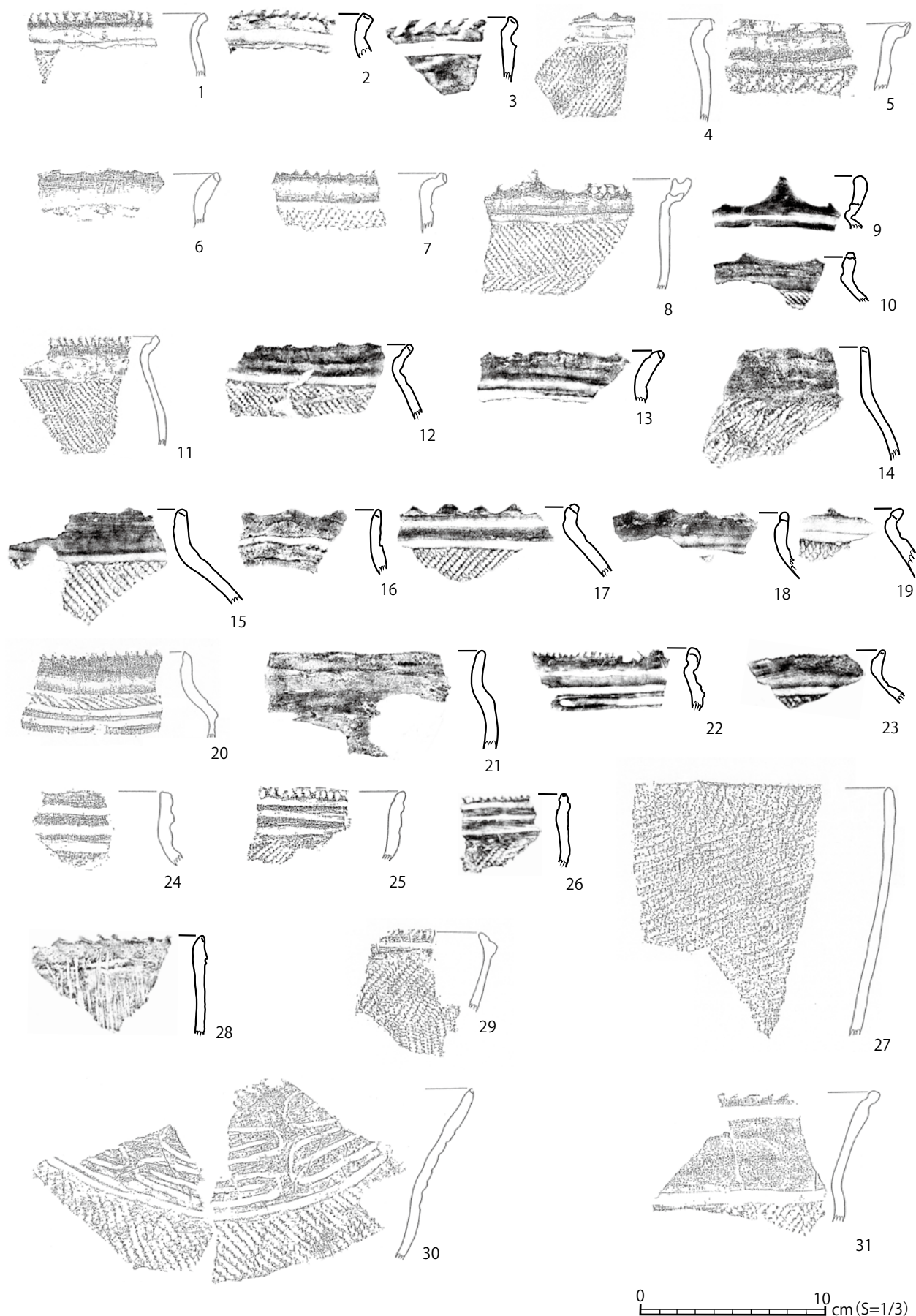


图28 山王囤遗迹西区VI层出土土器拓影(15) 1~31: VIh层

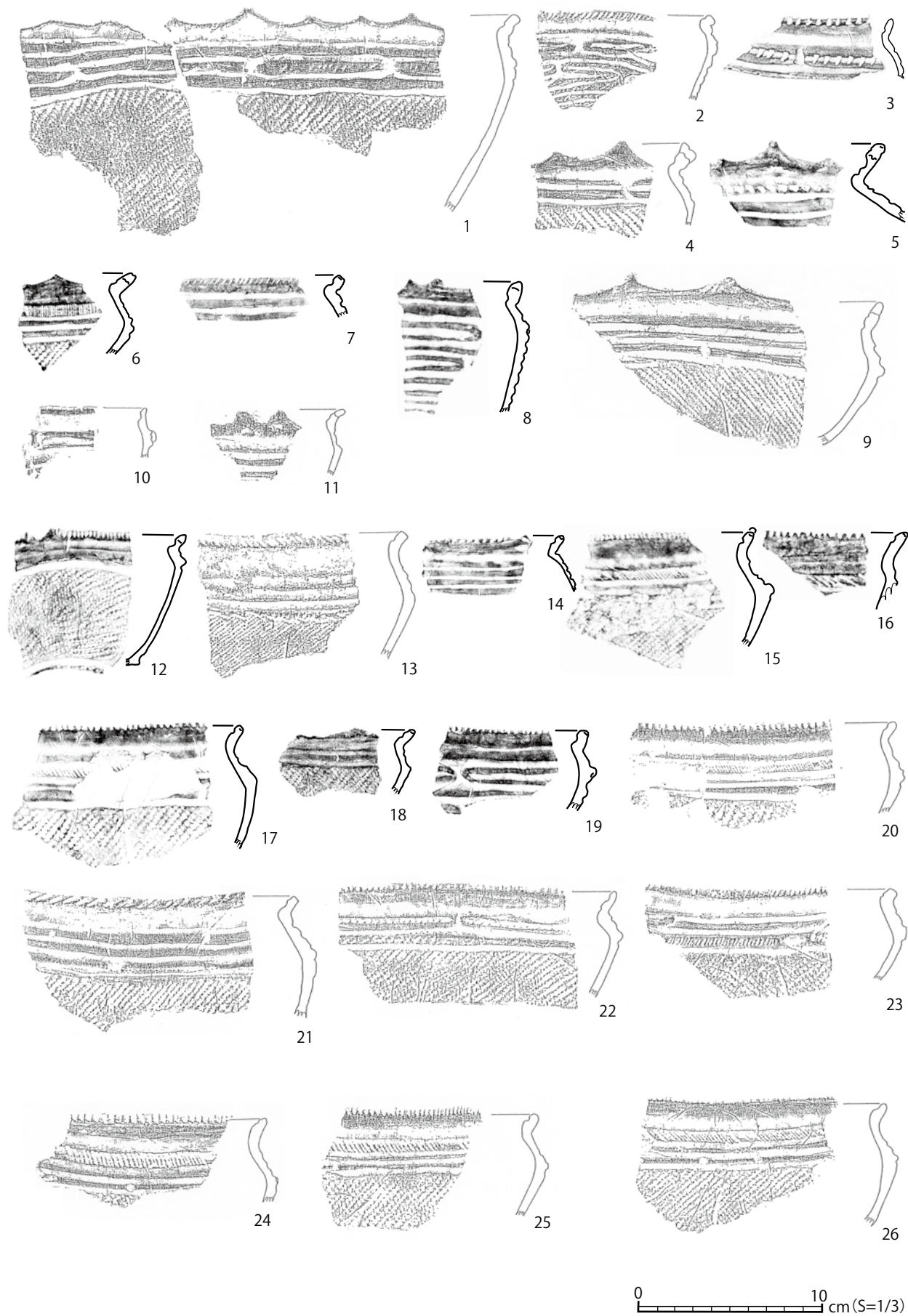


図29 山王圀遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影(16) 1～26：Ⅵh層



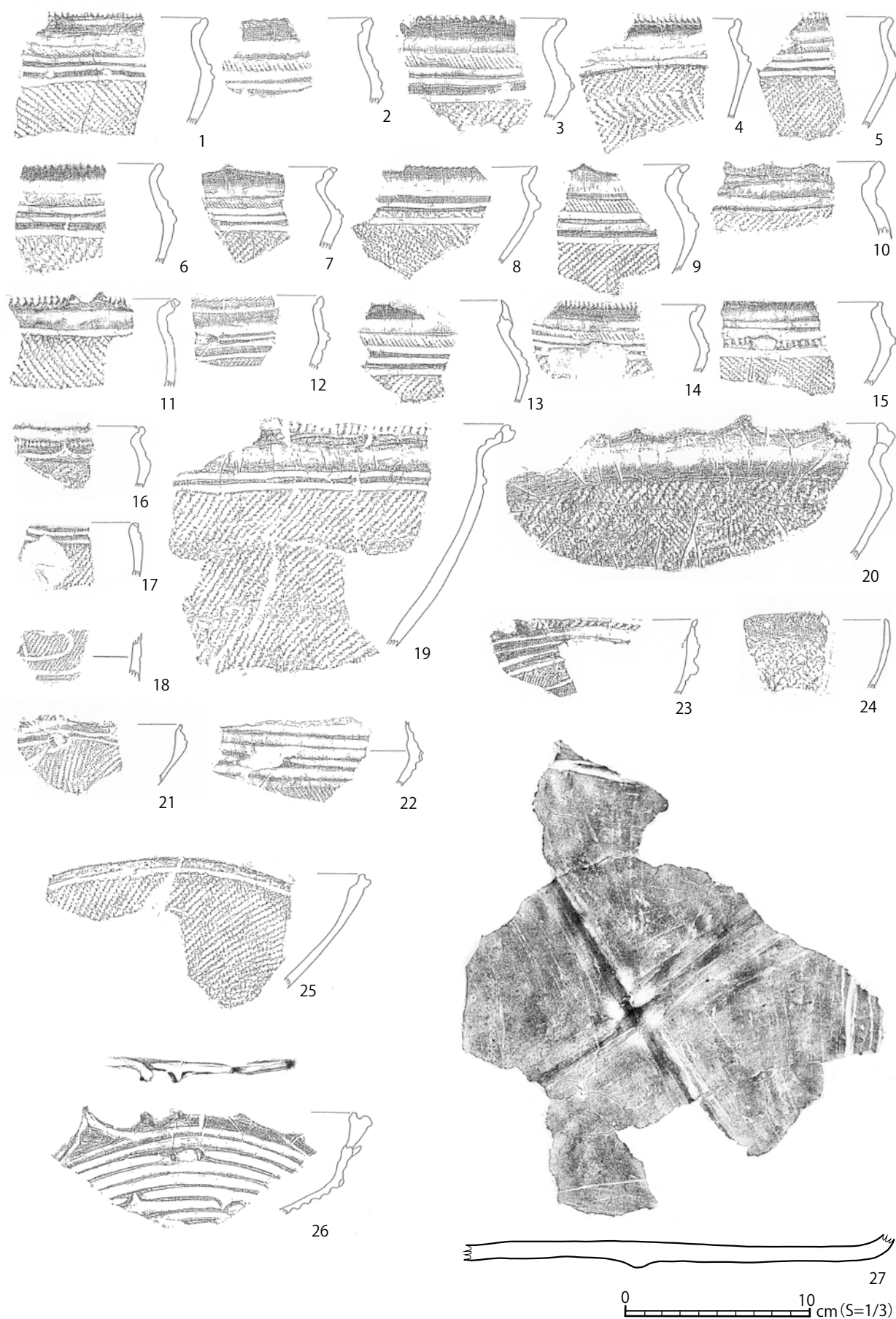


图30 山王囤遗迹西区VI层出土土器拓影(17) 1~27: VIh层

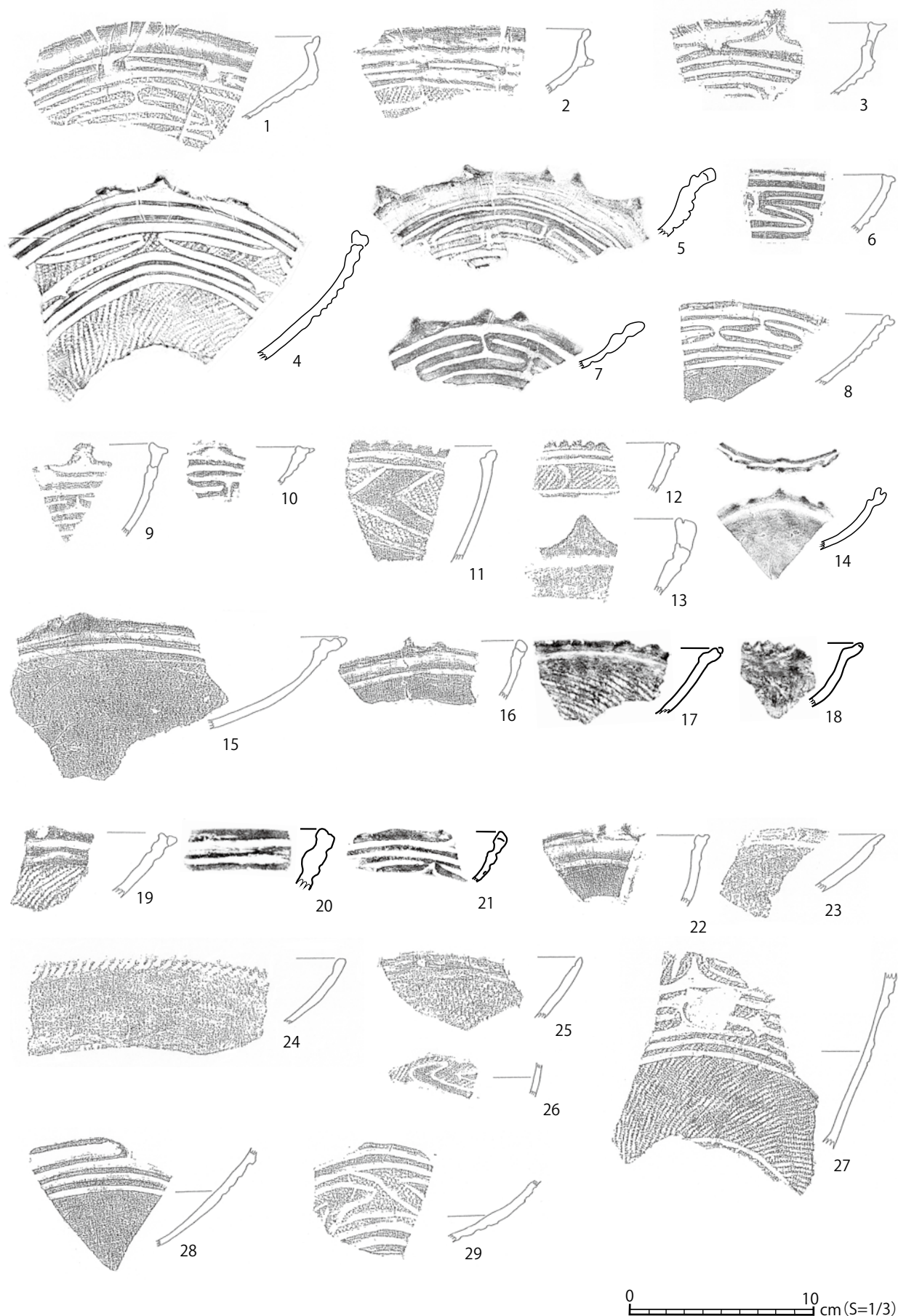


図31 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影(18) 1~29:Ⅵh層



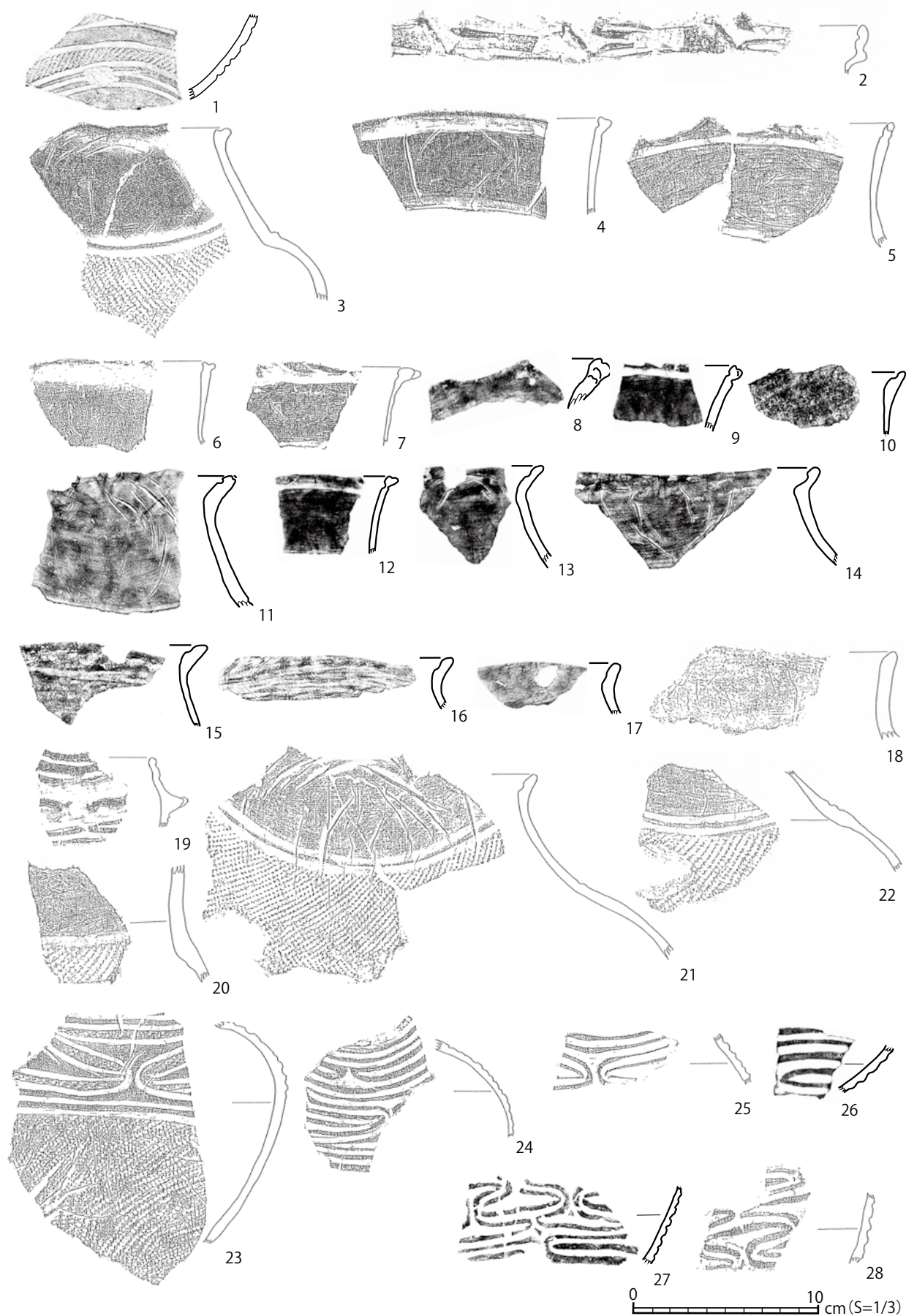
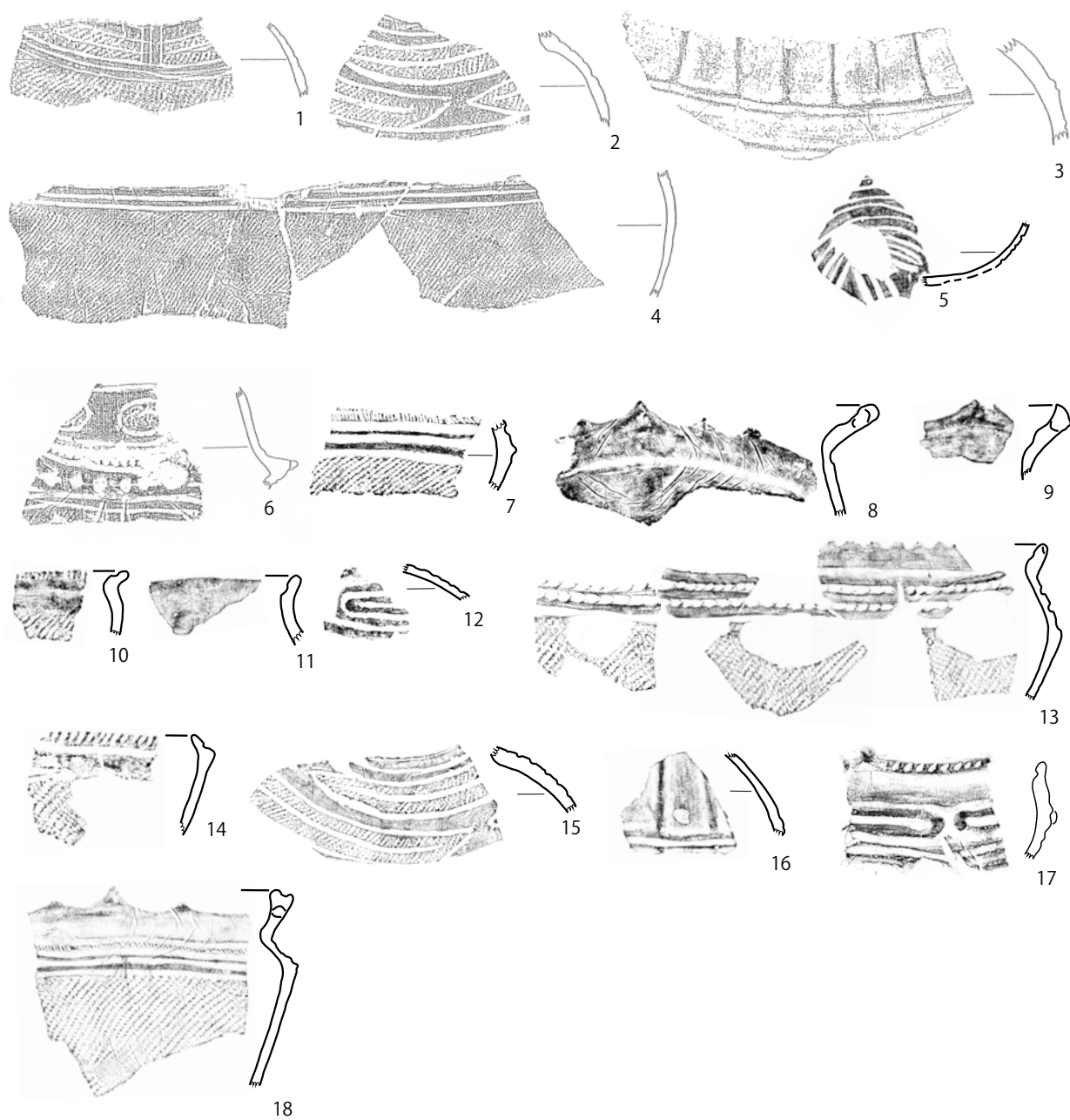


图32 山王囤遗迹西区VI层出土土器拓影(19) 1~28: VIh层





0 10 cm (S=1/3)

図33 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器拓影(20) 1～6:Ⅵh層 7～12:Ⅵh2層 13～16:Ⅵh3層 17,18:Ⅵi層

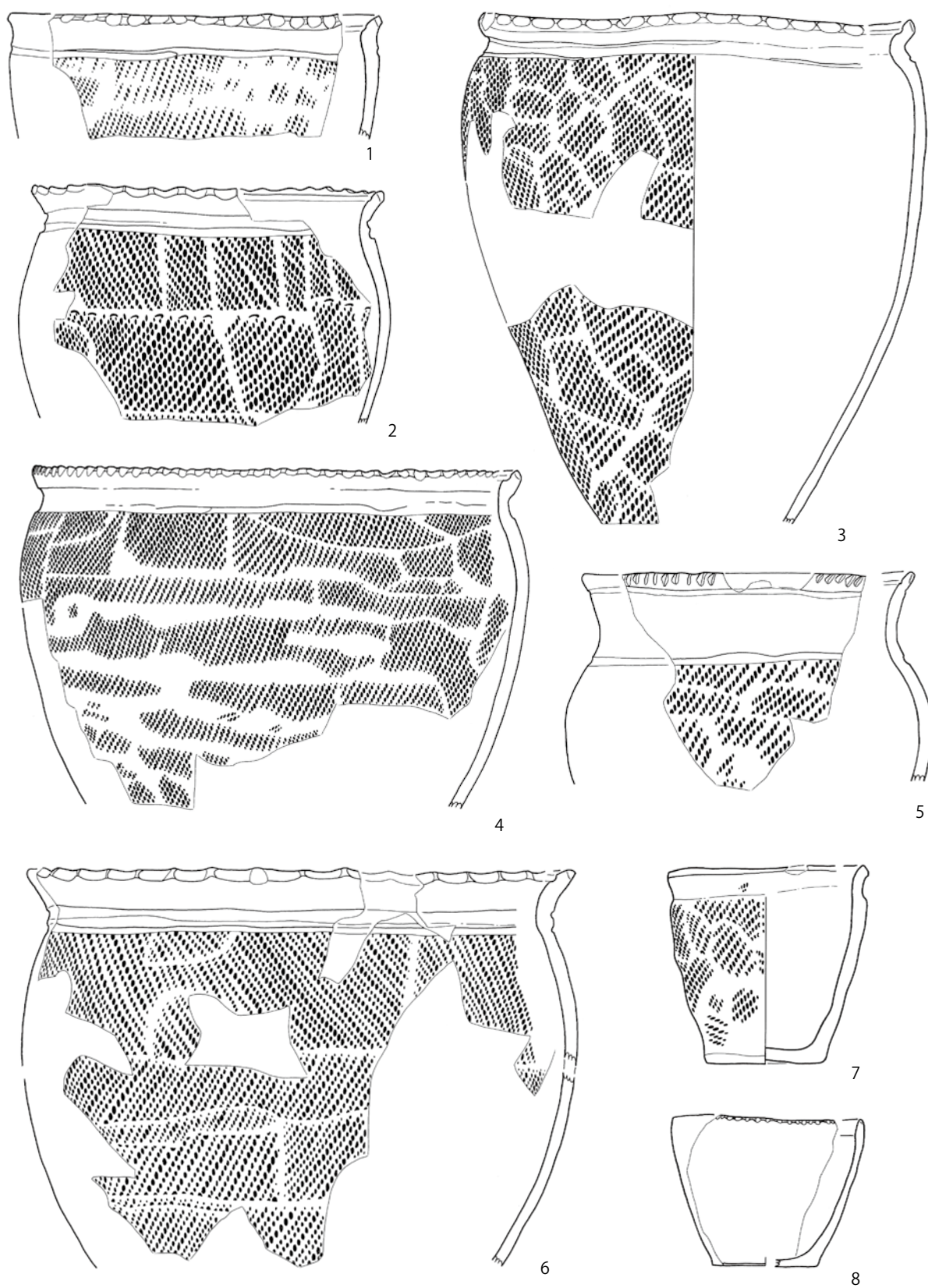


图34 山王困遺跡西区Ⅶ層出土土器(1) 1~8:Ⅶa層

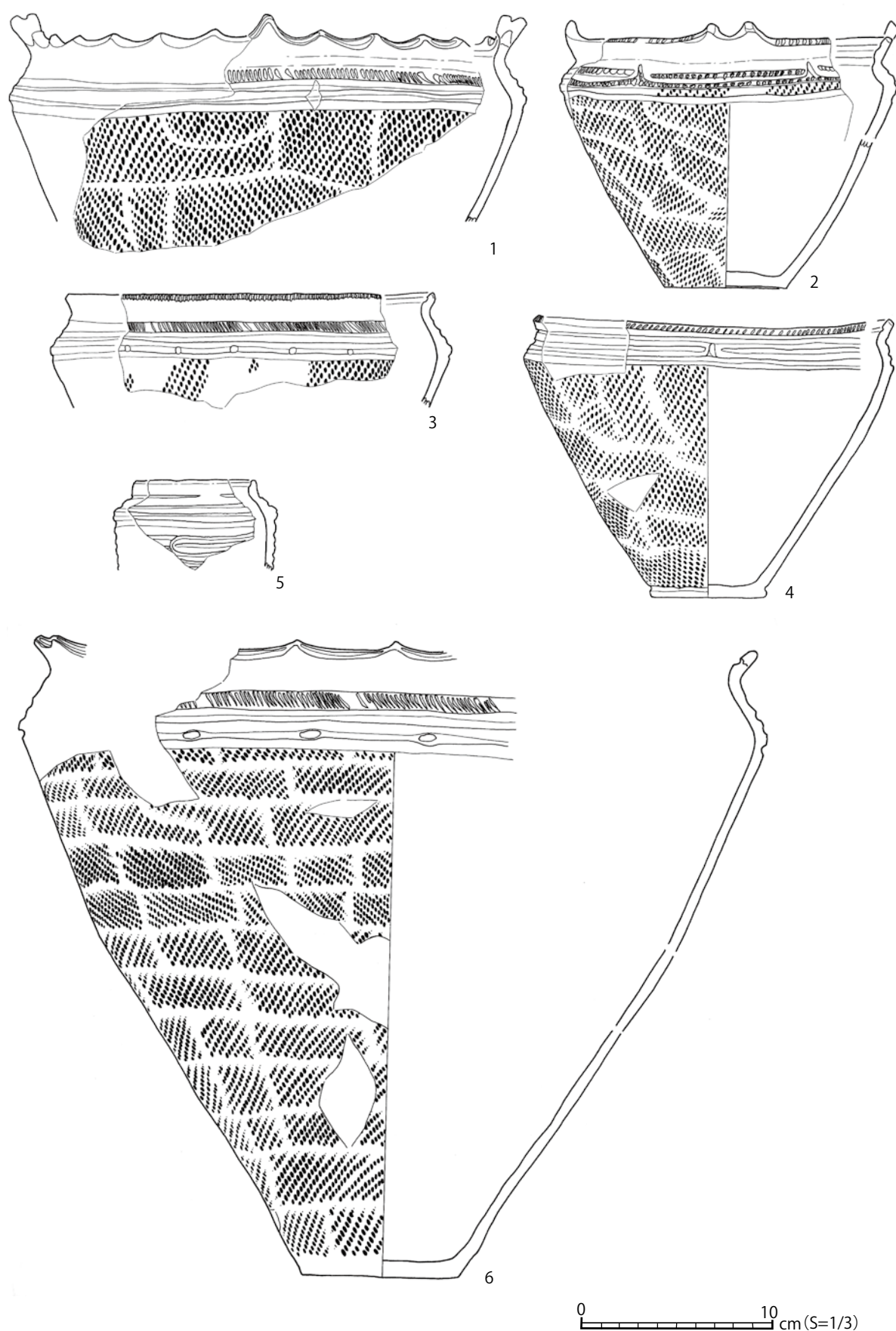


図 35 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器(2) 1～6:Ⅶa層



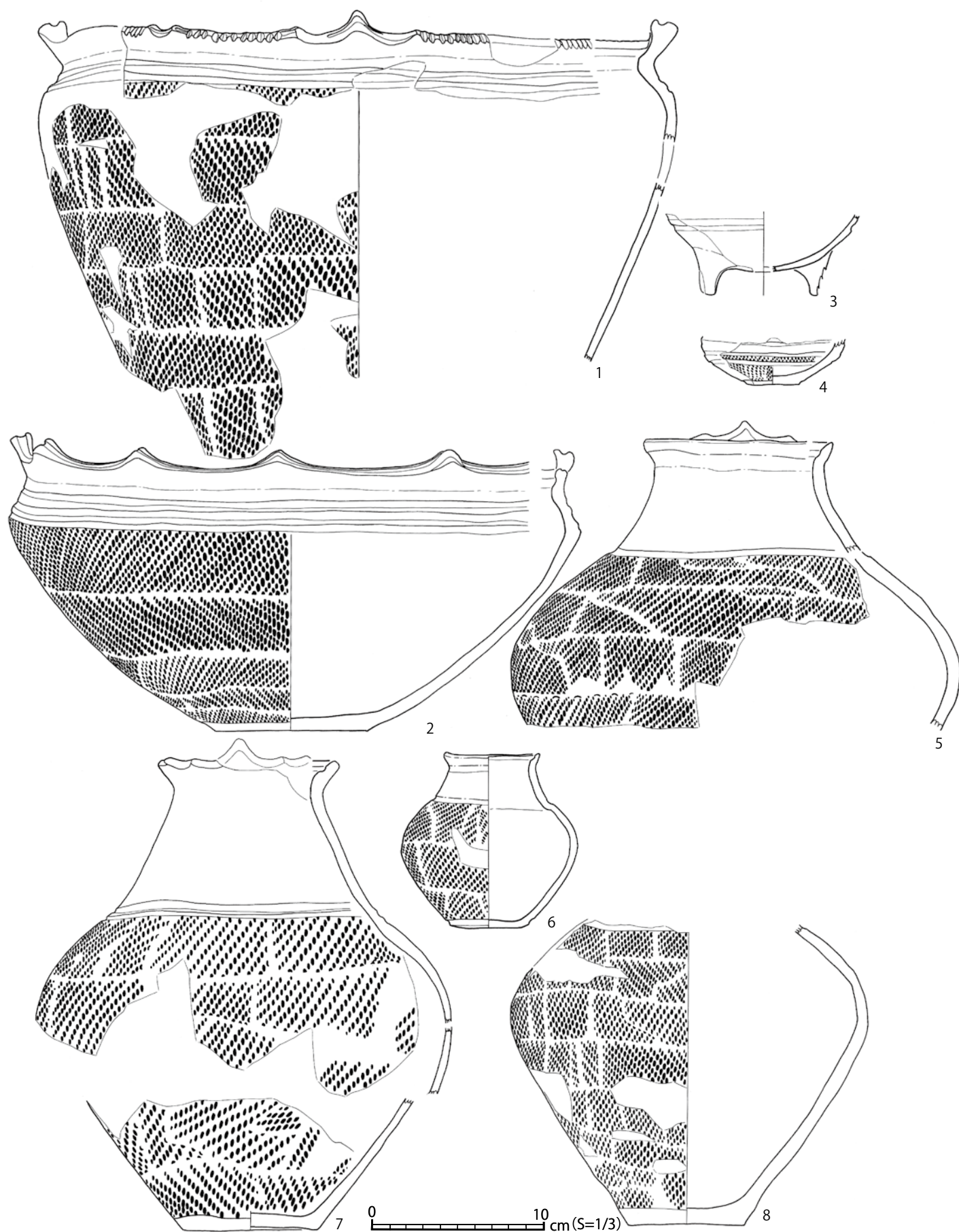


图 36 山王囤遗迹西区Ⅶ层出土土器(3) 1~8:Ⅶa层



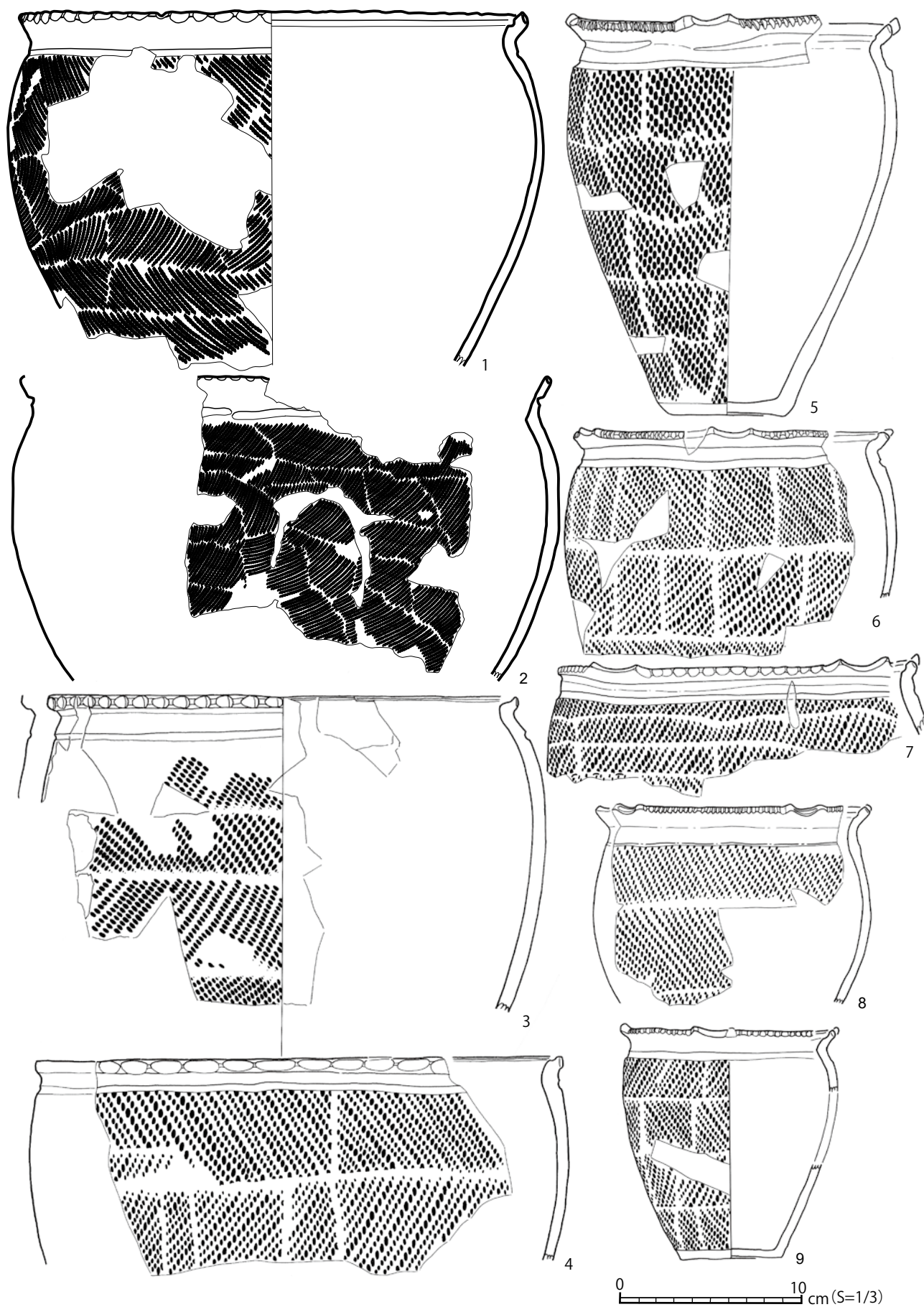


図37 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器(4) 1~9:Ⅶb層

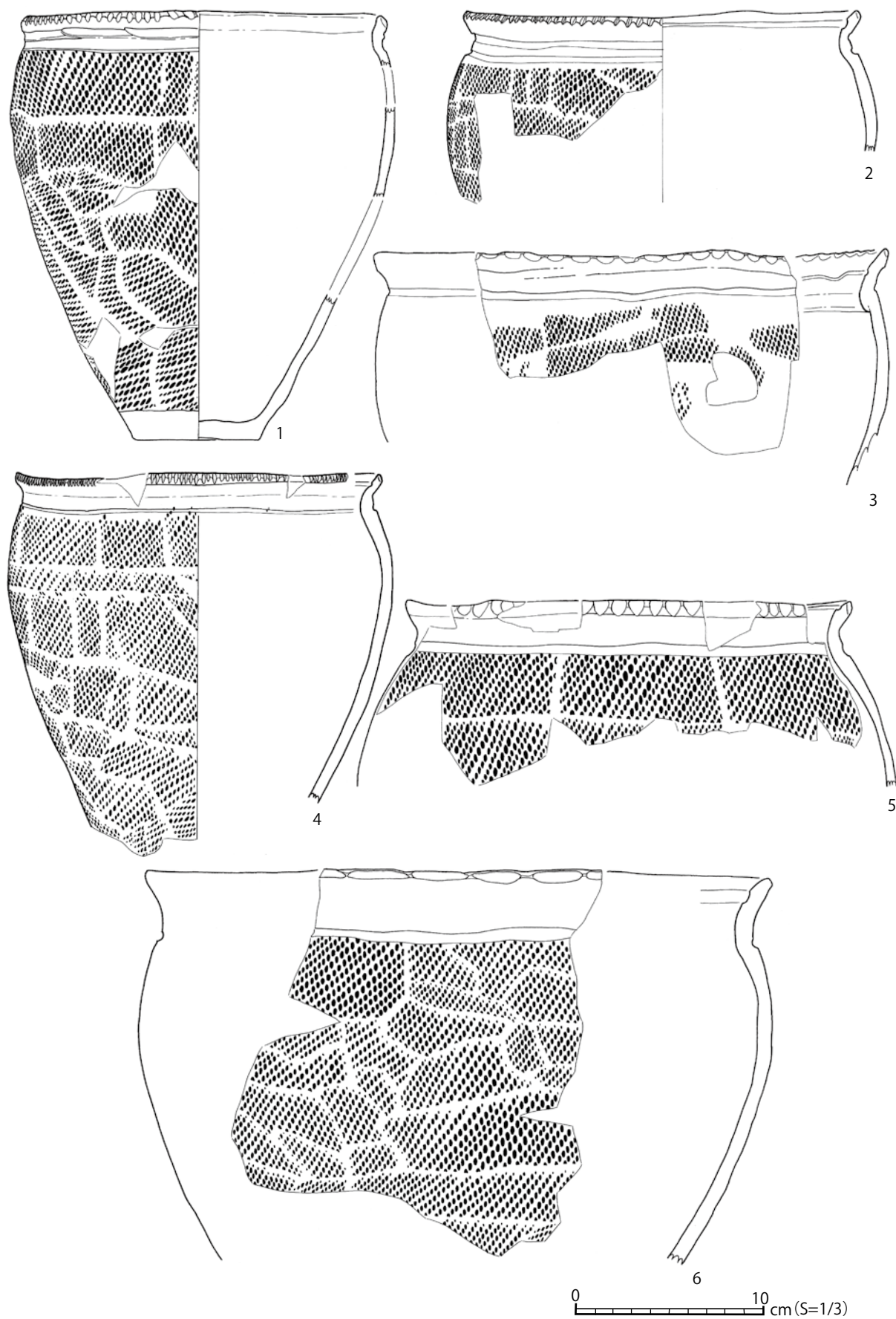


图 38 山王囤遗迹西区Ⅶ层出土土器(5) 1~6:Ⅶb层



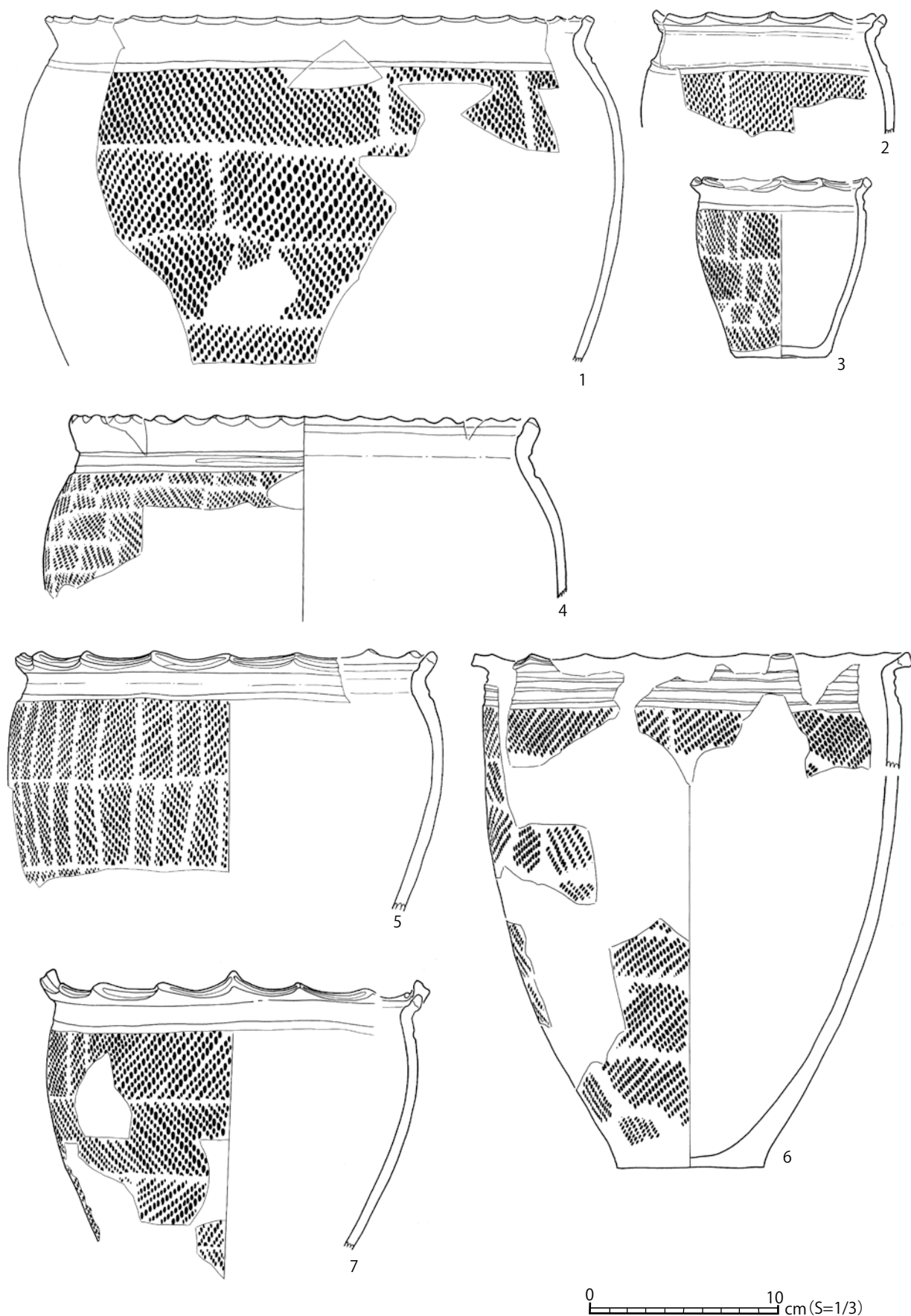


図39 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器(6) 1~7:Ⅶb層

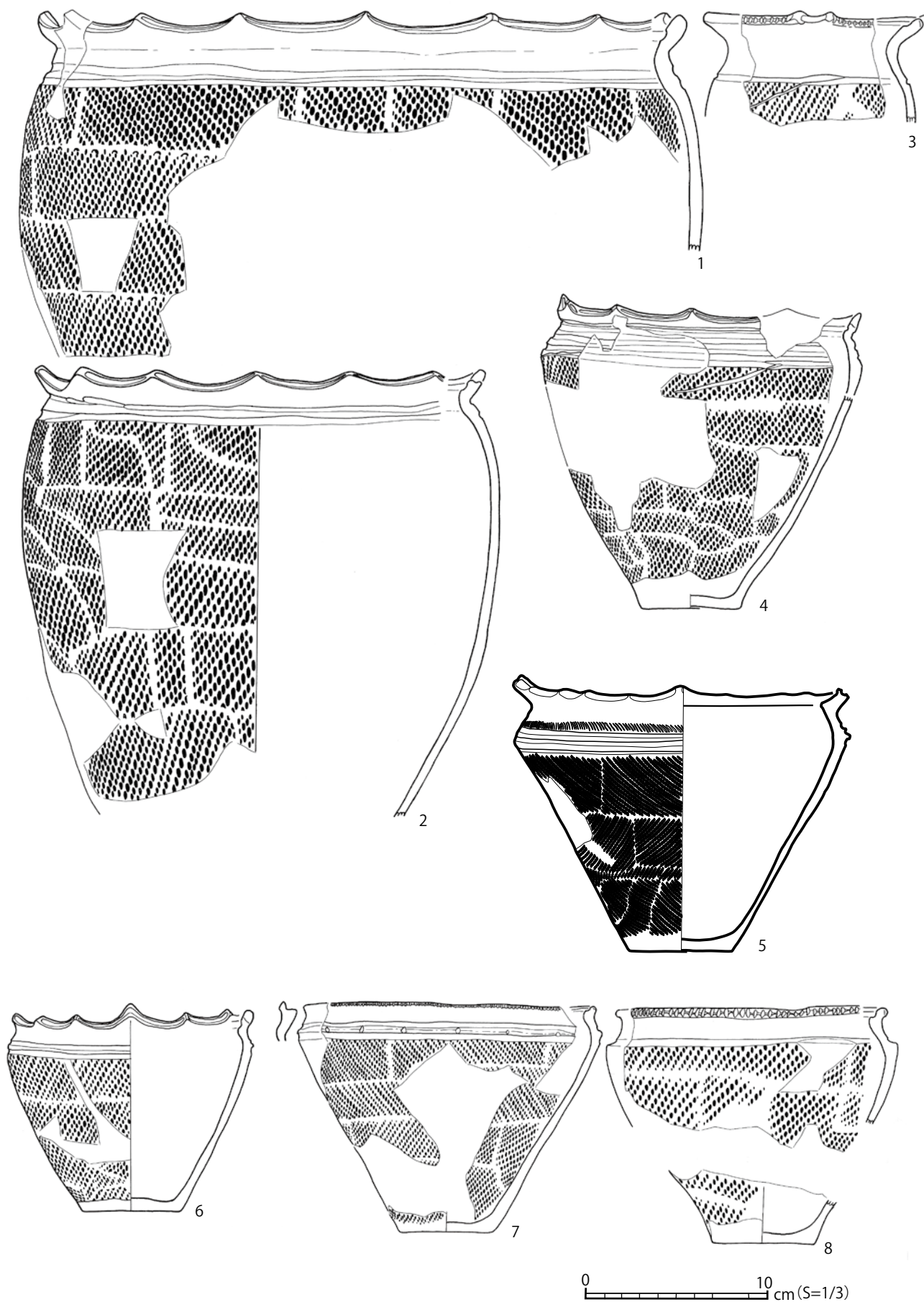


图40 山王囤遗迹西区Ⅶ层出土土器(7) 1~8:Ⅶb层



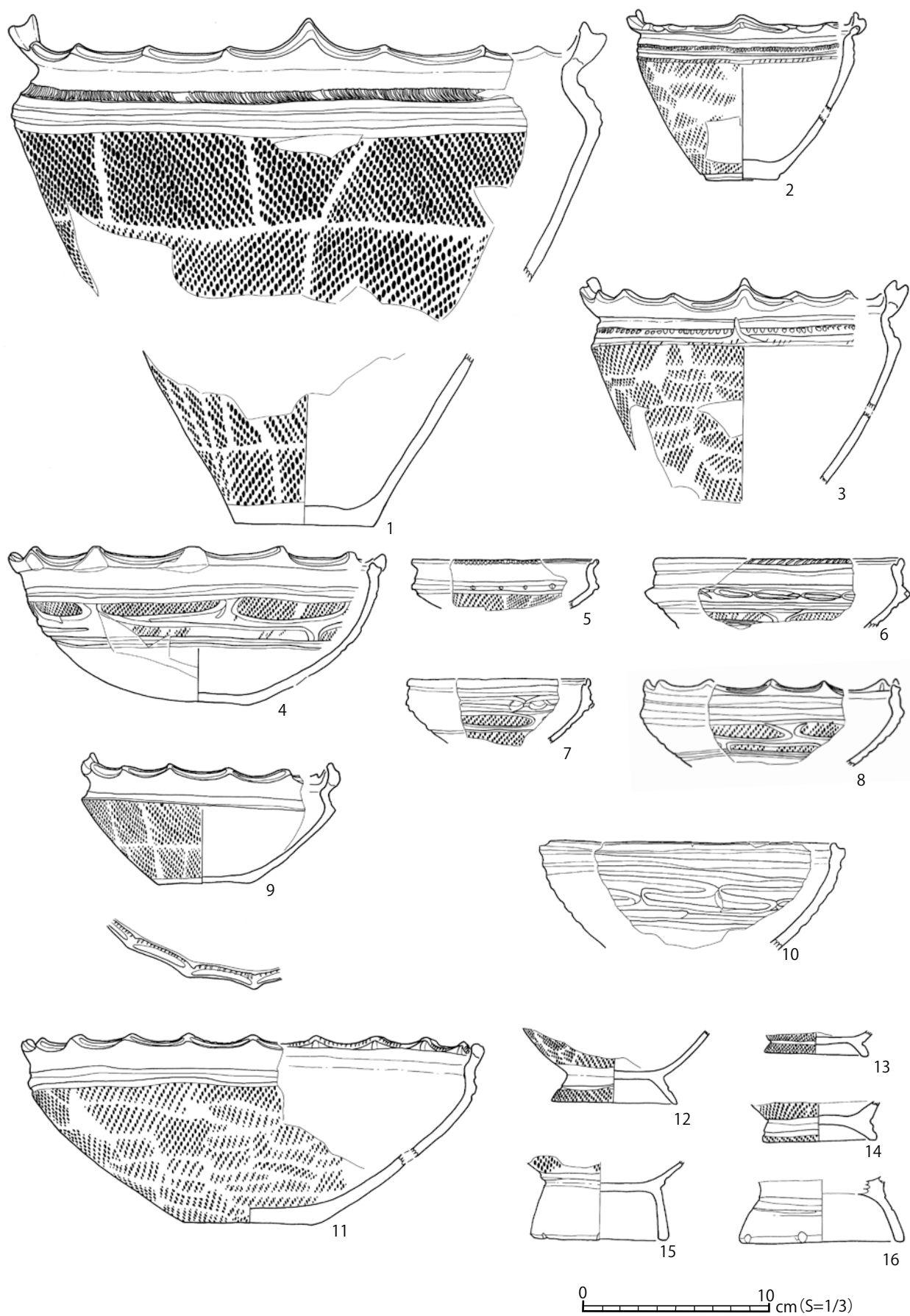


図41 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器(8) 1~16:Ⅶb層

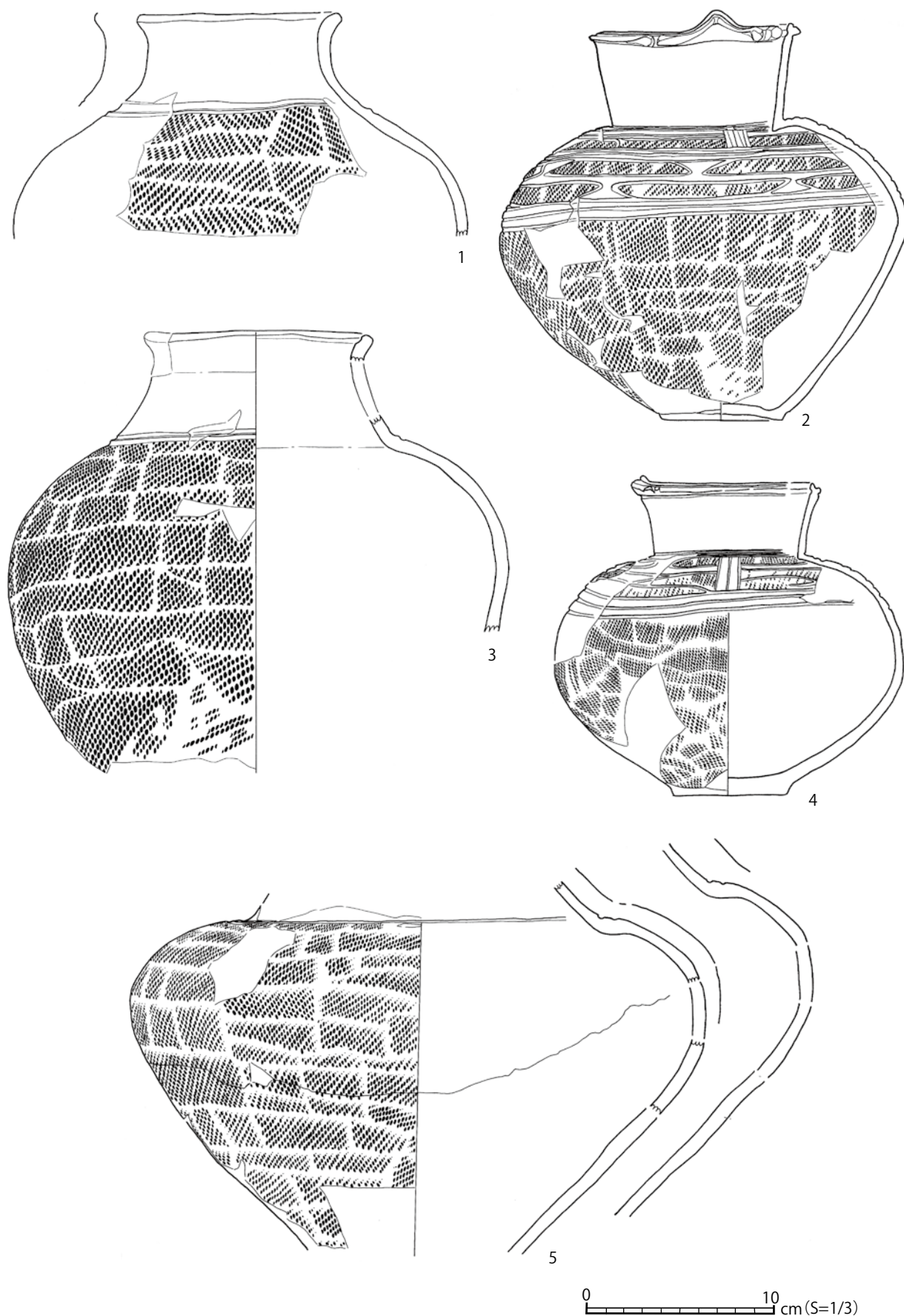


图 42 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器(9) 1~5:Ⅶb层

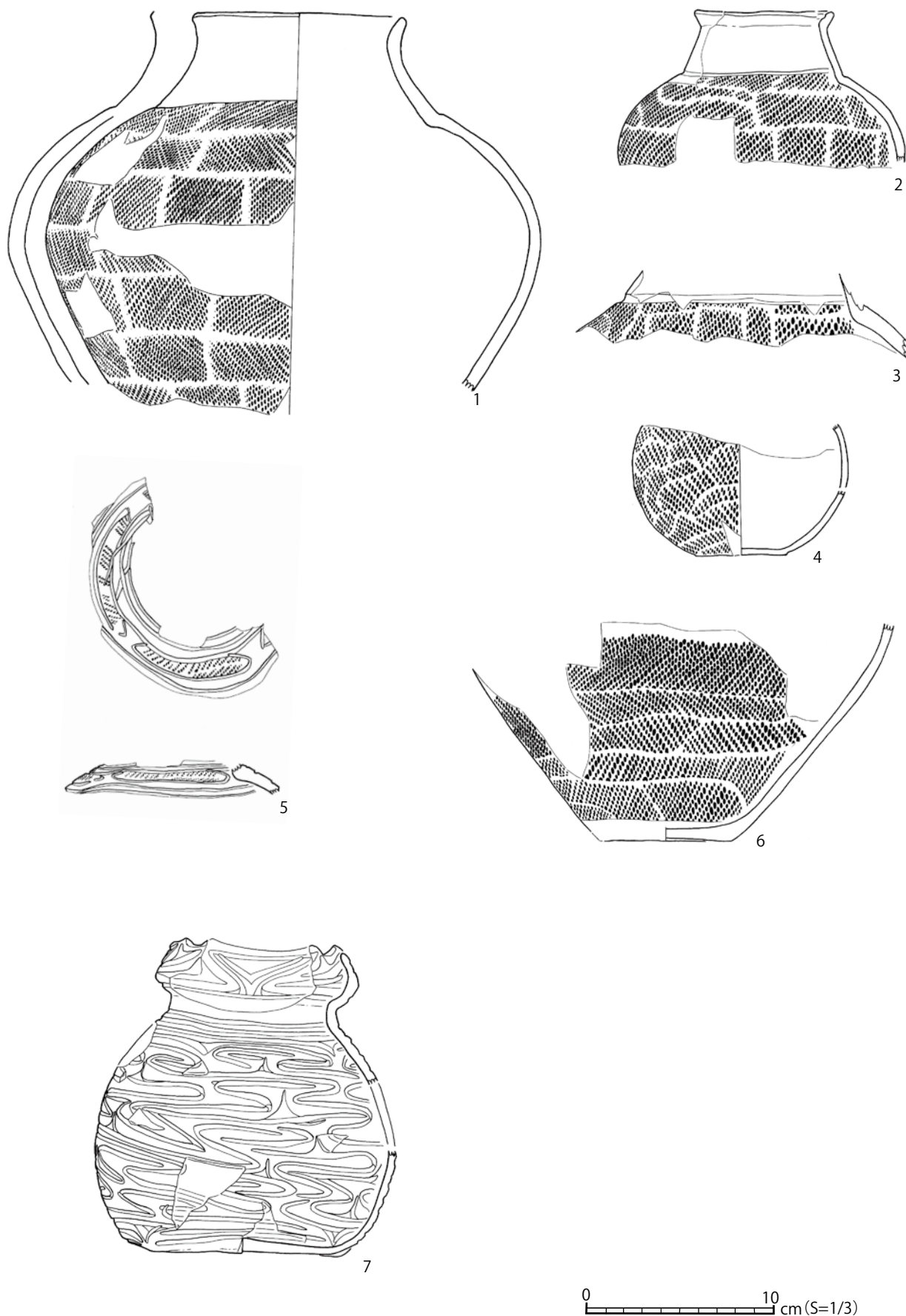


図43 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器(10) 1~7:Ⅶb層



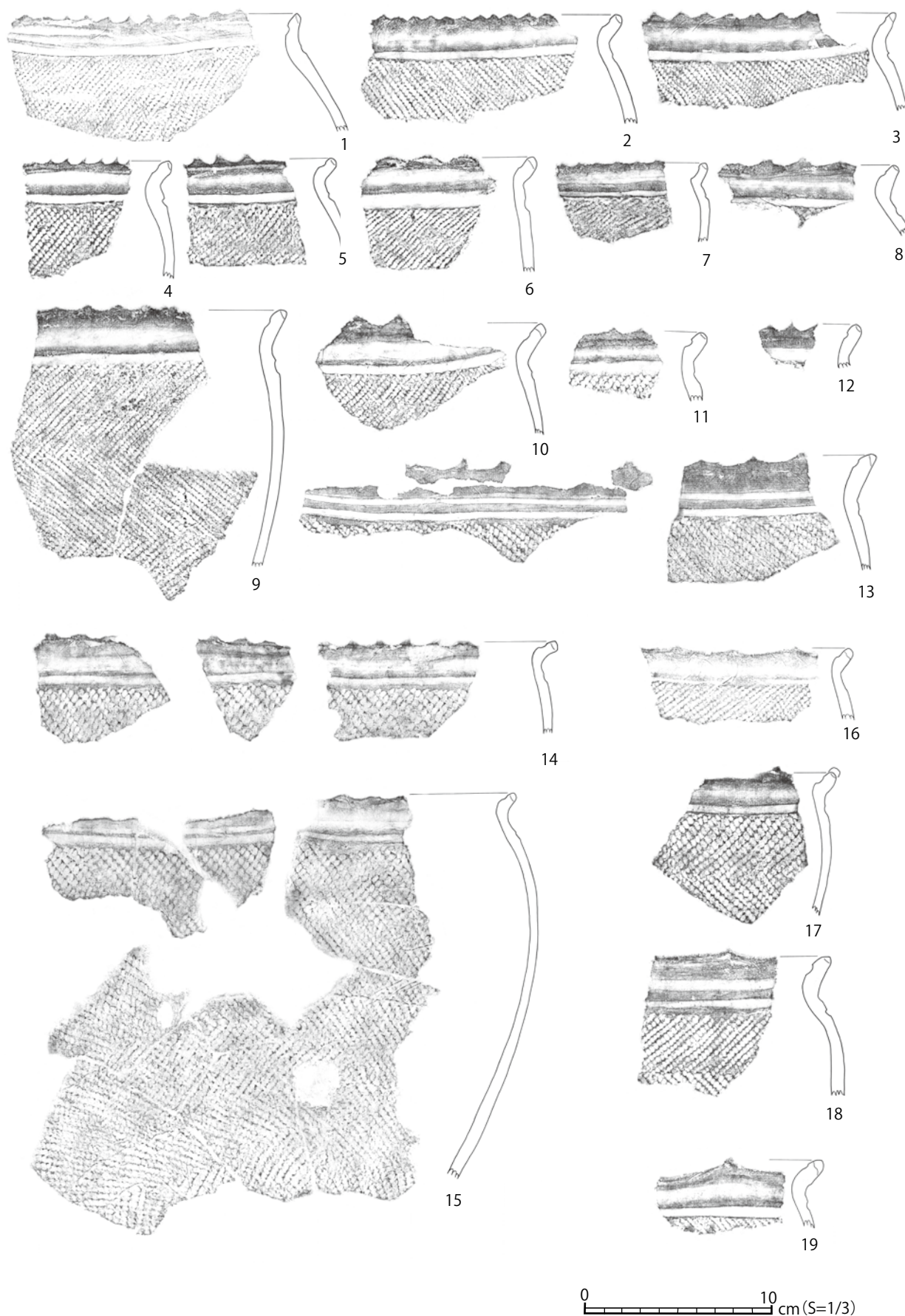


图44 山王困遗迹西区Ⅶ层出土土器拓影(1) 1~19:Ⅶa层

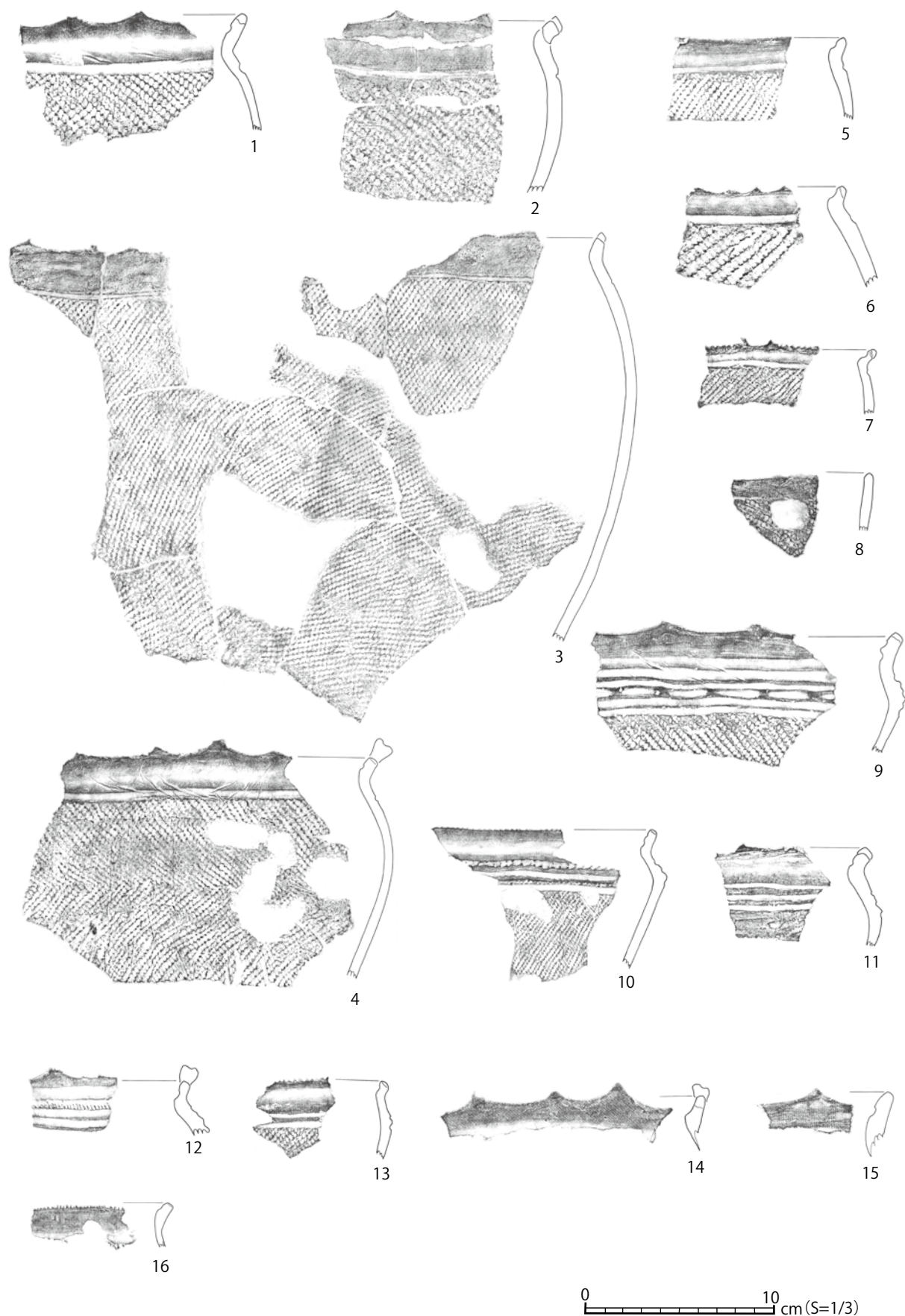


図45 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器拓影(2) 1～16:Ⅶa層

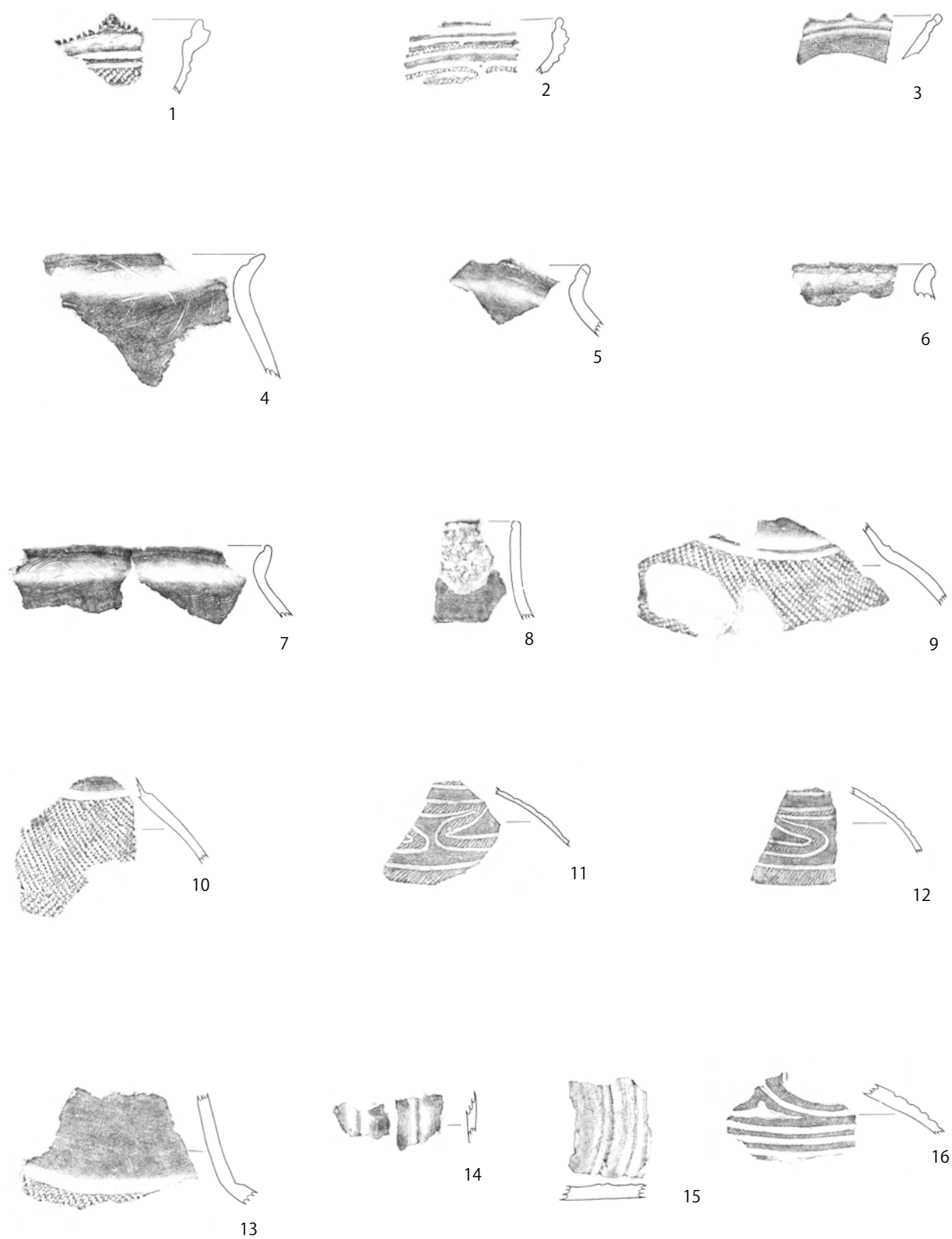


图 46 山王囤遗迹西区Ⅶ层出土土器拓影(3) 1~16:Ⅶa层





図47 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器拓影(4) 1～32 : Ⅶb層

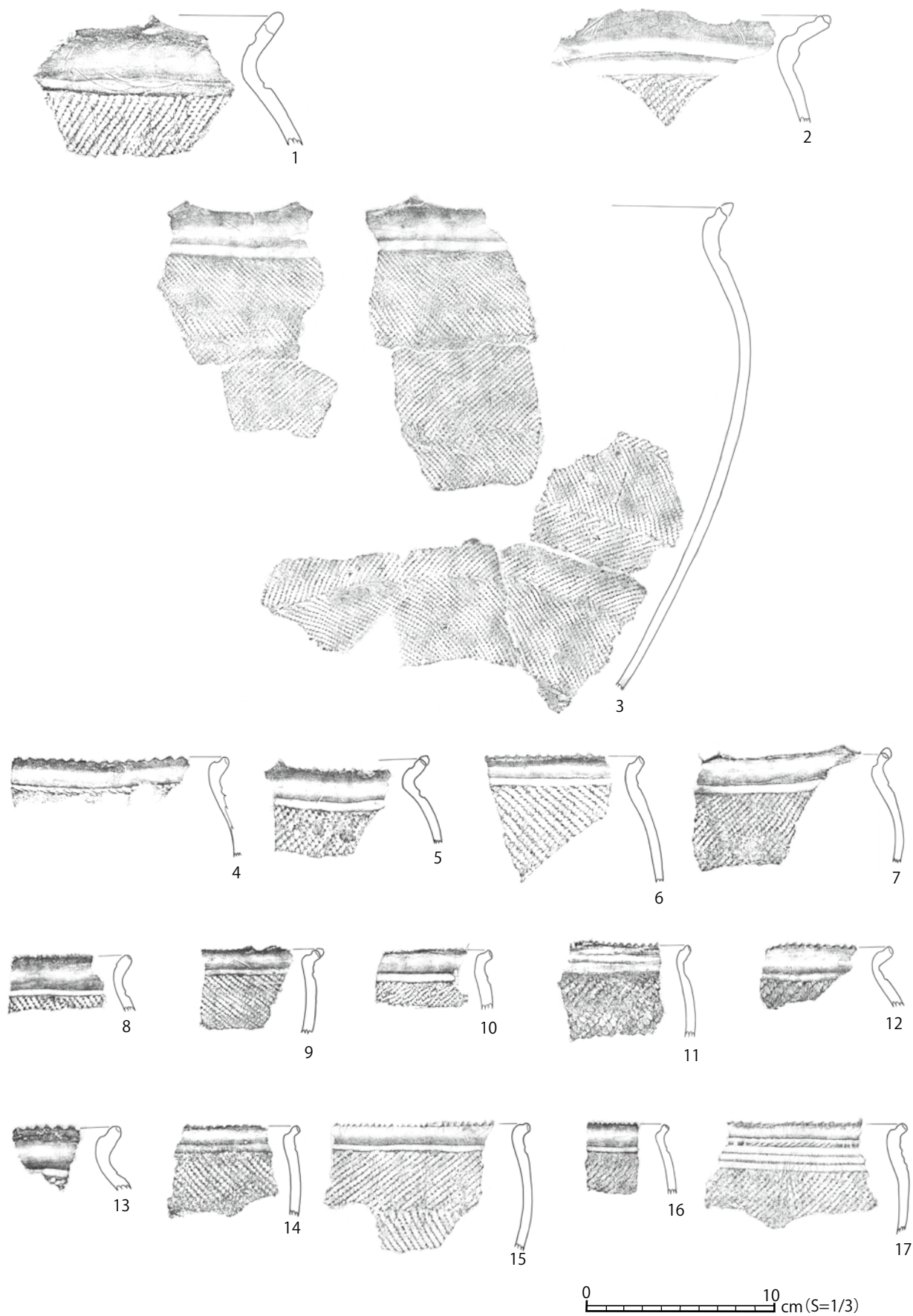


图 48 山王困遺跡西区Ⅶ層出土土器拓影(5) 1~17:Ⅶb層

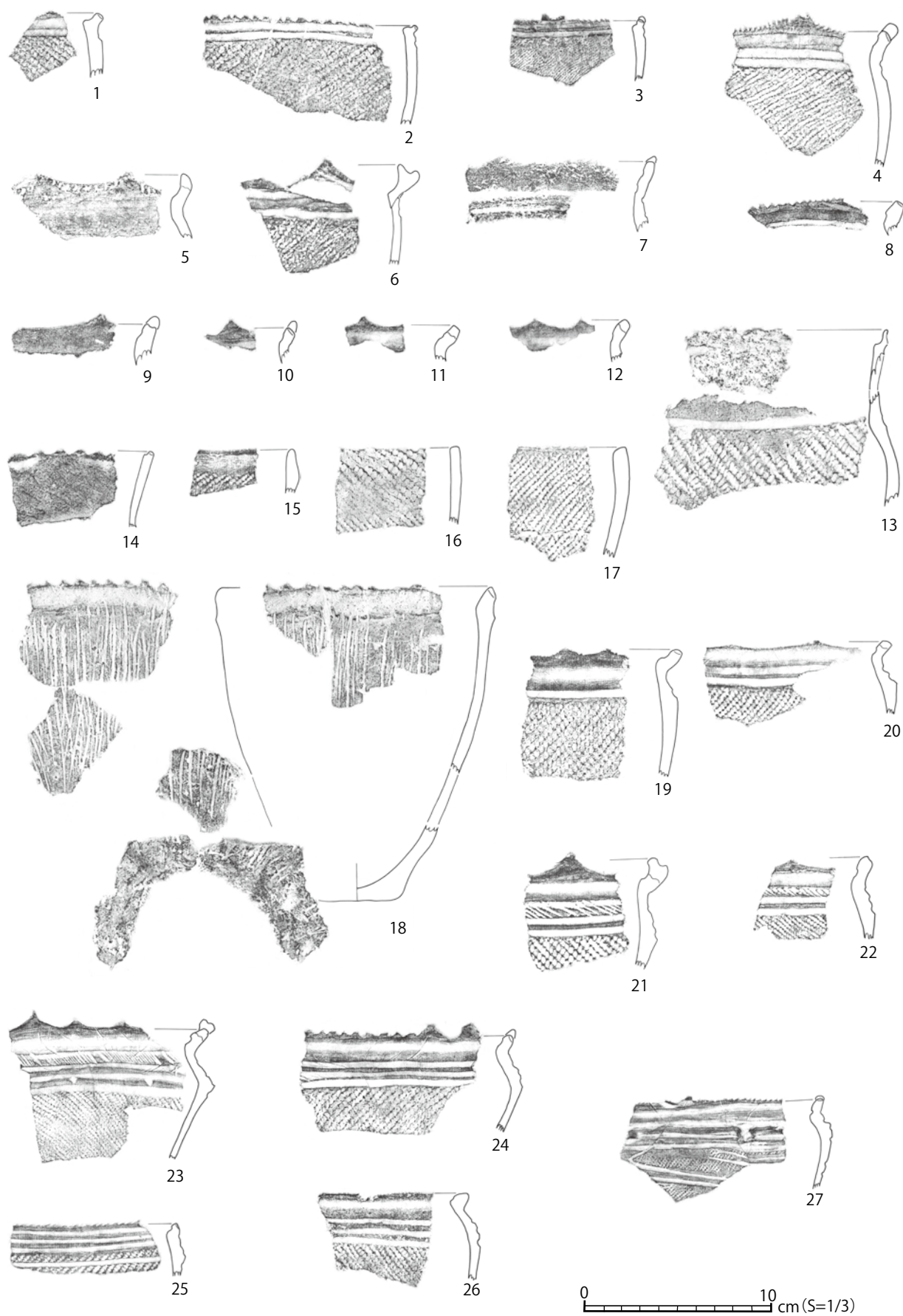


図49 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器拓影(6) 1～27:Ⅶb層



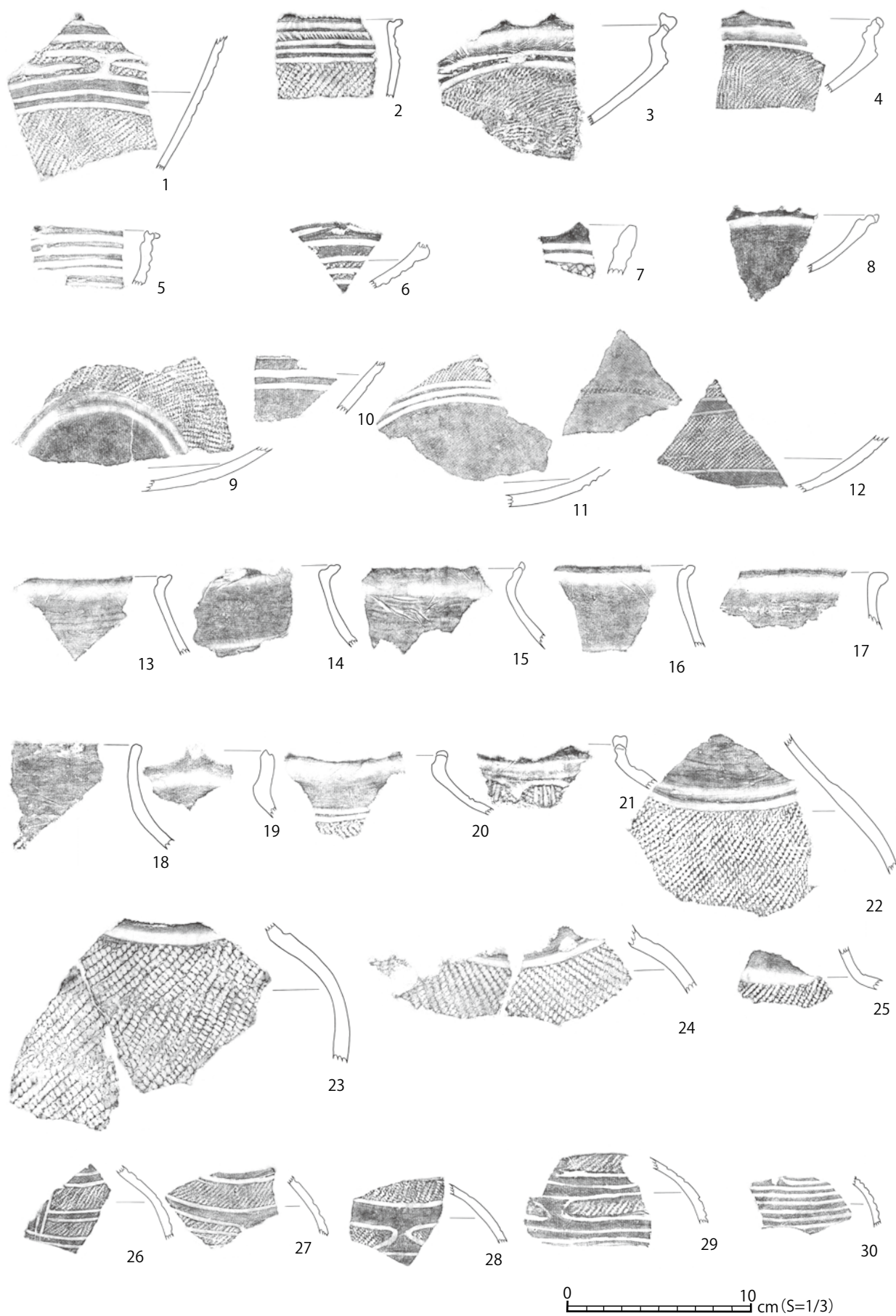


图 50 山王囤遗迹西区Ⅶ层出土土器拓影(7) 1~30:Ⅶb层

表1 山王圀遺跡西区Ⅵ層出土土器観察表

図 番号	図版 番号	出土位置		器種類型		残存 部位	法量(cm)					口縁 断面	口縁 平面	口縁部内面 装飾	口唇 装飾
		区・遺構	層位	大別	細別		口径	最大径	底径	器高	器厚				
1-1	1-1	V	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNSB	26.2				8.0	1	3b	0	KZ
1-2	1-2	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	30.3	29.5			7.0	1	3b	0	KZ
1-3	1-3	V	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	23.1	24.7			5.0	1	3a	0	PR
1-4	1-4	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	14.7	15.8			5.0	1	3b	1PL	KZ
1-5	1-5	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNSB	15.0	15.5			5.0	1	3b	1PL	KZ
1-6	1-6	M	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNSBF	13.0				5.0	2	3b+Ⅰe	1PL	KZ
1-7	1-7	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠa1	RNS	12.5				8.0	1	3b+Ⅰe	0	KZ
1-8	1-8	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠe	RNSBF	10.4	11.0			5.0	3	1+Ⅰa	0	0
1-9	1-9	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠd	RNSB	16.4	19.3			6.0	1	3b	0	KZ
1-10	1-10	O	Ⅵb	BⅡ	BⅡb	RNSBF	17.3	18.5	7.2	18.0	7.0	7	1	1PL	0
1-11	1-11	M	Ⅵb	BⅡ	BⅡa	RSBF	9.8		4.3	8.7	5.0	1	3b	0	KZ
2-1	2-1	R	Ⅵb	BⅡ	BⅡa	RSB	19.0	22.5			10.0	1	3a	0	KZ
2-2	2-2	N	Ⅵb	D	D	SBF			4.6		-	0			
2-3	2-3	V	Ⅵb	E	E2a	RSB	13.7				7.0	7	1+V	1PL	0
2-4	2-4	NS	Ⅵb	EⅢ	EⅢ	RSBF	15.4		7.3	5.6	3.0	7	1+V	1PL	0
2-5	2-5	N	Ⅵb	EⅠ	EⅠ1b	RSBF	16.3		5.3	5.2	5.0	1	1+V	YS+1PL	0
2-6	2-6	S	Ⅵb	EⅠ	EⅠ2a	RNSB	16.1				5.0	7	1+V	1PL	0
2-7	-	Q	Ⅵb	EⅠ	EⅠ1b	RSBF	17.0				6.0	7	3b	1PL	KZ
2-8	2-7	MORS	Ⅵb	E	E2	RSB	18.4				5.0	7	1+Ⅰb+V	YS+1PL	0
2-9	2-8	Q	Ⅵb	E	E1a	RSB	18.0				6.0	4	1+Ⅰa	1PL	0
2-10	2-9	R	Ⅵb	EⅠ	EⅠ1a	RSBF	15.3		5.4	5.0	4.0	1	1+Ⅰa	1PL	0
2-11	2-10	R	Ⅵb	EⅡ	EⅡ	FP			9.4		5.0	0			
2-12	3-1	UV	Ⅵb	F	Fc	RNSB	7.2	13.6			5.0	1	1	1PL	0
2-13	3-2	R	Ⅵb	F	Fc	RNSBF	6.2	12.4	5.2	11.2	3.0	3	1+Ⅰb	2PL	0
2-14	3-3	N	Ⅵb	F	Fa	RNS	10.4				4.0	4	1	1PL	0
2-15	3-4	O	Ⅵb	F	F	SBF		14.3			-	0			
2-16	3-5	UV	Ⅵb	F	FⅢ	SBF		12.3	4.9		-	0			
2-17	3-6	R	Ⅵb	G	G1b	RNSBF	5.2	6.6	2.7	6.4	4.0	2	3a	0	PR
3-1	3-7	M	Ⅵd	BⅠ	BⅠa1	RNS	26.0	26.2			7.0	1	3b	0	KZ
3-2	3-8	O	Ⅵd	BⅠ	BⅠa1	RNSB	24.0	26.0			5.0	1	3a	1PL	PR
3-3	3-9	R	Ⅵd	BⅠ	BⅠa1	RNSB	33.0	38.0			7.0	6	3b	1PL	KZ
3-4	4-1	R	Ⅵd、 e	BⅠ	BⅠb1	RNSB	17.2	17.3			7.0	5	2	0	0
3-5	4-2	R	Ⅵd	BⅠ	BⅠa1	RNS	20.7	20.8			6.0	1	3b	1PL	KM
3-6	4-3	Q	Ⅵd	BⅠ	BⅠa3	RNS	28.0	29.5			8.0	1	3b	1PL	KZ
3-7	4-4	R	Ⅵd	BⅠ	BⅠa3	RNSBF	12.6	13.3	5.7	13.2	5.0	1	1+V	0	0
4-1	4-5	R	Ⅵd	BⅠ	BⅠa3	RNSB	15.5	17.4			3.0	7	3b	1PL	KZ
4-2	4-6	R	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNSBF	8.5		4.3	7.5	4.0	1	3b+V	1PL	KZ
4-3	4-7	Q	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNSBF	9.6	8.7	4.0	9.8	3.0	2	1+Ⅰf	1PL	0
4-4	4-8	R	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNSBF	11.3	13.6	6.2	13.0	6.0	6	3b	0	KZ
4-5	4-9	Q	Ⅵd	DⅡ	DⅡ	RSBFP	30.0				8.0	6	1	0	0
4-6	4-10	Q	Ⅵd	DⅢ	DⅢ	RSBF	12.6		4.7	7.3	4.0	3	1	0	0
4-7	4-11	Q	Ⅵd	DⅢ	DⅢ	RSBF	16.4		6.0	7.3	3.0	7	1+V	1PL	0
4-8	5-1	Q	Ⅵd	EⅠ	EⅠ1b	RNSBF	20.5		4.4	8.7	5.0	1	1+Ⅰa+Ⅰe	1PL	0
4-9	5-2	V	Ⅵd	DⅠ	DⅠ1bp	RNSBFP	13.7		6.4	8.3	7.0	1	2+Ⅰa	2PL	PR
4-10	5-3	R	Ⅵd	F	Fd	RN	11.0				5.0	1	1+Ⅰa	YS+1PL	0
4-11	5-4	M	Ⅵd	F	Fa	RNSB	10.0	13.4			4.0	3	1	1PL	0
4-12	5-5	R	Ⅵd	F	Fe	RNSB	10.2	19.0			7.0	1	1?	0	0
5-1	5-6	T	Ⅵe	BⅠ	BⅠa2	RNSBF	9.2	9.7	5.0	10.0	5.0	6	3b+V	1PL	KZ
5-2	5-7	U	Ⅵe	BⅠ	BⅠa2	RNSBF	10.8	11.3	6.0	10.3	8.0	7	1+V	1PL	KZ
5-3	5-3	M	Ⅵe	DⅢ	DⅢ	RSBFP	17.4		8.0	10.3	4.0	4	1+Ⅰa+V	0	1PL
5-4	5-9	M	Ⅵe	F	Fc	RNSBF	8.2	12.5	6.5	13.2	6.0	4	1+Ⅰa+V	2PL	1PL
5-5	5-10	M	Ⅵf	BⅠ	BⅠa1	RNSB					6.0	1	3a	0	PR
5-6	5-11	M、N	Ⅵf	BⅠ	BⅠa1	RNS	30.4				6.0	7	3b	1PL	KZ
5-7	6-1	M	Ⅵf	BⅠ	BⅠa2	RNSB	23.8	25.7			6.0	1	1	0	0
5-8	6-2	M	Ⅵf	BⅠ	BⅠa2	RNSBF	13.8	13.7	5.3	14.0	5.0	6	2	1PL	0
5-9	6-3	M	Ⅵf	BⅠ	BⅠa2	RNSB	14.0	16.7			4.0	1	3b+Ⅰe	3PL	KZ
5-10	6-4	N	Ⅵf	BⅠ	BⅠa2	RNSB	30.5	32.9			5.0	7	2+Ⅰe	1PL	1PL
6-1	6-5	M	Ⅵf	BⅠ	BⅠa3	RNSB	34.1	38.3			5.0	5	3b	1PL	KZ
6-2	7-1	R	Ⅵf	EⅠ	EⅠ1a	RSBF	18.6		5.6	9.7	4.0	5	1+Ⅰa+Ⅰe	1PL	KZ
6-3	7-2	M	Ⅵf+ Ⅵd	E	E1a	RS	25.5				10.0	7	1+V	1PL	0
6-4	7-3	O	Ⅵf	EⅢ	EⅢ	RSBFP	11.7	12.0	4.0	4.7	3.0	7	1	1PL	0
6-5	7-4	S	Ⅵf	EⅢ	EⅢ	RSBFP	16.3		7.0	7.0	4.0	1	1+Ⅰb	1PL	0
6-6	7-5	M	Ⅵf	F	Fd	RNSBF	13.8	30.8	8.2	33.0	7.0	2	2+Ⅰa+Ⅰe	YS+2PL	0
6-7	7-6	O	Ⅵf	F	FⅢ	RNSBF	9.2	11.0	5.3	8.9	3.0	1	1+V	1PL	0
6-8	7-7	R	Ⅵg	EⅠ	EⅠ1a	RSBF	20.2		6.7	8.5	4.0	4	1+Ⅰc	YS+1PL	1PL
7-1	8-1	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa1	RNSBF	26.3	26.0	7.7	26.7	6.0	7	3a	0	PR
7-2	8-2	R	Ⅵe、 Ⅵh	BⅠ	BⅠa1	RNSB	23.0	22.3			8.0	1	3b+Ⅰe+Ⅰf	YS+2PL	KZ

口縁部 文様帯	頸部 文様帯	体部上半 文様帯	体部下半 文様帯	脚部（底部） 文様帯	縄文（/cm）			胎土中 混和物	付着物			備考
					原体	条数	節数		種類	部位	内外	
0	0	J	J		L	2	0		炭化物	RNSB	内外	
0	1PL	1PL+J			LR	2	3		炭化物	RNS	内外	
0	0	J			LR	2	4		炭化物	RNSB	外	
0	0	J			LR	3	5		炭化物	RNS	内外	
0	0	J	J		LR	2	4		炭化物	RNSB	内外	
1EL	4PL	1PUL+1PL	J		LR	3	6		炭化物	RNSB	内外	
1PL	0	J			LR	2	3					
J	J	J		0	L	3	0		炭化物	RNSB	内外	
0	1PUL+3PL	J	J		LR	3	4		炭化物	RNSB	内外	
1PL		J+1PL+KL+1PL	J		LR	3	5		炭化物	RNSB	内外	
0		J	J		LR	2	4		炭化物	RSB	内外	
0			0	0	0	0	0		炭化物	RSB	内外	
			+3PL		0	0	0		赤色顔料	SB	外	
H②c		1PL+H①?+1PL	0		0	0	0					
H②c		2PL+H①a+2PL	0		0	0	0		赤色顔料	RSBF	内外	
H②c		H③d	0		0	0	0		赤色顔料	RSBF	内外	
H②c		EL+2PL	J		LR	4	7					
0		1PL+KL+1PL+ H①b+2PL	J		LR	4	7					所在不明
H②c		H①a+1PL	J			4	7					
0		2CK	0		0	0	0		炭化物	RSB	内外	
1PL			0	0	0	0	0					
				2PL+DL+2PL	0	0	0		赤色顔料	P	外	
0	2PL	J	J		RL	4	7					
0	0	2PL+J	J	0	LR	6	6					
CB	0	1PL+KL+K1 ①b						海面骨針	赤色顔料	S	外	
		K1 ②+2PI			0	0	0		赤色顔料	SB	内外	
		K1 ①b+2PL			0	0	0					
0	0	2PL+PM	J	X	LR	4	5					四脚
0	4PL	J			L	3	0		炭化物	NSB	外	
0	2PL	2PL+J	J		L	3	0		炭化物	RNSB	内外	
0	5PL	J	J		LR	2	4		炭化物	RNSB	内外	
0	0	J	J		LR	3	4		炭化物	RNSB	内外	
0	0	1PL+J			LR	3	4		炭化物	RNS	内外	
0	1PL	J	J		LR	3	5		炭化物	RNSB	外	
1PL	1PL	KL	J		L	3	0		炭化物	B	内外	
0	0	1PL+H⑤a+1PL	J		LR	4	5		炭化物	RNSB	内外	
0	2PL	J	J		LR	4	6	海面骨針				
0	1PL		0	0	0	0	0					
0	1PL	K1 ①b	J		L	3.5	0		炭化物	RNSB	内外	
0			0	0	0	0	0		炭化物	RNSB	内外	
1EL+1PL			0	0	0	0	0					
H②c		H①a+2PL	0	0	0	0	0		赤色顔料	RSB	外	
0	0	CB+KZ+PM	2CK+1PL	0	0	0	0					
0	0	1PL	5H⑤a	0	0	0	0		炭化物	RNSB	内外	
H②c	0								赤色顔料	RN	内外	
0	0	1PL+J	J		RL	5	6					
0	0		0	0	0	0	0					
0	0	3PL	J		0	0	0		炭化物	RNSB	内外	
0	1PL		0	0	0	0	0		炭化物	B	外	
PM			0	0	0	0	0					
0	0	2PL+J	J	0	LR	4	6		炭化物	BF	外	
0	0	3PL	J		LR							
0	7PL	J			RL	3			炭化物	RNS	外	
0	0		0	0	0	0	0					
1PL	0	2PL+J	J		LR	3	5					
0	1PL	2PL+J	J		LR	3	5		炭化物	B	内外	
0	0	2PL+J	J		LR	2	3	海面骨針	炭化物	S	外	
0	2PL	J	J		LR	2	3		炭化物	RNS	外	
1PL		1PL+J	J		LR	2	3	海面骨針				
PM		2PL+K8+2PL			0	0	0					
0		2PL	K1 ③+1PI	0	0	0	0		赤色顔料	RSB	外	
0			0	0	0	0	0					
H①a	0	3PL+RW+3PL	RW		0	0	0					
1EL	YS+1PL	K1 ①b+1PL	0	0	0	0	0		赤色顔料	SB	外	
1EL		1PL+J	J		RL	4	4					補修孔
0	0	J	J		LR	3	3		炭化物	RNSB	内外	
0	0		0	0	0	0	0					



図 番号	図版 番号	出土位置		器種類型		残存 部位	法量 (cm)					口縁 断面	口縁 平面	口縁部内面 装飾	口唇 装飾
		区・遺構	層位	大別	細別		口径	最大径	底径	器高	器厚				
7-3	8-3	N	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNSB	23.3	24.3			7.0	1	3b+Ⅰe	1PL	KZ
7-4	8-4	N	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	23.8	25.5			8.0	7	3b+Ⅰe	1PL	KZ
7-5	8-5	U	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNSB	18.8	19.3			5.0	7	3a	1PL	PR
7-6	8-6	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNSB	26.6	27.3			6.0	3	3a	1PL	PR
7-7	8-7	S	Ⅵh2	BⅠ	BⅠa2	RNSB	23.4	26.7			5.0	1	3a		0 PR
8-1	9-1	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNSB	28.2	26.3			6.0	7	3a	1PL	PR
8-2	9-2	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	24.8				5.0	1	3a	1PL	PR
8-3	9-3	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa1	RNS	27.8				5.0	1	3b+Ⅰe	YS+1PL	KZ
8-4	9-4	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠb2	RNSB	29.8	34.0			6.0	1	3a	1PL	PR
9-1	9-5	U	Ⅵh	BⅠ	BⅠc	RNSB	27.9	31.7			5.0	1	3b		0 KZ
9-2	9-6	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	27.9				8.0	1	3b	1PL	KZ
9-3	10-1	O	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNSB	40.6	43.0			10.0	1	3a	1PL	PR
9-4	10-2	R	Ⅵh	BⅠ	BⅠc	RNSB	33.0	34.3			7.0	1	1		0 0
10-1	10-3	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ2	RNSBF	21.1	24.7	7.7	24.0	6.0	4	1+Ⅰa+Ⅰe	YS+1PL	1PL
10-2	10-4	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ1a	RNSBF	23.3	24.0	6.3	19.7	3.0	4	3b+Ⅰf+Ⅰe	1PL	KZ
10-3	10-5	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ3	RNSBF	22.3	29.0	11.3	26.0	6.0	4	2+Ⅰf+Ⅰa	1PL	1PL
10-4	10-6	R	Ⅵh	DⅠ	DⅠ1a	RNSB	18.5	20.5			5.0	2	3b	1PL	KZ
10-5	10-7	O	Ⅵh	DⅠ	DⅠ3	RNSBF	18.8	18.7	6.3	15.3	5.0	1	3b+Ⅰe	1PL	KZ
10-6	10-8	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ2	RNSB	20.6	22.0			4.0	1	3b	2PL	KZ
10-7	11-1	R	Ⅵh	DⅠ	DⅠ2	NSBF	20.8	24.7	7.2		4.0	0			
11-1	11-2	N	Ⅵh	BⅡ	BⅡb	RSBF	18.7		7.0	16.0	6.0	1	3b		0 KZ
11-2	11-3	M	Ⅵh	BⅡ	BⅡa	RSBF	14.3	16.7	6.7		6.0	3	1		0 0
11-3	11-4	O	Ⅵh	DⅠ	DⅠ1b	RNSBF	20.1	21.3	7.3	9.7	6.0	4	2+Ⅰf+Ⅰe	2PL	1PL
11-4	11-14	NORS	Ⅵh、 g、f、 e	DⅢ	DⅢ	RSBFP	47.0		17.3	20.7	11.0	4	1+Ⅰb+Ⅰv	1PL	1PL
11-5	11-5	O	Ⅵh1	EⅠ	EⅠ2b	RNSB	18.8	18.7			3.0	4	1+Ⅱ+Ⅰv	YS+1PL	1PL
11-6	11-6	N	Ⅵh	EⅠ	EⅠ2b	RNSBF	19.2		6.3	8.7	7.0	4	3b+Ⅰc	YS	1PI
11-7	11-7	O	Ⅵh	EⅠ	EⅠ2b	RNSB	12.3	10.3			4.0	4	2	YS+1PL	1PL
11-8	11-8	Q	Ⅵh	EⅠ	EⅠ2b	RNSBF	19.4		5.3	6.7	5.0	4	1+Ⅰc+Ⅰe	YS+1PL	1PL
11-9	11-9	Q	Ⅵh	EⅠ	EⅠ2b	RNSBF	16.0		6.5	6.2	8.0	4	1+Ⅰc+Ⅰe	YS	1PI
11-10	11-10	Q	Ⅵh	EⅢ	EⅢ	RSBFP	18.4		6.7	8.0	5.0	4	2+Ⅱ+Ⅰv	1PL	1PL
11-11	11-13	O	Ⅵh	EⅠ	EⅠ2b	RNSBF	20.6		6.3	6.0	4.0	4	1+Ⅰc+Ⅰe	YS+1PL	1PL
11-12	11-11	Q	Ⅵh	EⅠ	EⅠ1b	RSBF	17.6		6.0	6.0	5.0	7	1PL		0
11-13	11-12	MN	Ⅵh+ Ⅵf	EⅠ	EⅠ1a	RSBF	10.0		5.2	2.5	4.0	3	1		0 0
12-1	12-1	Q	Ⅵh	F	Fd	RNS	14.6				8.0	4	1+Ⅱ+Ⅰe	2PL	0
12-2	12-2	N	Ⅵh	F	Fa	RNSB	12.0	22.4			4.0	4	1?	1PL	1PL
12-3	12-3	Q	Ⅵh	F	Fc	RNS	10.6				6.0	1	2+Ⅰf	1PL	0
12-4	12-4	R	Ⅵh	F	Fc	RNSB	12.3	28.2			3.0	1	1		0 0
12-5	12-5	Q	Ⅵh	F	Fe	RNS					9.0	1	2		0 0
12-6	13-1	O	Ⅵh	F	Fd	RNS	7.2				3.0	4	1PL	1PL	
12-7	13-2	R	Ⅵh	F	Fe	RNSB	4.9	8.0			4.0	1	1+Ⅰa+Ⅰv		0
12-8	13-3	MQ	Ⅵh	F	F	SBF		12.3	5.5		-	0			
12-9	12-6	Q	Ⅵh	F	Fc	SB		23.2			-	0			
12-10	13-4	Q	Ⅵh	F	Fc	NSB		22.3			-	0			
12-11	13-5	Q	Ⅵh	F	Fc	NS					-	0			
13-1	13-6	R	Ⅵh	F	F	S		17.0			-	0			
13-2	13-7	M	Ⅵh	F	FⅢ	SBF		10.5	5.3		-	0			
13-3	13-8	M	Ⅵh	F	F	SBF		19.0	8.0		-	0			
13-4	13-9	Q	Ⅵh	F	Fc	NSB		20.5			-	0			
13-5	13-10	M	Ⅵh	G	G1a	RNSBF	6.7	8.8	4.1	6.8	4.0	4	3a	1PL	1PI
13-6	13-11	M	Ⅵh2	F	Fa	RNS	4.3				4.0	4	1+Ⅰa+Ⅰv	1PL	1PL
13-7	13-12	S	Ⅵh2	F	Fc	NSBF		28.8	8.2		-	0			
14-1	14-1	Ea	Ⅵa	F	Fa	RN					6.0	4	1+Ⅰc+Ⅰe	YS	1PL
14-2	14-2	U	Ⅵb	BⅠ	BⅠa1	RNSB	17.0				5.0	1	3b		0 KZ
14-3	14-3	V	Ⅵb	BⅠ	BⅠa1	RN					8.0	4	3b		0 PU
14-4	14-4	O	Ⅵb	BⅠ	BⅠa1	RNS	24.1				8.0	1	3a		0 PR
14-5	14-5	M	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS					6.0	1	3b	1PL	KZ
14-6	14-6	N	Ⅵb	BⅠ	BⅠa1	RN	23.0				6.0	6	3b	1PL	KZ
14-7	14-7	Q	Ⅵb	BⅠ	BⅠe	RNSB	27.3				6.0	1	3b		0 KZ
14-8	14-8	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS					5.0	2	1		0 0
14-9	14-9	V	Ⅵb	BⅠ	BⅠa3	RNS	23.0				5.0	1	3b+Ⅰe		0 KZ
14-10	14-10	O	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	25.1				5.0	1	3a		0 KZ
14-11	14-11	Q	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNSB	14.6				5.0	1	3a		0 KZ
14-12	14-13	Q	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNSB	19.2				5.0	3	3b		0 KZ
14-13	14-14	S	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS					5.0	2	3a		0 PR
14-14	14-15	S	Ⅵb	BⅠ	BⅠa1	RNSB					6.0	1	3b		0 KZ
14-15	14-16	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠc	RNS					5.0	1	3b		0 KZ
14-16	14-17	V	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	35.3				6.0	1	3a		0 PR
14-17	14-18	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	9.8				5.0	1	3b		0 KZ
14-18	14-19	M	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	15.6				5.0	3	3b	1PL	KZ

口縁部 文様帯	頸部 文様帯	体部上半 文様帯	体部下半 文様帯	脚部（底部） 文様帯	縄文（/cm）			胎土中 混和物	付着物			備考
					原体	条数	節数		種類	部位	内外	
	0	2PL+J	J		LR+RL	3	4		炭化物	RNSB	内外	
	0	1PL+J			LR	3	4		炭化物	RN	外	
	0	2PL+J	J		LR	3	3		炭化物	RNSB	内外	
	0	2PL+J	J		LR	2	3		炭化物	RNSB	内外	
	0 1PL	1PL+J	J		LR	3	3		炭化物	RNSB	外	
	0 1PL	2PL+J	J		RL	4	5		炭化物	RNSB	外	補修孔
	0 1PL	1PL+J			LR	3	3		炭化物	RNS	外	
	0 5PL	J	0		LR	2	4		炭化物	RNSB	外	
	0 1PL	1PL+J	J		LR	3	3		炭化物	RNS	内外	
	0	0 1PL+J	J		RL	3	4		炭化物	RNS	内外	
	0 1PL	1PL+J	J		RL	3	5		炭化物	RNS	外	
	0 1PL	1PL+J	J		LR	2	3		炭化物	RNSB	内外	
J	J	J	J		0	0	0		炭化物	RNSB	内外	
	0	0 4PL	J		LR	3	3		炭化物	RNSB	内外	
	0	0 KZZ+2PL	J		LR	3	5		炭化物	RNSB	内外	
	0	0 PUL+2PL+KL	J		LR	4	5		炭化物	RNSB	内外	
	0	0 KZZ	1PL+J		LR	3	5		炭化物	RNSB	内外	
	0	0 KZZ+2PL	J		RL	2	3		炭化物	RNSB	内外	
	0	0 KZZ+2PL+PU	J		LR	3	4		炭化物	RNSB	内外	
		0 KZZ+2PL+PU	J		LR	2	3		炭化物	NSB	内外	
2PL		J	J	0	LR	3	5		炭化物	RSB	内外	
J		J	J		LR	2	4		炭化物	RSB	内外	
	0 1PL	KL	K8+2PL		0	0	0					
YS		0 K8+2PL	J+3PL	0	LR	2	3		炭化物	B	内外	
YS		0 3PL	K8+2PL		0	0	0					
YS+KB		0 CK+J	J	0	LR	4	6					
1PL		0 2PL	J		LR	5	5					
	0	0 1PL+J	J+1PL		R	3	0					
YS		0 J	J		R	3	0					
1PL		1PL+K8	K8+1PL	0	0	0	0					
1PL		0	0	0	0	0	0					
1PL		J	J		LR	3	5					
	0	0	0		0	0	0					
H①a		0 2K8+2PL			0	0	0					
	0 1PL	K8+2PL+J	J		LR	3	5		赤色顔料	RNS	外	
	0	0 1PL+J	J		LR	3	4					
	0	0 1PL+J	J		RL+LR	2	4					
	0	0 J			L	3	0					
	0	0 K1?										
	0	0 2PL+J	J		L	3	0					
		3PL+3LL+J	J		LR	6	7					
		0 2PL+J	J		LR	2	4		炭化物	SB	外	
		0 2PL+J	J		LR	3	4	海面骨針	炭化物	SB	外	
		0	0		0	0	0		赤色顔料	S	外	
		H5a+K8			0	0	0		赤色顔料	S	外面	
		K8+2PL	0		0	0	0					
		J	J		LR	3	4					
		0 1PL+J			LR	3	5					
	0	0 3LL+J+KL	1PL+J	0	LR	4	6					
PM		0 K1?										
		0	0	0	0	0	0					
YS	2PL											
	0 4PL	J	J		R	5	0		炭化物	SN	外	
	0 K1?+PUL								炭化物	RN	内外	
	0	0 2PL+J	J		LR	3	5					
	0	0 KZZ+1PL										
	0 2PL?											
	0	0 J	J		L	4	0					
	0	0 2PL+										
	0 2PL	J			LR	4	5					
	0 2PL	J			LR	3	4					
1 1PL	J	J	J		LR	2	3					
0 1PL	J	J	J		R	4	5		炭化物	RNSB	内外	
	0	0 J			LR	3	6		炭化物	RNS	内外	
	0	0 J	J		LR	2	3					
	0	0 1PL+J			RL	4	6		炭化物	RNS	内外	補修孔
PUL	1PL	J			LR	4	3		炭化物	RN	外	
	0 1PL	J			LR	3	5					
	0 1PL	J			RL	2	4					

図 番号	図版 番号	出土位置		器種類型		残存 部位	法量(cm)					口縁 断面	口縁 平面	口縁部内面 装飾	口唇 装飾
		区・遺構	層位	大別	細別		口径	最大径	底径	器高	器厚				
14-19	14-20	O	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	23.4				5.0	1	3a	0	PR
14-20	14-21	U	Ⅵb	BⅠ	BⅠb2	RNS	23.6				6.0	6	3b	0	KZ
14-21	14-22	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	20.5				7.0	1	3a	0	PR
14-22	14-23	M	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RN	16.4				5.0	1	3b+Ⅰa	1PL	KZ
15-1	15-1	Q	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	34.0				5.0	2	3a	1PL	PR
15-2	15-2	N	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	24.4				5.0	1	3a	1PL	PR
15-3	15-3	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	18.6				5.0	1	3a	1PL	PR
15-4	15-4	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS					6.0	1	3b	0	KZ
15-5	15-5	V	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS					6.0	5	3b	0	KZ
15-6	15-6	M	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RN					5.0	1	3b	1PL	KZ
15-7	15-7	M	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	15.6				5.0	1	3a	1PL	PR
15-8	15-8	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	36.5				5.0	1	3a	1PL	PR
15-9	15-9	Q	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	23.9				5.0	1	3a	0	PR
15-10	15-10	S	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	27.6				5.0	1	3a	0	PR
15-11	15-11	N	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS					6.0	2	3a	1PL	PR
15-12	15-12	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	13.1				5.0	1	3b	0	KZ
15-13	15-13	O	Ⅵb	BⅠ	BⅠa3	RNS	35.8				7.0	1	3a	0	PR
15-14	15-14	M	Ⅵb	BⅠ	BⅠc	RNSB					5.0	1	3b	0	KZ
15-15	15-15	M	Ⅵb	BⅠ	BⅠa3	RNSB	16.0				6.0	1	3b	0	KZ
15-16	15-16	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS					4.0	1	3b	0	KZ
15-17	15-17	M	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	19.1				5.0	3	1+V	0	PR
15-18	15-18	V	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RN	23.3				8.0	1	1	0	0
15-19	15-19	V	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS					6.0	1	3b	0	PU
15-20	15-20	M	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNS	19.0				5.0	1	1	0	0
15-21	15-21	O	Ⅵb	BⅠ	BⅠb2	RNS	21.6				6.0	7	3a	1PL	PR
15-22	15-22	Q	Ⅵb	BⅠ	BⅠa3	RNSB	26.1				5.0	1	3a	0	PR
16-1	16-1	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠb2	RNS					7.0	7	3b	1PL	KZ
16-2	16-2	M	Ⅵb	BⅠ	BⅠd	RNSB	37.0				5.0	1	3b	1PL	KZ
16-3	16-3	V	Ⅵb	BⅠ	BⅠd	RN					?	2	3a?	?	PR
16-4	16-4	M	Ⅵb	BⅠ	BⅠd	RNS	17.4				5.0	1	3b	1PL	KZ
16-5	16-5	M	Ⅵb	BⅠ	BⅠd	RNSB	15.7				6.0	1	3b	1PL	KZ
16-6	16-6	N	Ⅵb	BⅠ	BⅠa3	RNSB	21.8				5.0	1	3b	1PL	KZ
16-7	16-7	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠd	RNSB	19.4				4.0	1	1	0	0
16-8	16-8	Q	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNSB	18.9				4.0	2	1+V?	1PL	0
16-9	16-9	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠc	RNSB	30.4				5.0	1	1	1PL	PUL
16-10	16-10	R	Ⅵb	BⅠ	BⅠc	RNSB					5.0	1	3b	0	KZ
16-11	16-11	N	Ⅵb	BⅠ	BⅠc	RNS	17.1				5.0	1	3a	0	PR
16-12	16-12	O	Ⅵb	BⅠ	BⅠa2	RNSB	27.6				9.0	1	3b	1PL	KZ
16-13	16-13	M	Ⅵb	BⅠ	BⅠa3	RNSB	14.8				6.0	1	3a	0	PR
16-14	16-14	Q	Ⅵb	BⅠ	BⅠa3	RNS	20.1				5.0	1	3b	1PL	KZ
16-15	16-15	M	Ⅵb	BⅠ	BⅠ	SB					5.0	0			
16-16	16-16	Q	Ⅵb	BⅡ	BⅡa	RSB	16.2				5.0	3	1	0	0
16-17	16-17	RU	Ⅵb	DⅠ	DⅠ1a	RNSB					5.0	1	2+Ⅰc	0	0
16-18	16-18	RS	Ⅵb	DⅠ	DⅠ3	RNS	17.0				4.0	1	3a	1PL	PR
16-19	16-19	不明	Ⅵb	BⅠ	BⅠa1	RNSB					7.0	4	2	0	PUL
16-20	16-20	N	Ⅵb	DⅠ	DⅠ1a	RNSB					3.0	7	3a	1PL	PR
17-1	17-1	O	Ⅵb	DⅠ	DⅠ3	RNS					5.0	4	3b	1PL	1PL
17-2	17-2	M	Ⅵb	DⅠ	DⅠ1a	RNSB	9.8				5.0	7	3b+V	1PL	KZ
17-3	17-3	R	Ⅵb	DⅡ	DⅡ	RS					5.0	4	1+V	1PL	1PL
17-4	17-4	U	Ⅵb	DⅡ	DⅡ	RSB	48.2				7.0	4	1	1PL	1PL
17-5	17-5	N	Ⅵb	E	E2a	RSB	18.4				4.0	7	1	1PL	0
17-6	17-6	S	Ⅵb	E	E1b	RSB					4.0	4	1	1PL	1PL
17-7	17-7	S	Ⅵb	E	E2a	RSB	25.0				6.0	3	1+Ⅰa+V	0	0
17-8	17-8	O	Ⅵb	E	E1b	RS	20.6				4.0	7	3b+V	1PL	KZ
17-9	17-9	V	Ⅵb	E	E1b	RSB	15.4				3.0	7	1+V	1PL	0
17-10	17-10	M	Ⅵb	E	E1b	RS	21.2				3.0	7	1+V	1PL	0
17-11	17-11	O	Ⅵb	E	E1b	RSB	14.0				5.0	7	1+Ⅰb	1PL	0
17-12	17-12	N	Ⅵb	E	E1a	RS					5.0	4	1	0	0
17-13	17-13	S	Ⅵb	E	E2b	RNS	24.1				4.0	7	1+Ⅰa+V	YS+1PL	0
17-14	17-14	S	Ⅵb	E	E2b	RNS	27.4				3.0	7	1+V	2PL	1PL
17-15	17-15	Q	Ⅵb	E	E1b	RSB	14.0				4.0	7	1+V	YS+1PL	1PL
17-16	17-16	S	Ⅵb	E	E1b	RS	18.2				5.0	7	1+Ⅱ+V	YS+1PL	1PL
17-17	17-17	Q	Ⅵb	DⅡ	DⅡ	RS					14.0	4	1+Ⅱ	1PL	1PL
17-18	17-18	N	Ⅵb	E	E1b	RS					4.0	4	1+Ⅱ	YS+1PL	1PL
17-19	17-19	M	Ⅵb	F	Fa	RN	8.6				4.0	4	1+V	1PL	1PL
17-20	17-20	M	Ⅵb	E	E1b	RS					8.0	7	1+Ⅱ+V	1PL	1PL
17-21	17-21	M	Ⅵb	F	Fc	RN	15.6				4.0	4	1+Ⅱ+V	YS+1PL	1PL
17-22	17-22	M	Ⅵb	E	E1a	RSB	14.2				6.0	4	1+Ⅱ+V	YS+1PL	1PL
17-23	17-23	O	Ⅵb	F	Fc	RN	9.8				4.0	7	1	1PL	0



口縁部 文様帯	頸部 文様帯	体部上半 文様帯	体部下半 文様帯	脚部（底部） 文様帯	縄文（/cm）			胎土中 混和物	付着物			備考
					原体	条数	節数		種類	部位	内外	
0	0	J			0	0	0					
0	CK	J							炭化物	RNS	内外	
PUL	3PL	J			R	2	2		炭化物	S	外	
0	2PL								炭化物	RNS	外	
0	2PL	J			LR	3	4		炭化物	RNS	外	
0	2PL	J			RL	3	4		炭化物	RNS	外	
0	2PL	J			LR	2	4	海面骨針	炭化物	RN	内外	
0	2PL	J			L	2	5					
0	0	1PL+							炭化物	RNS	内外	
0	1PL								炭化物	RNS	内外	
0	2PL	J			LR	4	6	海面骨針				
0	2PL	J			LR	3	4					
0	2PL	J			LR	2	4					
0	2PL	J			LR	2	3		炭化物	RNS	内外	
0	0	2PL+J			LR	3	6		炭化物	RNS	内外	
0	2PL	J			LR	3	4		炭化物	RNS	外	
0	2PL	J			RL	3	4					
0	1PL	J	J		LR	3	3		炭化物	RNSB	内外	
0	1PL	J	J		0	0	0		炭化物	RNSB	内外	
0	1PL	J			0	0	0					
0	1PL	J			R	4	0					
0	1PL	J							炭化物	RN	内外	
0	0	1PL+							炭化物	RNS	内外	
0	0	0	0		0	0	0					
0	1PL	J			LR	2	3	海面骨針	炭化物	S	外	
0	1PL	J	J		LR	4	5		炭化物	RNSB	外	
0	1PL	J			RL	3	4		炭化物	RNS	外	
0	0	KZZ+3PL	J		LR	3	4	海面骨針	炭化物	S	外	
0	DK											
0	0	1PL+KZZ+1PL			LR	3	4		炭化物	S	内外	
0	0	KZZ+3PL	J		LR	3	4		炭化物	RNS	内外	
0	0	KZZ+3PL	J		0	0	0		炭化物	RNS	外	
0	0	PUL+3PL	J		LR	3	5		炭化物	RNS	内外	
0	0	1PL+PUL+1PL+ PUL+1PL	J		LR	3	4		炭化物	S	外	
0	0	3PL	0		0	0	0	海綿骨針・ 金雲母				
0	0	1PL+J	J		LR	4	6		炭化物	RNSB	内外	
0	0	2PL			0	0	0		炭化物	RNS	内外	
0	0	3PL	J		LR	2	3		炭化物	RNS	内外	
0	0	2PL	J		LR	2	3		炭化物	RNS	内	
0	0	3PL+J			LR	3	4		炭化物	S	外	
		YS	2PL+J		LR	4	7		炭化物	SB	内	
J		J			0	0	0		炭化物	RSB	内外	
KZZ+1EL	K1 ①a	H⑤a	0		0	0	0		炭化物	RNSB	外	
0	0	H⑤a	J		LR	4	5		赤色顔料	S	内外	
0	0	3PL+KL	J		LR	2	4		炭化物	RNSB	内外	
0	0	H⑤a	1PL+J		LR	4	6		炭化物	RNSB	内外	
0	0	1PL+KZZ+1PL	J		LR	5	8		炭化物	RNS	内外	
0	0	H⑤a+PUL	1PL+J		LR	6	7		炭化物	RNSB	内外	
1EL		4PL+DL+2PL			LR	5	7					
2PL		J	J		LR	3	4		赤色顔料	RSB	内外	
0		H①a+1PL+H①a+ 1PL	J		LR	4	6					
0		2PL+H①a?+2PL	J		LR	4	6		赤色顔料	B	外	
1EL		1PL+H⑤a+1PL	0		0	0	0					
0		H③c+2PL+H③c?			0	0	0		赤色顔料	B	内外	
H②c		1PL+H①b+1PL	J		LR	3	5		赤色顔料	RSB	内外	
H②c		1PL+H①a+1PL			0	0	0		赤色顔料	B	外	
YS		2PL+K8+2PL	J		L	7	0		赤色顔料	B	内外	
0		KL+PM+3PL										
0	0	2PL+?										
1PL		0	0		0	0	0					
H②c		2PL+H①a+2PL			0	0	0	海面骨針				
H②c		2PL+H①a?			0	0	0					
YS		1PL+			0	0	0					
YS		2PL+			0	0	0		赤色顔料	RSB	内外	
1PL	0				0	0	0					
H②c		H④a+J			LR	4	6		赤色顔料	RS	外	
YS	1PL				0	0	0		赤色顔料	RN	内外	
YS+PM		1PL+H③d+1PL	J		0	0	0					
PM	0				0	0	0	海面骨針	赤色顔料	RN	外	

図 番号	図版 番号	出土位置		器種類型		残存 部位	法量(cm)					口縁 断面	口縁 平面	口縁部内面 装飾	口唇 装飾
		区・遺構	層位	大別	細別		口径	最大径	底径	器高	器厚				
17-24	17-24	S	Ⅵb	F	Fa	RN					4.0	4	1	1PL	
17-25	17-25	R	Ⅵb	F	Fa	RN					8.0	7	1	1PL	0
17-26	17-26	N	Ⅵb	F	Fa	RN					6.0	7	1	1PL	0
17-27	17-27	Q	Ⅵb	F	Ff	RNS					5.0	2	3a	0	PR
17-28	17-28	MN	Ⅵb	F	F	S					-	0			
17-29	17-29	N	Ⅵb	F	F	S					-	0			
17-30	17-30	V	Ⅵb	F	F	S					-	0			
17-31	17-31	M	Ⅵb	F	F	S					-	0			
18-1	18-1	R	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNSB	31.4				7.0	1	3b	0	KZ
18-2	18-2	M	Ⅵd	BⅠ	BⅠc	RNSB					6.0	1	3b	0	KZ
18-3	18-3	M	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNSB	33.1				7.0	1	3a	1PL	PR
18-4	18-4	Q	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNS	28.2				6.0	1	3a	1PL	PR
18-5	18-5	Q	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNS	22.8				8.0	1	3a	1PL	PR
18-6	18-6	R	Ⅵd	BⅠ	BⅠa3	RNS	33.0				8.0	1	3a	1PL	PR
18-7	18-7	M	Ⅵd	BⅠ	BⅠa3	RNS	28.7				6.0	1	3b	0	KZ
18-8	18-8	V	Ⅵd	BⅠ	BⅠc	RNS					4.0	1	3b	0	KZ
18-9	18-9	Q	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RN	30.6				5.0	1	3b	1PL	KZ
18-10	18-10	O	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNS					6.0	1	3b+ V	2PL	PR
18-11	18-11	QU	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RN	25.7				7.0	1	1+ V	1PL	0
18-12	18-12	R	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNS	25.0				8.0	1	3a	1PL	
18-13	18-13	O	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RN					3.0	2	3b+Ⅰc	1PL	KZ
18-14	18-14	M	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RN					5.0	1	3b+Ⅰa	1PL	KZ
18-15	18-15	O	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RN					6.0	2	1+Ⅰ?	0	0
18-16	18-16	Q	Ⅵd	BⅠ	BⅠ	NS					5.0	0			
18-17	18-17	Q	Ⅵd	BⅠ	BⅠ	NS					7.0	0			
18-18	18-18	Q	Ⅵd	BⅠ	BⅠa3	RNSB	22.2				7.0	1	3a	1PL	PR
18-19	18-19	QU	Ⅵd	BⅠ	BⅠa3	RNSB					6.0	1	3b	1PL	KZ
18-20	18-20	Q	Ⅵd	BⅠ	BⅠe	RNS					6.0	1	3b	1PL	KZ
18-21	18-21	Q	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNS					4.0	1	3b	1PL	KZ
18-22	18-22	Q	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNSB					5.0	1	3a	0	PR
18-23	18-23	Q	Ⅵd	BⅠ	BⅠ	RN					5.0	1	3b	0	KZ
19-1	19-1	Q	Ⅵd	BⅠ	BⅠc	RNS					6.0	1	1	0	0
19-2	19-2	U	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNS					5.0	1	3b	1PL	KZ
19-3	19-3	U	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNS					5.0	1	3b	1PL	KZ
19-4	19-4	Q	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNS					4.0	1	3b	1PL	KZ
19-5	19-5	M	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNS	21.8				4.0	1	3a	1PL	PR
19-6	19-6	R	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNS	20.7				4.0	1	1	1PL	0
19-7	19-7	Q	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNS	22.2				8.0	1	3b	0	KZ
19-8	19-8	M	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RNS	15.2				6.0	7	3b	1PL	KZ
19-9	19-9	M	Ⅵd	BⅠ	BⅠa3	RNS	34.0				5.0	6	1	1PL	0
19-10	19-10	R	Ⅵd	BⅠ	BⅠa3	RNS					6.0	1	1+ V	0	0
19-11	19-11	Q	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RN					6.0	1	1	0	0
19-12	19-12	M	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RN					5.0	1	3a	0	PR
19-13	19-13	R	Ⅵd	BⅠ	BⅠa2	RN					6.0	1	3b	1PL	KZ
19-14	19-14	M	Ⅵd	BⅡ	BⅡa	RS	25.8				6.0	2	1	0	0
19-15	19-15	M	Ⅵd	BⅡ	BⅡa	RS	24.4				6.0	3	1	0	0
19-16	19-16	R	Ⅵd	BⅡ	BⅡa	RS	34.4				6.0	2	1	0	0
19-17	19-17	Q	Ⅵd	BⅡ	BⅡa	RS	22.2				5.0	1	1	0	0
19-18	19-18	Q	Ⅵd	BⅡ	BⅡa	RS	29.8				6.0	2	1	0	0
19-19	19-19	MU	Ⅵd	DⅠ	DⅠ2	RNSB					6.0	4	3a	1PL	PR
19-20	19-20	Q	Ⅵd	DⅠ	DⅠ1b	RNS	15.0				4.0	1	3b+ V	1PL	KZ
19-21	19-21	M	Ⅵd	DⅠ	DⅠ1b	RNS	23.2				5.0	1	3a	2PL	PR
19-22	19-22	Q	Ⅵd	DⅠ	DⅠ2	RNSB	22.8				7.0	1	3b	1PL	KZ
19-23	19-23	O	Ⅵd	DⅠ	DⅠ2	RNSB	21.2				7.0	7	3b	1PL	KZ
19-24	19-24	Q	Ⅵd	DⅠ	DⅠ2	RNSB	17.1				4.0	1	3b	1PL	KZ
19-25	19-25	R	Ⅵd	DⅠ	DⅠ3	RNS	21.6				7.0	3	3b	2PL	KZ
19-26	19-26	R	Ⅵd	DⅡ	DⅡ	RS	19.8				3.0	4	1+Ⅱ	YS+1PL	1PL
19-27	19-27	Q	Ⅵd	DⅡ	DⅡ	RS					6.0	1	1+ V	2PL	0
19-28	19-28	R	Ⅵd	DⅠ	DⅠ2	RNS					7.0	5	3b+Ⅰa	1PL	KZ
19-29	19-29	M	Ⅵd	DⅠ	DⅠ3	SB					5.0	0			
19-30	19-30	O	Ⅵd	E	E1b	RSB	16.2				5.0	7	1+ V	1PL	0
19-31	19-31	R	Ⅵd	E	E1b	RSB	21.4				5.0	7	1+ V	1PL	0
19-32	19-32	R	Ⅵd	E	E1b	RSB	17.8				4.0	7	1+ V	1PL	0
19-33	19-33	R	Ⅵd	E	E1b	RSB	20.5				4.0	7	1+ V	1PL	0
19-34	19-34	Q	Ⅵd	E	E1b	RS	27.0				5.0	7	1+ V	1PL	0
20-1	20-1	O	Ⅵd	E	E1b	RS	19.0				4.0	7	1+?	1PL	0
20-2	20-2	R	Ⅵd	E	E1b	RS	18.2				5.0	7	1+?	1PL	0
20-3	20-3	Q	Ⅵd	E	E1b	RS	19.9				3.0	7	1+?	1PL	0
20-4	20-4	O	Ⅵd	E	E1b	RS	11.8				4.0	7	1+?	1PL	0
20-5	20-5	R	Ⅵd	E	E1b	RS					6.0	7	1+ V	1PL	0
20-6	20-6	R	Ⅵd	E	E1b	RS	12.2				6.0	7	1+ V	1PL	0

口縁部 文様帯	頸部 文様帯	体部上半 文様帯	体部下半 文様帯	脚部（底部） 文様帯	縄文（/cm）			胎土中 混和物	付着物			備考
					原体	条数	節数		種類	部位	内外	
1PL	0				0	0	0		炭化物	RN	内外	
1PL+PM	0											
1PL	0											
0	0											
		K1 ㊸			0	0	0		赤色顔料	S	外	
		K1 ㊸			0	0	0					
		2PL+K1 ㊸b+3PL										
		2PL+YB+3PL										
0	0	J	J		L	3	0		炭化物	RNSB	外	
0	0	J	J		0	0	0		炭化物	SB	内外	
0	0	2PL+J	J		RL	2	3		炭化物	RNSB	外	
0	0	2PL+J	J		LR	3	4		炭化物	RNS	外	
0	0	2PL+J	J		LR	3	4	海面骨針	炭化物	RNS	外	
0	0	2PL+J			LR	3	5		炭化物	RNS	外	
0	0	0	0		0	0	0		炭化物	RNS	内外	
0	0	2PL+J			L	4	0		炭化物	RNS	内外	
0	1PL	2PL+J			0	0	0					
0	0	2PL+J	J		LR	2	3		炭化物	RNS	内外	
0	1PL											
0	0	1PL+										
0	0	1PL+										
0	0											
	0	3PL+J			LR	4	5		炭化物	NS	内外	
	0	1PL+J			LR	3	5		炭化物	S	内外	
0	0	1PL+J	J		LR	2	4	海面骨針	炭化物	RNSB	内外	
0	0	1PL+J	J		LR	2	4		炭化物	RNSB	内	
0	0	1PL+J			LR	3	5					
0	0	1PL+J			LR	3	5		炭化物	RNS	内外	
0	0	J	J		LR	4	6		炭化物	RN	内外	
0	0								炭化物	RN	内	
0	0	0	0		0	0	0					
0	0	J			LR	3	4		炭化物	RNS	内外	
0	0	1PL+							炭化物	RNS	内外	
0	0	1PL+J			LR	3	5		炭化物	RNS	内	
0	0	2PL+J			LR	2	3	海面骨針	炭化物	RNS	内外	
0	1PL	2PL+J			LR	2	4		炭化物	RNS	内外	
0	0	2PL							炭化物	S	内外	
0	PUL	3PL						海面骨針				
0	0	1PL+J			LR	3	4		炭化物	RN	外	
0	0	1PL+J			LR	2	3					
0	0											
0	0								炭化物	RN	内外	
0	0											
J		J			LR	3	3		炭化物	R	外	
J		J			L	2.5	0	海面骨針				
J		J			LR	3	4	海面骨針	炭化物	RS	外	
J		J			L	4	0		炭化物	RS	外	
J		J			LR	3	4		炭化物	S	外	
0	1PL	KL+1PL+H ㊸d	0		0	0	0		赤色顔料	ENS	外	
0	0	H ㊸c+1PL							炭化物	RNSB	内外	
0	1PL	1PL+PUL+1PL						海面骨針	赤色顔料	RNS	内外	
0	0	KZZ+3PL	J		LR	2	3	海面骨針	炭化物	RNSB	内外	
0	0	KZZ+3PL	J		RL	3.5	4		炭化物	RNSB	内外	
0	0	KZZ+3PL	J		LR	3	3		炭化物	RNSB	内外	
0	0	5PL						海面骨針	炭化物	RNS	内外	
YS+2PL		0			0	0	0					
YS		2PL							赤色顔料	RS	内外	
0	0	1PL			0	0	0					
		1PL+J	1PL+J		LR	4	6	海面骨針	炭化物	SB	内外	
H ㊸c		H ㊸a+3PL	J		LR	4	6	海面骨針	炭化物	RSB	外	
H ㊸c		2PL+H ㊸a+2PL	0		0	0	0	海面骨針	赤色顔料	RSB	外	
H ㊸c		H ㊸a+2PL	0		0	0	0	海面骨針	赤色顔料	RSB	外	
H ㊸c		2PL+H ㊸a+3PL	0		0	0	0	海面骨針	赤色顔料	RSB	内外	
H ㊸c		1PL+H ㊸a+3PL	0		0	0	0		赤色顔料	RS	外	
H ㊸c?		7PL?			0	0	0		赤色顔料	RS	外	
H ㊸c?		2PL+H ㊸a+2PL			0	0	0	海面骨針	赤色顔料	RSB	外	
H ㊸c?		2PL+H ㊸a			0	0	0		赤色顔料	R	内外	
H ㊸c?		1PL+H ㊸c			0	0	0		赤色顔料	RS	外	
H ㊸c?		?			0	0	0		赤色顔料	RS	外	
H ㊸c?		1PL+H ㊸c			0	0	0		赤色顔料	RS	外	

図 番号	図版 番号	出土位置		器種類型		残存 部位	法量 (cm)					口縁 断面	口縁 平面	口縁部内面 装飾	口唇 装飾
		区・遺構	層位	大別	細別		口径	最大径	底径	器高	器厚				
20-7	20-7	R	Ⅵd	E	E1b	RS	23.4				4.0	7	1+?	1PL	0
20-8	20-8	Q	Ⅵd	E	E1b	RS	25.0				6.0	7	1+?	1PL	0
20-9	20-9	M	Ⅵd	E	E1a	RSB					4.0	4	1+?	1PL	0
20-10	20-10	M	Ⅵd	E	E1a	RSB	32.8				6.0	7	1+ V	YS+2PL	YS
20-11	20-11	R	Ⅵd	EⅢ	EⅢ	RSB	20.2				4.0	7	1+ V	1PL	0
20-12	20-12	M	Ⅵd	E	E2b	RNS					6.0	4	2+ V	2PL	1PL
20-13	20-13	R	Ⅵd	F	Fd	RN					9.0	4	1+ l c+	YS+2PL	1PL
20-14	20-14	Q	Ⅵd	F	Fa	RN	11.0				3.0	4	1+ l c+ V	YS+1PL	1PL
20-15	20-15	M	Ⅵd	F	Fa	RN	12.6				4.0	4	1+ l c+ V	YS+1PL	1PL
20-16	20-16	R	Ⅵd	F	Fa	RN	8.6				5.0	7	1	1PL	0
20-17	20-17	R	Ⅵd	DⅡ	DⅡ	RS	33.2				6.0	4	1+ l c+ V	YS+1PL	1PL
20-18	20-18	O	Ⅵd	F	F	SB					4.0	0			
20-19	20-19	O	Ⅵd	F	Fb	RN	13.0				5.0	4	1+ l e?	1PL	1PL
20-20	20-20	Q	Ⅵd	F	F	S					-	0			
20-21	20-21	S	Ⅵe	BⅠ	BⅠ a2	RNS					5.0	2	3a	1PL	PR
20-22	20-22	U	Ⅵe	BⅠ	BⅠ a2	RNS	28.2				4.0	3	3a		0 PR
20-23	20-23	S	Ⅵe	BⅠ	BⅠ a2	RNS	26.8				4.0	2	3a	1PL	PR
20-24	20-24	S	Ⅵe	BⅠ	BⅠ a2	RNS					5.0	2	3a	1PL	PR
20-25	20-25	N	Ⅵe	BⅠ	BⅠ a2	RNS					6.0	6	3a	1PL	PR
20-26	20-26	R	Ⅵe	BⅠ	BⅠ a3	RNS					5.0	3	1		0 0
20-27	20-27	T	Ⅵe	BⅠ	BⅠ a2	RNSB	35.6				6.0	2	3b		0 KZ
20-28	20-28	N	Ⅵe	BⅠ	BⅠ a2	RNS	26.8				5.0	3	3a	1PL	PR
20-29	20-29	S	Ⅵe	BⅠ	BⅠ a2	RNSB	24.2				6.0	6	3b+ l a+ l e	1PL	KZ
21-1	21-1	S	Ⅵe	BⅠ	BⅠ a2	RNS	21.2				6.0	2	3a	1PL	PR
21-2	21-2	?	Ⅵe	BⅠ	BⅠ a2	RNS					6.0	2	3a	1PL	PR
21-3	21-3	R	Ⅵe	BⅠ	BⅠ a2	RNS					6.0	1	3b+ l b	1PL	KZ
21-4	21-4	S	Ⅵe	BⅠ	BⅠ a2	RNS					7.0	2	3a	1PL	PR
21-5	21-5	S	Ⅵe	BⅠ	BⅠ b1	RN	20.6				5.0	7	3b		0 KZ
21-6	21-6	S	Ⅵe	DⅠ	DⅠ 2	RNSB	38.8				5.0	7	3b	1PL	KZ
21-7	21-7	S	Ⅵe	E	E1b	RSB	15.6				3.0	1	1+ l c+ V	1PL	1PL
21-8	21-8	N	Ⅵe	E	E1b	RS	26.6				5.0	1	1+ V	YS+1PL	1PL
21-9	21-9	T	Ⅵe	E	E2b	RNS	16.4				5.0	7	1+ V	1PL	0
21-10	21-10	M	Ⅵf	BⅠ	BⅠ	NSB					6.0	0			
21-11	21-11	Q	Ⅵf	BⅠ	BⅠ	SB					6.0	0			
21-12	21-12	N	Ⅵf	BⅠ	BⅠ a2	RNS	23.8				6.0	2	3a		0 PR
21-13	21-13	O	Ⅵf	DⅠ	DⅠ 2	RNSB	26.6				7.0	1	3a	1PL	PR
21-14	21-14	N	Ⅵf	BⅠ	BⅠ a2	RNS					9.0	2	3a	1PL	PR
21-15	21-15	M	Ⅵf	BⅠ	BⅠ a2	RNS	21.6				5.0	1	3b+ l e	1PL	PR
21-16	21-16	N	Ⅵf	DⅠ	DⅠ 3	RNSB	9.4				3.0	7	3a	1PL	PR
21-17	21-17	N	Ⅵf	BⅠ	BⅠ	RN	11.4				9.0	1	3a	1PL	PR
21-18	21-18	N	Ⅵf	BⅠ	BⅠ a2	RNS	15.8				7.0	1	3b	1PL	KZ
21-19	21-19	M	Ⅵf	BⅠ	BⅠ b2	RNS	22.6				6.0	1	3b		0 KZ
21-20	21-20	M	Ⅵf	BⅠ	BⅠ e	RNS	22.0				7.0	1	3a		0 PR
21-21	21-21	O	Ⅵf	BⅡ	BⅡ a	RS	21.4				6.0	3	3b		0 KZ
21-22	21-22	M	Ⅵf	DⅠ	DⅠ 1b	RNSB	25.6				6.0	1	3b	1PL	KZ
21-23	21-23	N	Ⅵf	DⅠ	DⅠ 3	RNS	16.0				4.0	4	2+ l c+ l e	YS+1PL	1PL
22-1	22-1	O	Ⅵf	DⅠ	DⅠ 1b	RNS	15.4				3.0	1	3b+ V	1PL	KZ
22-2	22-2	N	Ⅵf	DⅠ	DⅠ 1a	SB					6.0	0			
22-3	22-3	N	Ⅵf	DⅠ	DⅠ 3	RNS	11.4				4.0	1	1+ V	1PL	0
22-4	22-4	O	Ⅵf	DⅠ	DⅠ 3	RNSB	14.0				5.0	1	3a	1PL	PR
22-5	22-5	M	Ⅵf	DⅠ	DⅠ 3	NSB					4.0	0			
22-6	22-6	N	Ⅵf	DⅡ	DⅡ	RS					4.0	7	1	1PL	1PL
22-7	22-7	Q	Ⅵf	BⅡ	BⅡ b	RNS					6.0	4	1?	1PL	1PL
22-8	22-8	O	Ⅵf	E	E2b	RSB	40.8				7.0	4	1+ l c+ V	YS+1PL	1PL
22-9	22-9	O	Ⅵf	E	E1b	RSB					10.0	4	1+ l l+ V	1PL	1PL
22-10	22-10	O	Ⅵf	DⅡ	DⅡ	RS					10.0	4	1+ l l+ V	YS	1PL
22-11	22-11	O	Ⅵf	E	E1b	RS	17.6				3.0	7	1+ V	1PL	1PL
22-12	22-12	N	Ⅵf	E	E1b	RSB	22.2				6.0	7	1+ V ?	1PL	0
22-13	22-13	N	Ⅵf	E	E1b	RS	13.2				3.0	7	1	1PL	0
22-14	22-14	N	Ⅵf	E	E1b	RS	10.2				4.0	7	1	1PL	0
22-15	22-15	N	Ⅵf	E	E1b	RSB	12.6				4.0	7	1+ V	1PL	0
22-16	22-16	N	Ⅵf	E	E1a	RS	22.2				5.0	4	1	1PL	1PL
22-17	22-17	O	Ⅵf	E	E1a	RS	13.5				4.0	4	1	1PL	1PL
22-18	22-18	N	Ⅵf	E	E2b	RSB	21.2				5.0	4	1+ V	2PL	0
22-19	22-19	S	Ⅵf	E	E1a	RS	18.8				6.0	4	1+ V	2PL	YS
22-20	22-20	M	Ⅵf	E	E1a	RS	17.4				4.0	4	1+ l c+ V	1PL	YS
22-21	22-21	O	Ⅵf	F	Fa	RN	6.3				4.0	7	1+ l c+ V	1PL	1PL
22-22	22-22	M	Ⅵf	F	Fa	RN	6.8				4.0	4	1	1PL	1PL
22-23	22-23	S	Ⅵf	F	Fa	RN	8.8				4.0	7	1	1PL	1PL



口縁部 文様帯	頸部 文様帯	体部上半 文様帯	体部下半 文様帯	脚部（底部） 文様帯	縄文（/cm）			胎土中 混和物	付着物			備考
					原体	条数	節数		種類	部位	内外	
3PL+KZ		2PL+H①a+2PL			0	0	0	海面骨針	赤色顔料	RS	外	
H②c?		1PL+H③c			0	0	0		赤色顔料	S	外	
0		3PL+H③c	J		LR	2	3		赤色顔料	B	外	
0		3PL	0		0	0	0	海面骨針				
H②c		H①b+2PL	0		0	0	0	海面骨針	赤色顔料	RSB	内外	
0	1PL	KL							赤色顔料	RNS	内外	
2PL	1PL+											
YS+PM	0							海面骨針	赤色顔料	RNS	外	
KL	0								赤色顔料	R	外	
2PL	0								赤色顔料	R	外	
H②c		2PL+J			LR	3	3		赤色顔料	RS	内外	
		1PL+K1③+2PL	2PL		0	0	0		炭化物	S	外	
0	0								赤色顔料	R	外	
		3PL+H①a?										
0	0	2PL+J			LR	2	4		炭化物	RNS	内外	
0	0	1PL+J			LR	3	4		炭化物	S	内	
0	0	2PL+J			RL	2	3	海面骨針				
0	0	2PL+J			LR	3	5		炭化物	RNS	RNS	
0	0	2PL+J			RL	3	4		炭化物	S	外	
0	0	J			LR	2	3		炭化物	RNS	内外	
0	0	1PL+J	J		R	3	0		炭化物	RNSB	内外	
0	0	2PL+J			RL	2	3		炭化物	RNS	外	
0	0	2PL+J	J		L	2	0		炭化物	RNSB	外	
0	0	2PL+J			LR	3	4		炭化物	RNS	内外	
0	0	2PL+J			L	3	0		炭化物	RNS	内外	
0	0	2PL+J			LR	2	4		炭化物	RNS	内外	
0	0	2PL+J			LR	3	4		炭化物	RNS	外	
1PL	0								炭化物	N	外	
0	0	KZZ+3PL	J		RL	2	4					
H②c		1PL+H③c+2PL	J		LR	3	5					
H①a		?			0	0	0		赤色顔料	RS	外	
0		0			0	0	0	海面骨針	赤色顔料	RSB	外	
		2PL	J		L	2	0		炭化物	NSB	外	
		2PL	J		LR	3	5		炭化物	RNS	外	
0	0	1PL+J			LR	3	4		炭化物	RNS	外	
0	0	KZZ+2PL+J	J		LR	4	6					
0	0	2PL+J			LR	3	4		炭化物	RN	内外	
0	0	2PL+J			LR	2	3		炭化物	RNS	内外	
0	0	2PL+J	J		LR	4	4					
0	0	1PL+J							炭化物	RN	外	
0	0	1PL+J			LR	3	4		炭化物	S	外	
1PL	0	1PL+J			LR	3	4	海面骨針	炭化物	RNS	内外	
0	0	J			LR	2	3		炭化物	S	外	
J		J			LR	2	3		炭化物	RS	内外	
0	0	KZZ+1PL+YS	J		LR	3	4					
1EL	1PL	1PL+PLPU	J		LR	3	4		炭化物	RNS	内外	
0	0	H⑤a	1PL+J		LR	6	7		炭化物	S	内外	
		KZZ	1PL+					海面骨針				
0	0	1PL+J							赤色顔料	RN	内外	
0	0	3PL+J	J		LR	5	7		炭化物	RNS	内外	
		2PL+PM+2PL+J	J		LR	3	4					
KL		2PL+J							炭化物	RS	内外	
0	4PL	1PL+J			LR	2	5					
0		2PL+K7+2PL	J		LR	3	6					
YS		2PL+K8+2PL	J		LR	2	4					
YS		3PL+										
H②c?		3PL+H③c							赤色顔料 炭化物	RS R	外 内外	
H②c		1PL+H③c							赤色顔料	RSB	内外	
0		H③c+										
0		H③c+										
0		2PL+H1a+2PL	0		0	0	0					
0		2PL+H③c										
0		1PL+CK+1PL										
0		2PL+J			RL	4	4	海面骨針	炭化物	RSB	外	
0		J			LR	3	4		赤色顔料 炭化物	RS R	外 内外	
0		J			LR	3	4		赤色顔料 炭化物	RS R	外 内外	
0	0											
0	0								赤色顔料	R	外	
1PL	0								赤色顔料	RN	内外	

図 番号	図版 番号	出土位置		器種類型		残存 部位	法量(cm)					口縁 断面	口縁 平面	口縁部内面 装飾	口唇 装飾
		区・遺構	層位	大別	細別		口径	最大径	底径	器高	器厚				
22-24	22-24	N	Ⅵf	F	Fa	RNSB	10.2				5.0	4	1	1PL	
22-25	22-25	Q	Ⅵf	F	Ff	RNSB					8.0	1	1	0	0
22-26	22-26	Q	Ⅵf	G	G	S					2.0	0			
23-1	23-1	N	Ⅵg	BⅠ	BⅠa2	RNSB	25.5				5.0	7	3b	1PL	KZ
23-2	23-2	N	Ⅵg	BⅠ	BⅠb2	RNS	28.6				9.0	1	1+Ⅰa	1PL	0
23-3	23-3	N	Ⅵg	BⅠ	BⅠa2	RNS	24.0				6.0	1	3b	1PL	KZ
23-4	23-4	N	Ⅵg	BⅠ	BⅠb2	RNSB	9.2				4.0	7	3b	1PL	KZ
23-5	23-5	N	Ⅵg	BⅠ	BⅠb2	RNS	15.7				8.0	7	3a	1PL	0
23-6	23-6	N	Ⅵg	BⅠ	BⅠa2	RN					7.0	4	Ⅰa	YS	1PL
23-7	23-7	N	Ⅵg	BⅠ	BⅠa2	RN					7.0	1	3a	1PL	PR
23-8	23-8	N	Ⅵg	BⅠ	BⅠa2	RNS					4.0	1	3b	1PL	KZ
23-9	23-9	N	Ⅵg	BⅠ	BⅠb2	RNS					6.0	1	3b+Ⅰa	1PL	KZ
23-10	23-10	N	Ⅵg	BⅠ	BⅠa3	RNB	20.4				8.0	7	3b	1PL	KZ
23-11	23-11	N	Ⅵg	BⅠ	BⅠa3	RNS	26.8				5.0	1	3a	1PL	PR
23-12	23-12	R	Ⅵg	BⅠ	BⅠb2	RNS	18.8				8.0	7	3b	1PL	KZ
23-13	23-13	N	Ⅵg	BⅠ	BⅠb1	RNS	17.4				6.0	2	1	1PL	0
23-14	23-14	N	Ⅵg	BⅡ	BⅡb	RS	14.4				4.0	1	3b	0	KZ
23-15	23-15	R	Ⅵg	DⅠ	DⅠ2	RNS	27.8				8.0	1	3b	1PL	KZ
23-16	23-16	R	Ⅵg	DⅠ	DⅠ2	RNSB	17.2				5.0	1	1+ⅠV	1PL	PR
23-17	23-17	N	Ⅵg	DⅠ	DⅠ1b	NSB					5.0	0			
23-18	23-18	N	Ⅵg	DⅠ	DⅠ1a	RNS	23.6				5.0	1	3b	1PL	KZ
23-19	23-19	N	Ⅵg	E	E2b	RNSB	14.2				5.0	7	1	1PL	0
23-20	23-20	O	Ⅵg	E	E2b	RNS					4.0	1	1	1PL	0
23-21	23-21	N	Ⅵg	E	E1b	RS	20.8				4.0	4	1+ⅠV	1PL	0
23-22	23-22	N	Ⅵg	E	E1b	RS	20.2				6.0	3	1	1PL	0
23-23	23-23	R	Ⅵg	F	Fa	RN	9.0				4.0	4	1+Ⅰc+ⅠV	1PL	1PL
24-1	24-1	N	Ⅵh	BⅠ	BⅠd	RNSB	25.4				5.0	1	1+ⅠV	1PL	0
24-2	24-2	R	Ⅵh	BⅠ	BⅠa1	RNB					15.0	4	1+Ⅰc	1PL	0
24-3	24-3	R	Ⅵh	BⅠ	BⅠa1	RNS	20.4				8.0	1	3b+ⅠV	1EL	KZ
24-4	24-4	R	Ⅵh	BⅠ	BⅠa1	RN	31.2				7.0	7	3a	0	PR
24-5	24-5	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa1	RN	13.8				4.0	7	3b	1PL	KZ
24-6	24-6	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa1	RNS					6.0	1	3a	1PL	PR
24-7	24-7	N	Ⅵh	BⅠ	BⅠa1	RNS	42.6				7.0	1	3b	1PL	KZ
24-8	24-8	O	Ⅵh	BⅠ	BⅠa3	RNSB	18.0				4.0	7	3a	1PL	PR
24-9	24-9	R	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS					5.0	1	3a	1PL	PR
24-10	24-10	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNSB	22.4				5.0	1	3a	1PL	PR
24-11	24-11	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNSB					7.0	2	2	1PL	PR
24-12	24-12	N	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	22.4				5.0	2	3a	1PL	PR
24-13	24-13	N	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	24.9				5.0	7	3a	1PL	PR
24-14	24-14	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS					8.0	4	1+Ⅰc	1PL	PR
25-1	25-1	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	22.2				6.0	4	3a	1PL	PR
25-2	25-2	U	Ⅵh	BⅠ	BⅠa1	RNS	21.8				6.0	1	3b	0	KZ
25-3	25-3	Q	Ⅵh	BⅡ	BⅡb	RNS	23.0				4.0	4	1+ⅠV	1PL	0
25-4	25-4	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	16.0				3.0	4	1+Ⅰa+ⅠV	YS+1PL	0
25-5	25-5	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa3	RNS					6.0	4	3a	1PL	1PL
25-6	25-6	N	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	26.2				5.0	1	3a	1PL	PR
25-7	25-7	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠ	NSB									
25-8	25-8	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠ	NSB									
25-9	25-9	Q	Ⅵh	BⅡ	BⅡb	RNG					7.0	4	2+Ⅰ?	1PL	1PL
25-10	25-10	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RN					6.0	1	2	0	0
25-11	25-11	R	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS					5.0	2	1	0	0
25-12	25-12	N	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	22.1				4.0	7	3a	1PL	PR
25-13	25-13	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	23.6				6.0	1	3b	0	KZ
25-14	25-14	N	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNSB	24.6				5.0	7	3a	1PL	PR
25-15	25-15	R	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	15.0				4.0	7	3b	1PL	KZ
25-16	25-16	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	20.3				5.0	1	3a	1PL	PR
25-17	25-17	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	21.2				9.0	77	3a	1PL	PR
25-18	25-18	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNS	30.6				7.0	2	3a	1PL	PR
25-19	25-19	R	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNSB					7.0	3	3b+Ⅰc	YS+1PL	KZ
25-20	25-20	N	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS					9.0	1	3b	1PL	KZ
25-21	25-21	?	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RN					4.0	3	3b	0	KZ
26-1	26-1	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	20.6				4.0	7	3a	1PL	PR
26-2	26-2	R	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RN					5.0	7	3a	1PL	PR
26-3	26-3	N	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RN					5.0	1	3a	0	PR
26-4	26-4	O	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RN					5.0	1	3a	1PL	PR
26-5	26-5	不明	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS					6.0	4	1+Ⅰa	1PL	1PL
26-6	26-6	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS					5.0	1	3b	1PL	KZ
26-7	26-7	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	31.1				6.0	1	3a	1PL	PR
26-8	26-8	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	29.5				6.0	6	3a	1PL	PR

口縁部 文様帯	頸部 文様帯	体部上半 文様帯	体部下半 文様帯	脚部（底部） 文様帯	縄文（/cm）			胎土中 混和物	付着物			備考
					原体	条数	節数		種類	部位	内外	
1PL		0							赤色顔料	R	外	
0	0	0	0		0	0	0					
		K1 ①b?+KZZ+PM	0		0	0	0		赤色顔料	S	外	
0	0	4PL+PU	J		LR	3	4	海面骨針	炭化物	S	内外	
0	1PL	1PL+J			RL	3	3		炭化物	NS	外	
0	0	2PL+J			LR	4	8		炭化物	RNS	外	
0	0	2PL	J		RL	3	4		炭化物	RNS	内外	
0	0	2PL+			0	0	0	海面骨針	炭化物	S	内外	
0	0								炭化物	RN	内外	
0	0	1PL+							炭化物	RN	外	
0	0	J			LR	3	5		炭化物	RNS	内外	
0	0	1PL+J			LR	3	4		炭化物	RNS	内外	
0	0	J			L	2	0		炭化物	RNS	内外	
0	0	J			LR	3	4		炭化物	RNS	内外	
0	0	J			LR	4	4					
0	0	J			LR	3	5					
2PL		J			LR	4	6		炭化物	RS	内外	
0	0	KZZ+2PL							炭化物	RNS	外	
0	2PL		1PL+ K1 ①b+1PL		0	0	0		赤色顔料	RNSB	内外	
	0	2PL	J		LR	4	8					
0	0	KZZ+2PL	J		LR	3	4		炭化物	RNS	内外	
0	1PL	1PL	1PL+ K1 ①b+1PL		0	0	0					
0	1PL	1PL	1PL+									
2PL		0			0	0	0					
1PL		0			0	0	0					
1PL	0								赤色顔料	RN	外	
0	0	3PL+PM	J		LR	3	5		炭化物	RNSB	内外	
YS	K1 ①a+PUL	J			LR	2	3		炭化物	RNS	内外	
0	8EL	J			LR	3	5		炭化物	NS	内外	
0	6PL							海綿骨針・金雲母				
0	1PL											
0	3PI	J			LR	3	4					
0	5PL	J			LR	3	4	海面骨針	炭化物	RN	内外	
0	0	2KZZ+1PL	J		LR	3	5		炭化物	RNSB	内外	
0	1PL	1PL+J			RL	4	5					
0	1PL	1PL+J			RL+LR	3	4		赤色顔料	SB	外	
0	0	2PL+J	J		RL	3	4		炭化物	RNSB	外	
0	0	2PL+J			RL	3	4		炭化物	S	外	
0	0	2PL+J			LR	3	4					
0	1PL	2PL+J			LR	2	3					
0	0	1PL+J			RL	3	4		炭化物	RNS	内外	
0	3PL	J			RL	3	3					
0	3PL	KL										
0	0								炭化物	RNS	内外	
0	0	1PL+							炭化物	RNS	内外	
0	0	3PL+							炭化物	RNS	外	
		K1 ①b+1PL	1PL+J		LR	3	4		炭化物	NSB	内外	
			1PL+J		RL	2	3					
0	3PL	2PL+J			LR	3	5					
0	2PL	1PL+										
0	2PL	1PL+J			LR	3	5		炭化物	RNS	外	
0	0	1PL+J			LR	4	5		炭化物	RNS	外	
0	0	2PL+J			L	2	0					
0	1PL	1PL+J	J		LR	4	4		炭化物	RNSB	内外	
0	0	2PL+J			RL	3	4		炭化物	RNS	内外	
0	0	2PL+J			LR	3	4		炭化物	RNS	外	
0	0	1PL+J			LR	3	6		炭化物	RNS	外	
0	0	2PL+J			LR	3	4		炭化物	RNS	外	
0	2PL	J			LR	3	5		炭化物	RNSB	内	
0	0	1PL+J			LR	3	5		炭化物	RNSB	外	
0	0	2PL+							炭化物	RN	外	
0	0	1PL+J			LR	3	4	海面骨針	炭化物	RNS	外	
0	0											
0	0								炭化物	RN	内外	
0	0								炭化物	RN	内外	
0	0	1PL+J			LR	3	5					
0	0	1PL+J			LR	2	4		炭化物	RNS	内外	
0	0	1PL+J			RL	3	3		炭化物	RNS	内外	
0	0	1PL+J			LR	2	4		炭化物	RNS	外	

図 番号	図版 番号	出土位置		器種類型		残存 部位	法量(cm)					口縁 断面	口縁 平面	口縁部内面 装飾	口唇 装飾
		区・遺構	層位	大別	細別		口径	最大径	底径	器高	器厚				
26-9	26-9	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	27.8				6.0	1	3a	1PL	PR
26-10	26-10	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS					7.0	6	3b	1PL	KZ
26-11	26-11	R	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS					8.0	1	3b+Ⅰa	1PL	KZ
26-12	26-12	S	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	14.6				4.0	4	1	1PL	0
26-13	26-13	U	Ⅵh	BⅠ	BⅠe	RNS					7.0	1	1		0
26-14	26-14	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠ	RN					-	1	1		0
26-15	26-15	Q	Ⅵh	F	Fc	RN					6.0	4	1	1PL	0
26-16	26-16	R	Ⅵh	BⅠ	BⅠ	NSB					5.0	0			
26-17	26-17	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	23.6				4.0	7	3b	1PL	KZ
26-18	26-18	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	22.0				6.0	1	3a	1PL	PR
26-19	26-19	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	34.4				6.0	7	3a	1PL	PR
26-20	26-20	R	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	13.2				5.0	3	3b+Ⅴ	1PL	KZ
26-21	26-21	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS					4.0	7	3a	1PL	PR
26-22	26-22	O	Ⅵh	BⅠ	BⅠa3	RNS	29.0				7.0	7	3a	1PL	PR
26-23	26-23	R	Ⅵh	BⅠ	BⅠb2	RNS					4.0	1	3a	1PL	PR
26-24	26-24	O	Ⅵh	BⅠ	BⅠa3	RNS	11.2				6.0	7	3b	1PL	KZ
26-25	26-25	R	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	21.6				6.0	4	3a	1PL	PR
26-26	26-26	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa3	RNS	22.8				5.0	1	3b	1PL	KZ
26-27	26-27	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNSB	27.4				5.0	7	3a	1PL	PR
27-1	27-1	O	Ⅵh	BⅠ	BⅠb2	RNSB	24.2				5.0	7	3a	1PL	PR
27-2	27-2	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	23.2				6.0	7	3b	1PL	KZ
27-3	27-3	O	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNS	23.2				7.0	1	3a	1PL	PR
27-4	27-4	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa3	RNS	24.2				4.0	7	3a	1PL	PR
27-5	27-5	N	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNSB					5.0	2	3a	1PL	PR
27-6	27-6	O	Ⅵh	BⅠ	BⅠa3	RNS					7.0	2	3a	1PL	PR
27-7	27-7	S	Ⅵh	BⅠ	BⅠa3	RNS	24.2				4.0	1	3a	1PL	PR
27-8	27-8	S	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	29.6				8.0	1	3a	1PL	PR
27-9	27-9	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	24.0				4.0	3	3a	1PL	PR
27-10	27-10	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	34.6				7.0	2	3a	1PL	PR
27-11	27-11	N	Ⅵh	BⅠ	BⅠb2	RNS	20.6				5.0	1	3a	1PL	PR
27-12	27-12	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNS	26.2				5.0	7	3a	1PL	PR
27-13	27-13	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠb2	RNS	39.0				5.0	7	3a	1PL	PR
27-14	27-14	O	Ⅵh	BⅠ	BⅠa3	RNS	19.7				6.0	7	3a	1PL	PR
27-15	27-15	N	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNS	25.0				5.0	1	3a	1PL	PR
27-16	27-16	R	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	20.6				7.0	1	3a	1PL	PR
27-17	27-17	S	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNS					7.0	3	3a?	1PL	PR
27-18	27-18	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNS	19.6				5.0	7	3a	1PL	PR
27-19	27-19	N	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNS					5.0	1	3a		0 D
27-20	27-20	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNSB					7.0	3	3b	1PL	KZ
28-1	28-1	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNS	21.6				5.0	1	3b+Ⅴ	1PL	KZ
28-2	28-2	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNS					8.0	1	3b	1PL	KZ
28-3	28-3	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RN					7.0	1	3b		0 KZ
28-4	28-4	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNS	19.2				6.0	1	1+Ⅴ	1PL	0
28-5	28-5	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNS	37.4				6.0	7	3a	1PL	PR
28-6	28-6	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNS					-	1	3a	1PL	PR
28-7	28-7	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNS					5.0	7	3b	1PL	KZ
28-8	28-8	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠb1	RNS	24.3				4.0	4	3b+Ⅰc	YS+1PL	KZ
28-9	28-9	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RN					8.0	4	1+Ⅰf	YS+1PL	1PL
28-10	28-10	V	Ⅵh	BⅠ	BⅠa3	RNS					6.0	4	2	1PL	1PL
28-11	28-11	O	Ⅵh	BⅠ	BⅠb2	RNS	23.8				5.0	7	3b	1PL	KZ
28-12	28-12	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS					6.0	3	3a	1PL	PR
28-13	28-13	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RN					6.0	1	3a	1PL	PR
28-14	28-14	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠe	RNS					5.0	2	3a		0 PR
28-15	28-15	O	Ⅵh	BⅠ	BⅠe	RNS					6.0	1	3a	1PL	PR
28-16	28-16	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RN					5.0	2	3a		0 PR
28-17	28-17	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠa3	RNS					7.0	1	3a	1PL	PR
28-18	28-18	N	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RN					6.0	2	3a	1PL	PR
28-19	28-19	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa3	RNS					6.0	1	3a	1PL	PR
28-20	28-20	N	Ⅵh	BⅠ	BⅠb2	RNSB	23.0				6.0	7	3b	1PL	KZ
28-21	28-21	Q	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS					6.0	1	1		0
28-22	28-22	O	Ⅵh	BⅠ	BⅠb2	RNS					6.0	1	3b+Ⅴ	1PL	KZ
28-23	28-23	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠb2	RNS					5.0	1	3b	1PL	KZ
28-24	28-24	M	Ⅵh	BⅠ	BⅠa2	RNS	33.8				6.0	2	3a		0 PR
28-25	28-25	Q	Ⅵh	BⅡ	BⅡb	RS					6.0	1	3b	1PL	KZ
28-26	28-26	M	Ⅵh	BⅡ	BⅡb	RNS					4.0	1	3b	1PL	KZ
28-27	28-27	O	Ⅵh	BⅡ	BⅡa	RSB	25.1				5.0	1	1		0
28-28	28-28	M	Ⅵh	BⅡ	BⅡa	RNS					7.0	3	3b		0 KZ
28-29	28-29	N	Ⅵh	DⅡ	DⅡ	RSB					5.0	3	3b		0 KZ
28-30	28-30	MQ	Ⅵh	DⅠ	DⅠ3	RNS					7.0	1	?		0
28-31	28-31	M	Ⅵh	DⅠ	DⅠ3	RNS	19.1				6.0	1	3b	1PL	KZ
29-1	29-1	NQ	Ⅵh	DⅠ	DⅠ3	RNSB	22.8				5.0	2	3a+Ⅰ	1PL	PR



口縁部 文様帯	頸部 文様帯	体部上半 文様帯	体部下半 文様帯	脚部（底部） 文様帯	縄文（/cm）			胎土中 混和物	付着物			備考
					原体	条数	節数		種類	部位	内外	
0		0 1PL+J			RL	2	3		炭化物	RNS	外	
0	1PL	1PL+							炭化物	RN	外	
0	0	0 1PL+J			LR	3	5		炭化物	RNS	外	
0	0	0 0			0	0	0		炭化物	RNS	外	
0	0	0 1PL+J			LR	2	3		炭化物	RNS	内外	
0	0	0 3PL+										
0	0	0										
	0	0 1PL+J	J		LR	3	4		炭化物	NSB	外	
0	0	0 1PL+J			LR	2	2		炭化物	RNS	内外	
0	0	0 1PL+J			RL	3	4		炭化物	S	外	
0	0	0 1PL+J			RL	3	5		炭化物	S	外	
0	0	0 2PL+J			LR	3	4		炭化物	RNS	外	
0	0	0 1PL+J			RL	3	4		炭化物	S	外	
0	0	0 1PL+J			LR	3	3		炭化物	S	内外	
0	0	0 1PL+J			LR	3	4					
0	0	0 1PL+J			LR	3	4		炭化物	S	外	
0	0	0 KZZ+2PL										
0	0	0 1PL+J			LR	4	4					
0	0	0 1PL+J	J		LR+RL	3	4		炭化物	RNSB	外	
0	0	0 1PL+J	J		RL+LR	3	3		炭化物	SB	外	
0	0	0 1PL+J			RL	4	5		炭化物	S	外	
0	0	0 1PL+J			LR	3	4					
0	0	0 1PL+J			LR	3	5		炭化物	S	外	
0	0	0 1PL+J			RL	3	4					
0	0	0 1PL+J			RL	2	3					
0	0	0 2PL+J			RL	3	4		炭化物	RNS	内外	
0	0	0 1PL+J			LR	2	4					
0	0	0 1PL+J			LR	3	5					
0	0	0 1PL+J			LR	2	3					
0	0	0 1PL+J			RL	3	3		炭化物	RNS	外	
0	0	0 1PL+J			LR	3	4		炭化物	RNS	外	
0	0	0 1PL+J			LR	3	4		炭化物	RN	外	
0	0	0 1PL+J			LR	3	4					
0	0	0 1PL+J			RL	3	3					
0	0	0 1PL+J			LR	3	3		炭化物	RNS	外	
0	0	0 3PL+J			RL	2	3		炭化物	RNS	内外	
0	0	0 1PL+J			RL	3	4		炭化物	RNS	内外	
0	0	0 J			0	0	0		炭化物	RNS	内外	
0	0	0 1PL+J			LR	2	3		炭化物	RNSB	内外	
0	0	0 1PL+J			LR	5	4	海面骨針	炭化物	RNS	内外	
0	0	0 1PL+										
0	1PL								炭化物	RN	内外	
0	0	0 1PL+J			LR	4	3					
0	0	0 1PL+J			LR	2	3					
0	0	0 1PL+J										
0	0	0 1PL+J			LR	3	4		炭化物	RNS	内外	
0	0	0 J			RL+LR	3	4		炭化物	RNS	内外	
0	0	0										
0	0	0 KZZ+										
0	0	0 1PL+J			LR	4	5					
0	1PL	1PL+J			RL	3	5		炭化物	RNS	内外	
0	0	0 1PL+							炭化物	RN	内外	
0	0	0 J			LR	3	5					
0	0	0 1PL+J			RL	3	5		炭化物	RNS	外面	
0	1PL								炭化物	RN	内外	
0	1PL	1PL+J			LR	3	6		炭化物	RNS	外	
0	0	0										
0	0	0 1PL+J			LR	3	5		炭化物	RNS	内外	
0	0	0 KZZ+2PL										
0	0	0 0	0		0	0	0		炭化物	RNS	内外	
0	0	0 1PL+1KL+										
0	0	0 1PL+J			RL?	?	?		炭化物	RNS	内外	
0	3PL				LR	4	4					
0	3PL	J			LR	4	4					
0	2PL	1PL+J			LR	3	5					
J		J	J		LR	2	4					
	0	0 1PL+LL							炭化物	RNS	内外	
1PL		J			LR	3	5		炭化物	SB	外	
	0 K1 ①b	1PL+J			RL	2	3					
1PL		0 1PL+J			LR	3	3					
	0	0 1PL+CK+J	1PL+J		LR	3	4		炭化物	B	内	

図 番号	図版 番号	出土位置		器種類型		残存 部位	法量 (cm)					口縁 断面	口縁 平面	口縁部内面 装飾	口唇 装飾
		区・遺構	層位	大別	細別		口径	最大径	底径	器高	器厚				
29-2	29-2	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 3	RNSB	9.2				3.0	7	3b	1PL	KZ
29-3	29-3	不明	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 3	RNS					4.0	1	3b		0 KZ
29-4	29-4	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNSB	18.9				3.0	2	3a+Ⅰ f	YS+1PL	PR
29-5	29-5	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ	RNS					8.0	4	1+Ⅰ f	YS	1PL
29-6	29-6	R	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 1b	RNSB					5.0	4	1+Ⅰ ?	1PL	1PL
29-7	29-7	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ	RNS					4.0	1	3b	1PL	KZ
29-8	29-8	O	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 3	RNSB					6.0	1	3b+Ⅰ V	1PL	KZ
29-9	29-9	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNSB	35.4				4.0	4	2+Ⅰ a	YS+2PL	PR
29-10	29-10	N	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNS	10.8				4.0	7	1	1PL	0
29-11	29-11	O	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNS	15.0				4.0	7	1+Ⅰ e	1PL	0
29-12	29-12	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 1a	RNSBF	7.4	8.4	3.4	7.5	4.0	1	3b+Ⅰ V	1PL	KZ
29-13	29-13	O	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNSB	24.3				5.0	7	3b	1PL	KZ
29-14	29-14	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ	RNS					5.0	1	1+Ⅰ ?	1PL	KZ
29-15	29-15	R	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNSB					5.0	1	3b	1PL	KZ
29-16	29-16	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 3	RNS					6.0	1	3b	1PL	KZ
29-17	29-17	R	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 1a	RNSB					4.0	1	3b	1PL	KZ
29-18	29-18	M	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 1b	RNS					4.0	4	2	1PL	1PL
29-19	29-19	M	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNSB					5.0	1	3b	1PL	KZ
29-20	29-20	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNSB	16.8				5.0	1	3b	1PL	KZ
29-21	29-21	M	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNSB	21.0				6.0	7	3b	1PL	KZ
29-22	29-22	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 1a	RNSB	20.0				4.0	7	3b	2PL	KZ
29-23	29-23	O	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 1a	RNSB	20.8				4.0	2	3b	1PL	KZ
29-24	29-24	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 1a	RNS	9.6				6.0	3	3b		0 KZ
29-25	29-25	S	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNSB	18.4				5.0	7	3b	1PL	KZ
29-26	29-26	R	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNSB	15.4				4.0	7	3b	1PL	KZ
30-1	30-1	R	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 3	RNSB	24.0				5.0	7	3b	1PL	KZ
30-2	30-2	M	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 3	RNS	15.7				6.0	7	3b	1PL	KZ
30-3	30-3	N	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNSB	20.8				7.0	7	3b	1PL	KZ
30-4	30-4	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNSB					4.0	3	3b	1PL	KZ
30-5	30-5	N	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNSB	12.3				4.0	7	3b	1PL	KZ
30-6	30-6	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNSB	19.2				5.0	1	3b	1PL	KZ
30-7	30-7	R	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 1a	RNSB	15.4				5.0	4	1+Ⅰ a	1PL	0
30-8	30-8	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 1a	RNSB	15.6				3.0	7	1	1PL	0
30-9	30-9	M	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNSB					5.0	7	1+Ⅰ a	1PL	1PL
30-10	30-10	R	Ⅵh	DⅠ	DⅠ	RNS	24.4				7.0	1	3a	1PL	PR
30-11	30-11	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 3	RNS	24.3				4.0	1	3b+Ⅰ V	1PL	KZ
30-12	30-12	R	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 1b	RNSB	14.4				5.0	7	3b	1PL	KZ
30-13	30-13	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 3	RNSB					8.0	4	3b	1PL	KZ
30-14	30-14	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 3	RNSB	12.2				5.0	7	3b	1PL	KZ
30-15	30-15	N	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNSB	12.0				5.0	7	1	1PL	0
30-16	30-16	N	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RNSB					4.0	7	1	1PL	0
30-17	30-17	Q	Ⅵh	DⅡ	DⅡ	RS	11.2				4.0	1	1		0 0
30-18	30-18	R	Ⅵh	G	G	S					4.0	0			
30-19	30-19	R	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 3	RNSB	18.4				6.0	4	3b+Ⅰ V	YS+2PL	KZ
30-20	30-20	M	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 1a	RNSB	16.8				6.0	1	3a+Ⅰ a	YS+1PL	PR
30-21	30-21	Q	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 2	RS	18.8				5.0	7	1+Ⅰ a+Ⅰ V	1PL	0
30-22	30-22	M	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 1a	SB					5.0	0			
30-23	30-23	R	Ⅵh	DⅠ	DⅠ 3	RNS					4.0	7	3b+Ⅰ V	1PL	KZ
30-24	30-24	M	Ⅵh	DⅡ	DⅡ	RS	11.1				3.0	3	1		0 0
30-25	30-25	M	Ⅵh	DⅡ	DⅡ	RSB	23.6				4.0	4	1	1PL	0
30-26	30-26	N	Ⅵh	E	E2a	RNSB					7.0	4	1+Ⅰ c+Ⅰ V	1PL	1PL
30-27	30-27	Q	Ⅵh	DⅢ	DⅢ	F					-	0			
31-1	31-1	S	Ⅵh	E	E2a	RNS	20.6				5.0	7	1	2PL	0
31-2	31-2	N	Ⅵh	E	E2a	RNSB	18.6				5.0	7	1	1PL	0
31-3	31-3	O	Ⅵh	E	E2a	RNS					4.0	7	1+Ⅱ	YS+1PL	0
31-4	31-4	S	Ⅵh	E	E1b	RSB					7.0	4	1+Ⅰ c+Ⅰ V	YS+2PL	1PL
31-5	31-5	MN	Ⅵh	E	E2b	RS					10.0	4	1+Ⅰ a+Ⅰ e	YS+1PL	1PL
31-6	31-6	N	Ⅵh	E	E1b	RS	16.4				4.0	4	1		0 1PL
31-7	31-7	N	Ⅵh	E	E1a	RS					8.0	4	1+Ⅰ a+Ⅰ e	YS+1PL	1PL
31-8	31-8	O	Ⅵh	E	E1a	RSB	19.4				3.0	4	1	1PL	1PL
31-9	31-9	M	Ⅵh	E	E1b	RS					4.0	1	1+Ⅱ+Ⅰ V	YS+1PL	1PL
31-10	31-10	O	Ⅵh	E	E1a	RS	11.3				4.0	4	1+Ⅰ V	YS+1PL	1PL
31-11	31-11	R	Ⅵh	E	E1a	RS	29.2				6.0	7	3b	2PL	KZ
31-12	31-12	M	Ⅵh	E	E1a	RS					5.0	4	3b		0 KZ
31-13	31-13	N	Ⅵh	E	E2b	RS					6.0	4	1+Ⅰ c+Ⅰ V		0 1PL
31-14	31-14	M	Ⅵh	E	E1a	RS					6.0	4	1+Ⅰ c+	1PL	1PL
31-15	31-15	N	Ⅵh	E	E1b	RSB					5.0	4	1+Ⅰ V	1PL	1PL
31-16	31-16	N	Ⅵh	E	E2b	RS					6.0	4	1+Ⅰ V	1PL	1PL
31-17	31-17	N	Ⅵh	E	E2b	RNS					7.0	4	Ⅰ+Ⅰ V	1PL	1PL
31-18	31-18	Q	Ⅵh	E	E2b	RNS					5.0	1	3b		0 KZ

口縁部 文様帯	頸部 文様帯	体部上半 文様帯	体部下半 文様帯	脚部（底部） 文様帯	縄文（/cm）			胎土中 混和物	付着物			備考
					原体	条数	節数		種類	部位	内外	
0	0	H㊦c	K7+J		LR	4	8					
0	0	H㊦a+KZZ										
0	0	H㊦a	J		RL	3	5					
0	0	1PUL+2PL+							炭化物	RNS	内外	
0	0	1KZZ+2PL	1PL+J		LR	3	5		炭化物	S	内	
0	0	3PL+										
0	0	1PL	2K1 ㊦a		0	0	0					
0	0	3PL+PU	J		RL	3	5	海面骨針				
0	0	?							炭化物	RNS	内外	
0	0	3PL										
0	0	1PL	1PL+J		LR	4	6					
0	0	3PL	J		LR結節	5	6		炭化物	RNSB	内外	
0	0	4PL+							炭化物	RNS	内外	
0	0	1PL+1KZZ+2PL	1PL+J		LR	3	4		炭化物	RNSB	内外	
0	0	1KZZ+							炭化物	RNS	内外	
0	0	1KZZ+2PL	1PL+J		LR	4	5		炭化物	RNSB	内外	
0	0	J			LR	3	6					
0	0	1PL+1KL+1PL	1PL+						炭化物	RNSB	内外	
0	0	KZZ+3PL	J		LR	2	3		赤色顔料 炭化物	RNSB SB	内外 外	
0	0	3PL+PU	J		RL	3	5	海面骨針	炭化物	RNSB	外	
0	0	H㊦c+PUL	1PL+J		LR	3	4	海面骨針				
0	0	1PL+KZZ	1PL+J		LR+RL	3	4	海面骨針	炭化物	RNSB	内外	
0	0	KZZ+2PL+PU	J		L	3	0					
0	0	KZZ+2PL+PU	J		LR	3	3		炭化物	RNSB	内外	
0	0	KZZ+2PL+PU	J		LR	3	4		炭化物	RNSB	内外	
0	0	KZZ+2PL+PU	J		RL	3	4		炭化物	RNSB	内外	
0	0	KZZ+2PL+PU	J									
0	0	KZZ+2PL+PU	J		LR	2	3		炭化物	B	外	
0	0	3PL	J		LR+ RL結節	3	4		炭化物	SB	内外	
0	0	KZZ+3PL	J		LR	4	4		炭化物	RNSB	内外	
㊦	0	KZZ+3PL	J		LR	2	3		炭化物	RNSB	内外	
0	0	KZZ+3PL	J		LR	3	5	海面骨針	炭化物	RNSB	内外	
0	0	2PL	1PL+J		RL	4	3		炭化物	S	外	
0	0	KZZ+3PL	J		LR	3	4	海面骨針				
0	0	1PL+J			LR	3	5					
0	0	1PL+J			RL	3	4		炭化物	RNS	外	
0	1PL	KL	1PL+J		LR	5	6		炭化物	RNSB	内外	
0	0	KZZ+3PL	J		LR	3	4		炭化物	RNSB	内外	
0	0	KZZ+3PL	J		LR	3	4					
0	0	2PL+KZZ	1PL+J		RL	4	5		炭化物	RNSB	内外	
0	0	H㊦a+KZZ	J		LR	4	5		炭化物	RNSB	外	
2PL		J			LR	4	5					
		CL?+J			LR	5	7					
0	0	2PL	J		LR	3	4		炭化物	RNSB	内外	
0	0		0 J		LR	2	4		炭化物	RNSB	内外	
0		2PL+PM+2PL+JJ			LR	3	8		炭化物	RS	外	
		3PL+KL	1PL+J		RL	5	8	海面骨針				
0	0	?			LR	6	9	海面骨針				
0	0	J			LR	2	3					
1PL		J	J		LR	3	4					
YS	0	KL	2PL+H㊦a						赤色顔料	RNS	内外	
				X	0	0	0					底面隆帯
0	0	H㊦c	K7+J		RL	3	7	海面骨針	赤色顔料	RNS	内外	
0	1PL	KL	CL+J		LR	4	5	海面骨針	赤色顔料	RNSB	外	
YS	0		0 K1?									
YS		HK+1PL+J	J		LR	3	5					
0		2PL+CK							赤色顔料	RS	内外	
0		K7			0	0	0					
0		K6			0	0	0					
0		K6+2PL			0	0	0					
YS		1PL+H㊦a+2PL			0	0	0					
YS		1PL+H㊦b			0	0	0					
2PL		YB+J			RL	3	5					
3PL		CL+J			LR	4	5					
1PL+PM			0		0	0	0		赤色顔料	RS	内外	
1PL			0		0	0	0					
2PL			0	0	0	0	0					
2PL			0		0	0	0					
0	0	1PL+J			R	3	0					
0	0	0										

図 番号	図版 番号	出土位置		器種類型		残存 部位	法量(cm)					口縁 断面	口縁 平面	口縁部内面 装飾	口唇 装飾
		区・遺構	層位	大別	細別		口径	最大径	底径	器高	器厚				
31-19	31-19	M	Ⅵh	E	E1a	RSB	21.5				5.0	4	1+ V ?	2PL	0
31-20	31-20	U	Ⅵh	D II	D II	RS					13.0	4	1	1PL	1PL
31-21	31-21	N	Ⅵh	E	E1b	RS					5.0	1	1+ V ?	1PL	0
31-22	31-22	Q	Ⅵh	E	E1a	RS					9.0	4	1+ V	1PL	1PL
31-23	31-23	Q	Ⅵh	E	E1a	RS	13.2				6.0	3	1	0	0
31-24	31-24	Q	Ⅵh	E	E1b	RS	35.6				6.0	1	3b	1PL	KZ
31-25	31-25	Q	Ⅵh	E	E1a	RSB	20.4				4.0	1	1	1PL	0
31-26	31-26	N	Ⅵh	E	E	S					-	0			
31-27	31-27	Q	Ⅵh	D	D	SB					-	0			
31-28	31-28	R	Ⅵh	E	E	SB	17.2				-	0			
31-29	31-29	Q	Ⅵh	E	E	S					-	0			
32-1	32-1	Q	Ⅵh	E	E	S									
32-2	32-2	M	Ⅵh	F	Fd	RN	9.2				4.0	7	1+ V	2PL	0
32-3	32-3	Q	Ⅵh	F	Fc	RNS	11.1				6.0	4	1	1PL	1PL
32-4	32-4	M	Ⅵh	F	Fa	RN	10.8				4.0	4	1	1PL	1PL
32-5	32-5	R	Ⅵh	F	Fc	RN					4.0	4	1+ l a+ V	YS+1PL	1PL
32-6	32-6	Q	Ⅵh	F	Fa	RN	12.8				4.0	4	1	1PL	1PL
32-7	32-7	M	Ⅵh	F	Fa	RN	7.9				3.0	4	1+ V	1PL	0
32-8	32-8	Q	Ⅵh	F	Fd	RN					7.0	4	1+ l c	YS	1PL
32-9	32-9	O	Ⅵh	F	Fa	RN					6.0	4	1	1PL	YS
32-10	32-10	Q	Ⅵh	F	Fa	RN					4.0	7	1	1PL	0
32-11	32-11	N	Ⅵh	F	Fc	RN					6.0	1	1+	1PL	PR
32-12	32-12	B	Ⅵh	F	Fa	RN					7.0	4	1	1PL	YS
32-13	32-13	Q	Ⅵh	F	Fc	RN					6.0	1	1	1PL	0
32-14	32-14	Q	Ⅵh	F	Fc	RN	10.5				6.0	1	1	1PL	0
32-15	32-15	O	Ⅵh	F	Fc	RN	11.0				7.0	1	1	1PL	0
32-16	32-16	Q	Ⅵh	F	Fb	RN					6.0	1	1	1PL	0
32-17	32-17	O	Ⅵh	F	Fb	RN					6.0	1	1	1PL	0
32-18	32-18	Q	Ⅵh	F	Fb	RN	12.8				8.0	1	1	0	0
32-19	32-19	M	Ⅵh	G	G2	RSB	8.6				4.0	1	1	0	0
32-20	32-20	N	Ⅵh	F	Fc	NS					-	0			
32-21	32-21	O	Ⅵh	F	Fc	RNS	11.2				6.0	7	1	1PL	0
32-22	32-22	Q	Ⅵh	F	Fc	NS					-	0			
32-23	32-23	M	Ⅵh	F	F	SB					-	0			
32-24	32-24	R	Ⅵh	F	F	S					-	0			
32-25	32-25	Q	Ⅵh	F	F	S					-	0			
32-26	32-26	V	Ⅵh	F	F	S					-	0			
32-27	32-27	N	Ⅵh	F	F	B					-	0			
32-28	32-28	N	Ⅵh	F	F	B					-	0			
33-1	33-1	R	Ⅵh	F	F	SB					-	0			
33-2	33-2	O	Ⅵh	F	F	S					-	0			
33-3	33-3	O	Ⅵh	F	F	SB					-	0			
33-4	33-4	M	Ⅵh	F	F	SB					-	0			
33-5	33-5	N	Ⅵh	F	F III	S					-	0			
33-6	33-6	N	Ⅵh	G	G2	NSB					-	0			
33-7	33-7	O	Ⅵh2	D I	D I 2	SB					-	0			
33-8	33-8	S	Ⅵh2	F	Fc	RN	18.2				5.0	4	1+ l c+ l e	YS	1PL
33-9	33-9	S	Ⅵh2	F	Fc	RN					7.0	4	2+ l b	YS+1PL	1PL
33-10	33-10	U	Ⅵh2	B I	B I b1	RNS					4.0	7	1	1PL	0
33-11	33-11	O	Ⅵh2	F	Fb	RN					6.0	1	1	1PL	0
33-12	33-12	O	Ⅵh2	F	F	S					-	0			
33-13	33-13	O	Ⅵh3	D I	D I 2	RNSB					5.0	3	3b	1PL	3b
33-14	33-14	N	Ⅵh3	D II	D II	RNSB					3.0	1	3b	0	3b
33-15	33-15	O	Ⅵh3	F	F	S					-	0			
33-16	33-16	O	Ⅵh3	F	F	S					-	0			
33-17	33-17	N	Ⅵi	D I	D I 3	RNS					6.0	1	3b+ V	0	KZ
33-18	33-18	N	Ⅵi	D I	D I 1a	RNSB					6.0	4	3b+ l f	YS	1PL



口縁部 文様帯	頸部 文様帯	体部上半 文様帯	体部下半 文様帯	脚部（底部） 文様帯	縄文（/cm）			胎土中 混和物	付着物			備考
					原体	条数	節数		種類	部位	内外	
PM+2PL		J			LR	3	4	海面骨針				
3PL		J			RL	4	5					
YS		H㊦a										
2PL		0			0	0	0					
0		1PL+J			0	0	0					
0		0			0	0	0					
0		1PL+J			LR	2	3					
		IK+J			LR	5	7		赤色顔料	S	外	
		IK?+J	J		LR	4	8					
		H㊦c?	J		R	7	0		赤色顔料	SB	内外	
		1PL+IK+1PL+J	J		LR	4	4					
			5PL+J		LR	4	8					
YS												
0	0	1PL+J			RL+LR	3	4					
1PL	0											
1PL	0											
1PL	0								赤色顔料	RN	外	
CB	0											
0	0											
CB+PM	0											
0	0											
0	0	1PL+										
CB+PM	0											
0	0											
0	0											
0	0											
0	0											
0	0											
0	0											
2PL		KL	H㊦c?					海面骨針				
	0	1PL+J			LR	3	4		赤色顔料	NS	外	
0	0	2PL+J			LR	3	4					
	0	2PL+J			LR	3	4					
		3PL+HK+2PL+J	J		LR	3	4					
		1PL+H㊦a+K1㊦						海面骨針	赤色顔料	S	外	
		1PL+K1㊦										
			K7		0	0	0					
			K7					海面骨針	赤色顔料	B	外	
		4PL+3LL+J+2PL	J		LR	5	7	海面骨針				
		4PL+CL+J			LR	3	6		赤色顔料	S	外	
		RW+2PL			0	0	0		炭化物	S	外	
		3PL+J	J		LR	7	8					
			4PL	X	0	0	0					四脚
	DK+J	CB+KZ+PUL	2PL+J		LR	4	6					
		KZZ+2PL	1PL+J		LR	4	6		炭化物	SB	内外	
0	0											
0	0											
0	0	J			LR	4	6					
0												
		K1										
0	0	2PLPU+YS	J		LR	3	5		炭化物	RNSB	内外	
0	0	1PL	J		LR	2	5		炭化物	RNSB	外	
		CL+J			LR	4	6					
		RW+1PL	RW		0	0	0					
0	0	H㊦c+1PL							炭化物	RNS	内外	
0	0	KZZ+2PL	1PL+J		LR	3	6		炭化物	RNSB	内外	

表2 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器観察表

図 番号	図版 番号	出土位置		器種類型		残存部位	法量 (cm)					口縁 断面	口縁 平面	口縁部内面 装飾
		区	層位	大別	細別		口径	最大径	底径	器高	器厚			
34-1	34-1	M	VII a	B I	B I a3	RNS	18.8				9.0	1	3a	1PL
34-2	34-2	NRM	VII a	B I	B I a2	RNSB	17.8	18.6			12.0	3	3a	1PL
34-3	34-3	0	VII a	B I	B I a2	RNSB	22.0	23.4			9.0	1	3a	1PL
34-4	34-4	0	VII a	B I	B I a2	RNSB	24.8	25.8			8.0	3	3a	1PL
34-5	34-5	Q	VII a	B I	B I a1	RNSB	16.7	18.4			4.0	1	3b	1PL
34-6	34-6	0	VII a	B I	B I a2	RNSB	27.6	28.0			8.0	1	3a	1PL
34-7	34-7	M	VII a	B I	B I a2	RNSBF	10.3		6.0	10.0	4.0	1	1	0
34-8	34-8	0	VII a	B II	B II a	RSBF	9.8		5.4	7.5	4.0	1	3b	0
35-1	35-1	0	VII a	D I	D I 1	RNSB	26.8	27.0			8.0	1	2+ I c	YS+1PL
35-2	35-2	不明	VII a	D I	D I 1	RNSBF	17.2	17.4	6.2	14.0	8.0	1	3b+ I e	YS+2PL
35-3	35-3	NR	VII a	D I	D I 1	RNS	19.0	20.8			5.0	1	3b	1PL
35-4	35-4	MO	VII a	D I	D I 1	RNSBF	18.8	19.0	5.8	14.7	6.0	1	3b	1PL
35-5	35-5	M	VII a	D I	D I 5	RNSB	6.5				4.0	1	1	1PL
35-6	35-6	0	VII a	D I	D I 1	RNSBF	38.4	39.6	8.2	33.6	8.0	1	2	1PL
36-1	35-7	MQ	VII a	D I	D I 3	RNSBF	37.2	37.2			8.0	1	3b+ I f+ V	YS+1PL
36-2	36-1	不明	VII a	E I	E I 2	RNSBF	32.6	33.0	8.8	16.5	9.0	1	2	YS+1PL
36-3	36-2	M	VII a	D III	D III	BFP			6.8			0		
36-4	36-3	M	VII a	F	F	BF			3.0			0		
36-5	36-4	M	VII a	F	Fc1	RNSB	10.8	25.8			7.0	1	1+ I f	YS+1PL
36-6	36-5	M	VII a	F	Fc1	RNSBF	5.4	10.0	4.4	10.2	3.0	1	1	1PL
36-7	36-6	0	VII a	F	Fc1	RNSBF	10.4		7.6		6.0	1	2+ I a	YS+1PL
36-8	36-7	M	VII a	F	Fc1?	SBF		21.0	6.8			0		
37-1	36-8	M	VII b	B I	B I a2	RNSB	28.2	29.6			7.0	3	3a	1PL
37-2	37-1	Z	VII b	B I	B I a2	RNSB					5.0	1	3a	0
37-3	37-2	Z	VII b	B I	B I a3	RNSB	26.1				7.0	1	3a	1PL
37-4	37-3	M	VII b	B I	B I a3	RNSB	28.7				8.0	1	2	1PL
37-5	37-4	M	VII b	B I	B I a2	RNSBF	18.4	18.2	6.4	22.2	7.0	1	3b+ I e	1PL
37-6	-	M	VII b	B I	B I a2	RNSB	17.6				7.0	1	3b+ I e	1PL
37-7	37-5	N	VII b	B I	B I a3	RNS	20.0				6.0	1	3a+ I e	1PL
37-8	37-7	MQ	VII b+ VII a	B I	B I a2	RNS	15.2	15.2			5.0	1	3b+ I e	1PL
37-9	37-6	N	VII b	B I	B I a2	RNSBF	12.0	12.0	5.6	13.0	4.0	1	3b+ I e	1PL
38-1	37-8	N	VII b	B I	B I a2	RNSBF	19.2	20.2	6.5	23.0	5.0	1	3b	0
38-2	37-9	M	VII b	B I	B I a2	RNSB	21.1				7.0	1	3b	1PL
38-3	37-10	Z	VII b	B I	B I a2	RNS	27.4				5.0	1	3a	1PL
38-4	37-11	M	VII b	B I	B I a2	RNSB	19.6	20.5			6.0	1	3b	1PL
38-5	38-1	MQ	VII b+ VII a	B I	B I a2	RNS	23.6				8.0	1	3a	1PL
38-6	38-2	MN	VII b	B I	B I a2	RNSB	33.6	33.8			7.0	1	2	1PL
39-1	38-3	N	VII b	B I	B I a2	RNSB	28.6	31.4			6.0	1	2	0
39-2	38-4	NR	VII b	B I	B I a2	RNS	12.4				5.0	1	2	1PL
39-3	38-5	M	VII b	B I	B I a2	RNSBF	9.6	9.2	5.2	9.7	5.0	1	2	1PL
39-4	38-6	Z	VII b	B I	B I a2	RNS	25.2				6.0	1	3a	1PL
39-5	38-7	M	VII b	B I	B I a2	RNSB	22.4	23.0			6.0	1	2	1PL
39-6	38-8	R0N	VII b+ VII a	B I	B I a2	RNSBF	23.6		8.0	27.6	6.0	1	2	0
39-7	39-1	M	VII b	B I	B I a2	RNSB	20.6	19.8			8.0	1	2+ I c	YS+1PL
40-1	39-2	NJ	VII b	B I	B I a2	RNSB	35.6				8.0	1	2	1PL
40-2	39-3	M	VII b+ VII a	B I	B I a2	RNSB	24.3	25.8			8.0	1	2	1PL
40-3	39-4	M	VII b	B I	B I a1	RNS	12.4				5.0	1	3b+ I e	1PL
40-4	39-5	M	VII b	D I	D I 1	RNSBF	16.8	18.0	5.4	17.4	5.0	1	2	1PL
40-5	39-6	N	VII b	D I	D I 1	RNSBF	18.0	18.4	5.6	14.3	8.0	4	2+ I c	YS+1PL
40-6	39-7	M	VII b	D I	D I 1	RNSBF	13.2	13.4	5.4	11.4	6.0	1	2+ I c	1PL
40-7	39-8	M	VII b	D I	D I 1	RNSBF	16.3	16.8	5.2	12.7	7.0	1	3b	1PL
40-8	39-9	M	VII b	D I	D I 1	RNSBF	15.0	16.2	5.8		6.0	1	3b	1PL
41-1	40-1	M	VII b+ VII a	D I	D I 1	RNSBF	32.2	31.8			7.0	1	2+ I c	YS+1PL
41-2	40-2	M	VII b	D I	D I 2	RNSBF	13.0	11.2	3.8	9.2	5.0	1	2+ I c	YS+1PL
41-3	40-3	N	VII b	D I	D I 1	RNSB	17.6	16.4			5.0	1	2+ I c	YS+1PL
41-4	40-4	M	VII b	E I	E I 2	RNSBF	20.4		5.2	8.6	7.0	1	2	1PL
41-5	40-5	Q	VII b	E I	E I 2	RNS	9.8	9.8			3.0	1	3b	1PL
41-6	40-6	N	VII b	E I	E I 2	RNS	13.4	14.2			4.0	1	3b	1PL
41-7	40-7	N	VII b	E I	E I 2	RNSB	9.6	10.0			4.0	1	1	1PL
41-8	40-8	N	VII b	E I	E I 2	RNSB	13.7	14.2			5.0	1	2	YS+1PL
41-9	40-9	N	VII b	E I	E I 2	RNSBF	13.8	13.6	5.0	7.0	5.0	1	2	YS+1PL
41-10	40-10	MP	VII b	E I	E I 1	RSB	16.0				8.0	1	1	1PL
41-11	40-11	M	VII b	E I	E I 2	RNSBF	24.7	23.2	7.0	10.2	7.0	1	2	1PL
41-12	40-12	N	VII b	D	D	BFP			6.8			0		
41-13	40-13	M	VII b	D	D	BFP			5.6			0		
41-14	40-14	M	VII b	D	D	BFP			6.2			0		
41-15	40-15	M	VII b	D	D	BFP			7.4			0		
41-16	40-16	M	VII b	D	D	BFP			9.0			0		

口唇 裝飾	口縁部 文様帯	頸部 文様帯	体部上半 文様帯	体部下半 文様帯	脚部 文様帯	縄文 (/cm)			胎土中 混和物	付着物			備考
						原体	条数	節数		種類	部位	内外	
PR	0	0	1PL+J			LR	3	4		炭化物	RNS	内外	
PR	0	0	2PL+J	J		RL+LR	3	5		炭化物	RNSB	内外	
PR	0	0	1PL+J	J		LR	3	4		炭化物	RNS	内外	
PR	0	0	1PL+J	J		LR	4	5		炭化物	RNSB	内外	
KZ	0	0	1PL+J	J		LR	3	7		炭化物	RNSB	内外	
PR	0	0	2PL+J	J		RL+LR	3	4		炭化物	RNSB	内外	
0	0	0	J	J		LR	3	6		炭化物	RNS	内外	
KZ	0	0	0	0		0	0	0		炭化物	R	外	
1PL	0	0	KZZ+2PL	J		LR+RL	3	6		炭化物	RNSB	内外	
KZ	0	0	H㊤a+PLPU	J		LR	3	5		炭化物	RND	外	
KZ	0	0	KZZ+1PL+ PLPU+1PL	J		LR	3	5	金雲母	炭化物	RNSB	内外	
KZ	0	0	H㊤a	J		LR	3	6		炭化物	RNSB	内外	
0	0	0	?			0	0	0					
1PL	0	0	KZZ+1PL+ PLPU+1PL	J		LR+RL	2	3		炭化物	NS	外	
KZ+PR	0	0	3PL+J	J		LR+RL	3	4	海綿骨針	炭化物	RNSB	内外	
1PL	0	0	3PL	J		LR+RL	2	3					
				2PL	0	0	0	0					
				4PL+J		LR	3	6		赤色顔料			
1PL	0	0	1PL+J	J		LR	4	4					
0	0	0	1PL+J	1PL+J		LR	3	4					
1PL	0	0	1PL+J	J		LR+RL	2	2					
			J	J		LR+RL	3	4					
PR	0	0	1PL+J	J	J	RL+LR	3	6		炭化物	RNSB	外	
PR	0	0	1PL+J	J	J	LR	4	6		炭化物	RNSB	内外	
PR	0	0	1PL+J	J		LR+RL	2	4		炭化物	RNSB	内外	
PR	0	0	1PL+ J	J		RL+LR	2	3		炭化物	RNS	内外	
KZ+PR	0	0	2PL+J	J		RL	2	3		炭化物	RNSB	内外	
KZ+PR	0	0	1PL+J	J		RL+LR							所在不明
PR	0	0	2PL+J			LR+RL	2	3		炭化物	RNS	内外	
KZ+PR	0	0	J	J		RL	3	4		炭化物	RNS	内外	
PR	0	0	21L+J	J		LR+RL	3	5		炭化物	RNSB	内外	
KZ	0	0	J	J		LR	4	5		炭化物	RNSB	内外	
KZ	0	0	2PL+J	J		LR	3	5		炭化物	RNS	内外	
PR	0	0	1PL+J			LR	3	5		炭化物	RNSB	外	
KZ	0	0	1PL+J	J		LR	4	4		炭化物	RNSB	外	
PR	0	0	1PL+J			LR	3	4		炭化物	RNS	内外	
PR	0	0	1PL+J	J		LR	4	5		炭化物	RNSB	内外	
PR	0	0	1PL+J	J		RL+LR	3	4		炭化物	NSB	内外	
PR	0	0	2PL+J			LR	3	4	海綿骨針	炭化物	RNS	内外	
1PL	0	0	1PL+J	J		RL	4	5		炭化物	RNS	内外	
PR	0	0	2PL+J			RL+LR	3	4		炭化物	RNS	外	
1PL	0	0	1PL+J	J		LR+RL	3	4		炭化物	RNSB	内外	
1PL	0	0	3PL+J	J		LR+RL	3	4		炭化物	RNSB	内外	
1PL	0	0	1PL+J	J		LR+RL	3	4		炭化物	RNSB	内外	
1PL	0	0	2PL+J	J		RL+LR	4	5		炭化物	R	外	
1PL	0	0	2PL+J	J		LR	3	4		炭化物	RNSB	内外	
KZ	0	0	1PL+J	J		LR	3	4		炭化物	RNS	内外	
1PL	0	0	4PL	J		LR	3	4		炭化物	RNSB	内外	
1PL	0	0	KZZ+2PL	J	J	RL+LR	5	6		炭化物	RNSB	内外	
1PL	0	0	2PL+J	J		LR	4	5		炭化物	RNSB	内外	
KZ	0	0	2PL+KL+2PL	J		RL+LR	4	5		炭化物	RNSB	内外	
KZ	0	0	1PL	J		LR	2	4	海綿骨針	炭化物	RNSB	内外	
1PL	0	0	KZZ+2PL	J		RL+LR	3	3					
1PL	0	0	KZZ+1PL	J		LR	4	7	金雲母	炭化物	B	内	
1PL	0	0	H㊤a+PLPU	J		LR	4	6	金雲母	炭化物	RNSB	内外	
1PL	0	0	1PL+CL1+J+1PL	0		LR	4	6					
KZ	0	0	1PL+KL+1PL	J		LR	4	8	金雲母				
KZ	0	1PL	1PL+KL+1PL	1PL+CL1?+J		LR	5	7					
0	0	0	1PL+KL+1PL	1PL+CL1?+J		LR	4	6					
1PL	0	0	1PL	1PL+CL1+J+1PL		LR	3	5	海綿骨針				
1PL	0	0	1PL	J		RL	4	5					
0	0		2PL+K8+2PL	0		0	0	0	金雲母 海綿骨針				
1PL+KZ	0	0		J		LR	3	6					
				J	1PL+J	RL	4	5					
				J	J	LR	5	7	金雲母				
				J	1PL+J	LR+RL	5	7					
				J	0	RL	3	3	金雲母				
					1PL+PU	0	0	0	海綿骨針				

図 番号	図版 番号	出土位置		器種類型		残存部位	法量 (cm)					口縁 断面	口縁 平面	口縁部内面 装飾
		区	層位	大別	細別		口径	最大径	底径	器高	器厚			
42-1	40-17	M	VII b+ VII a	F	Fb1	RNSB	11.0				6.0	1	1	0
42-2	41-1	M	VII b+ VII a	F	Fa	RNSBF	11.2	21.8	6.4	21.8	7.0	1	1+   c+ V	YS+1PL
42-3	41-2	M	VII b+ VII a	F	Fc1	RNSB	11.6	26.8			7.0	1	1	1PL
42-4	41-3	N	VII b	F	Fa	RNSBF	10.1	18.6	6.0	17.1	5.0	1	1+   c+ V	YS+1PL
42-5	41-4	M	VII b	F	Fc1?	NSB		31.0				0		
43-1	42-1	O	VII b	F	Fc1	RNSB	11.5	26.6			8.0	1	1	0
43-2	42-2	M	VII b	F	Fc1	RNSB	7.4				5.0	1	1	1PL
43-3	42-3	M	VII b	F	Fc1?	NS						0		
43-4	42-4	M	VII b	F	F	SBF		11.4	4.6			0		
43-5	42-5	N	VII b	F	F	S						0		
43-6	-	M	VII b	F	F	BF			6.8			0		
43-7	42-6	MR	VII b	F	Fd	RNSBF	9.4	16.0	10.0	16.7	7.0	1	2+   e	
44-1	43-1	N	VII a	B	B   b2	RNS					7.0	1	3b	1PL
44-2	43-2	N	VII a	B	B   a2	RNS					7.0	1	3b	1PL
44-3	43-3	M	VII a	B	B   a2	RNS					6.0	1	3b	1PL
44-4	43-4	N	VII a	B	B   a2	RNS					6.0	1	3b	1PL
44-5	43-5	M	VII a	B	B   a2	RNS					6.0	1	3b	1PL
44-6	43-6	M	VII a	B	B   a2	RNS					6.0	1	3b	1PL
44-7	43-7	M	VII a	B	B   a2	RNS					5.0	1	3b	1PL
44-8	43-8	O	VII a	B	B   a2	RNS					8.0	1	3b	1PL
44-9	43-9	N	VII a	B	B   a2	RNS					6.0	1	3b	1PL
44-10	43-10	M	VII a	B	B   a2	RNS					6.0	1	3b	1PL
44-11	43-11	M	VII a	B	B   a2	RNS					6.0	1	3b	1PL
44-12	43-12	M	VII a	B	B   a2	RN					6.0	1	3b	1PL
44-13	43-13	O	VII a	B	B   a1	RNS					7.0	1	3a	1PL
44-14	43-14	O	VII a	B	B   a2	RNS					6.0	1	3b	1PL
44-15	43-15	N-R	VII a+ VII b	B	B   a2	RNSB					5.0	1	3a	1PL
44-16	43-16	M	VII a	B	B   a2	RNS					6.0	1	3a	1PL
44-17	43-17	O	VII a	B	B   a2	RNS					7.0	1	1+	1PL
44-18	43-18	N	VII a	B	B   a2	RNS					6.0	1	2	1PL
44-19	43-19	O	VII a	B	B   a2	RNS					7.0	1	2	0
45-1	44-1	M	VII a	B	B   a2	RNS					8.0	1	2	1PL
45-2	44-2	M	VII a	B	B   a2	RNS					8.0	1	2	1PL
45-3	44-3	ON	VII a+ VI i	B	B   a2	RNSB					7.0	1	2	1PL
45-4	44-4	M	VII a	B	B   a2	RNSB					7.0	1	1+   f	0
45-5	44-5	O	VII a	B	B   a2	RNS					6.0	7	1	1PL
45-6	44-6	O	VII a	B	B   b2	RNS					10.0	7	2	1PL
45-7	44-7	Q	VII a	B	B   a2	RNS					5.0	7	3b+   e	1PL
45-8	44-8	Z	VII a	B II	B II a	RS					5.0	1	1	0
45-9	44-9	O	VII a	D	D   1	RNSB					6.0	1	2	1PL
45-10	44-10	O	VII a	D	D   1	RNSB					3.0	1	3b	1PL
45-11	44-11	M	VII a	D	D   1	RNSB					9.0	1	2	1PL
45-12	44-12	O	VII a	D	D   1	RNS					7.0	1	1+   c+ V	1PL
45-13	44-13	M	VII a	D	D   2	RNS					6.0	1	3b+	1PL
45-14	44-14	M	VII a	D	D   1	RN					9.0	1	2+   c	YS+1PL
45-15	44-15	N	VII a	D	D   1	RN					8.0	1	2+   a	1PL
45-16	44-16	O	VII a	D	D   2	RN					4.0	1	3b	0
46-1	45-1	M	VII a	E	E   2	RNS					6.0	7	3b+   c	1PL
46-2	45-2	N	VII a	E	E   2	RS					4.0	7	1?	1PL
46-3	45-3	O	VII a	E	E   2	RN					5.0	1	2	1PL
46-4	45-4	O	VII a	F	Fc1	RN					6.0	7	1	1PL
46-5	45-5	Q	VII a	F	Fc1	RN					5.0	7	1+   e	1PL
46-6	45-6	O	VII a	F	Fb	RN					7.0	1	1	0
46-7	45-7	Q	VII a	F	Fc1	RNS					5.0	7	1	0
46-8	45-8	O	VII a	F	Fb1	RN					4.0	1	1	0
46-9	45-9	N	VII a	F	F	NS						0		
46-10	45-10	O	VII a	F	F	NS						0		
46-11	45-11	M	VII a	F	F	S						0		
46-12	45-12	M	VII a	F	F	S						0		
46-13	45-13	M	VII a	F	F	NS						0		
46-14	45-14	O	VII a	F	F	B						0		
46-15	45-15	O	VII a	C	C	B						0		
46-16	45-16	M	VII a	F	F	S						0		
47-1	46-1	Z	VII b	B	B   a2	RNS					7.0	7	3a	1PL
47-2	46-2	N	VII b	B	B   a3	RNS					8.0	7	3b	1PL
47-3	46-3	N	VII b	B	B   a3	RNS					5.0	1	3b	1PL
47-4	46-4	R	VII b	B	B   a3	RNS					8.0	1	3a	1PL
47-5	46-5	N	VII b	B	B   a2	RNS					6.0	1	3a	0



口唇 装飾	口縁部 文様帯	頸部 文様帯	体部上半 文様帯	体部下半 文様帯	脚部 文様帯	縄文 (/cm)			胎土中 混和物	付着物			備考
						原体	条数	節数		種類	部位	内外	
0	0	0	2PL+J	J		RL+LR	3	4					
1PL	PM	0	2PL+3LL+CL1+J+3PL	J		LR	4	5					
0	0	0	1PL+J	J		LR	3	4	金雲母	炭化物	SB	外	
1PL	PM	0	2PL+3LL+CL2+J+3PL	J		LR	5	5					
			1PL+J	J		LR	3	4	金雲母	赤色顔料			アスファルトによる補修
0	0	0	J	J		LR+RL	3	4					
0	0	0	1PL+J	J		LR	3	4	海綿骨針	炭化物	SB	外	
		0	1PL+J			LR	3	4					
			J	J		RL	3	6					
			CL1+J+2PL			LR	6	10	金雲母				
				J		RL+LR							アスファルトによる補修 所在不明
0	H㊦a	0	IK	IK		0	0	0					
KZ	0	0	2PL+J			LR	3	5		炭化物 赤色顔料	S	内外	
KZ	0	0	1PL+J			RL	3	5		炭化物	RNS	内外	
KZ	0	0	1PL+J			RL	3	5		炭化物	S	内外	
KZ	0	0	1PL+J			LR	3	4					
KZ	0	0	1PL+J			LR	3	4		炭化物	RNS	内外	
KZ	0	0	1PL+J			LR	4	6					
KZ	0	0	1PL+J			LR	3	5		炭化物	RNS	内外	
KZ	0	0	1PL+J			LR	3	4		炭化物	RNS	外	
KZ	0	0	1PL+J			LR+RL	3	3	5	炭化物	RNS	内外	
KZ	0	0	1PL+J			LR	3	4		炭化物	RNS	内外	
KZ	0	0	1PL+J			LR	2	4		炭化物	RN	外	
KZ	0	0											
PR	0	0	2PL+J			RL	2	3		炭化物	RNS	内外	
KZ	0	0	1PL+J			RL	2	3		炭化物	RNS	内外	
PR	0	0	1PL+J			RL+LR	2	2	3	炭化物	RNSB	内外	
PR	0	0	1PL+J			LR	2	3		炭化物	R	内外	
0	0	0	1PL+J			LR+RL	2	3	3	炭化物	RNS	内外	
PR	0	0	2PL+J			LR+RL	3	3	4	炭化物	RNS	内外	
PR	0	0	1PL+J			RL	3	5		炭化物	NS	内外	
PR	0	0	1PL+J			RL	3	4		炭化物	RNS	外	
PR	0	0	1PL+J			RL	3	4		炭化物	RNS	内外	
PR	0	0	1PL+J	J		LR	3	5		炭化物	RNSB	内外	
1PL	0	0	1PL+J	J		RL+LR	3	3	5	炭化物	RNSB	内外	
0	0	0	1PL+J			LR	3	5		炭化物	S	内	
PR	0	0	1PL+J			LR	2	4		炭化物	RNS	内外	
KZ	0	0	1PL+J			LR	4	6		炭化物	R	内外	
0	J		J			RL	3	5		炭化物	R	外	
1PL	0	0	2PL+KL+2PL	J		RL	3	5					
KZ	0	0	1PUL+ 2 PL			LR	4	6		炭化物	RNS	内外	
PR	0	0	3PL+J			LR	3	5					
1PL	0	0	3PL							炭化物	RNS	内外	
KZ	0	0	2PL+J			LR	3	5					
1 PL	0	0											
PR	0	0							金雲母 海綿骨針	炭化物	R	外	
KZ	0	0								炭化物	RNS	内外	
KZ	0	0	2PL+J			LR	3	6					
0	1 PL		?			LR	4	7					
PR	YS+1PL	0	0			0	0	0		赤色顔料			
0	0	0											
PR	0	0											
0	0	0							海綿骨針				
0	0	0											
0	0	0											
		0	1PL+J			RL	3	5					
		0	1PL+J			RL+LR	3	3	5	海綿骨針			
			K8+J			LR	5	9					
			K8+J			LR	5	9	金雲母	赤色顔料			
		0	J			RL	3	5		赤色顔料			
				?									
				CC									
			IK?+3PL										
PR	0	0	1PL+J			RL	3	6	金雲母	炭化物	R	外	
KZ	0	0	1PL+J			LR	3	5		炭化物	RN	外	
KZ	0	0	1PL+J			LR	3	5					
PR	0	0	1PL+J			LR	3	4					
PR	0	0	1PL+J			RL+LR	3	3	4	炭化物	S	外	

図 番号	図版 番号	出土位置		器種類型		残存部位	法量 (cm)					口縁 断面	口縁 平面	口縁部内面 装飾
		区	層位	大別	細別		口径	最大径	底径	器高	器厚			
47-6	46-6	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					6.0	7	3a	1PL
47-7	46-7	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					6.0	7	3a	1PL
47-8	46-8	Z	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RN					7.0	1	3a	1PL
47-9	46-9	R	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					8.0	7	3a	1PL
47-10	46-10	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					7.0	7	3a	1PL
47-11	46-11	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					6.0	1	3a	0
47-12	46-12	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					6.0	7	3a	1PL
47-13	46-13	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					7.0	7	3a	1PL
47-14	46-14	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					7.0	7	3a	1PL
47-15	46-15	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					6.0	1	3a	0
47-16	46-16	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					5.0	7	3a	1PL
47-17	46-17	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠb1	RNS					6.0	7	3a	1PL
47-18	46-18	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					4.0	1	3a	1PL
47-19	46-19	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					6.0	7	3a	1PL
47-20	46-20	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					7.0	1	3b	1PL
47-21	46-21	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					7.0	1	3b	1PL
47-22	46-22	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					9.0	2	1+Ⅰa	0
47-23	46-23	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					10.0	4	1+Ⅰa	0
47-24	46-24	M	Ⅶb+Ⅶa	BⅠ	BⅠa2	RNS					7.0	7	1	1PL
47-25	46-25	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					10.0	4	1+Ⅰa	1PL
47-26	46-26	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					7.0	4	1+Ⅰa	1PL
47-27	46-27	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					6.0	7	1+Ⅰa	1PL
47-28	46-28	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					6.0	1	1	0
47-29	46-29	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					7.0	7	1+Ⅰa	1PL
47-30	46-30	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					7.0	1	1+Ⅰa	1PL
47-31	46-31	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					7.0	7	1+Ⅰa	1PL
47-32	46-32	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					6.0	7	3b	1PL
48-1	47-1	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					9.0	4	1+Ⅰa	1PL
48-2	47-2	Z	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					7.0	1	2?	2PL
48-3	47-3	NRM	Ⅶb+Ⅶa	BⅠ	BⅠa2	RNSB					8.0	7	2	1PL
48-4	47-4	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					6.0	7	3b	1PL
48-5	47-5	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					5.0	7	3b+Ⅰa	1PL
48-6	47-6	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					5.0	7	3b	1PL
48-7	47-7	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					5.0	7	3b+Ⅰa	1PL
48-8	47-8	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					6.0	1	1	0
48-9	47-9	0	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					7.0	7	1+Ⅰe	1PL
48-10	47-10	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					6.0	7	3b	1PL
48-11	47-11	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					5.0	7	3b	1PL
48-12	47-12	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					4.0	1	3b	1PL
48-13	47-13	0	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					8.0	7	3b	1PL
48-14	47-14	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					5.0	7	3b	1PL
48-15	47-15	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					5.0	1	3b	1PL
48-16	47-16	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					4.0	7	3b	1PL
48-17	47-17	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RNS					5.0	7	3b	1PL
49-1	48-1	M	Ⅶb	DⅠ	DⅠ4	RNS					6.0	7	3b	1PL
49-2	48-2	N	Ⅶb	BⅡ	BⅡb	RS					7.0	1	3b	0
49-3	48-3	N	Ⅶb	BⅡ	BⅡb	RS					3.0	7	3b	0
49-4	48-4	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					8.0	1	3b+Ⅰb	1PL
49-5	48-5	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					8.0	1	2	0
49-6	48-6	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RNS					6.0	4	Ⅰc	YS+1PL
49-7	48-7	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa1	NS					6.0	0		
49-8	48-8	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa3	RN					7.0	1	3b	1PL
49-9	48-9	R	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RN					8.0	1	1+Ⅰa	1PL
49-10	48-10	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RN					6.0	1	1+Ⅰa	1PL
49-11	48-11	不明	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RN					6.0	1	1+Ⅰa	1PL
49-12	48-12	N	Ⅶb	BⅠ	BⅠa2	RN					7.0	1	2	0
49-13	48-13	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa1	RNS					4.0	7	1	1PL
49-14	48-14	M	Ⅶb	BⅠ	BⅠa1	RN					4.0	1	3b	0
49-15	48-15	M	Ⅶb	BⅡ	BⅡa	RS					5.0	1	3b	0
49-16	48-16	N	Ⅶb	BⅡ	BⅡa	RS					6.0	1	1	0
49-17	48-17	M	Ⅶb	BⅡ	BⅡa	RS					7.0	1	1	0
49-18	48-18	N	Ⅶb	BⅡ	BⅡa	RSBF					8.0	3	3b	0
49-19	48-19	M	Ⅶb	DⅠ	DⅠ2	RNS					6.0	7	2	1PL
49-20	48-20	N	Ⅶb	DⅠ	DⅠ2	RNS					8.0	7	2	1PL
49-21	48-21	N	Ⅶb	DⅠ	DⅠ2	RNSB					6.0	7	2+Ⅰc	YS+1PL
49-22	48-22	M	Ⅶb	DⅠ	DⅠ2	RNSB					7.0	7	2+Ⅰa	1PL
49-23	48-23	M	Ⅶb	DⅠ	DⅠ1	RNSB					6.0	4	2+Ⅰc	YS+1PL
49-24	48-24	R	Ⅶb	DⅠ	DⅠ1	RNSB					5.0	1	3b+Ⅰe	1PL
49-25	48-25	M	Ⅶb	DⅠ	DⅠ6	RNS					5.0	7	3b	1PL
49-26	48-26	M	Ⅶb	DⅠ	DⅠ3	RNSB					5.0	1	1	0
49-27	48-27	M	Ⅶb	DⅠ	DⅠ3	RNSB					4.0	1	3b+Ⅰv	1PL

口唇 装飾	口縁部 文様帯	頸部 文様帯	体部上半 文様帯	体部下半 文様帯	脚部 文様帯	縄文 (/cm)			胎土中 混和物	付着物			備考
						原形	条数	節数		種類	部位	内外	
PR	0	0	1PL+J			LR	2	4		炭化物	RN	外	
PR	0	0	1PL+J			LR	2	4		炭化物	RN	外	
PR	0	0								炭化物	R	外	
PR	0	0	1PL+J			LR	3	5		炭化物	RN	外	
PR	0	0	1PL+J			LR+RL	3 3	5 5		炭化物	RNS	内外	
PR	0	0	J			LR	3	6		炭化物	RN	内外	
PR	0	0	J			LR	2	4		炭化物	S	外	
PR	0	0	1PL+J			RL	2	4		炭化物	NS	外	
PR	0	0	1PL+J			LR+RL	3 3	5 5	海綿骨針	炭化物	RNS	外	
PR	0	0	J			LR	3	6		炭化物	RNS	内外	
PR	0	0	2PL+J			RL	3	5		炭化物	RNS	内外	
PR	0	0	2PL+J			LR	2	4		炭化物	S	外	
PR	0	0	1PL+J			RL	3	5	海綿骨針	炭化物	RS	外	
PR	0	0	1PL+J			LR	2	4		炭化物	RNS	外	
KZ	0	0	1PL+J			LR	3	4		炭化物	RNS	内外	
KZ	0	0	1PL+J			RL	3	4		炭化物	RNS	外	
PR	0	0	1PL+JJ			LR	4	5		炭化物	RNS	内外	
PR	0	0	1PL+J			LR	3	5		炭化物	RN	外	
0	0	0	1PL+J			LR	2	4		炭化物	S	外	
PR	0	0	1PL+J			RL	3	5		炭化物	RNS	外	
PR	0	0	2PL+J			LR	3	5		炭化物	RNS	内外	
0	0	0	1PL+J			LR	3	5					
0	0	0	0							炭化物	R	外	
PR	0	0	1PL+J			LR	3	5		炭化物	RNS	内外	
PR	0	0	1PL+J			RL	4	6		炭化物	R	内外	
PR	0	0	1PL+J			RL	3	6					
KZ	0	0	1PL+J			RL	3	5		炭化物	RNS	外	
PR	0	0	1PL+J			LR	3	4		炭化物	RN	外	
PR	0	0	1PL+J			LR	2	4		炭化物	RN	外	
PR	0	0	1PL+J			RL+LR	4 4	6 6		炭化物	RNSB	外	
KZ	0	0	1PL+J							炭化物	R	外	
KZ	0	0	1PL+J			LR	3	4		炭化物	RNS	外	
KZ	0	0	1PL+J			RL	3	5					
KZ	0	0	1PL+J			LR	4	6		炭化物	RNS	内外	
0	0	0	1PL+J			RL	4	6		炭化物	S	外	
0	0	0	1PL+J			RL	4	6		炭化物	RNS	内外	
KZ	0	0	1PL+J			LR	4	7					
KZ	0	0	1PL+J			LR	2	4					
KZ	0	0	1PL+J			LR	3	5		炭化物	R	外	
KZ	0	0	1PL+J			RL	3	5					
KZ	0	0	1PL+J			LR+RL	3 3	6 6		炭化物	RNS	内外	
KZ	0	0	1PL+J			LR	3	6		炭化物	RNS	内外	
KZ	0	0	KZZ+3PL+J			RL	4	7		炭化物	RS	内外	
KZ	0	0	1PL+J			RL	3	4		炭化物	RNS	内外	
KZ	0		2PL+J			LR	3	4	海綿骨針	炭化物	RNS	外	
KZ	0		2PL+J			LR	9	14		炭化物	RNS	内外	
KZ	0	0	2PL+J			LR	4	7		炭化物	RNS	内外	
PR	0	0	0										
1PL	0	0	1PL+J			LR	3	5		炭化物	RNS	内外	
		0	2PL+J							炭化物	S	内	
KZ	0	0	1PL+							炭化物	R	内外	
PR	0	0											
PR	0	0							海綿骨針	炭化物	R	内外	
PR	0	0							海綿骨針	炭化物	R	内外	
PR	0	0								炭化物	R	外	
0	0	0	1PL+J			RL	2	4		炭化物	RNS	内外	
KZ	0	0							金雲母	炭化物	R	内外	
KZ	0		J			LR	3	6	金雲母	炭化物	S	内	
0	J		J			RL	3	4	金雲母	炭化物	S	内外	
0	J		J			LR	4	6		炭化物	SB	外	
KZ	0		ST	ST		0	0	0		炭化物	RB	内外	
PR	0	0	1PL+J			LR	3	4					
0	0	0	2PL+J			LR	3	5		炭化物	R	内外	
1PL	0	0	KZZ+2PL	J		RL	3	4		炭化物	SB	外	
PR	0	0	KZZ+2PL	J		RL	4	7		炭化物	S	外	
1PL	0	0	KZZ+3PL	J		RL	4	7		炭化物	NS	内外	
KZ	0	0	3PL	J		LR	3	5	海綿骨針	炭化物	RNS	内外	
KZ	0	0	4PL+J			LR	3	7		炭化物	RNS	内外	
0	0	0	3PL	J		RL	4	7					
KZ	0	0	KL	CL2+J		LR	8	14	金雲母	炭化物	RNS	内外	

図 番号	図版 番号	出土位置		器種類型		残存部位	法量 (cm)					口縁 断面	口縁 平面	口縁部内面 装飾
		区	層位	大別	細別		口径	最大径	底径	器高	器厚			
50-1	49-1	M	Ⅶb	D	D	SB						0		
50-2	49-2	N	Ⅶb	D I	D I 4	RNSB					4.0	7	I + I	0
50-3	49-3	N	Ⅶb	E I	E I 2	RNSB					5.0	1	2	YS+1PL
50-4	49-4	N	Ⅶb	E I	E I 2	RNSB					6.0	1	1+ I a	1PL
50-5	49-5	Z	Ⅶb	E I	E I 1	RS					6.0	4	1	1PL
50-6	49-6	N	Ⅶb	?	?	SB						0		
50-7	49-7	N	Ⅶb	E I	E I 2	RS					10.0	1	1+ I a	1PL
50-8	49-8	M	Ⅶb	E I	E I 2	RS					5.0	7	1+ I a	1PL
50-9	49-9	M	Ⅶb	E I	E I	BF						0		
50-10	49-10	R	Ⅶb	E I	E I	SB						0		
50-11	49-11	N-R	Ⅶb	E I	E I	BF						0		
50-12	49-12	N	Ⅶb	E I	E I	SB						0		
50-13	49-13	0	Ⅶb	F	Fb	RN					4.0	4	1	0
50-14	49-14	0	Ⅶb	F	Fb	RN					6.0	1	3a	
50-15	49-15	M	Ⅶb	F	Fb	RN					4.0	1	1	1PL
50-16	49-16	N	Ⅶb	F	Fb	RN					5.0	1	1	1PL
50-17	49-17	M	Ⅶb	F	Fc1	RNB					10.0	1	1	0
50-18	49-18	N	Ⅶb	F	Fb	RN					5.0	1	1	0
50-19	49-19	0	Ⅶb	F	Fb	RN					9.0	4	1+ I c+ V	0
50-20	49-20	N	Ⅶb	F	Fc2	RNS					6.0	7	1	1PL
50-21	49-21	N	Ⅶb	F	Fa	RNS					7.0	4	2+ I c	1PL
50-22	49-22	M	Ⅶb	F	F	NS						0		
50-23	49-23	N	Ⅶb	F	F	NS						0		
50-24	49-24	M	Ⅶb	F	F	NS						0		
50-25	49-25	0	Ⅶb+Ⅶa	F	F	SB						0		
50-26	49-26	M	Ⅶb	F	F	S						0		
50-27	49-27	N	Ⅶb	F	F	S						0		
50-28	49-28	R	Ⅶb	F	F	S						0		
50-29	49-29	N	Ⅶb	F	F	S						0		
50-30	49-30	MP	Ⅶb	F	F	S						0		



口唇 装飾	口縁部 文様帯	頸部 文様帯	体部上半 文様帯	体部下半 文様帯	脚部 文様帯	縄文 (/cm)			胎土中 混和物	付着物			備考
						原体	条数	節数		種類	部位	内外	
			IK?+2PL	J		LR	3	7	金雲母	炭化物	B	内外	
1PL	0	0	KZZ+3PL	J		LR	3	6		炭化物	R	外	
PR	0	0	KL	2PL+PU		LR	4	7		赤色顔料			
PR	0	0	1PL	J		LR	4	8					
1PL	0	0	4PL										
			KL	4PL+J					金雲母				
PR	0		2PL+J			LR	2	4	金雲母	赤色顔料			
PR	0		1PL			0	0	0					
				1PL+J		LR	6	10					
				2 PL		0	0	0					
				3PL+J		LR	6	10					内面に縄文帯
				3PL+JJ		LR	5	9					
1PL	0	0											
2PL	0	0											
0	0	0								炭化物	N	内	
0	0	0											
0	0	0											
0	0	0				LR	?	?		炭化物	RN	外	
1PL	0	0											
0	0	2PL+J				LR	3	5					
1PL	0	1PL	1PL+CL1 ? +J			RL	3	5					
		0	2PL+J			LR	3	5					
		0	1PL+J			RL	2	4	海綿骨針				
		0	J			LR	3	5					
		0	1PL+J			LR	2	3					
			1PL+4PL+3LL+J+1PL			LR	5	8					
			1PL+CL1 ? +J			LR	4	7					
			CL1 ? +J			LR	3	6					
			2 PL+CL1+J+ 1 PL			LR	3	6	金雲母	赤色顔料			
			? + 6 PL							赤色顔料			

圖 版



1(图 1-1)



2(图 1-2)



3(图 1-3)



4(图 1-4)



7(图 1-7)



5(图 1-5)



6(图 1-6)



8(图 1-8)



11(图 1-11)



9(图 1-9)



10(图 1-10)

0 10 cm (S=1/3)

图版 1 山王囤遺跡西区VI層出土土器写真(1) 1~11: VI b層



図版2 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器写真(2) 1～10:Ⅵb層





图版3 山王困遗迹西区VI層出土土器写真(3) 1~6: VI b層 7~9: VI d層



図版 4 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器写真(4) 1～11 : Ⅵ d層



图版5 山王囤遗迹西区VI层出土土器写真(5) 1~9: VI d层 10~11: VI f层





1 (図5-7)



2 (図5-8)



3 (図5-9)



4 (図5-10)



5 (図6-1)

0 10 cm (S=1/3)

図版 6 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器写真(6) 1～5 : Ⅵf層





图版 7 山王囤遗迹西区VI层出土土器写真(7) 1~6: VI f层 7: VI g层



1(図7-1)



2(図7-2)



3(図7-3)



5(図7-5)



4(図7-4)



6(図7-6)



7(図7-7)

0 10 cm (S=1/3)

図版 8 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器写真(8) 1~7:Ⅵh層





图版9 山王囤遗迹西区VI层出土土器写真(9) 1~6: VIh层



図版10 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器写真(10) 1～8：Ⅵh層





图版 11 山王囤遗迹西区VI层出土土器写真(11) 1~14: VI h 层

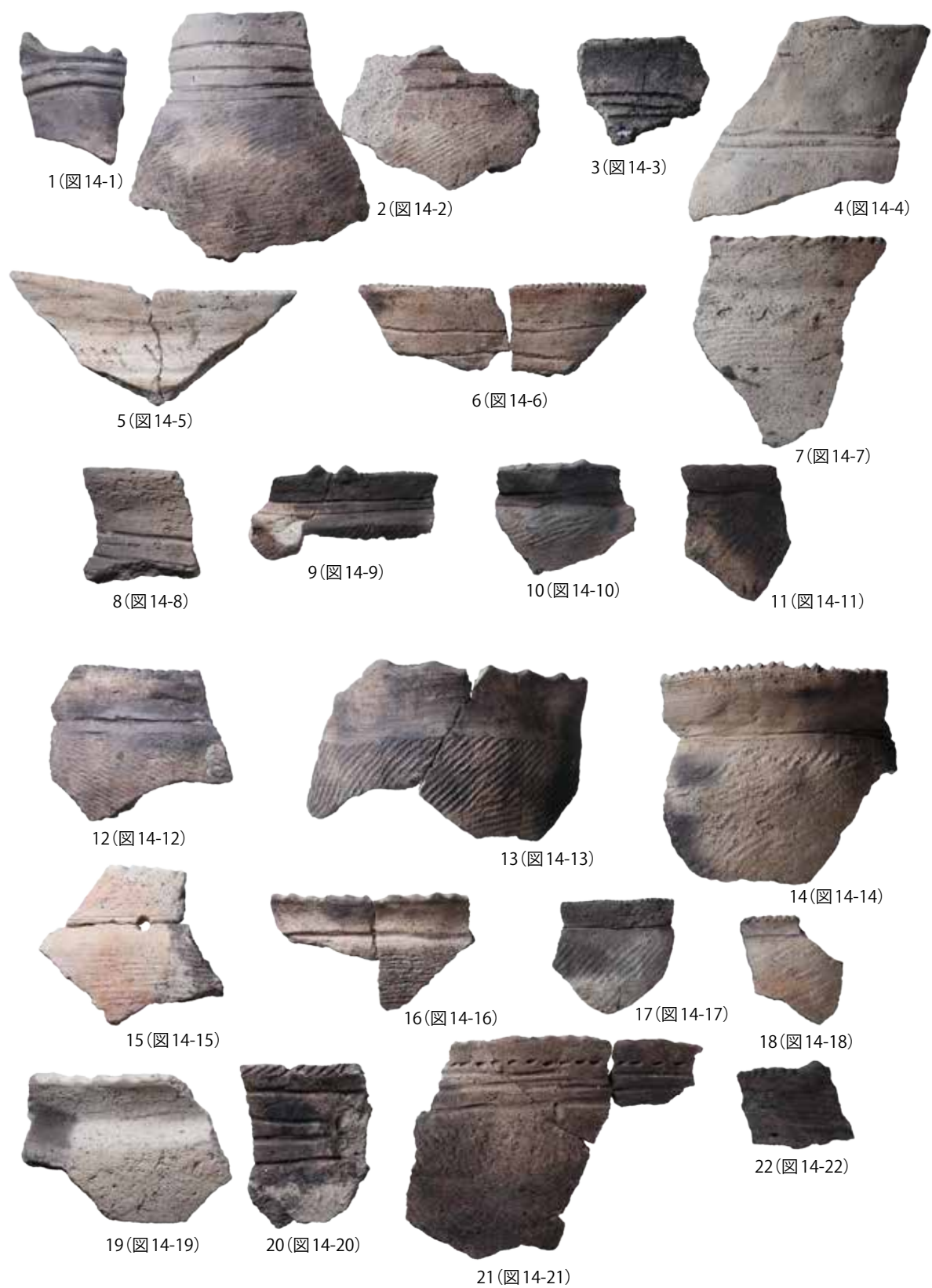


図版12 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器写真(12) 1～6: Ⅵh層





图版13 山王囤遗迹西区VI层出土土器写真(13) 1~10: VI h层 11·12: VI h2层



0 10 cm (S=1/3)

図版 14 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (14) 1 : Ⅵ a 層 2 ~ 22 : Ⅵ b 層





图版 15 山王囤遗址西区VI层出土土器写真(15) 1~22: VI b层



0 10 cm (S=1/3)

図版16 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器写真(16) 1~20:Ⅵb層



0 10 cm (S=1/3)

图版 17 山王囤遗迹西区VI层出土土器写真(17) 1~31: VI b层



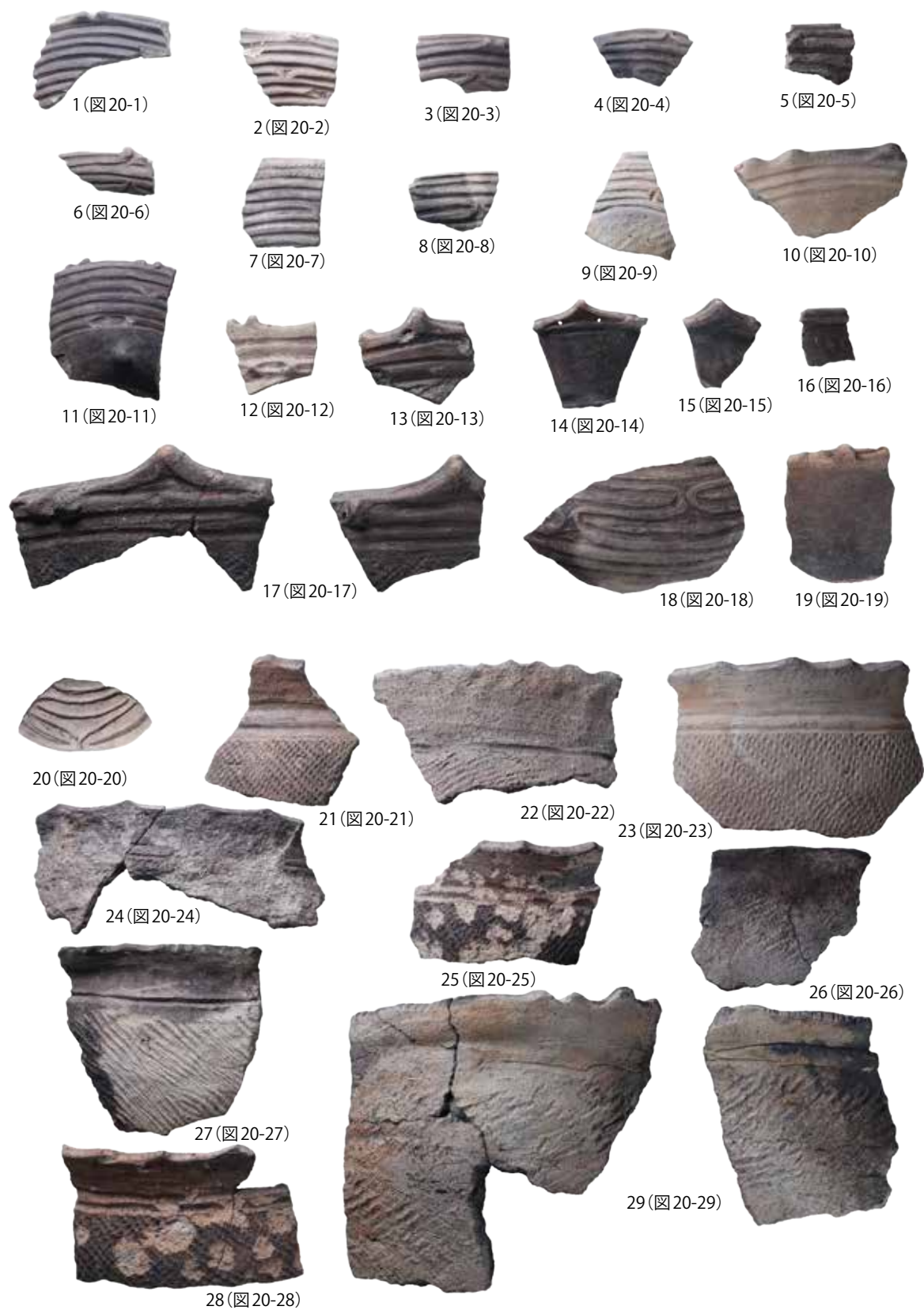


図版 18 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (18) 1～19 : Ⅵ d 層



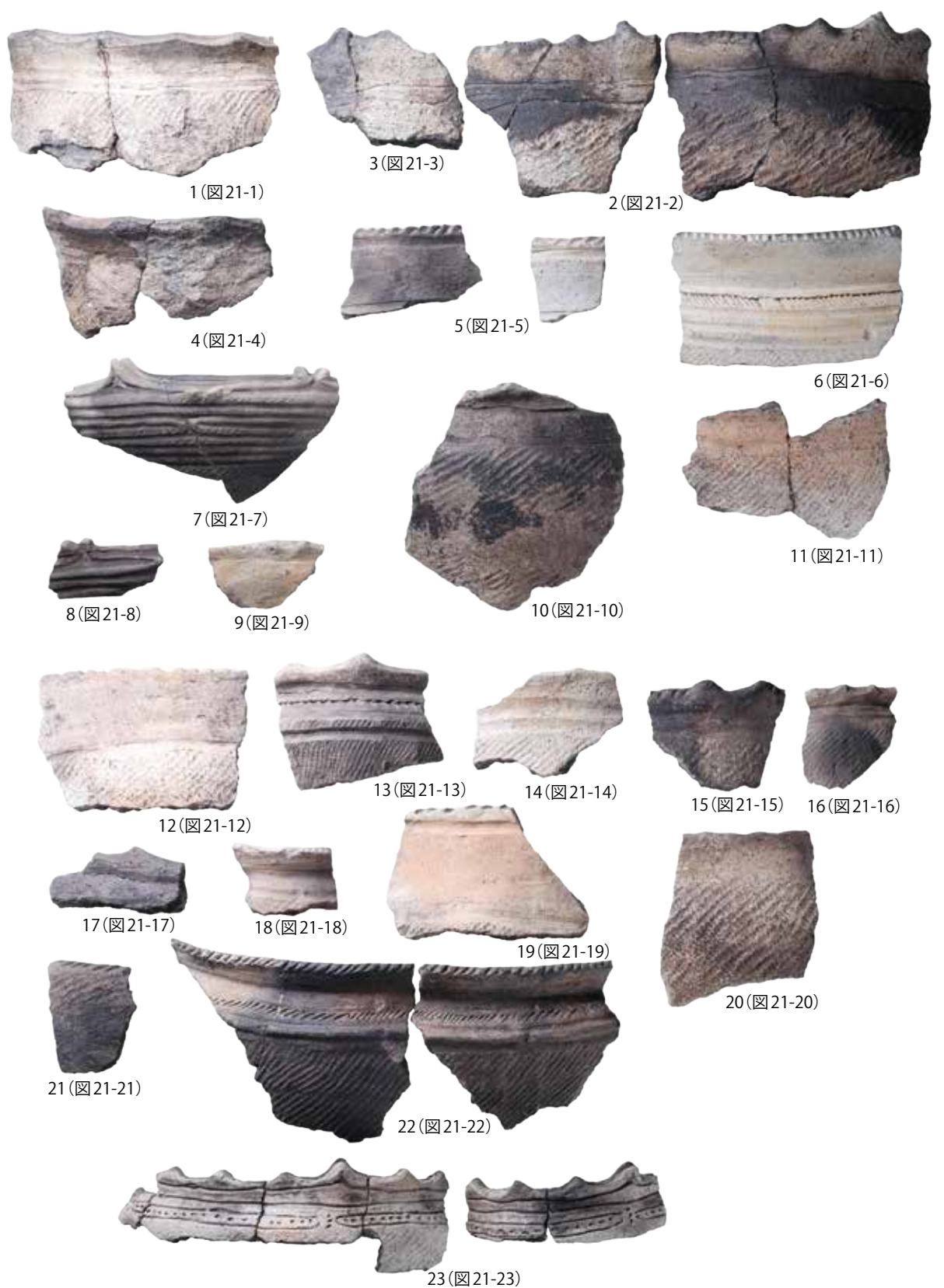


图版 19 山王囤遗迹西区VI层出土土器写真(19) 1~34: VI d层



0 10 cm (S=1/3)

図版 20 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (20) 1～20 : Ⅵ d 層 21～29 : Ⅵ e 層



0 10 cm (S=1/3)

图版21 山王囤遗迹西区VI层出土土器写真(21) 1~9: VI e层 10~23: VI f层



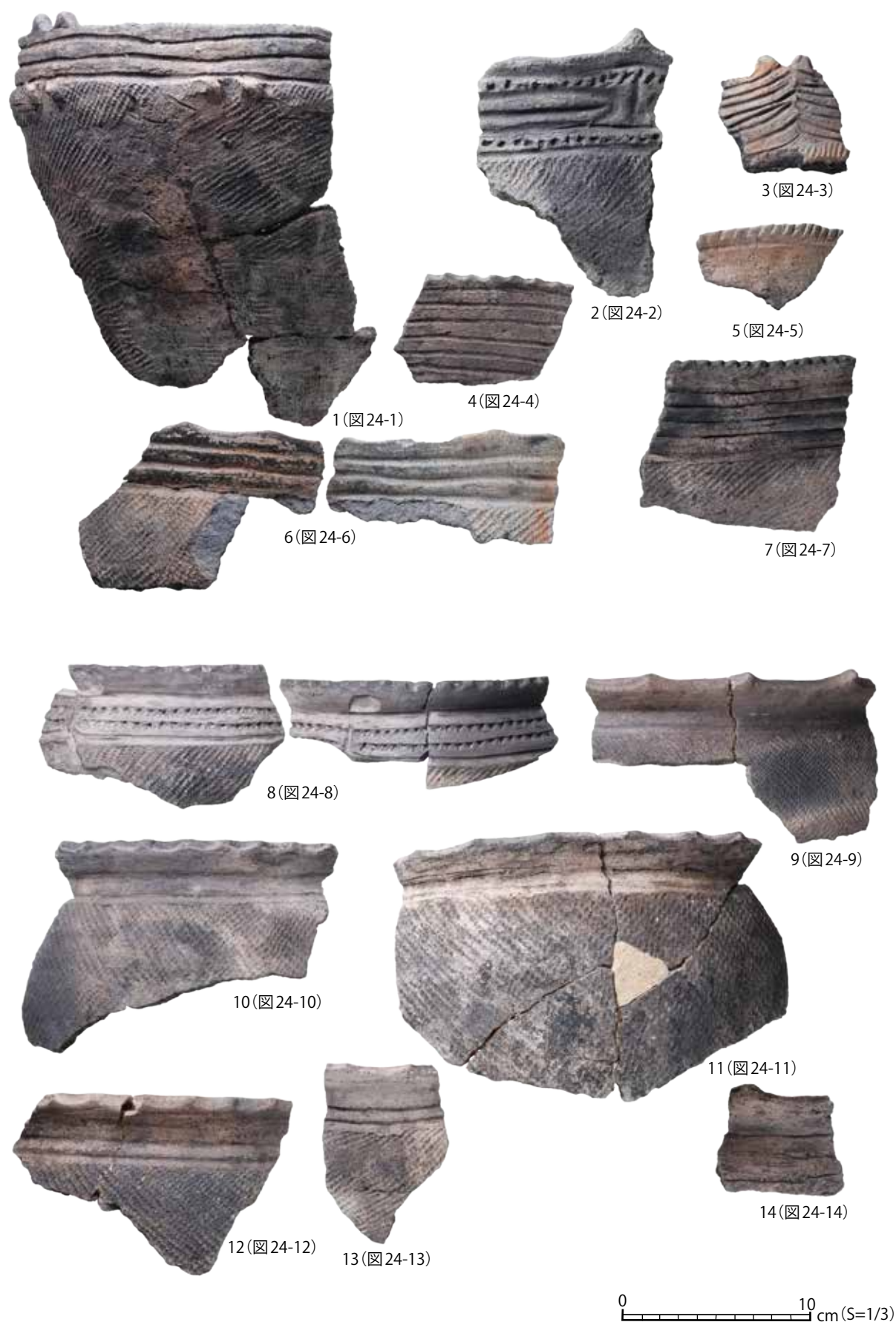


図版 22 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (22) 1～25 : Ⅵ f 層





图版 23 山王冢遗址西区VI层出土土器写真 (23) 1~23 : VI g 層



図版 24 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (24) 1～14 : Ⅵh層



图版 25 山王囤遗迹西区VI层出土土器写真(25) 1~21: VI h层

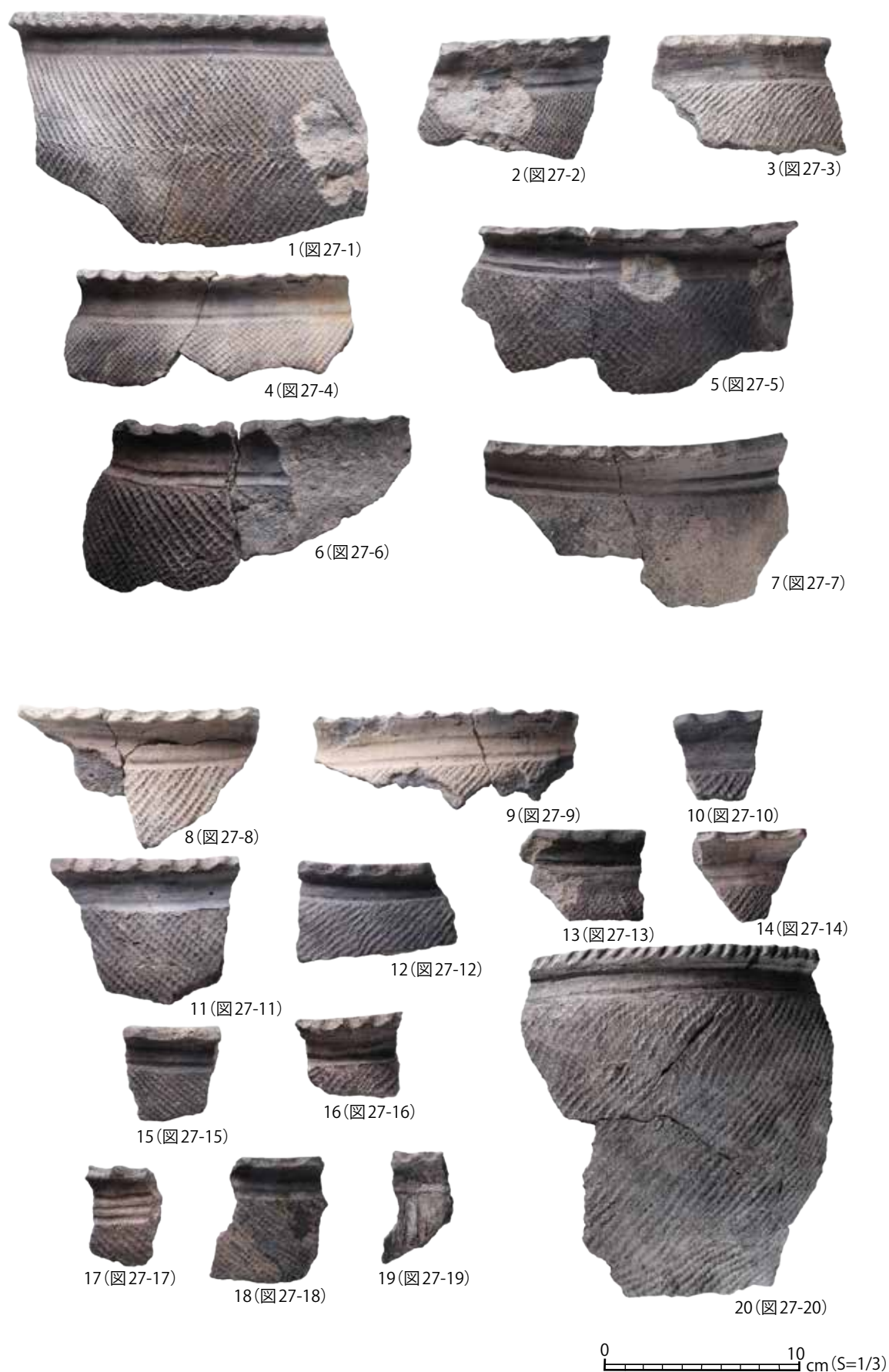




0 10 cm (S=1/3)

図版 26 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (26) 1～27 : Ⅵh層



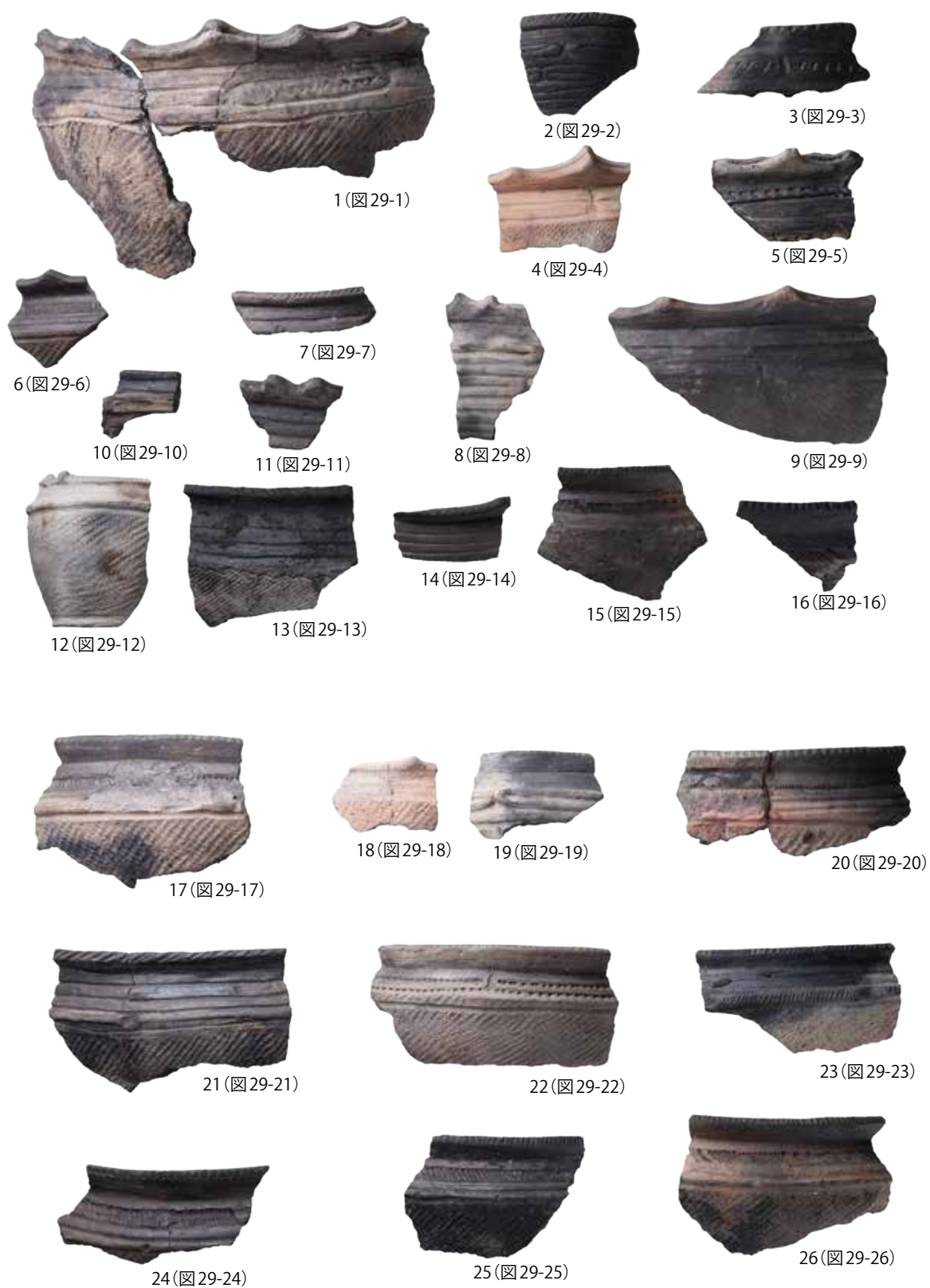


图版 27 山王囤遗迹西区VI层出土土器写真(27) 1~20: VI h層



0 10 cm (S=1/3)

図版 28 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (28) 1 ~ 30 : Ⅵ h 層



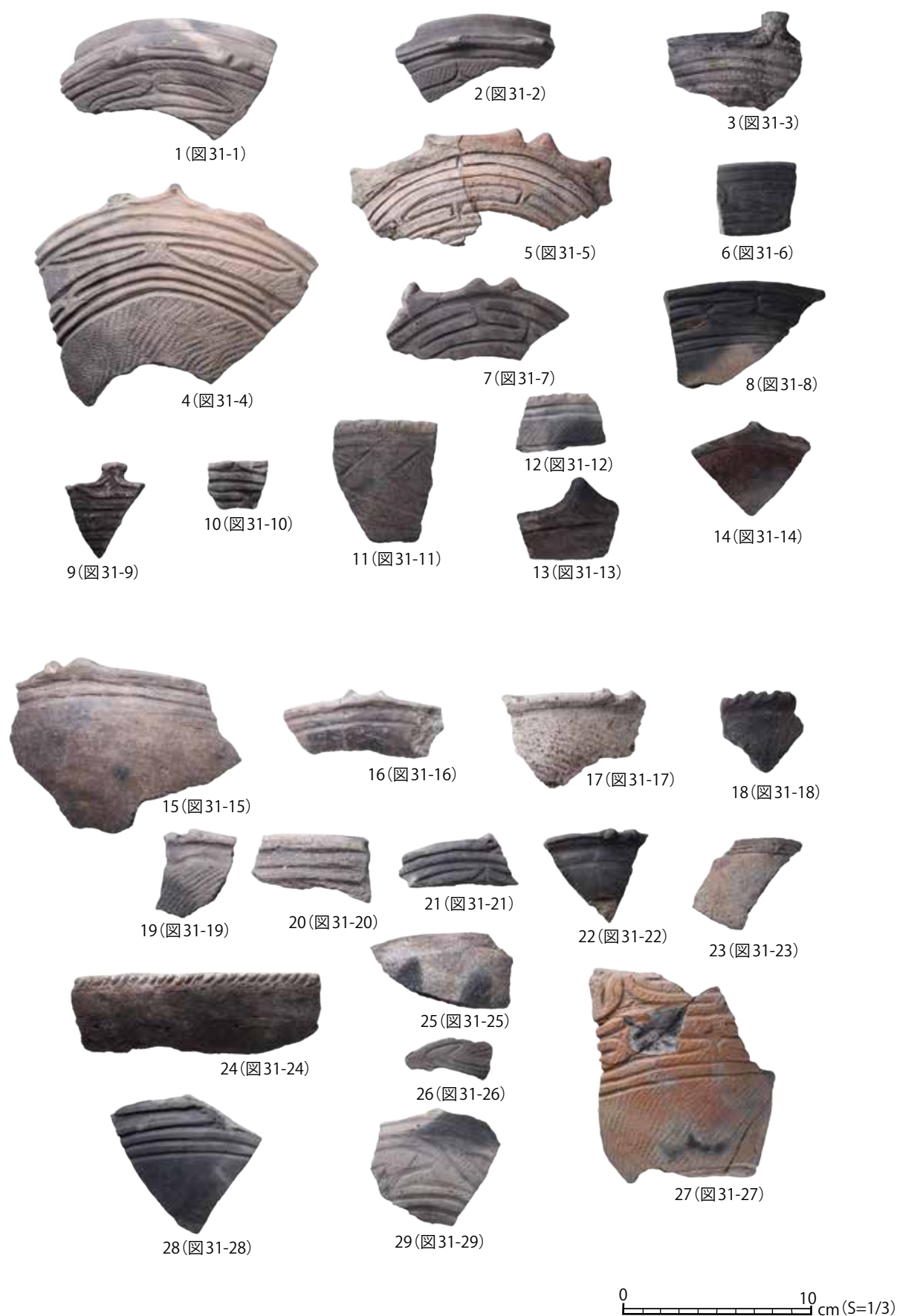
图版 29 山王囤遗址西区VI层出土土器写真(29) 1~26: VI h层





図版 30 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (30) 1～27 : Ⅵh層





图版31 山王囤遗迹西区VI层出土土器写真(31) 1~29: VI h层



0 10 cm (S=1/3)

図版 32 山王冢遺跡西区Ⅵ層出土土器写真 (32) 1～28 : Ⅵ h 層



图版33 山王囤遺跡西区VI層出土土器写真(33) 1~6: VI h層 7~12: VI h2層  
13~16: VI h3層 17·18: VI i層





図版34 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器写真(1) 1～8 : Ⅶa層



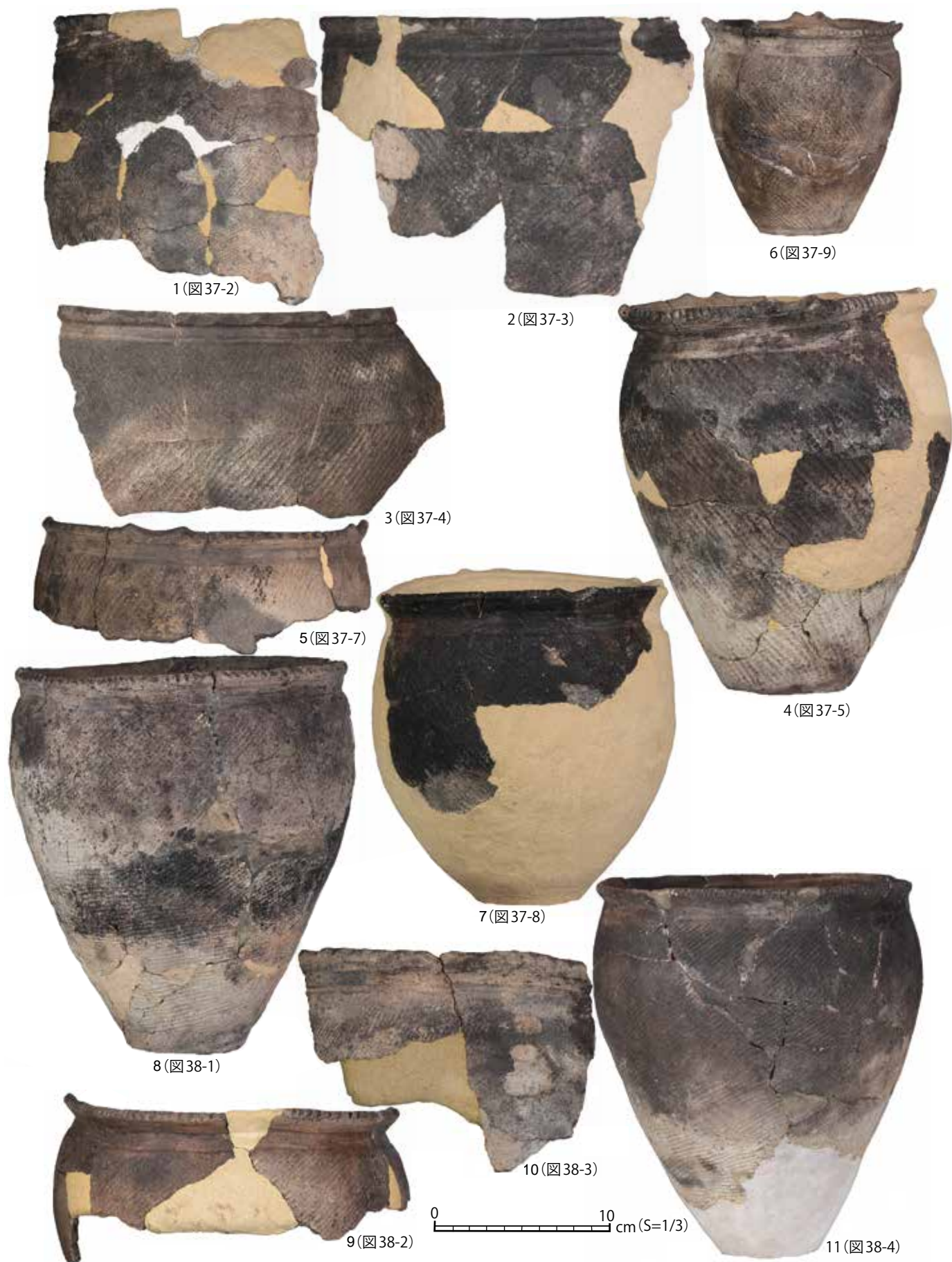


图版35 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真(2) 1~7:Ⅶa层

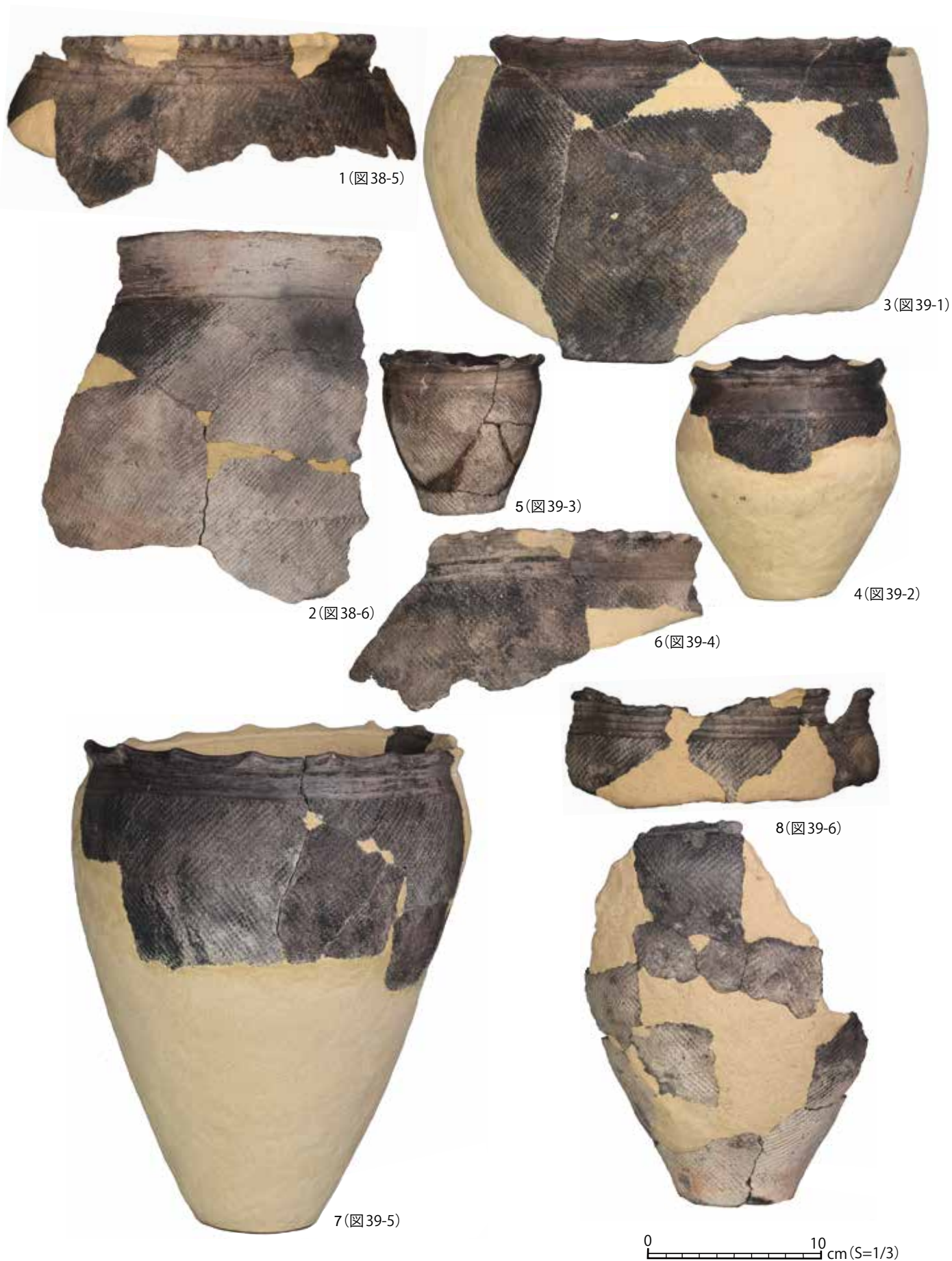


図版36 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器写真(3) 1～7:Ⅶa層 8:Ⅶb層





图版37 山王囤遗迹西区Ⅶ层出土土器写真(4) 1~11:Ⅶb层



図版38 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器写真(5) 1～8 : Ⅶb層





图版39 山王囤遗址西区Ⅶ层出土土器写真(6) 1~9:Ⅶb层



図版40 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器写真(7) 1～17：Ⅶb層





图版41 山王冢遗迹西区Ⅶ层出土土器写真(8) 1~4:Ⅶb层



1(図43-1)



2(図43-2)



3(図43-3)



4(図43-4)



6(図43-7)



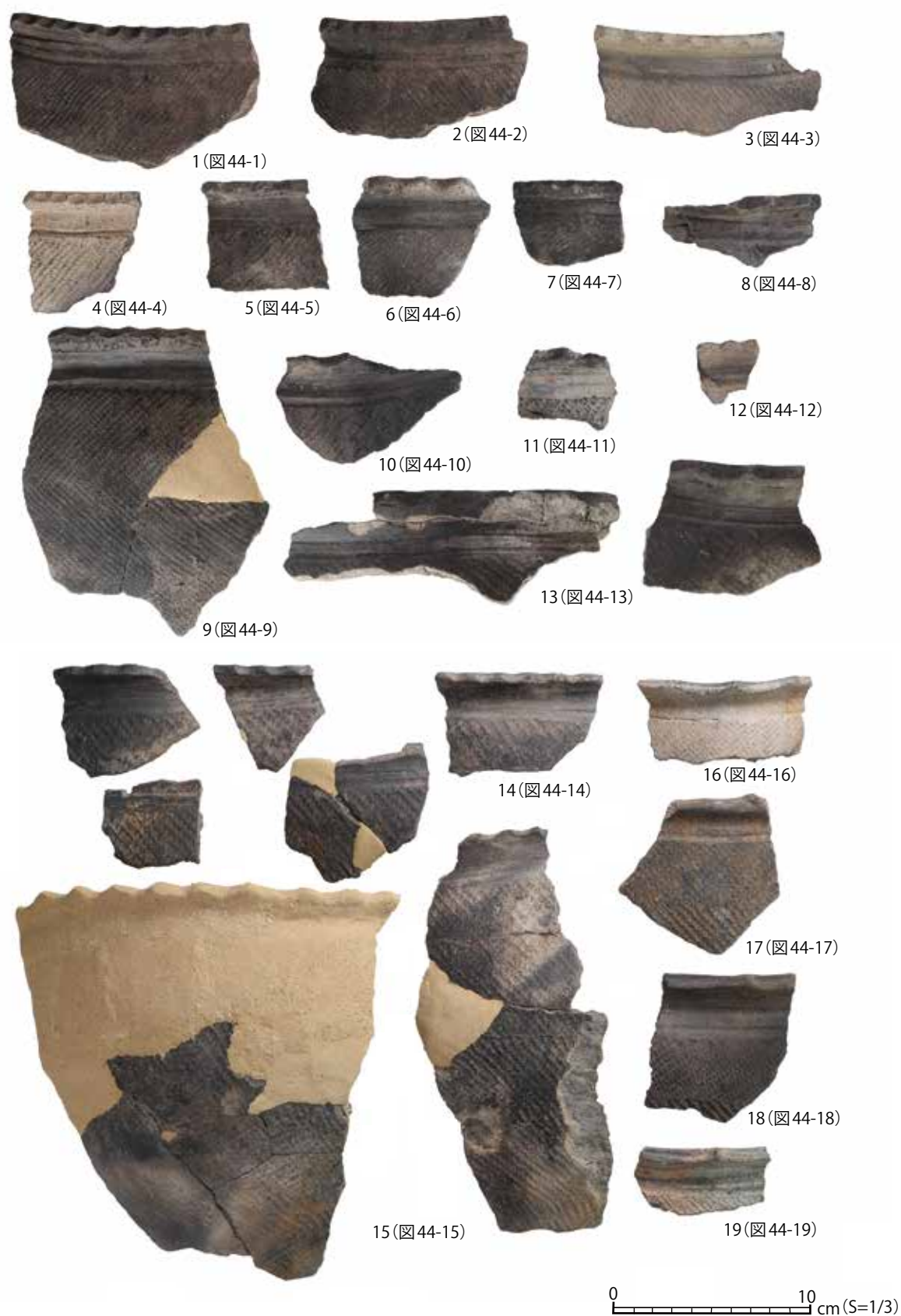
5(図43-5)



0 10 cm (S=1/3)

図版42 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器写真(9) 1～6:Ⅶb層





图版 43 山王囤遗迹西区Ⅶ层出土土器写真(10) 1~19:Ⅶa层

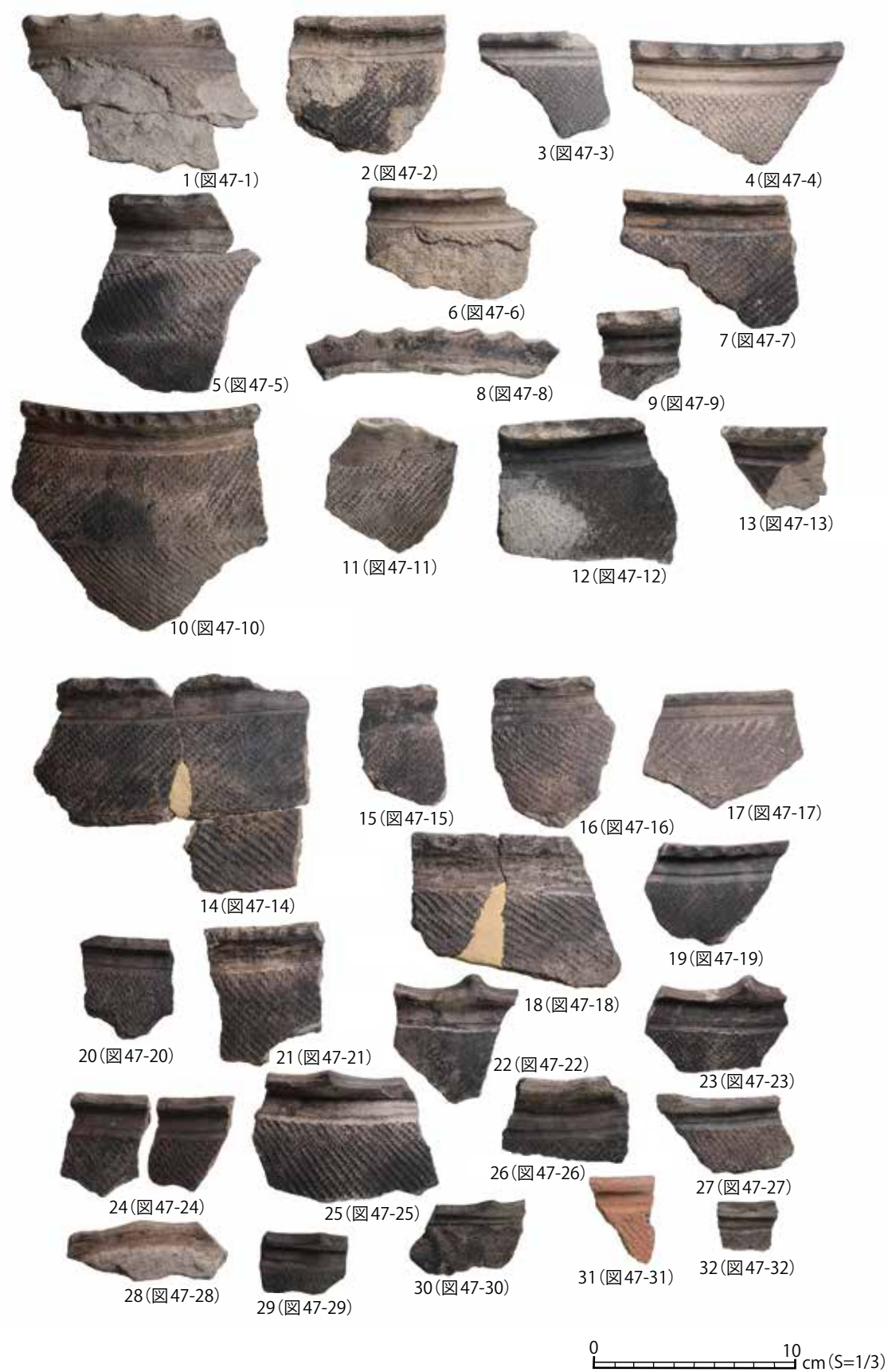


図版 44 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器写真 (11) 1～16 : Ⅶ a 層



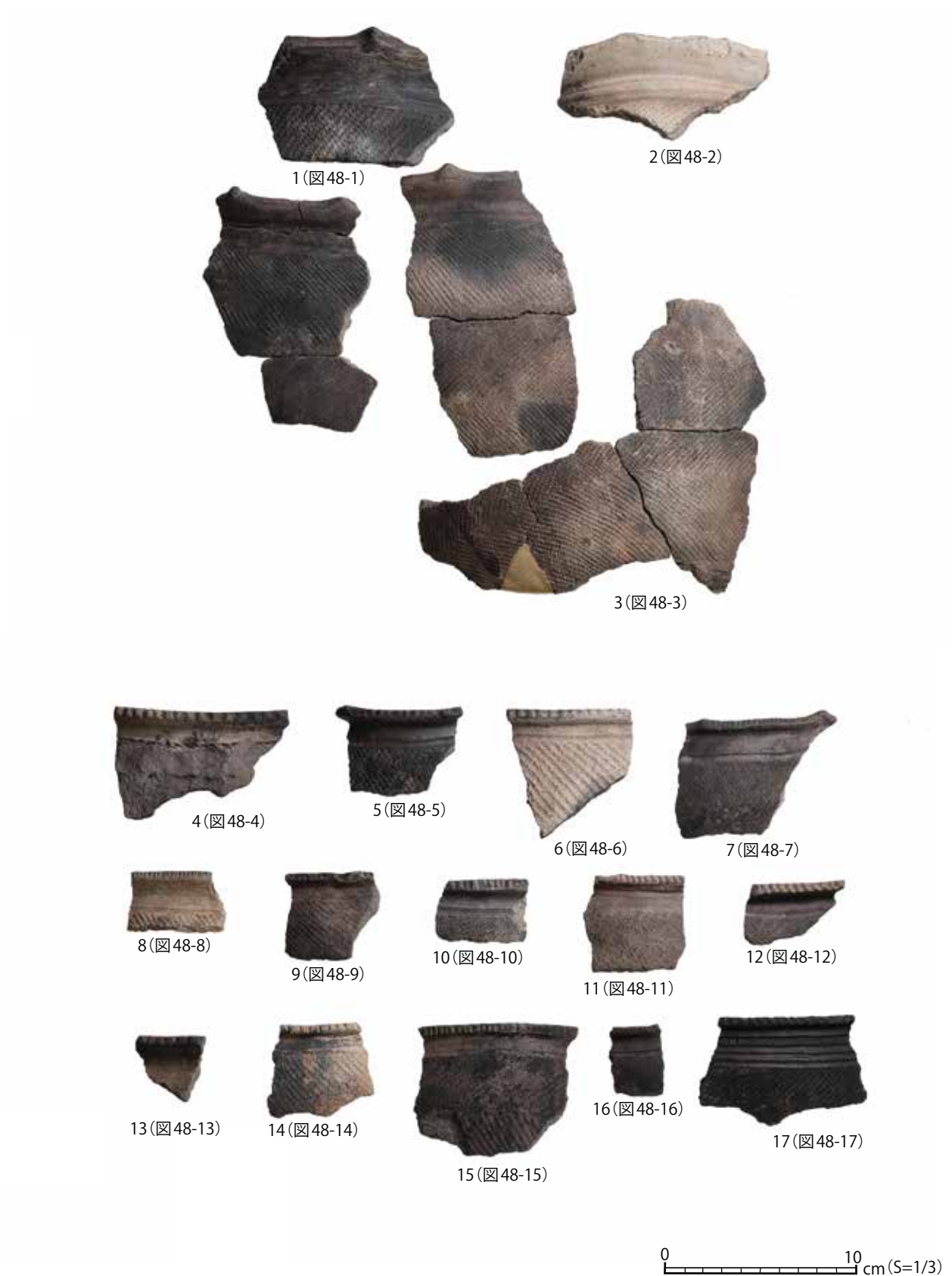
0 10 cm (S=1/3)

图版 45 山王囤遗迹西区Ⅶ层出土土器写真(12) 1~16:Ⅶa层



図版 46 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器写真 (13) 1～32 : Ⅶ b 層

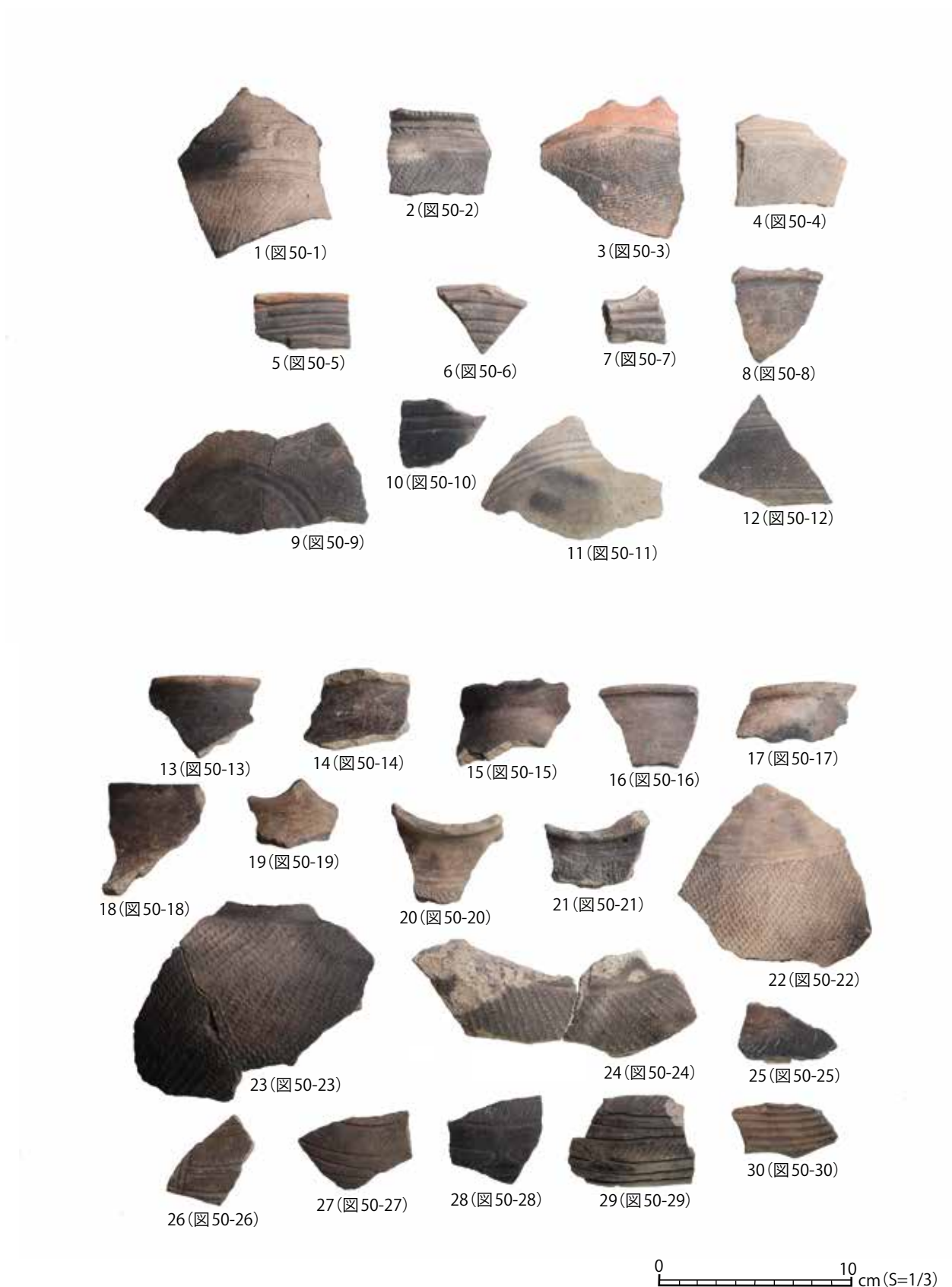




图版 47 山王囤遗迹西区Ⅶ层出土土器写真(14) 1~17:Ⅶb层



図版 48 山王冢遺跡西区Ⅶ層出土土器写真 (15) 1～27 : Ⅶb層



图版 49 山王囤遗迹西区Ⅶ层出土土器写真(16) 1~30:Ⅶb层

# 国史跡山王団遺跡の研究 V

## 土器編 3 (西区Ⅵ層・Ⅶ層出土土器編)

2024 年 3 月 21 日 初版発行

著 者 関根達人

発 行 弘前大学人文社会科学部 北日本考古学研究センター

〒 036-8560 青森県弘前市文京町 1 番地

TEL 0172-39-3190 (直通)

印 刷 やまと印刷株式会社

青森県弘前市神田 4 丁目 4 - 5

TEL 0172-34-4111 (代表)

ISBN 978-4-907995-15-7 ©弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター 2024

Printed in Japan



# The SANNOGAKOI site V

## THE POTTERY 3

(Jomon pottery excavated from the sixth  
and the seventh layer of the Western  
investigation ward)

2024

Research Center For Archaeology of Northern JAPAN, Hirosaki University